

I 調査の概要



I 調査の概要

調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市民の生活の実態や本市での暮らしの課題について幅広く把握し、合志市における今後のまちづくりを進めていくために必要な基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査設計

(1) 調査対象地域 合志市内全域

(2) 調査対象

市内に在住する18歳以上の男女 3,000人

(3) 調査対象者の抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出

(4) 回収率

35.1%

回収数 1,053 通 (WEB 回収 345 通・郵送回収 708 通)

(5) 調査方法

郵送による配布、郵送及びWEBによる回収

(6) 調査期間

令和6年4月19日～令和6年5月13日

3. 本報告書の見方

(1) 図表中の「n」とは、回答総数を表している。

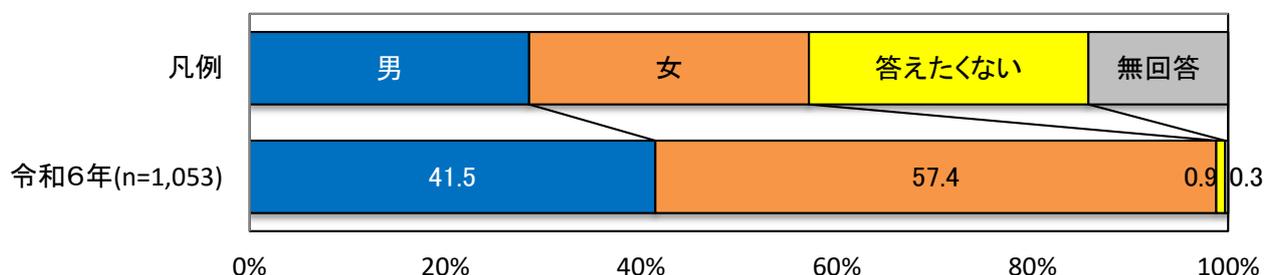
(2) 単一回答については、全て百分率(%)で算出し、小数点第2位を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合がある。

(3) 複数回答については、回答項目ごとに算出していることから、合計値が100%を超える場合がある。

4. 回答者の基本属性

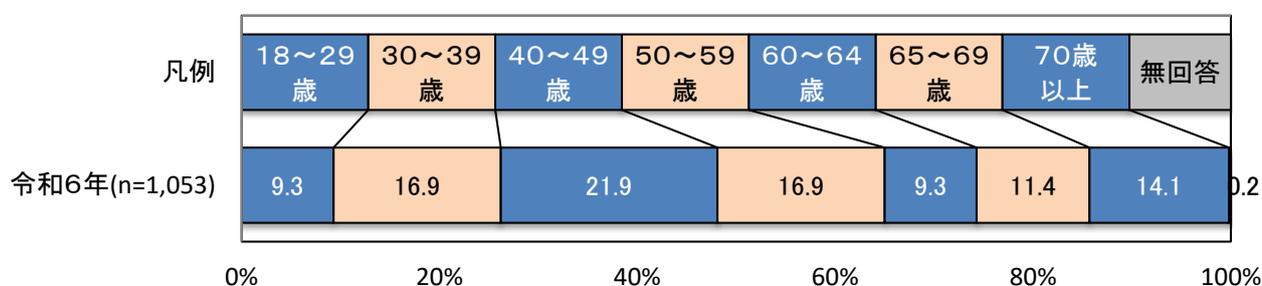
(1) 性別

- 「女性」が半数以上となっており、「男性」の約4割を上回っている。



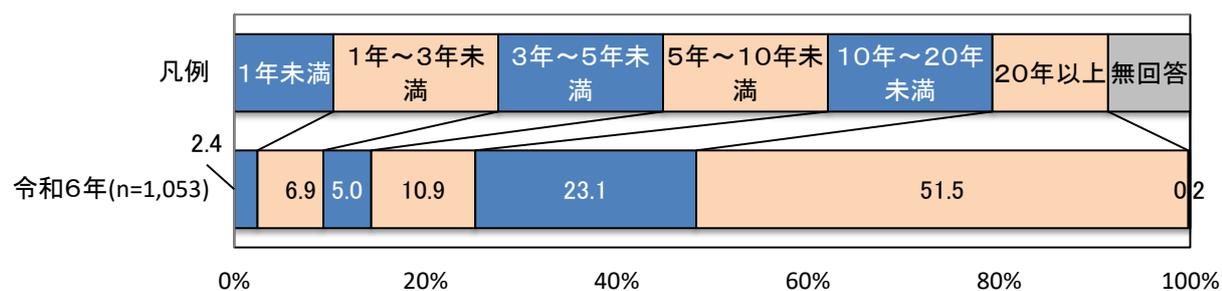
(2) 年齢

- 「40～49歳」が21.9%と最も多く、「30～39歳」、「50～59歳」が16.9%で続く。



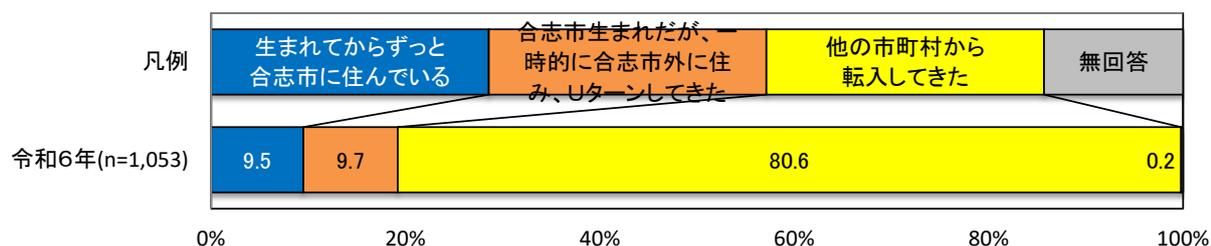
(3) 居住年数

- 「20年以上」が51.5%と半数を占めている。



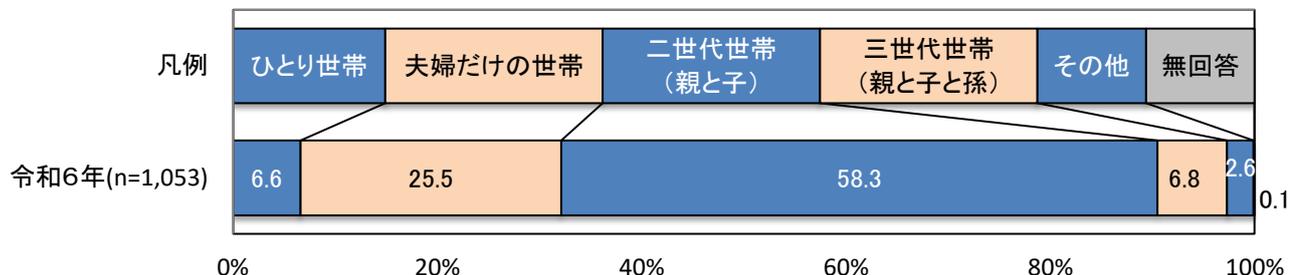
(4) 居住パターン

- 「転入」が8割となっており、「合志市（転出なし）」、「Uターン」がそれぞれ1割未満となっている。



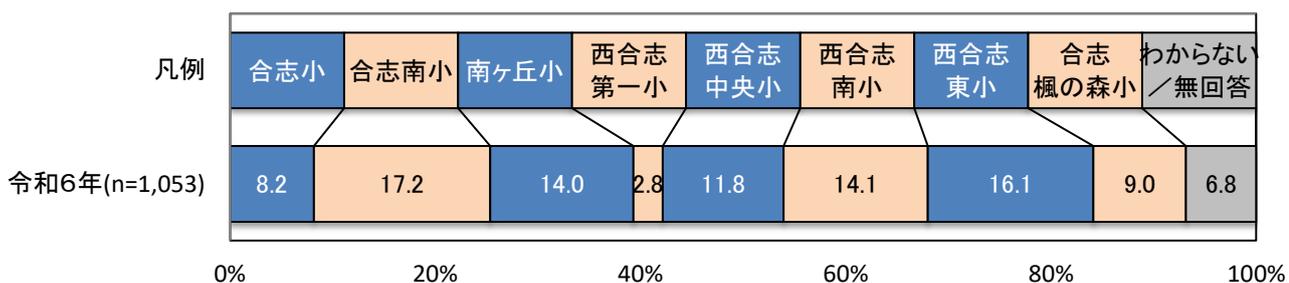
(5) 家族構成

- 「二世世代世帯（親と子）」が 58.3%と半数を超えており、次いで「夫婦だけの世帯」が 25.5%となっている。「ひとり世帯」「三世世代世帯（親と子と孫）」はそれぞれ1割未満となっている。



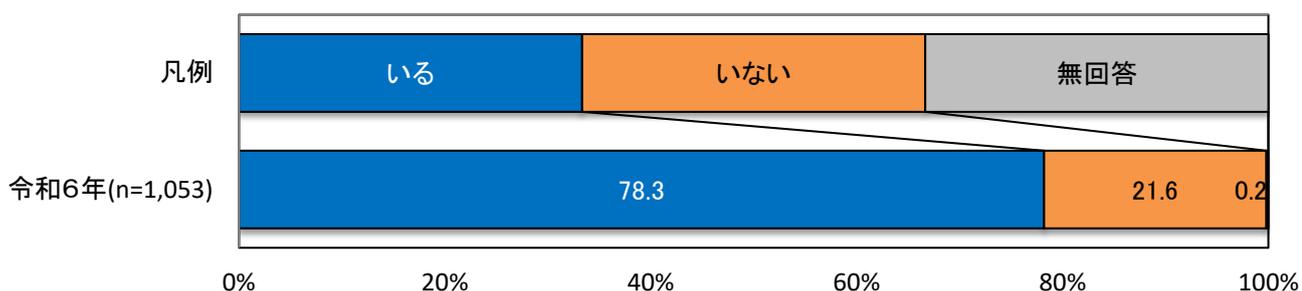
(6) 校区

- 「合志南小」が 17.2%と最も多く、「西合志東小」16.1%、「西合志南小」14.1%と続く。以下、「南ヶ丘小」14.0%、「西合志中央小」11.8%、「合志颯の森小」9.0%、「合志小」8.2%の順となっている。なお「西合志第一小」は 2.8%と少ないため、数値を見る際に注意が必要である。



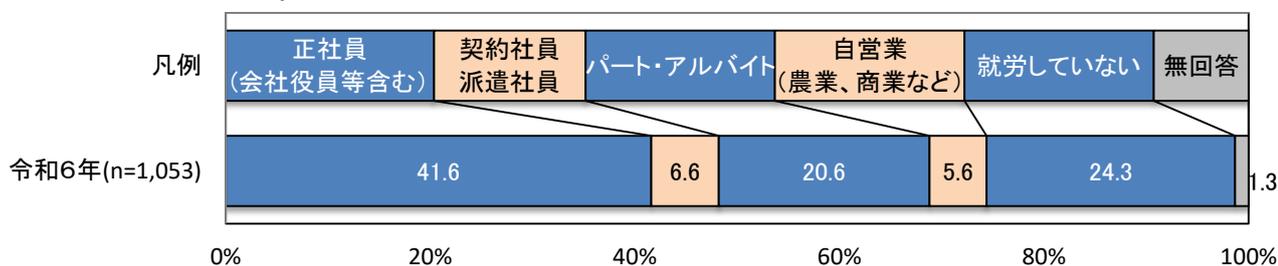
(7) 配偶者有無

- 配偶者が「いる」が 8割弱を占めており、「いない」は 21.6%となっている。



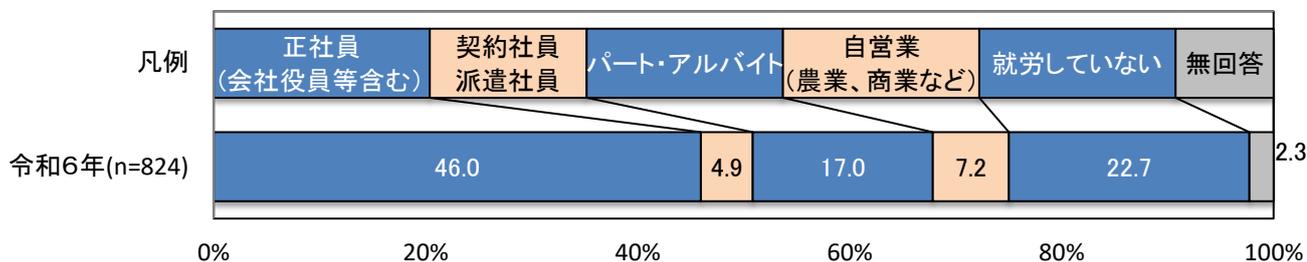
(8) 自身の職業

- 約7割強が就労しており、「正社員」が 41.6%、次いで「就労していない」が 24.3%となっている。



(9) 配偶者の職業

- 配偶者がいる 824 人のうち、約 7 割強が就労しており、配偶者の職業では「正社員」が 46.0%と最も多く、「就労していない」が 22.7%で続く。



<基本属性の比較>

(単位：%)

		令和 6 年度調査 n=1,053	令和 5 年度調査 n=1,064	令和 4 年度調査 n=1,121	令和 3 年度調査 n=1,363	令和 2 年度調査 n=1,329	平成 31 年度調査 n=1,116
性別	男	41.5	42.5	40.6	40.8	43.2	43.1
	女	57.4	57.0	58.5	58.6	56.1	56.0
	答えたくない	0.9	0.5	0.4	0.3	0.6	0.5
	無回答	0.3	0.1	0.4	0.3	0.1	0.4
年齢	18～29 歳	9.3	8.7	7.4	9.7	10.1	8.6
	30～39 歳	16.9	17.4	19.0	16.7	16.2	15.9
	40～49 歳	21.9	22.2	21.8	20.8	21.3	20.9
	50～59 歳	16.9	17.3	16.1	15.6	15.5	14.2
	60～64 歳	9.3	8.8	9.1	9.6	10.1	12.9
	65～69 歳	11.4	12.7	11.3	12.5	11.4	13.7
	70 歳以上	14.1	12.8	15.1	14.7	15.5	13.5
	無回答	0.2	0.1	0.3	0.3	0.0	0.3
自分の職業	正社員	41.6	38.3	40.8	36.5	39.7	36.3
	契約・派遣社員	6.6	6.8	5.5	7.0	5.0	5.4
	パート・アルバイト	20.6	17.3	17.8	20.0	17.8	16.8
	自営業	5.6	6.3	6.8	7.0	6.0	6.6
	就労していない	24.3	24.7	27.6	28.0	30.1	33.9
	無回答	1.3	6.6	1.5	1.4	1.4	1.1
居住パターン	合志市 (転出なし)	9.5	13.0	10.3	10.1	23.4	22.7
	Uターン	9.7	9.0	9.5	10.3	76.4	76.9
	転入	80.6	77.8	80.1	79.3		
	無回答	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.4

居住年数	1年未満	2.4	2.5	3.5	2.9	3.2	3.4
	1～3年未満	6.9	5.3	4.6	5.8	5.7	4.0
	3～5年未満	5.0	3.6	5.2	4.8	6.4	4.7
	5～10年未満	10.9	11.6	13.4	13.1	11.7	9.9
	10～20年未満	23.1	24.5	20.1	22.2	21.0	22.9
	20年以上	51.5	52.3	52.9	50.8	51.3	54.6
	無回答	0.2	0.2	0.4	0.3	0.7	0.4
校区	合志小	8.2	8.0	7.9	7.6	9.2	8.8
	合志南小	17.2	17.4	17.0	16.4	22.0	20.5
	南ヶ丘小	14.0	11.3	14.5	12.8	13.8	14.4
	西合志第一小	2.8	2.3	2.4	2.9	3.0	2.2
	西合志中央小	11.8	11.7	12.0	11.3	10.5	11.7
	西合志南小	14.1	16.4	16.5	17.2	16.9	14.2
	西合志東小	16.1	18.2	15.9	16.0	16.9	20.1
	合志楓の森小	9.0	7.8	8.7	7.3		
	わからない	6.2	6.9	5.3	8.5	7.8	8.1
	無回答	0.7					
家族構成	ひとり世帯	6.6	5.5	5.9	7.6	5.8	5.9
	夫婦だけ	25.5	26.4	26.4	25.6	25.6	28.1
	二世帯世帯	58.3	57.5	58.1	55.6	56.5	55.1
	三世帯世帯	6.8	7.9	7.2	7.7	8.2	7.6
	その他	2.6	2.5	2.2	3.1	3.1	3.0
	無回答	0.1	0.2	0.2	0.4	0.8	0.2
配偶者	いる	78.3	78.8	78.2	79.0	78.4	76.0
	いない	21.6	21.0	21.4	20.7	21.4	23.5
	無回答	0.2	0.3	0.4	0.3	0.2	0.5
配偶者の職業	正社員	46.0	43.4	44.6	42.7	40.3	37.7
	契約・派遣社員	4.9	6.2	5.0	5.3	4.7	5.3
	パート・アルバイト	17.0	14.9	15.6	12.9	16.6	15.2
	自営業	7.2	7.2	7.4	7.5	7.9	7.9
	就労していない	22.7	25.7	25.3	26.2	27.7	30.7
	無回答	2.3	2.6	2.1	5.4	2.8	3.2

Ⅱ 調査結果

II 調査結果

日常生活について

1. 職場について

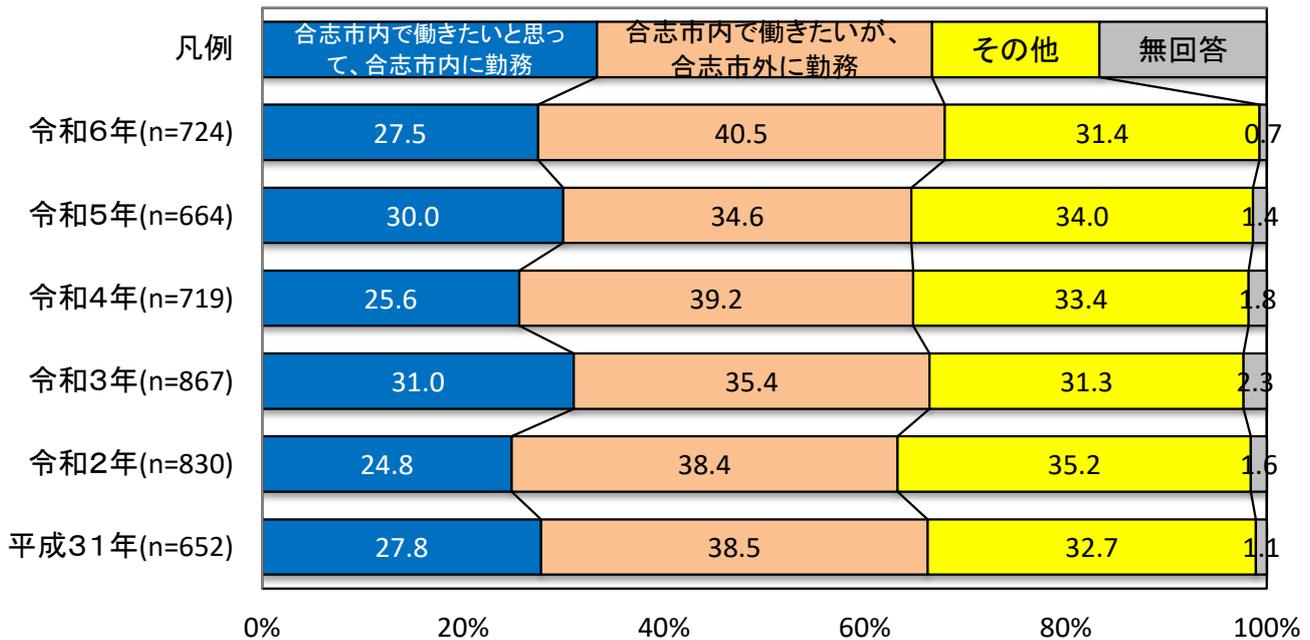
(1) 働く場所（問9）

あなたは、合志市内で働きたいと思いますか。また合志市内で勤務していますか。

自営業以外で働いている724人について、合志市内での就労意向と実際の勤務状況を尋ねたところ、合志市内で働きたいと思っている人（「合志市内で働きたいと思っており、合志市内に勤務している」＋「合志市内で働きたいとは思っているが、合志市外に勤務している」）は68.0%となっている。

しかしながら実際に市内に勤務している人の割合は全体の27.5%であり、市内で働きたいと思っている人の半数を下回っている。

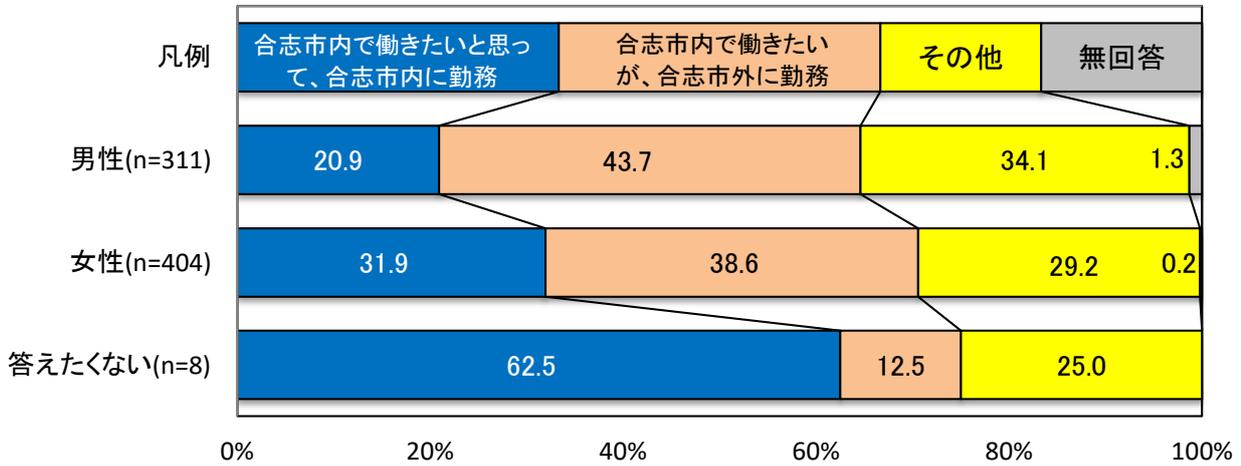
昨年度と比較して大きな差は認められないが、「合志市内で働きたいとは思っているが、合志市外に勤務している」人の割合は5.9%増加している。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 合志市内で働きたいと思っており、合志市内に勤務している	199	27.5	199	30.0	184	25.6	269	31.0	206	24.8	181	27.8
2 合志市内で働きたいとは思っているが、合志市外に勤務している	293	40.5	230	34.6	282	39.2	307	35.4	319	38.4	251	38.5
3 その他	227	31.4	226	34.0	240	33.4	271	31.3	292	35.2	213	32.7
4 無回答	5	0.7	9	1.4	13	1.8	20	2.3	13	1.6	7	1.1
合計	724	100.0	664	100.0	719	100.0	867	100.0	830	100.0	652	100.0

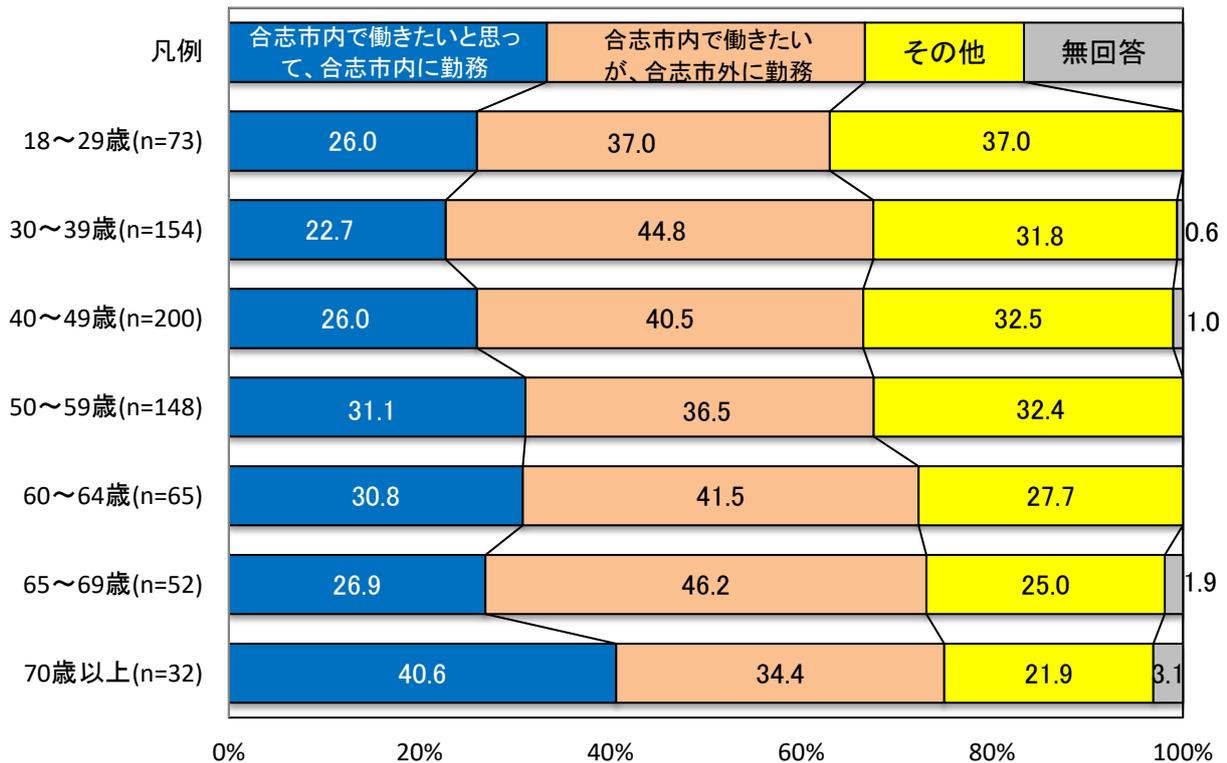
【性別】

- 合志市内で働きたいと思っている人の割合は、男性 64.6%に対し、女性は 70.5%で女性の方が高くなっている。
- また実際に合志市内で勤務している人の割合も男性 20.9%に対し、女性は 31.9%となっており、女性の方が高くなっている。



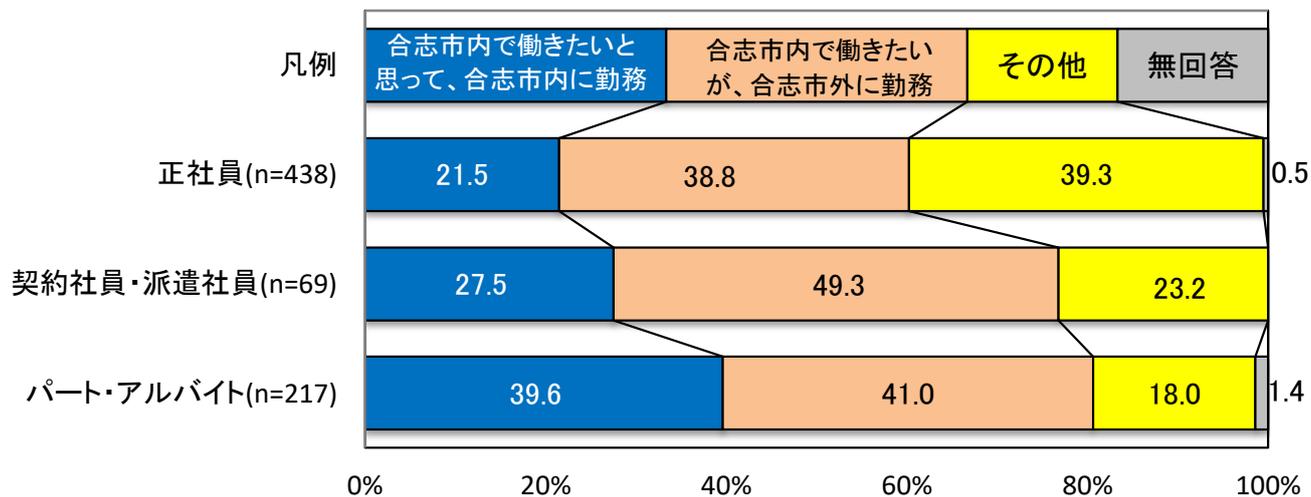
【年齢】

- 合志市内で働きたいと思っている人の割合は、70歳以上が75.0%と最も高く、これに65～69歳の73.1%が続いている。20代以下は63.0%、30代～50代は70%弱で、20代は、市内で働きたいと思っている人の割合が最も低くなっている。
- 20～60代で、実際に合志市内で勤務している人の割合はいずれも約2～3割となっている。70歳以上を除く年代ではいずれも合志市外で勤務している人が市内で勤務している人を上回っている。



【職業】

- 合志市内で働きたいと思っている割合は、正社員 60.3%、契約社員・派遣社員 76.8%、パート・アルバイト 80.6%となっており、非正規雇用で働いている人の方が合志市内で働きたいという意向を持つ人が多い。
- 実際に合志市内に勤務している割合は、パート・アルバイトの 39.6%が最も高く、契約社員・派遣社員 27.5%、正社員 21.5%となっている。



2. 地域活動等への参加について

(1) 地域活動への参加（問13）

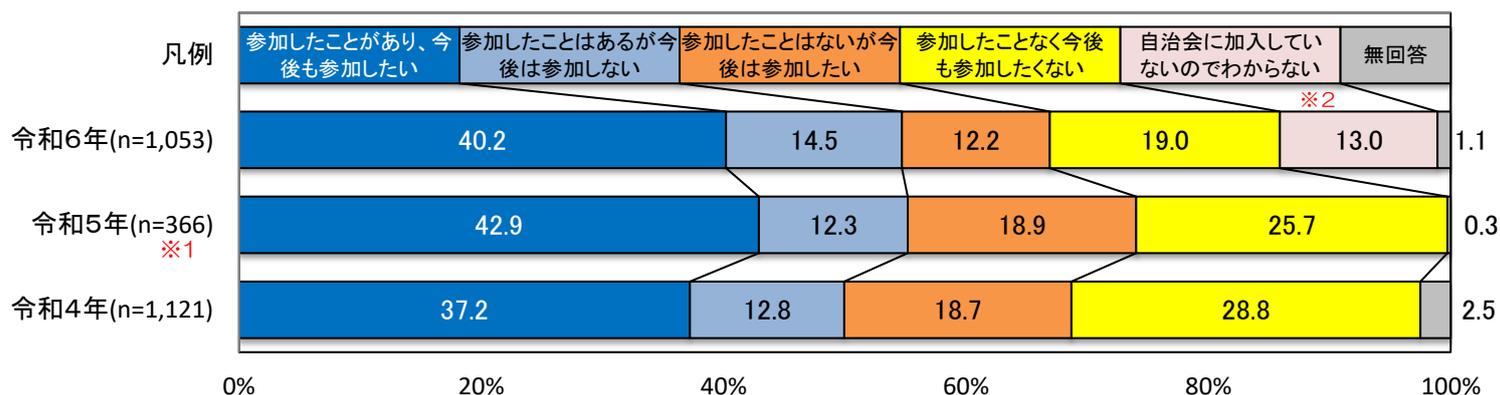
あなたは、過去1年間で地域の活動（自治会の活動）に参加しましたか。また、今後参加したいと思いませんか。

過去1年以内に、地域の活動（自治会の活動）に参加した人（「参加したことがあり、今後も参加したい」＋「参加したことはあるが、今後は参加しない」）の割合は54.7%と半数を超えている。一方、参加していない人（「参加したことはないが、今後は参加したい」＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」）は31.2%となっている。前年と比較すると、参加した人の割合はほぼ変わらない。

また、今後の参加意向がある人（「参加したことがあり、今後も参加したい」＋「参加したことはないが、今後は参加したい」）の割合は52.4%と参加意向がない人（「参加したことはあるが、今後は参加しない」＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」）の33.5%を大きく上回っている。

※1 令和5年度調査では、設問対象者が限定されていたため回答者数が他年度と比べ少数となっている。

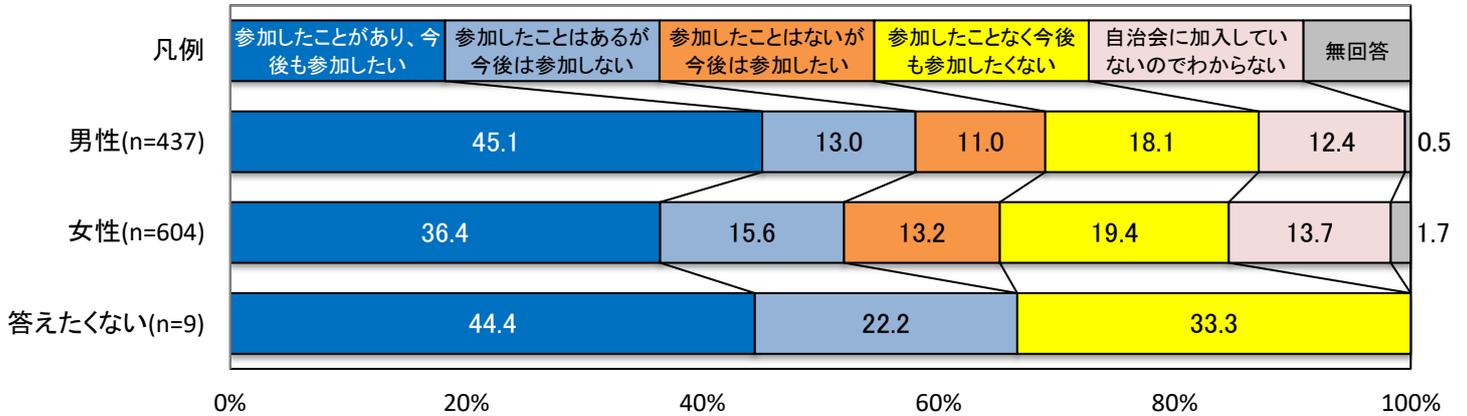
※2 選択肢【自治会に加入していないのでわからない】は、令和6年度調査より新設



	令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	人	%	人	%	人	%
1 参加したことがあり、今後も参加したい	423	40.2	157	42.9	417	37.2
2 参加したことはあるが、今後は参加しない	153	14.5	45	12.3	143	12.8
3 参加したことはないが、今後は参加したい	128	12.2	69	18.9	210	18.7
4 参加したこともなく、今後も参加したくない	200	19.0	94	25.7	323	28.8
5 自治会に加入していないのでわからない	137	13.0				
6 無回答	12	1.1	1	0.3	28	2.5
合計	1,053	100.0	366	100.0	1121	100.0

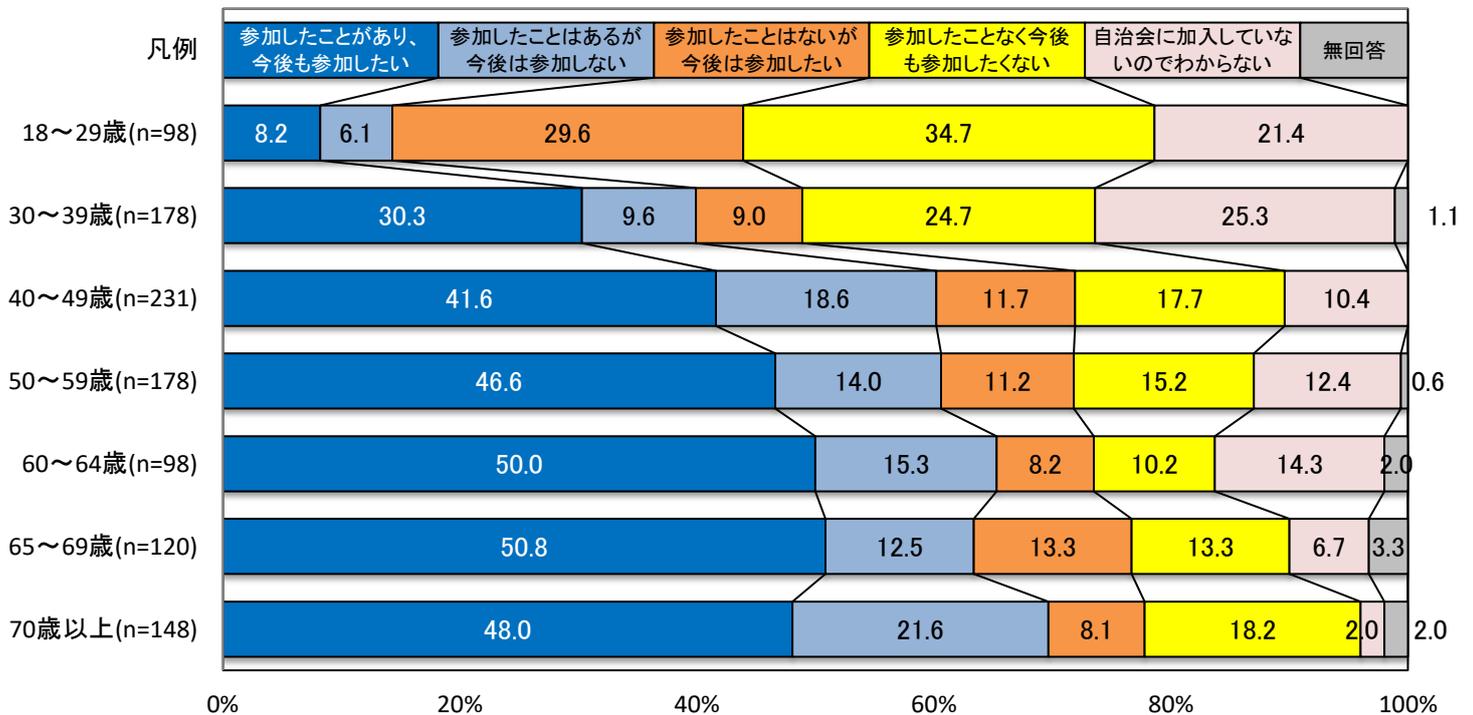
【性別】

- 参加した人の割合は、男性 58.1%、女性 52.0%と男性の方がやや高い。
- 今後の参加意向がある人の割合は男性 56.1%、女性 49.6%であり、こちらも男性のほうがやや高くなっている。



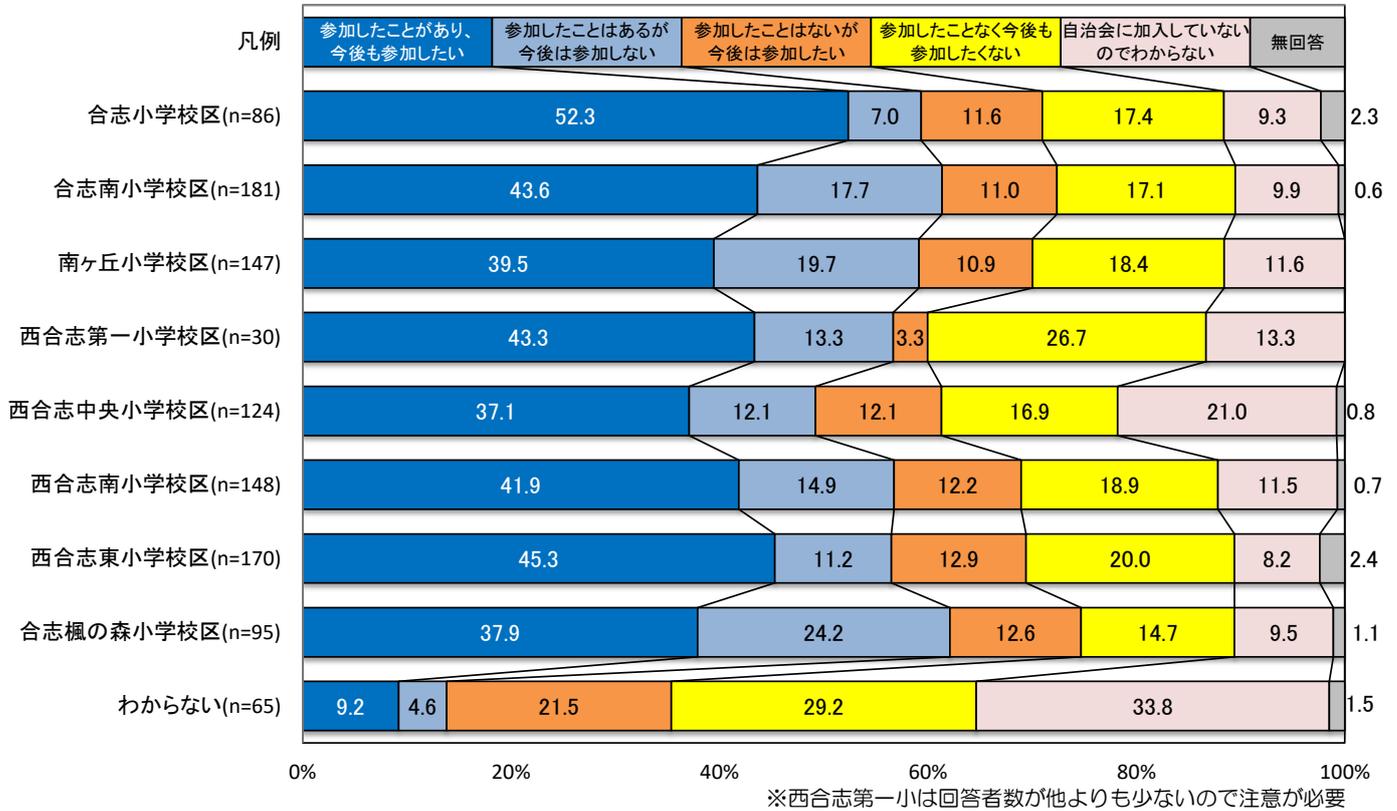
【年齢別】

- 参加した人の割合は、20代以下では 14.3%となっているが、40代以上のどの年代も、半数を超えている。
- 40代以上のどの年代も、半数以上の人参加意向を示している。



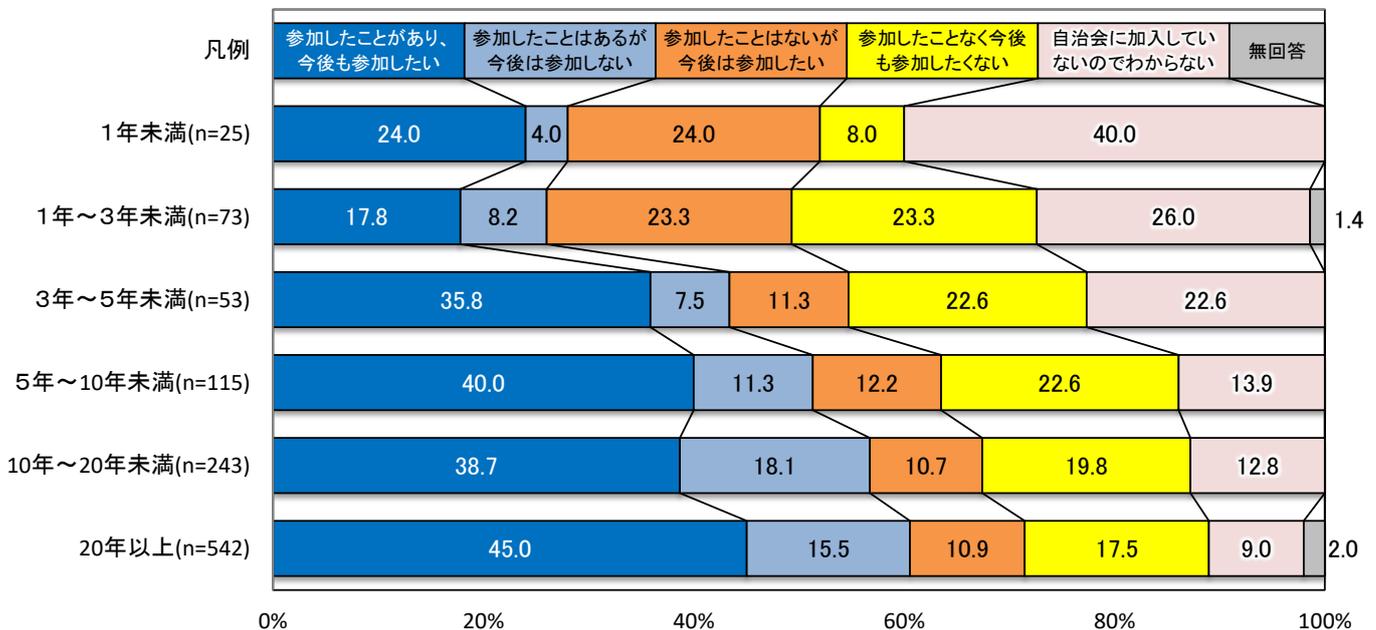
【校区別】

- 参加した人の割合は、合志楓の森小 62.1%、合志南小 61.3%が高く、西合志中央小を除いた他の校区も半数以上となっている。
- 今後の参加意向がある人の割合は、ほぼすべての校区で半数以上となっており、合志小は 63.9%で高くなっている。



【居住年数別】

- 参加経験者は、5年～10年未満、10年～20年未満、20年以上の人が半数以上となっている。
- 今後の参加意向についても、5年～10年未満、10年～20年未満、20年以上の人の半数以上が参加意向を示している。



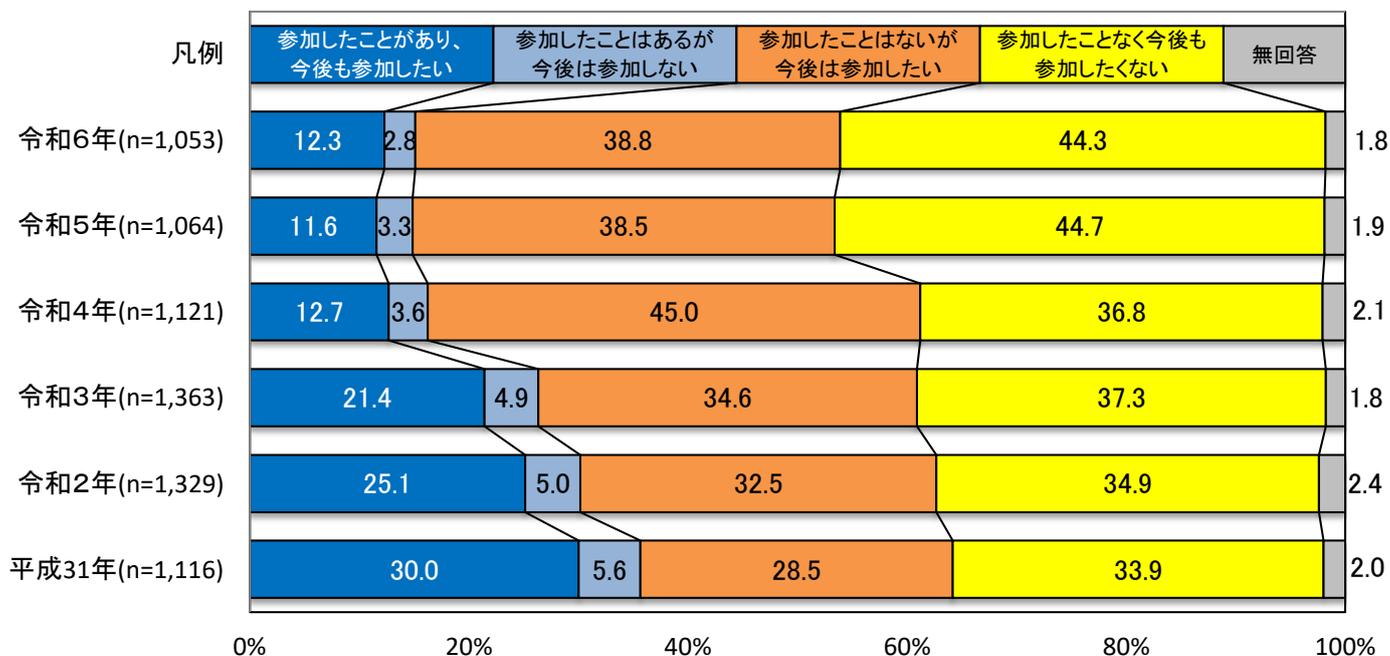
(2) 地域活動への参加（問14）

あなたは、過去1年間でボランティア活動、NPO活動などに参加しましたか。また、今後参加したいと思いますか。

過去1年以内に、ボランティア活動、NPO活動などに参加した人（「参加したことがあり、今後も参加したい」＋「参加したことはあるが、今後は参加しない」）の割合は15.1%となっており、参加していない人（参加したことはないが、今後は参加したい）＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」が83.1%と8割を超えている。

しかしながら、今後の参加意向がある人（「参加したことがあり、今後も参加したい」＋「参加したことはないが、今後は参加したい」）の割合は51.1%と参加意向がない人（「参加したことはあるが、今後は参加しない」＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」）の47.1%をやや上回っている。

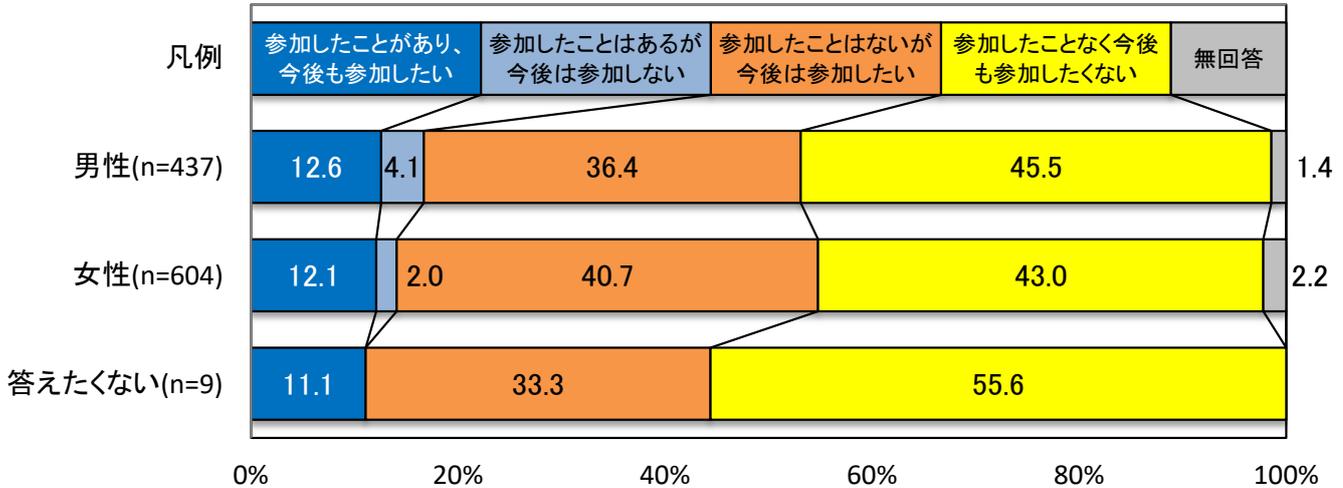
参加した人の割合は、平成31年以降から減少傾向が認められ、特に令和3年度以降の減少が顕著となっていたが、令和6年度調査では、わずかながら増加に転じている。このことに関しては、新型コロナウイルス感染症拡大による活動自粛の解除が影響していると考えられる。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 参加したことがあり、今後も参加したい	129	12.3	123	11.6	142	12.7	292	21.4	334	25.1	335	30.0
2 参加したことはあるが、今後は参加しない	30	2.8	35	3.3	40	3.6	67	4.9	67	5.0	63	5.6
3 参加したことはないが、今後は参加したい	409	38.8	410	38.5	504	45.0	471	34.6	432	32.5	318	28.5
4 参加したこともなく、今後も参加したくない	466	44.3	476	44.7	412	36.8	509	37.3	464	34.9	378	33.9
5 無回答	19	1.8	20	1.9	23	2.1	24	1.8	32	2.4	22	2.0
合計	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

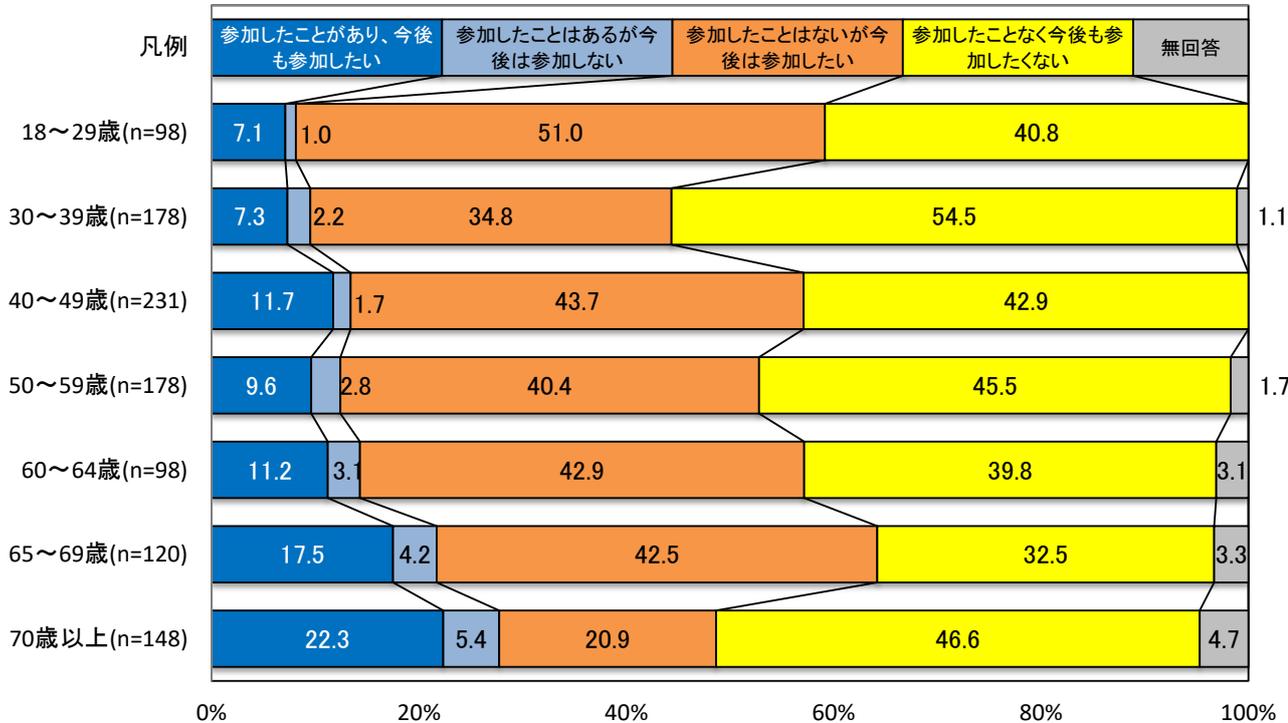
【性別】

- 参加した人の割合は、男性 16.7%、女性 14.1%と男性の割合がやや高い。
- 今後の参加意向は、男性 49.0%、女性 52.8%と女性の割合がやや高い。



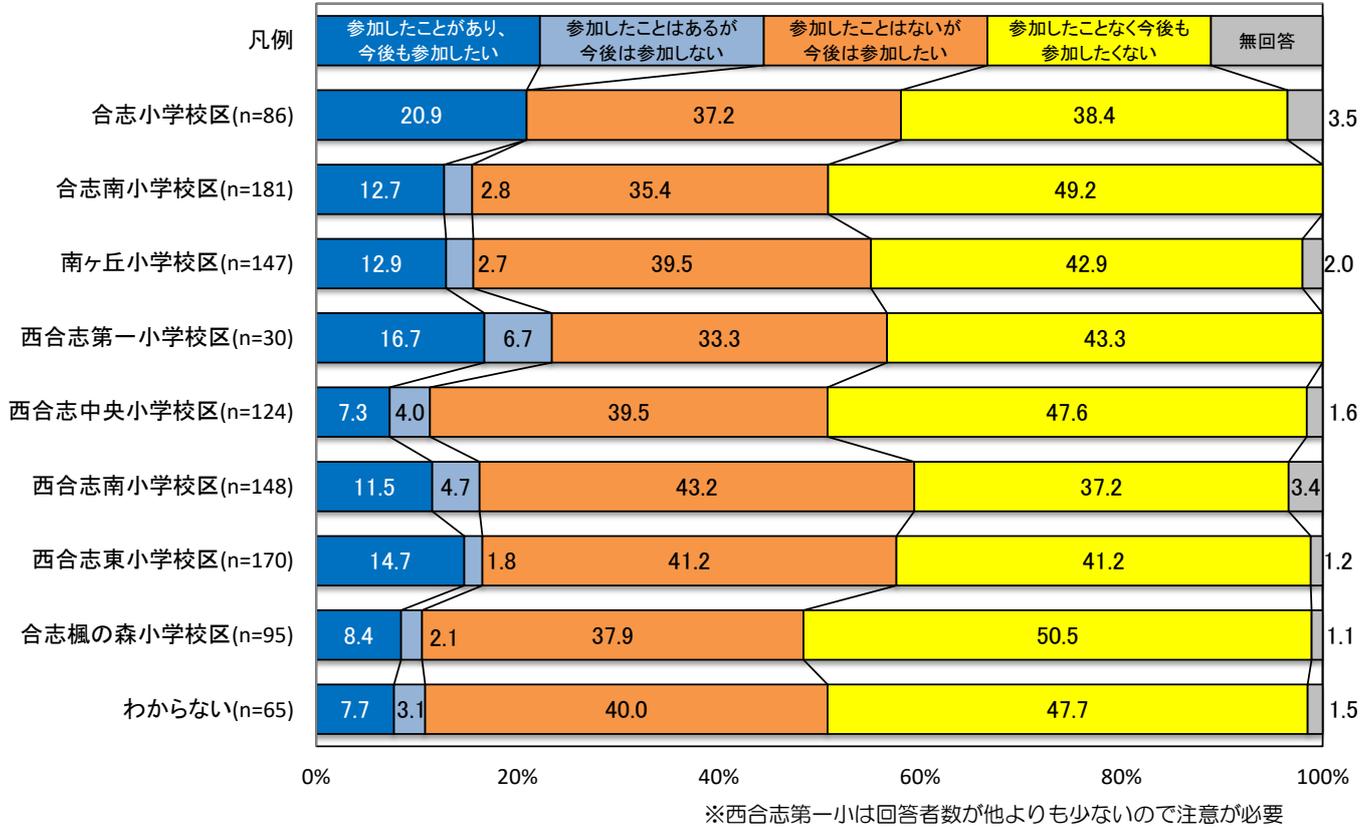
【年齢別】

- 参加した人の割合は、年代が上がるにつれて概ね増加傾向であることが認められ、70 歳以上では 27.7%となっている。
- 今後の参加意向がある人の割合は、30 代と 70 歳以上を除く全ての年代が半数以上を占め、65～69 歳では 60.0%と最も高くなっている。



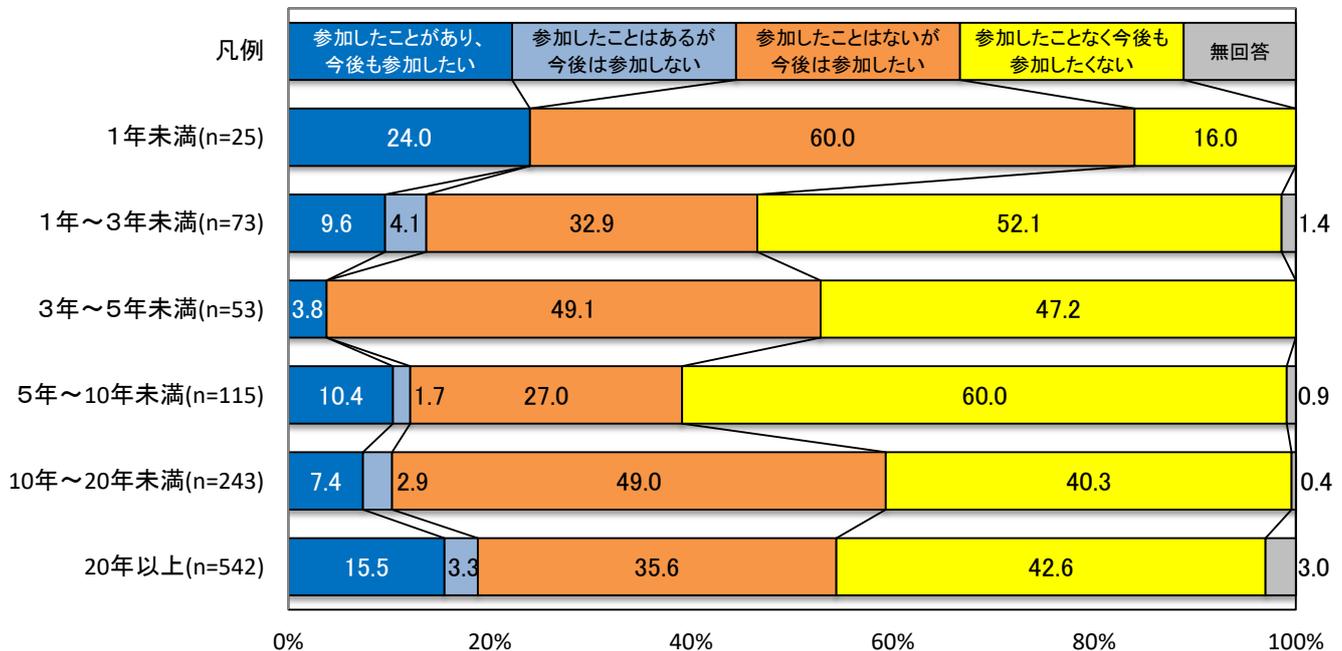
【校區別】

- 参加した人の割合は、西合志第一小が23.4%（ただし回答者数は30人）と最も高く、これに合志小の20.9%が続く。その他の校区は2割以下となっている。
- 今後の参加意向がある人の割合は、すべての校区で約半数となっている。



【居住年数別】

- 参加した人の割合は、1年未満が24.0%（ただし回答者数は25人）、20年以上が18.8%と高く、これら以外の居住年数では約1割前後となっている。
- 今後の参加意向については、1年～3年未満、5年～10年未満以外の居住年数では、参加意向を示している人の割合が半数以上となっている。



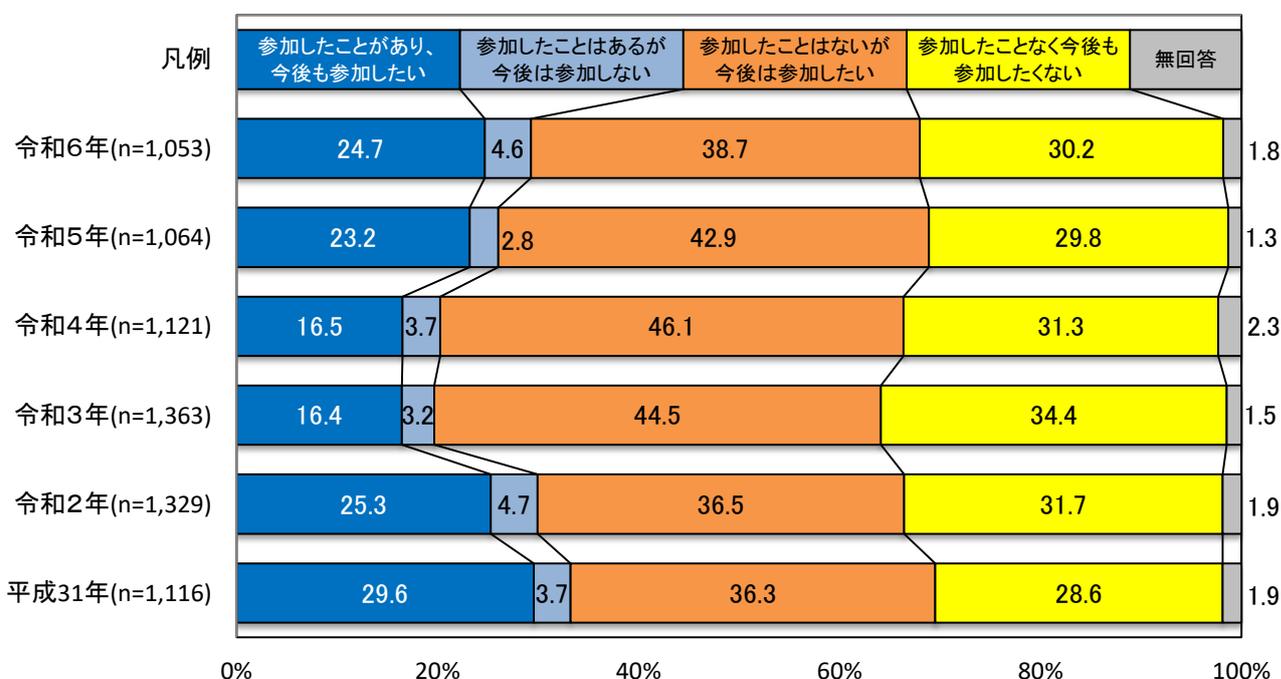
(3) 市のイベント等への参加（問15）

あなたは、過去1年間で市が行う説明会や行事、イベントなどに参加しましたか。また、今後参加したいと思いますか。

過去1年以内に、市が行う説明会や行事、イベントなどに参加した人（「参加したことがあります、今後も参加したい」＋「参加したことはあるが、今後は参加しない」）は29.3%となっており、参加したことがない人（「参加したことはないが、今後は参加したい」＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」）が68.9%を占めている。

しかしながら、今後参加したいと考えている人（「参加したことがあります、今後も参加したい」＋「参加したことはないが、今後は参加したい」）は63.4%と、参加意向がない人（「参加したことはあるが、今後は参加しない」＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」）の34.8%を大きく上回っている。

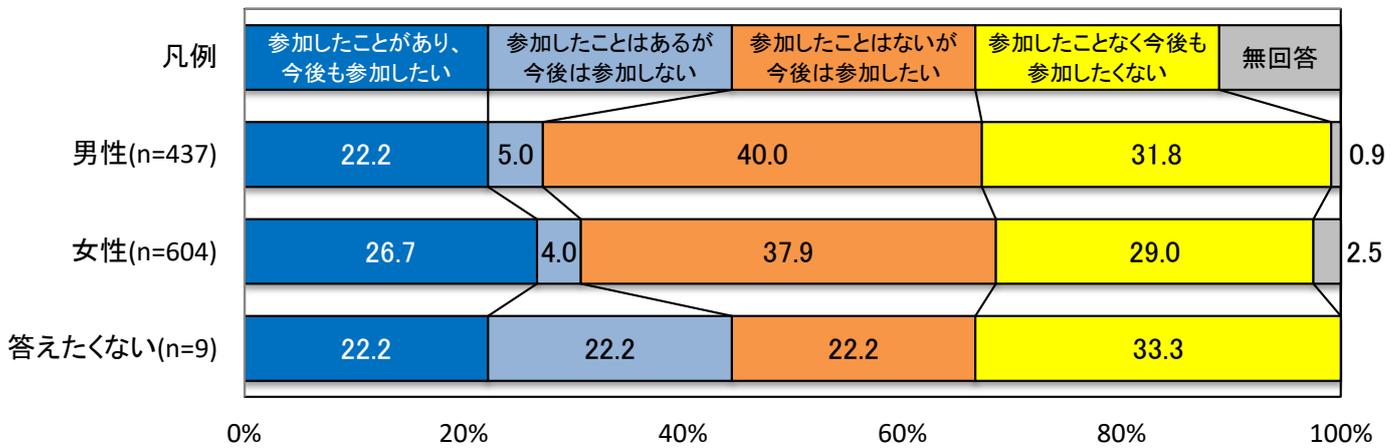
令和3年度以降、参加した人の割合が減少していることに関しては、新型コロナウイルス感染防止のための活動自粛が影響していると考えられる。ただし、令和5年度以降は増加傾向にある。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 参加したことがあります、今後も参加したい	260	24.7	247	23.2	185	16.5	224	16.4	336	25.3	330	29.6
2 参加したことはあるが、今後は参加しない	48	4.6	30	2.8	42	3.7	44	3.2	62	4.7	41	3.7
3 参加したことはないが、今後は参加したい	408	38.7	456	42.9	517	46.1	606	44.5	485	36.5	405	36.3
4 参加したこともなく、今後も参加したくない	318	30.2	317	29.8	351	31.3	469	34.4	421	31.7	319	28.6
5 無回答	19	1.8	14	1.3	26	2.3	20	1.5	25	1.9	21	1.9
合計	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

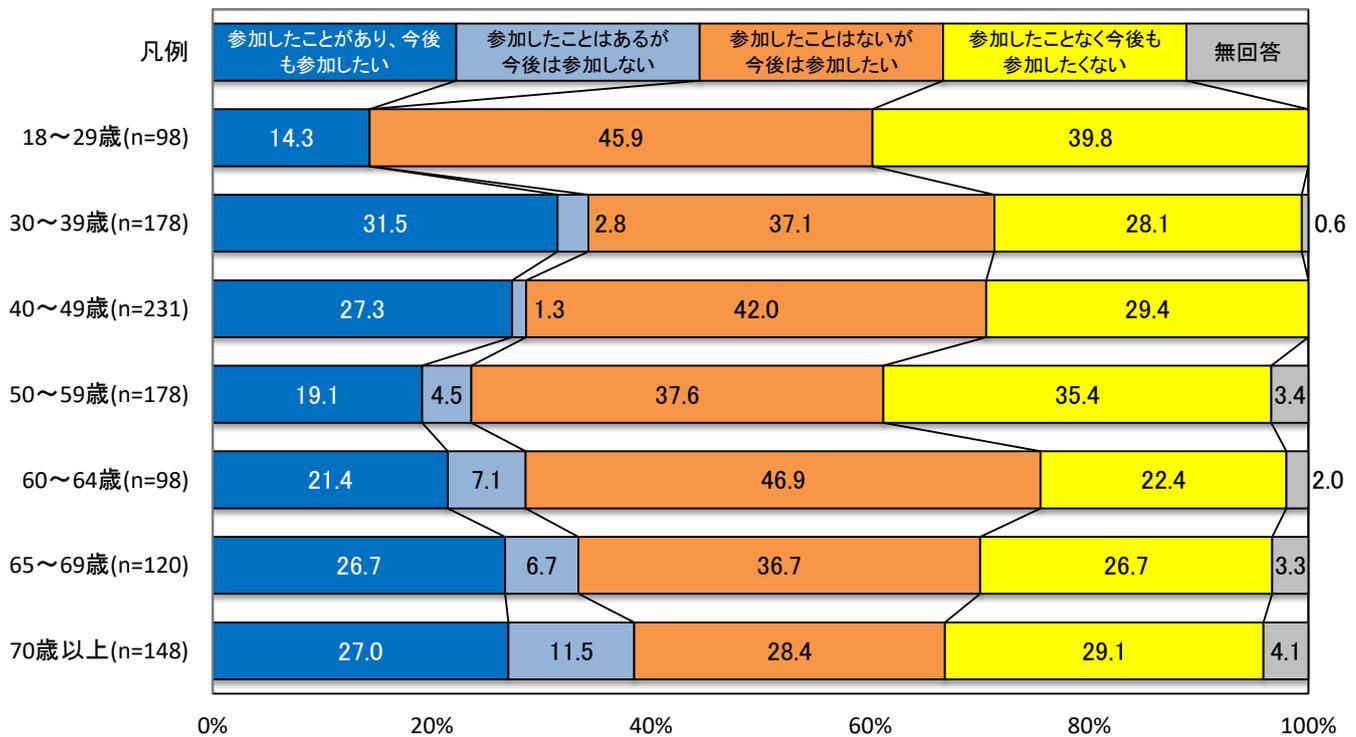
【性別】

- 参加した人の割合は、男性 27.2%、女性 30.7%と女性の割合がやや高い。
- 今後の参加意向は、男性 62.2%、女性 64.6%とこちらも女性の割合がやや高い。



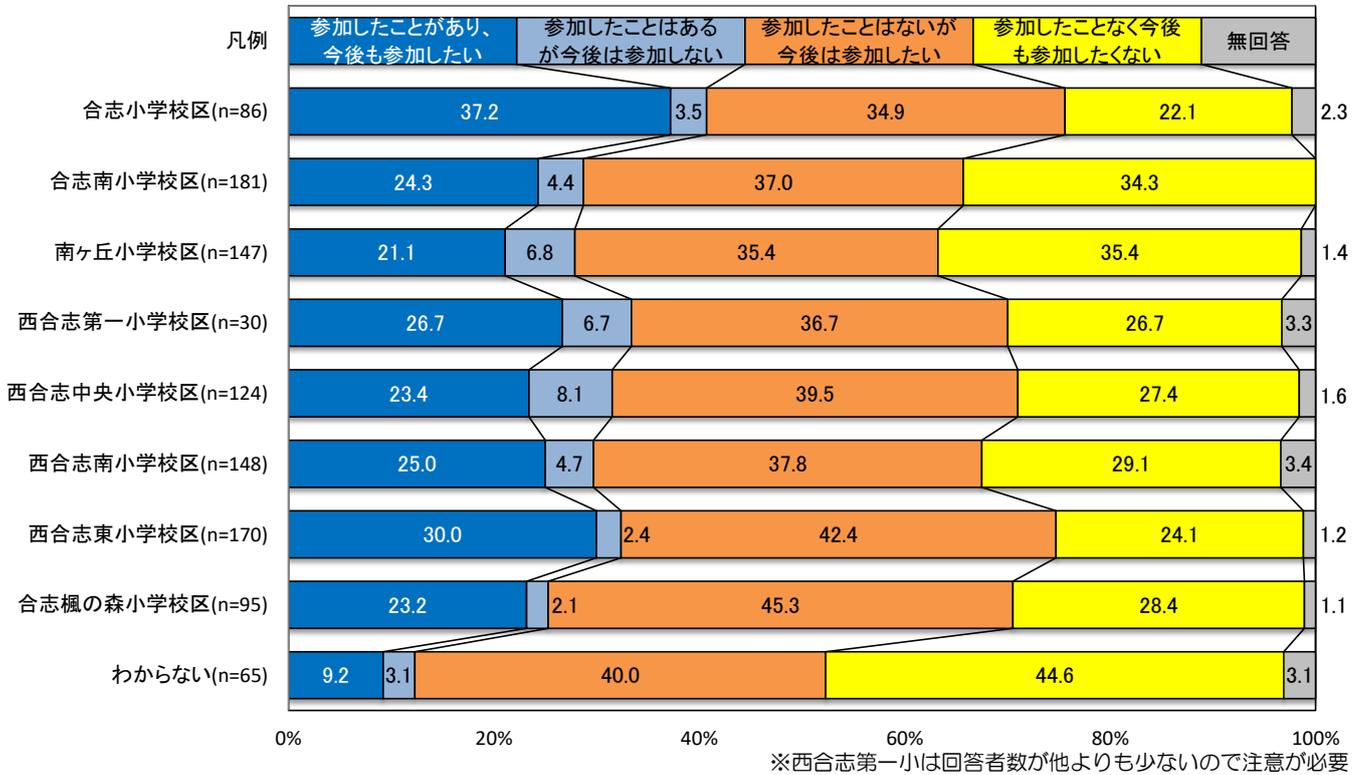
【年齢別】

- 参加した人の割合は 20 代以下では約 1 割と低く、30 代、65 歳以上では約 3 割台となっている。
- 今後の参加意向がある人の割合は、どの年代でも半数以上となっている。



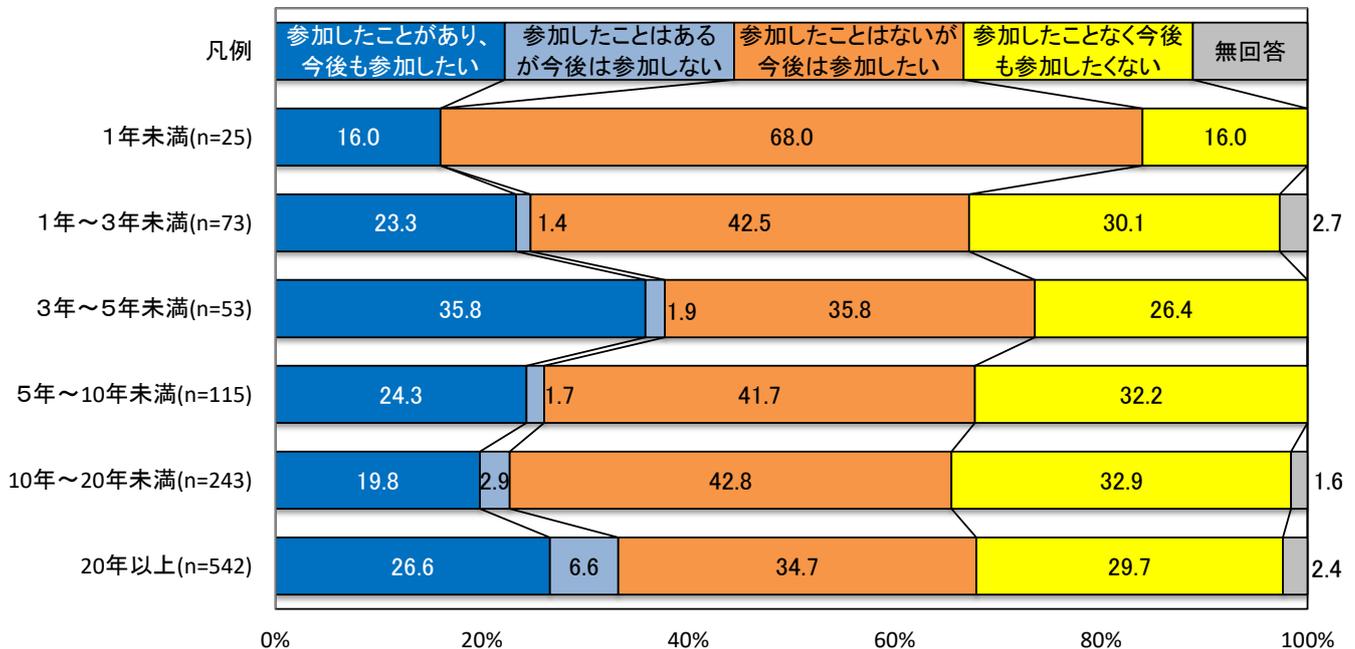
【校区別】

- 参加した人の割合は、合志小が40.7%と最も高く、これに西合志第一小の33.4%（ただし回答者数は30人）、西合志東小の32.4%が続く。
- 今後の参加意向がある人の割合は、ほぼ全ての校区で半数以上となっており、特に合志小と西合志東小では7割以上となっている。



【居住年数別】

- 参加した人の割合は、居住年数3年～5年未満の37.7%が最も高く、これに20年以上の33.2%が続いている。
- 今後の参加意向がある人の割合は、居住年数に関係なく60%を超えている。



3. 子育てについて

(1) こどもの数（問10）

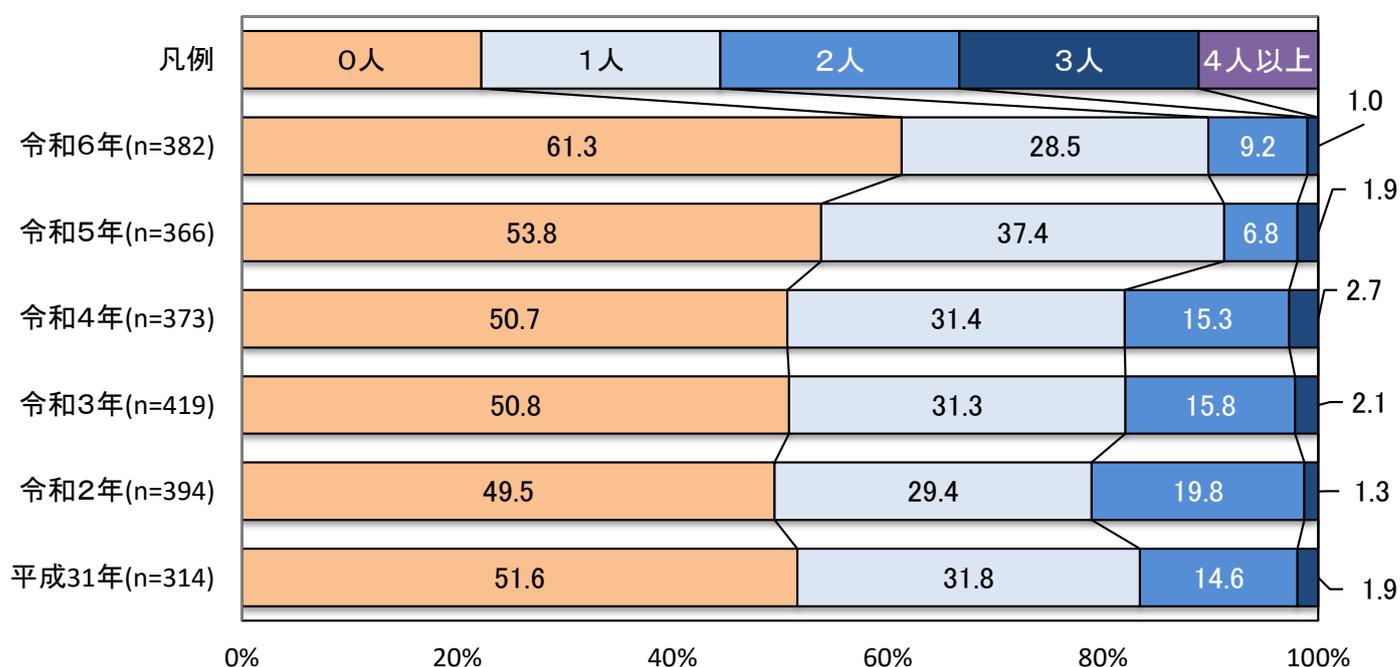
中学生以下のお子様は何人いますか？

<就学前のこども>

中学生以下のこどもがいる 382 人を対象に、就学前のこどもの数をみると、「0 人」が 61.3%で半数以上を占める。以下、割合の高い方から「1 人」28.5%、「2 人」9.2%、「3 人」1.0%となっている。

前年度と比較すると、「1 人」の割合が 8.9 ポイント減少し、「2 人」の割合が 2.4 ポイント増加している。

<就学前のこども>



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 0人	234	61.3	197	53.8	189	50.7	213	50.8	195	49.5	162	51.6
2 1人	109	28.5	137	37.4	117	31.4	131	31.3	116	29.4	100	31.8
3 2人	35	9.2	25	6.8	57	15.3	66	15.8	78	19.8	46	14.6
4 3人	4	1.0	7	1.9	10	2.7	9	2.1	5	1.3	6	1.9
5 4人以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6 無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	382	100.0	366	100.0	373	100.0	419	100.0	394	100.0	314	100.0

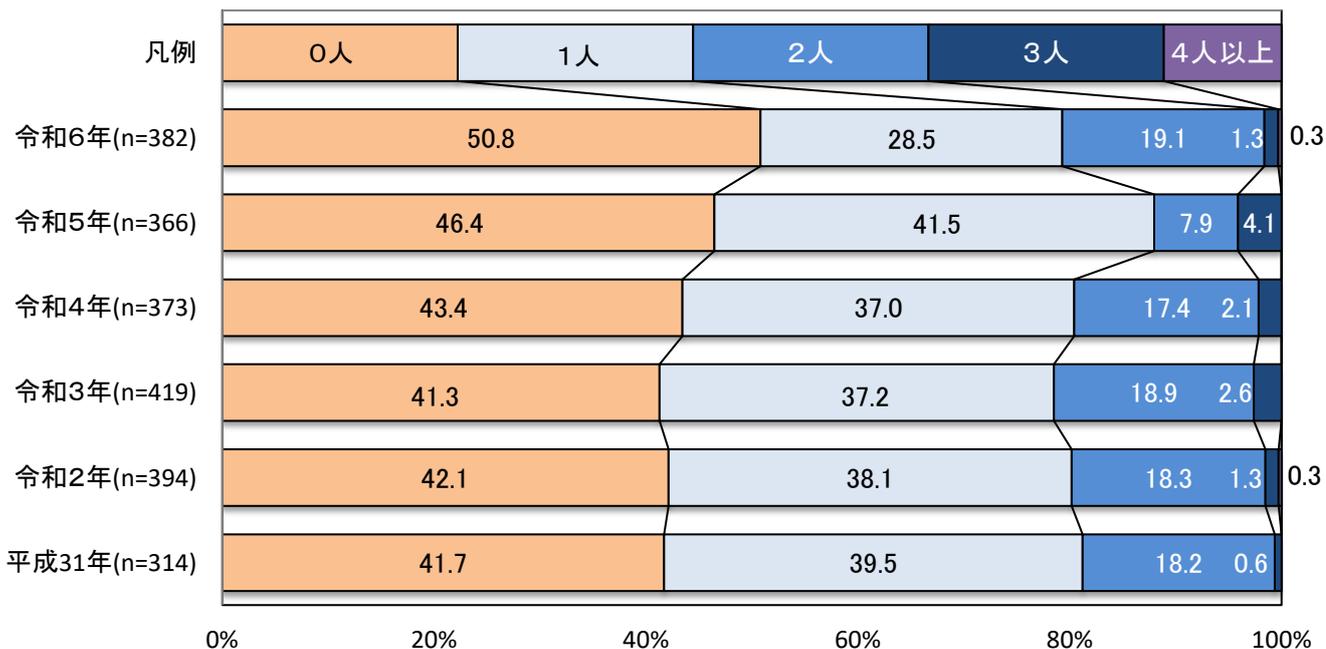
中学生以下のお子様は何人いますか？

<小学生のこども>

中学生以下のこどもがいる 382 人を対象に、小学生のこどもの数をみると、「0 人」が 50.8%で最も高い。以下、割合の高い方から「1 人」28.5%、「2 人」19.1%、「3 人」1.3%となっている。

前年度と比較すると、「1 人」の割合が 13.0 ポイント減少し、「2 人」の割合が 11.2 ポイント増加している。

<小学生のこども>



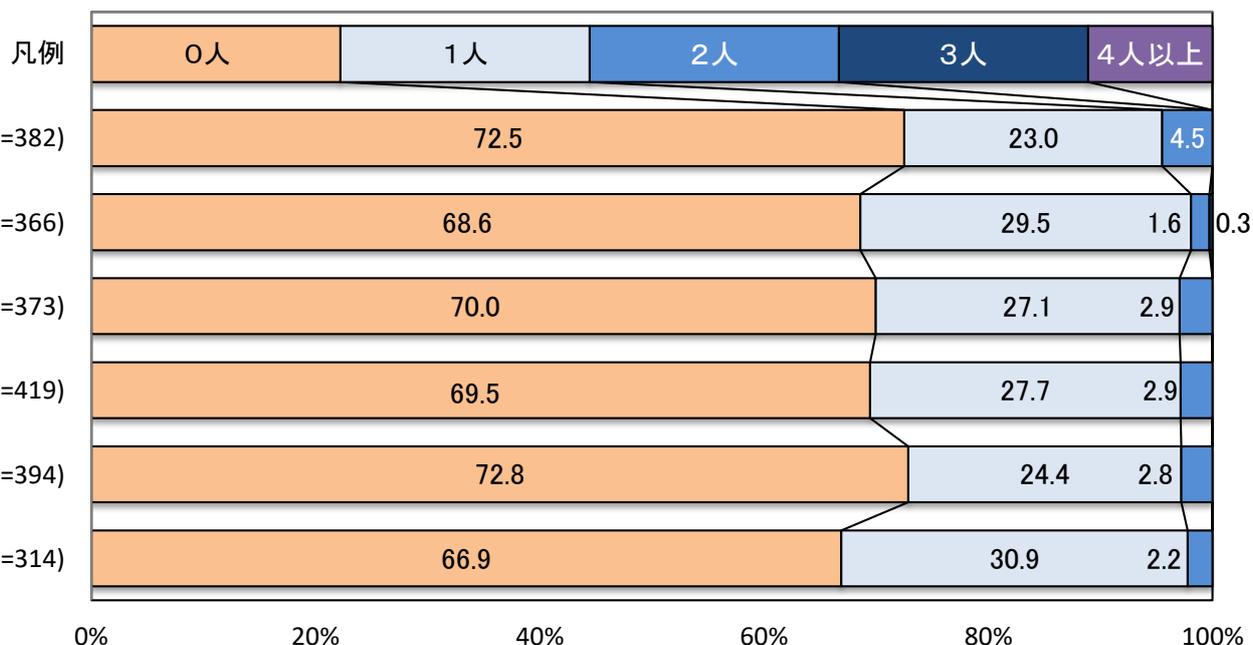
	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 0人	194	50.8	170	46.4	162	43.4	173	41.3	166	42.1	131	41.7
2 1人	109	28.5	152	41.5	138	37.0	156	37.2	150	38.1	124	39.5
3 2人	73	19.1	29	7.9	65	17.4	79	18.9	72	18.3	57	18.2
4 3人	5	1.3	15	4.1	8	2.1	11	2.6	5	1.3	2	0.6
5 4人以上	1	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.3	0	0.0
6 無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	382	100.0	366	100.0	373	100.0	419	100.0	394	100.0	314	100.0

中学生以下のお子様は何人いますか？

＜中学生のこども＞

中学生以下のこどもがいる 382 人を対象に、中学生のこどもの数をみると、「0 人」が 72.5%で最も高い。以下、割合の高い方から「1 人」23.0%、「2 人」4.5%となっている。前年度と比較して、大きな差は認められない。

＜中学生のこども＞

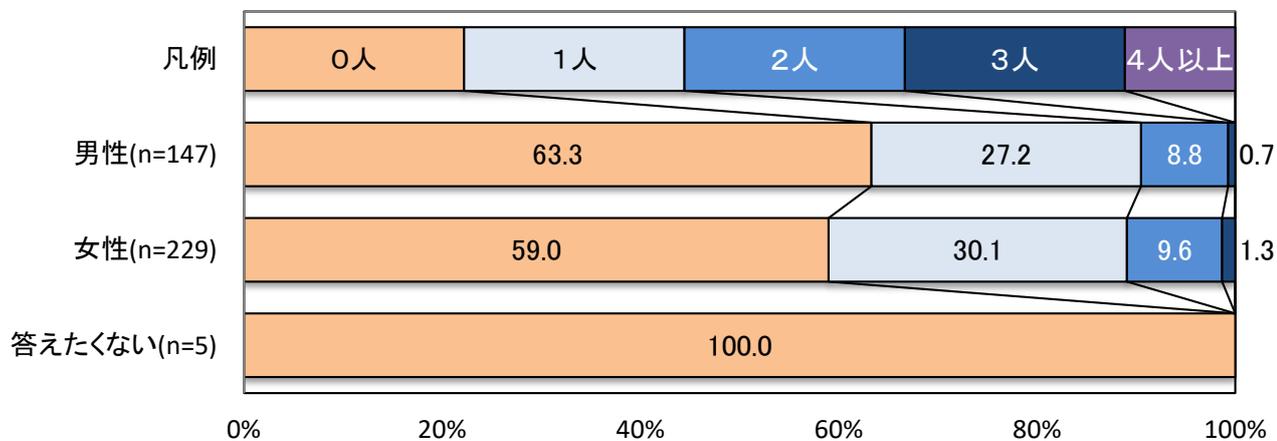


	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 0人	277	72.5	251	68.6	261	70.0	291	69.5	287	72.8	210	66.9
2 1人	88	23.0	108	29.5	101	27.1	116	27.7	96	24.4	97	30.9
3 2人	17	4.5	6	1.6	11	2.9	12	2.9	11	2.8	7	2.2
4 3人	0	0.0	1	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5 4人以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6 無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	382	100.0	366	100.0	373	100.0	419	100.0	394	100.0	314	100.0

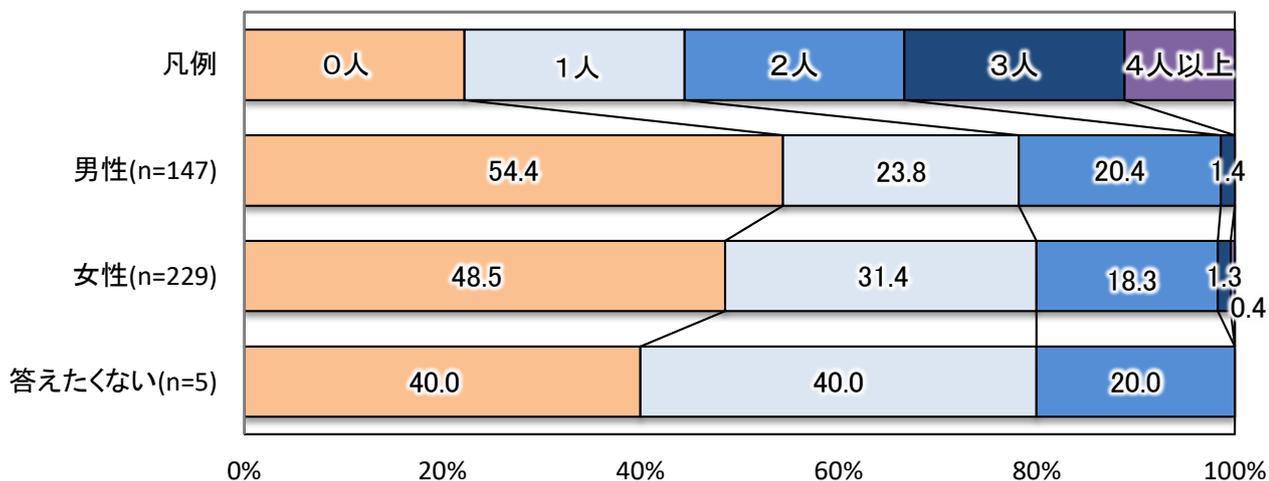
【性別】

●就学前、小学生、中学生のこどもがいる人の割合は、性別による大きな差は認められない。

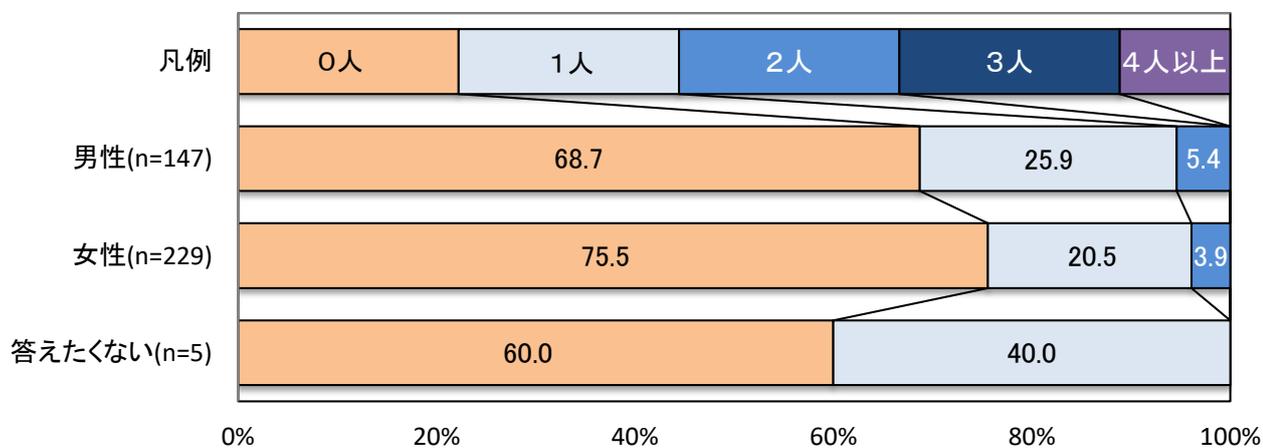
<就学前のこども>



<小学生のこども>



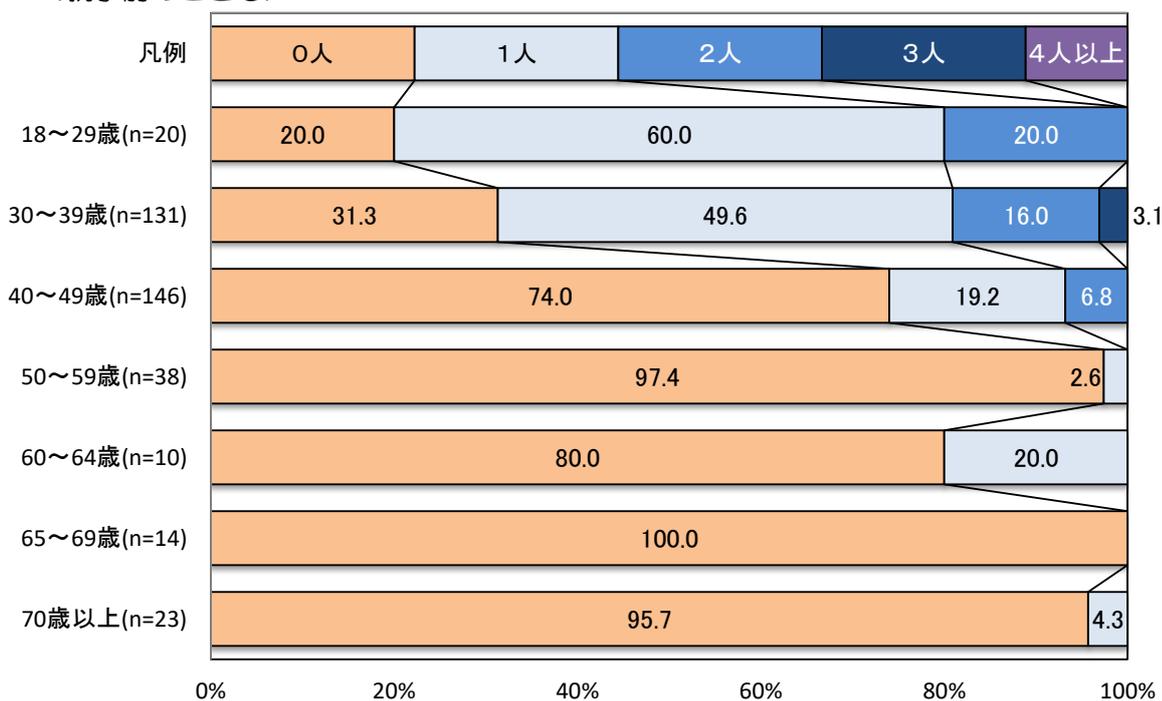
<中学生のこども>



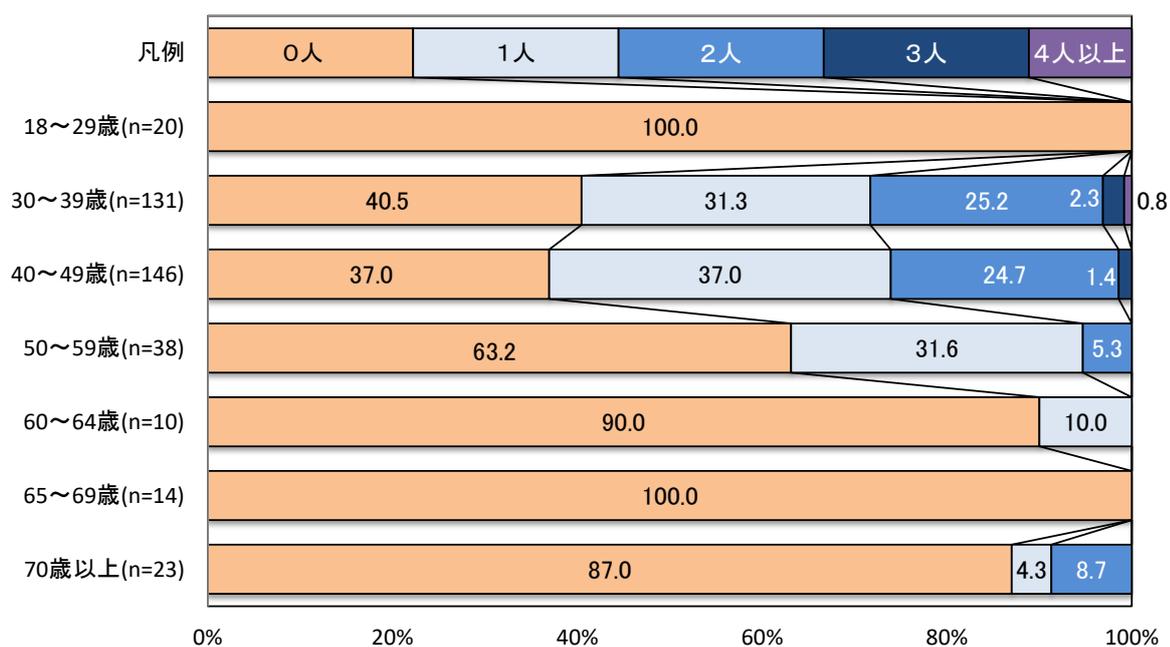
【年齢別】

- 就学前のこどもがいる人の割合は 20 代以下と 30 代で多く、20 代以下 80.0%、30 代 68.7%となっている。
- 小学生のこどもがいる人の割合は 40 代が 63.0%と最も高く、30 代 59.5%、50 代 36.8%と続く。
- 中学生のこどもがいる人の割合は 50 代が 52.6%と最も高く、40 代も 47.9%と高くなっている。

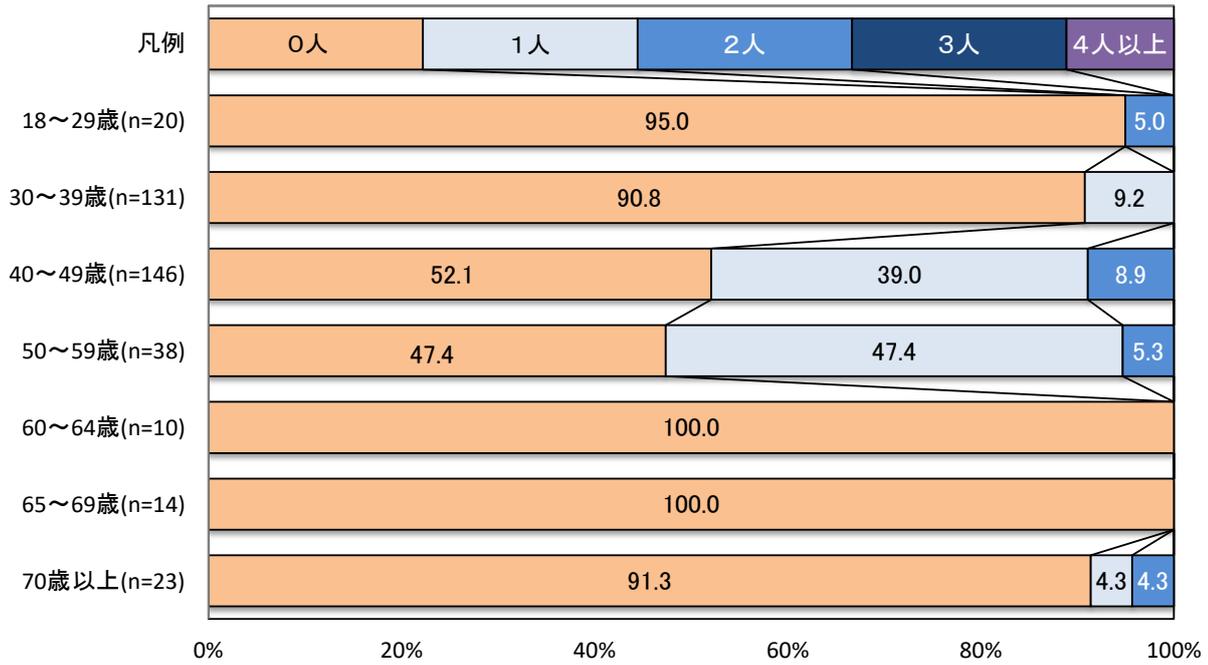
<就学前のこども>



<小学生のこども>



<中学生のこども>



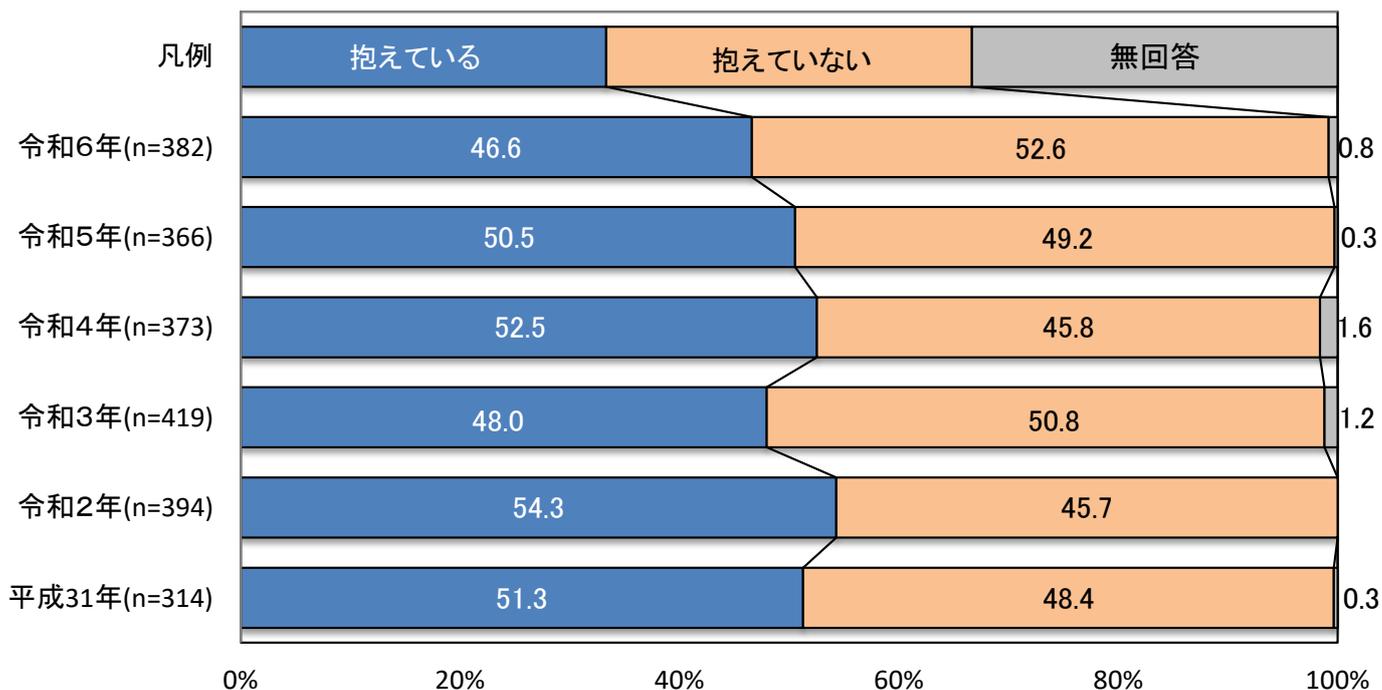
(2) 子育ての悩み (問 1 1)

①悩みの有無

あなたは、子育てに関する悩みを抱えていますか。

中学生以下のこどもがいる人で、子育ての悩みを「抱えている」人の割合は 46.6%、「抱えていない」人の割合は 52.6%となっている。

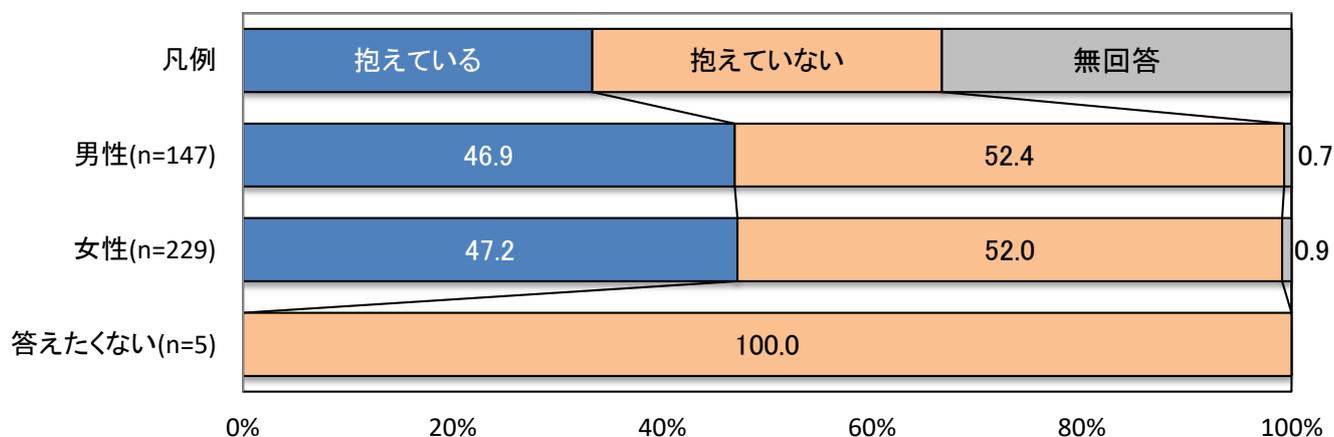
前年度と比較すると、悩みを「抱えていない」人の割合は 3.4 ポイントとやや増加している。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 抱えている	178	46.6	185	50.5	196	52.5	201	48.0	214	54.3	161	51.3
2 抱えていない	201	52.6	180	49.2	171	45.8	213	50.8	180	45.7	152	48.4
3 無回答	3	0.8	1	0.3	6	1.6	5	1.2	0	0.0	1	0.3
合計	382	100.0	366	100.0	373	100.0	419	100.0	394	100.0	314	100.0

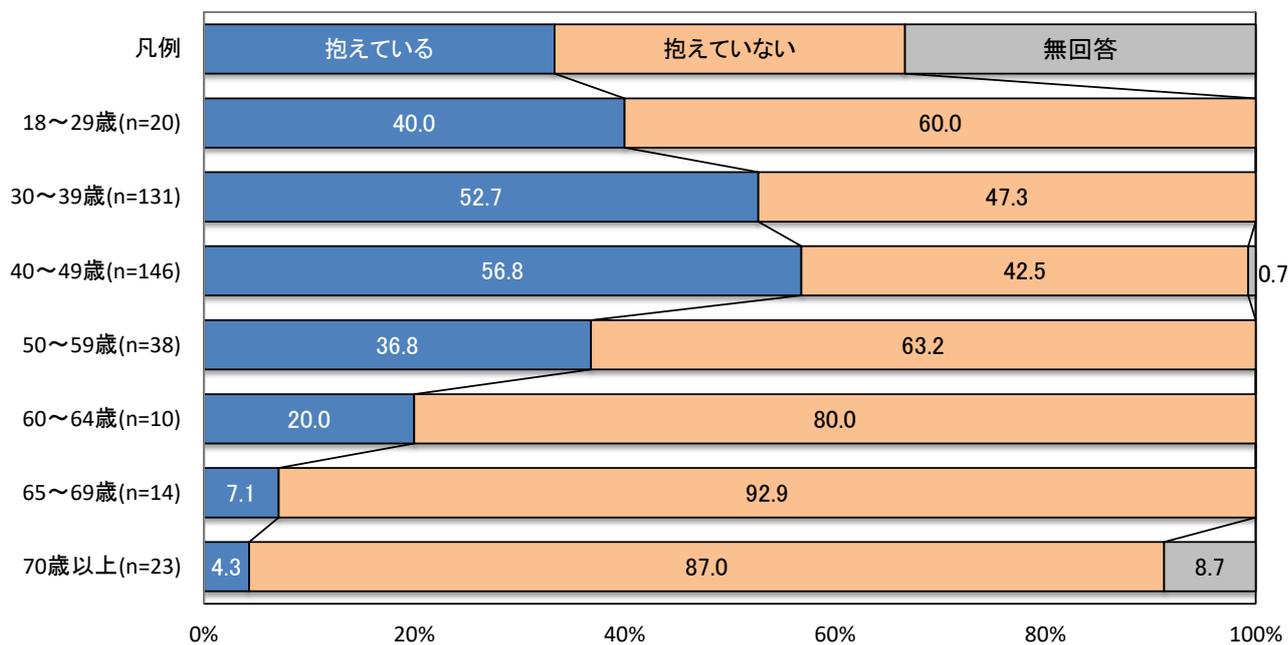
【性別】

●悩みを抱えている人の割合は、男性 46.9%、女性 47.2%と差はほとんど見られない。



【年齢別】

●中学生以下の子どもがいる割合の高い20代~40代では、50代以上と比較して悩みを抱えている人の割合が高くなっている。



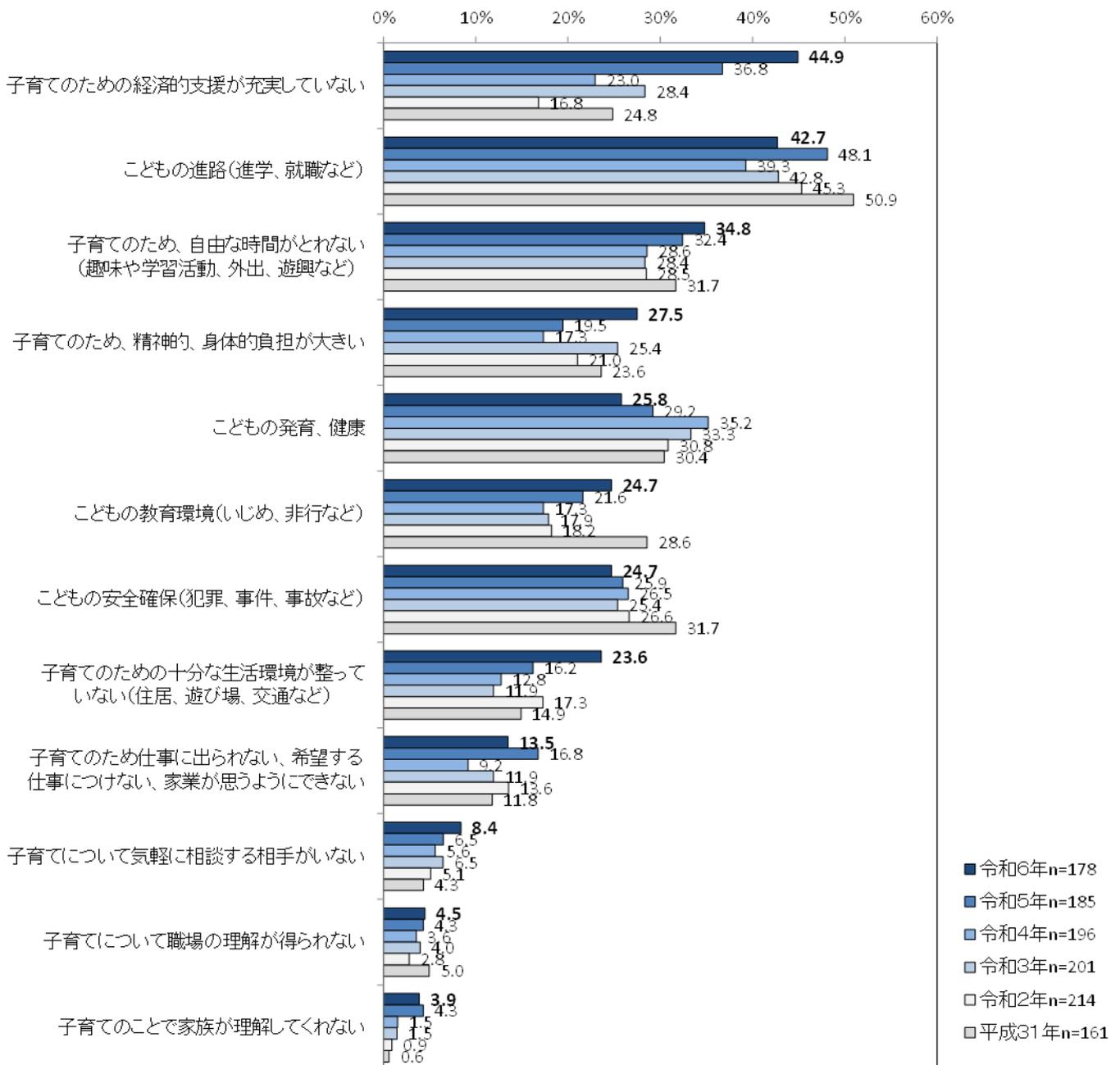
②具体的な悩み(問12)

問11で「1.抱えている」と答えた方にお尋ねします。

あなたが子育ての上で特に不安に思っていること、悩んでいることは何ですか。(複数回答可)

子育ての悩みを抱えている 178 人の具体的な悩みとしては、「子育てのための経済的支援が充実していない」が 44.9%と最も高く、次いで「こどもの進路」42.7%、「子育てのため、自由な時間がとれない」34.8%となっている。

昨年度と比較して大きく増加しているのは、「子育てのための経済的支援が充実していない」(8.1 ポイント増)、「子育てのため、精神的、身体的負担が大きい」(8.0 ポイント増)、「子育てのための十分な生活環境が整っていない」(7.4 ポイント増)となっている。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	n=178		n=185		n=196		n=201		n=214		n=161	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 子育てのための経済的支援が充実していない	80	44.9	68	36.8	45	23.0	57	28.4	36	16.8	40	24.8
2 子育てのため、精神的、身体的負担が大きい	49	27.5	36	19.5	34	17.3	51	25.4	45	21.0	38	23.6
3 子育てのため、自由な時間がとれない(趣味や学習活動、外出、遊興など)	62	34.8	60	32.4	56	28.6	57	28.4	61	28.5	51	31.7
4 子育てのため仕事に出られない、希望する仕事につけない、家業が思うようにできない	24	13.5	31	16.8	18	9.2	24	11.9	29	13.6	19	11.8
5 子育てのことで家族が理解してくれない	7	3.9	8	4.3	3	1.5	3	1.5	2	0.9	1	0.6
6 子育てのための十分な生活環境が整っていない(住居、遊び場、交通など)	42	23.6	30	16.2	25	12.8	24	11.9	37	17.3	24	14.9
7 子育てについて職場の理解が得られない	8	4.5	8	4.3	7	3.6	8	4.0	6	2.8	8	5.0
8 子育てについて気軽に相談する相手がいない	15	8.4	12	6.5	11	5.6	13	6.5	11	5.1	7	4.3
9 こどもの進路(進学、就職など)	76	42.7	89	48.1	77	39.3	86	42.8	97	45.3	82	50.9
10 こどもの発育、健康	46	25.8	54	29.2	69	35.2	67	33.3	66	30.8	49	30.4
11 こどもの安全確保(犯罪、事件、事故など)	44	24.7	48	25.9	52	26.5	51	25.4	57	26.6	51	31.7
12 こどもの教育環境(いじめ、非行など)	44	24.7	40	21.6	34	17.3	36	17.9	39	18.2	46	28.6

【性別】

- 男女ともに「こどもの進路」「子育てのための経済的支援が充実していない」が上位にあげられているが、このうち「こどものための経済的支援が充実していない」の割合は男性が女性よりも14.7ポイント高くなっている。
- 女性の場合は、「子育てのため、自由な時間がとれない」「子育てのため仕事に出られない、希望する仕事につけない」をあげる割合が男性よりも高くなっている。
- 男性では「子育てのための経済的支援が充実していない」、女性では「こどもの進路」をあげる人が最も多くなっている。

【年齢別】

- 年齢が低いほど、「経済的支援が充実していない」をあげる人の割合が高くなっている。
- 30代以下では「経済的支援が充実していない」、40代、50代では「こどもの進路」をあげる人が最も多くなっている。

	合計	子育てのための経済的支援が充実していない	子育てのため、精神的、身体的負担が大きい	子育てのため、自由な時間がとれない (趣味や学習活動、外出、遊興など)	子育てのため、仕事に出られない、希望する仕事につけない、家事が思うようにできない	子育てのことで家族が理解してくれない	子育てのための十分な生活環境が整っていない (住居、遊び場、交通など)	子育てについて職場の理解が得られない	子育てについて気軽に相談する相手がいない	こどもの進路 (進学、就職など)	こどもの発育、健康	こどもの安全確保 (犯罪、事件、事故など)	こどもの教育環境 (いじめ、非行など)
全体	178	44.9%	27.5%	34.8%	13.5%	3.9%	23.6%	4.5%	8.4%	42.7%	25.8%	24.7%	24.7%
■性別													
男性	69	53.6%	27.5%	33.3%	7.2%	1.4%	23.2%	5.8%	4.3%	46.4%	27.5%	26.1%	31.9%
女性	108	38.9%	27.8%	36.1%	17.6%	5.6%	24.1%	3.7%	11.1%	39.8%	25.0%	24.1%	20.4%
答えたくない	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
■年代別													
18～29歳	8	62.5%	12.5%	12.5%	25.0%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%	25.0%	12.5%	25.0%	50.0%
30～39歳	69	56.5%	31.9%	50.7%	15.9%	4.3%	26.1%	8.7%	13.0%	26.1%	24.6%	29.0%	15.9%
40～49歳	83	39.8%	28.9%	30.1%	12.0%	4.8%	24.1%	1.2%	4.8%	53.0%	25.3%	22.9%	26.5%
50～59歳	14	21.4%	7.1%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	78.6%	42.9%	21.4%	50.0%
60～64歳	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
65～69歳	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
70歳以上	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【こどもの年齢別】

- 就学前のこどもがいる人では、「子育てのための経済的支援が充実していない」が5割を超えて最も高くなっており、「子育てのため、自由な時間が取れない」「子育てのため、精神的、身体的に負担が大きい」が続いている。
- 小学生のこどもがいる人では、「子育てのための経済的支援が充実していない」が46.4%で最も高く、「こどもの進路」「子育てのため、自由な時間が取れない」も4割を超え多くなっている。
- 中学生のこどもがいる人では、「こどもの進路」が6割を超えている。
- 就学前、小学生、中学生に関わらず、「子育てのための経済的支援が充実していない」が上位に位置している。

就学前(n=44)		小学生(n=69)		中学生(n=60)	
子育てのための経済的支援が充実していない	52.3	子育てのための経済的支援が充実していない	46.4	こどもの進路(進学、就職など)	61.7
子育てのため、自由な時間がとれない	43.2	こどもの進路(進学、就職など)	44.9	子育てのための経済的支援が充実していない	41.7
子育てのため、精神的、身体的に負担が大きい	29.5	子育てのため、自由な時間がとれない	42.0	こどもの発育、健康	26.7
こどもの安全確保(犯罪、事件、事故など)	22.7	こどもの安全確保(犯罪、事件、事故など)	30.4	こどもの教育環境(いじめ、非行など)	25.0
こどもの発育、健康	20.5	子育てのため、精神的、身体的に負担が大きい	29.0	子育てのため、自由な時間がとれない	23.3
こどもの教育環境(いじめ、非行など)	20.5	子育てのための十分な生活環境が整っていない	27.5	子育てのための十分な生活環境が整っていない	23.3
子育てのための十分な生活環境が整っていない	18.2	こどもの発育、健康	27.5	子育てのため、精神的、身体的に負担が大きい	21.7
子育てのために仕事につけない・思うようにできない	15.9	こどもの教育環境(いじめ、非行など)	26.1	こどもの安全確保(犯罪、事件、事故など)	18.3
子育てについて気軽に相談する相手がいない	15.9	子育てのために仕事につけない・思うようにできない	17.4	子育てのために仕事につけない・思うようにできない	8.3
こどもの進路(進学、就職など)	15.9	子育てについて気軽に相談する相手がいない	5.8	子育てのことで家族が理解してくれない	6.7
子育てについて職場の理解が得られない	9.1	子育てについて職場の理解が得られない	4.3	子育てについて気軽に相談する相手がいない	5.0
子育てのことで家族が理解してくれない	4.5	子育てのことで家族が理解してくれない	1.4	子育てについて職場の理解が得られない	1.7

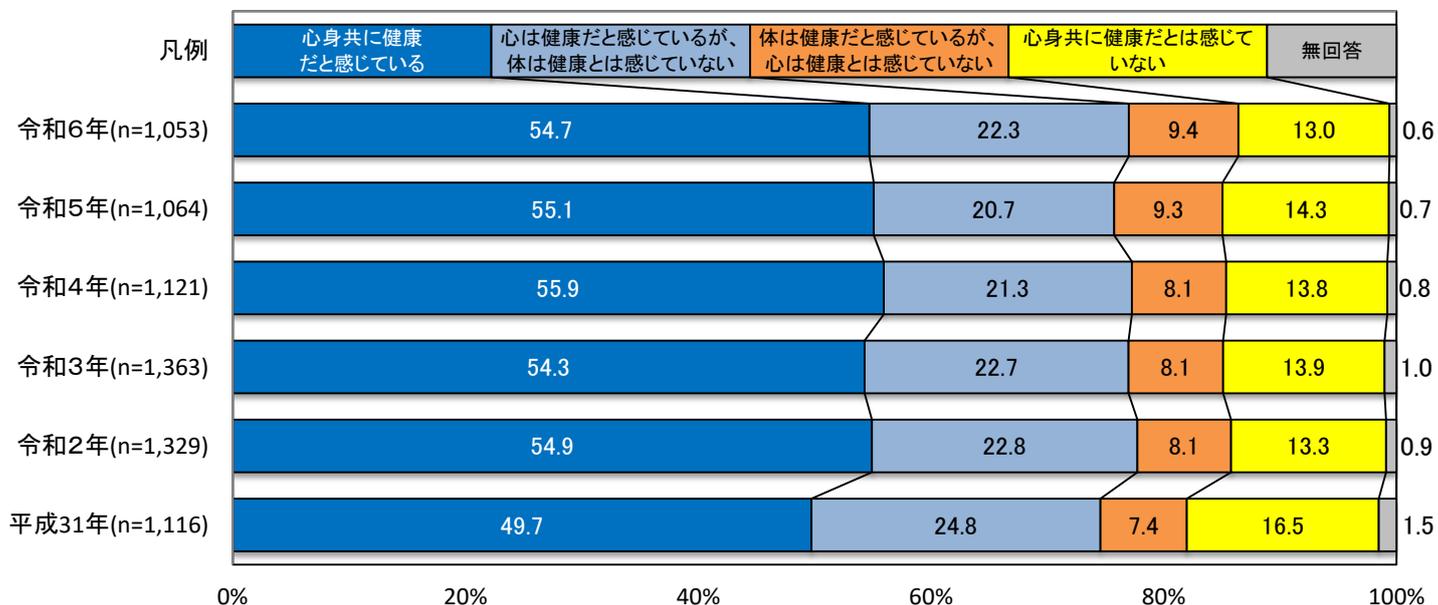
健康づくりについて

1. 自身の健康状態（問16）

あなたは、心身共に健康だと感じていますか。

「心身共に健康だと感じている」人の割合は 54.7%と半数を超え、これに「心は健康だが、体は健康とは感じていない」が 22.3%で続いている。体が健康だと感じている人（「心身共に健康だと感じている」＋「体は健康だと感じているが心は健康だとは感じていない」）の割合は全体の 64.1%、心は健康だと感じている人（「心身共に健康だと感じている」＋「心は健康だと感じているが体は健康だとは感じていない」）の割合は全体の 77.0%となっている。「心身共に健康だとは感じていない」人の割合は 13.0%となっている。

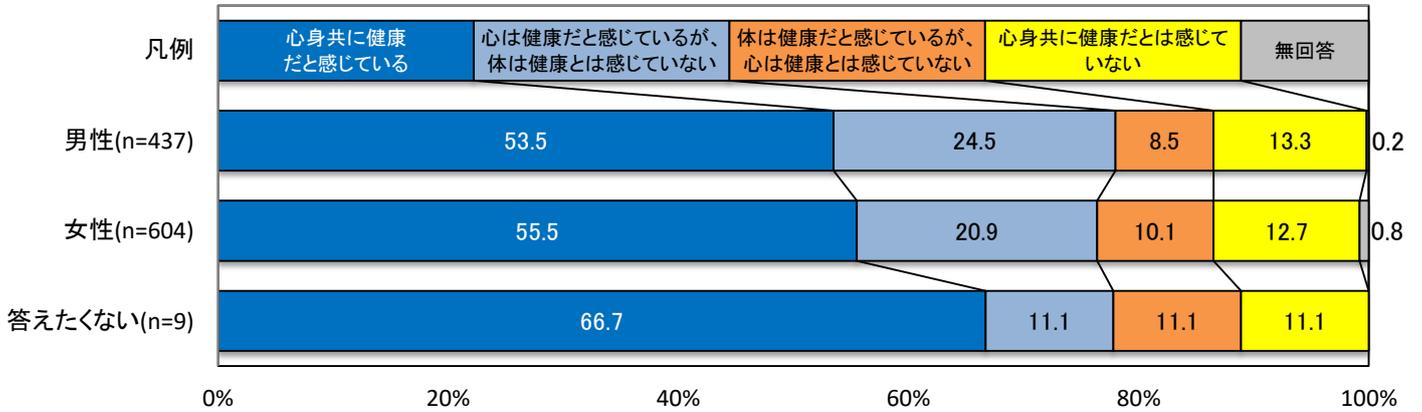
前年度と比較して大きな差は認められないが、「心身共に健康だと感じている」人の割合は、令和2年度以降 55%前後で推移している。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 心身共に健康だと感じている	576	54.7	586	55.1	627	55.9	740	54.3	730	54.9	555	49.7
2 心は健康だと感じているが、体は健康とは感じていない	235	22.3	220	20.7	239	21.3	309	22.7	303	22.8	277	24.8
3 体は健康だと感じているが、心は健康とは感じていない	99	9.4	99	9.3	91	8.1	111	8.1	107	8.1	83	7.4
4 心身共に健康だとは感じていない	137	13.0	152	14.3	155	13.8	189	13.9	177	13.3	184	16.5
5 無回答	6	0.6	7	0.7	9	0.8	14	1.0	12	0.9	17	1.5
合計	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

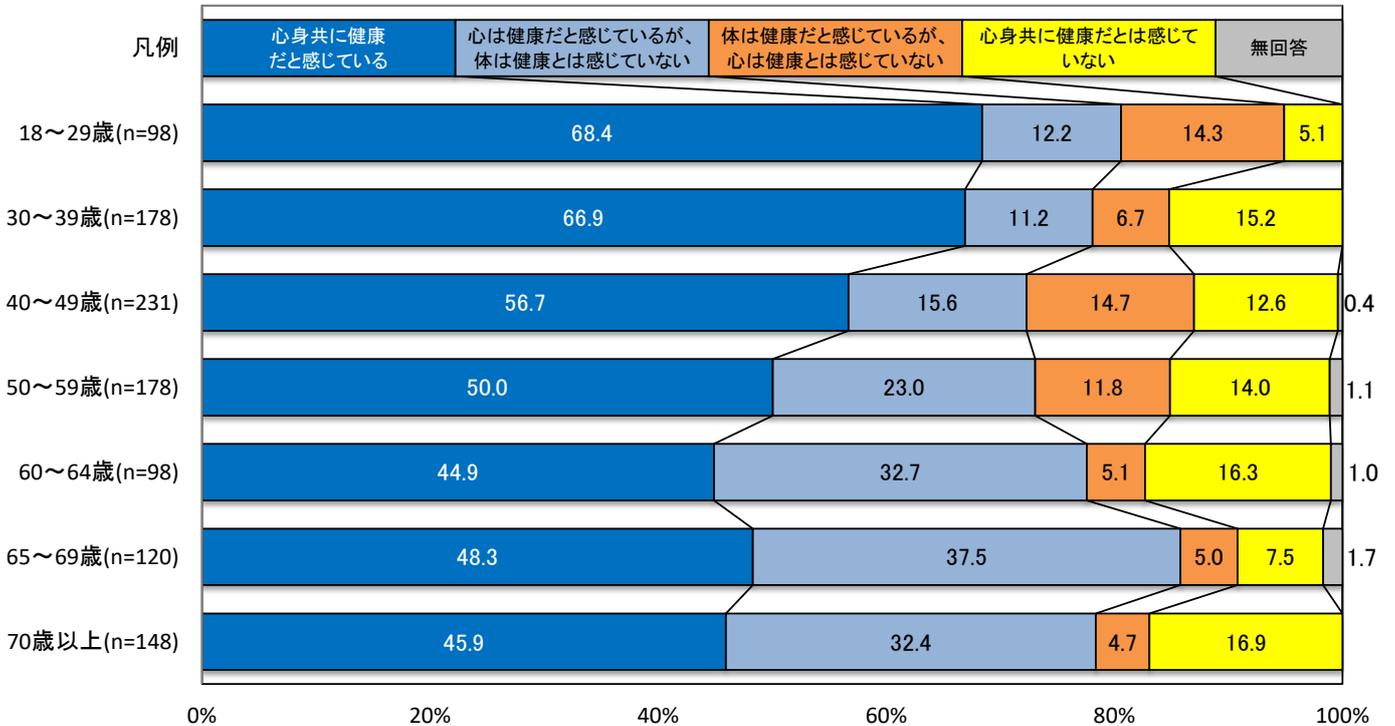
【性別】

- 性別による大きな差は認められないが、「心は健康だと感じているが、体は健康とは感じていない」人の割合は、男性が女性をやや上回っている。



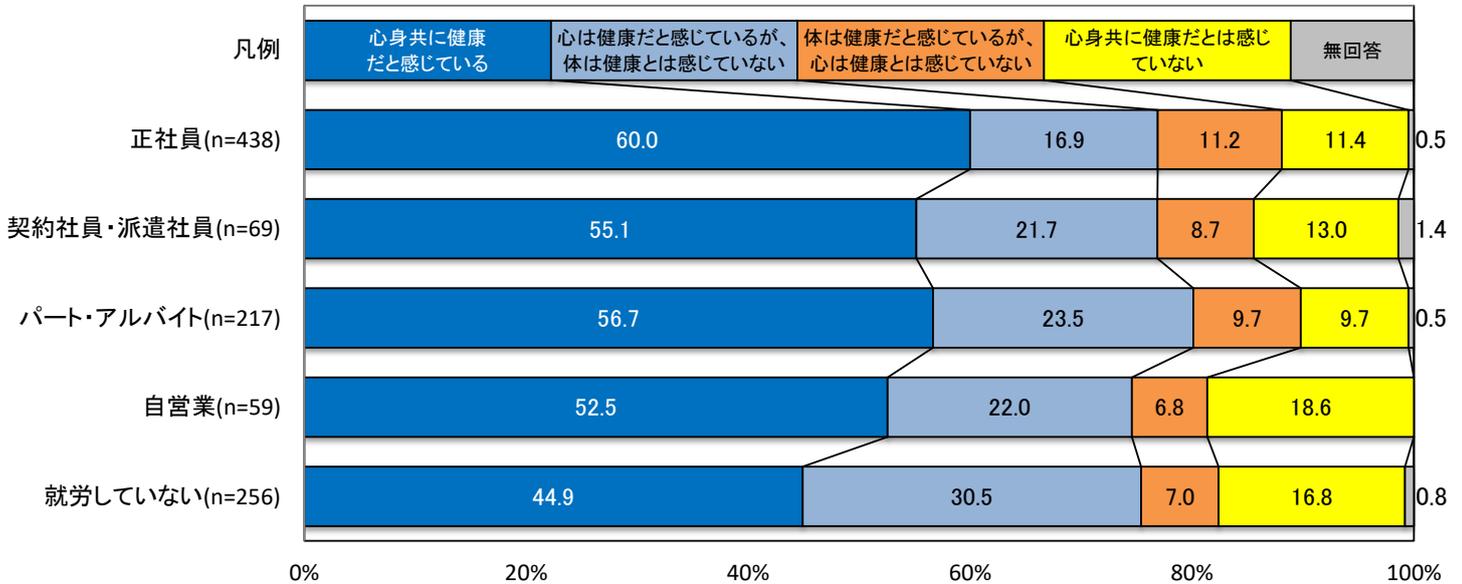
【年齢別】

- 「心身共に健康だと感じている」人の割合は、年齢が若いほど概ね高くなる傾向が認められ、20代以下では68.4%と最も高くなっている。「心は健康だが、体は健康とは感じていない」人の割合は年齢が上がるにつれて概ね高くなる傾向が認められる。「心身共に健康だとは感じていない」人の割合は、60～64歳、70代以上が2割弱で高くなっている。



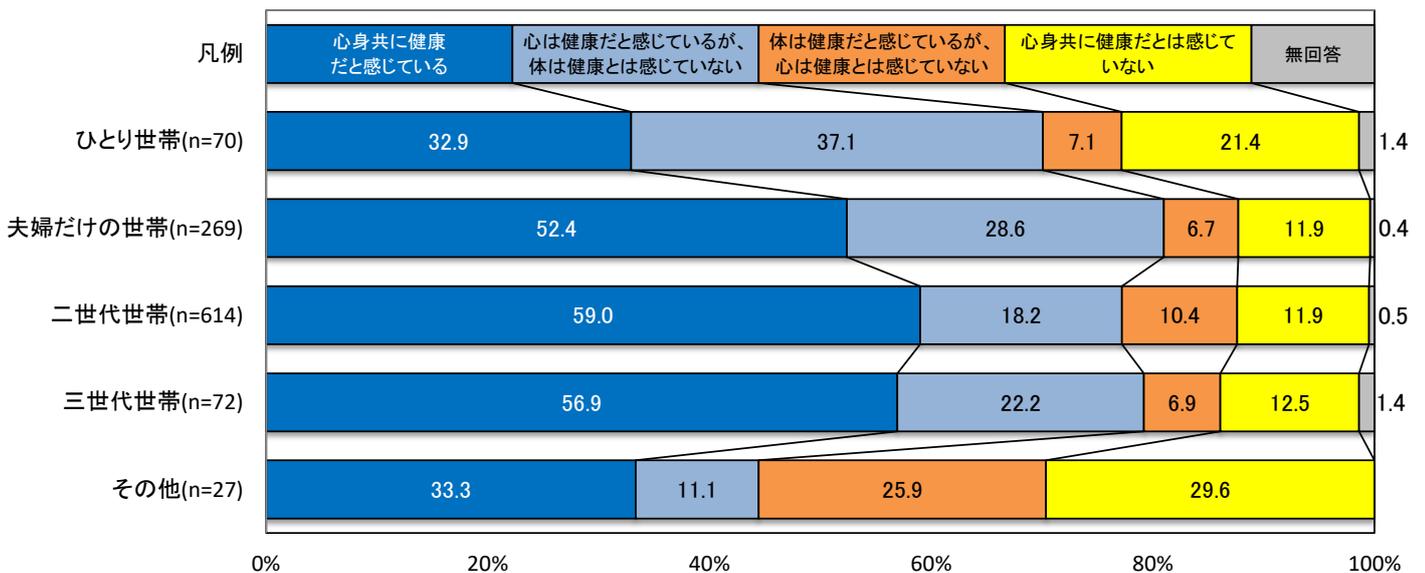
【職業別】

- 「心身共に健康だと感じている」人の割合は正社員の60.0%が最も高く、就労していない人では44.9%と最も低くなっている。
- 「心身ともに健康だとは感じていない」人の割合は、自営業で18.6%となっており、他の職業と比べ高くなっている。



【家族構成別】

- 「心身共に健康だと感じている」人の割合は、ひとり世帯とその他世帯において3割台となっており、他の世帯よりも低くなっている。
- 「心身共に健康だとは感じていない」人の割合は、ひとり世帯とその他で2割台となっており、他の世帯よりも高くなっている。



2. 健康づくりの取組みについて

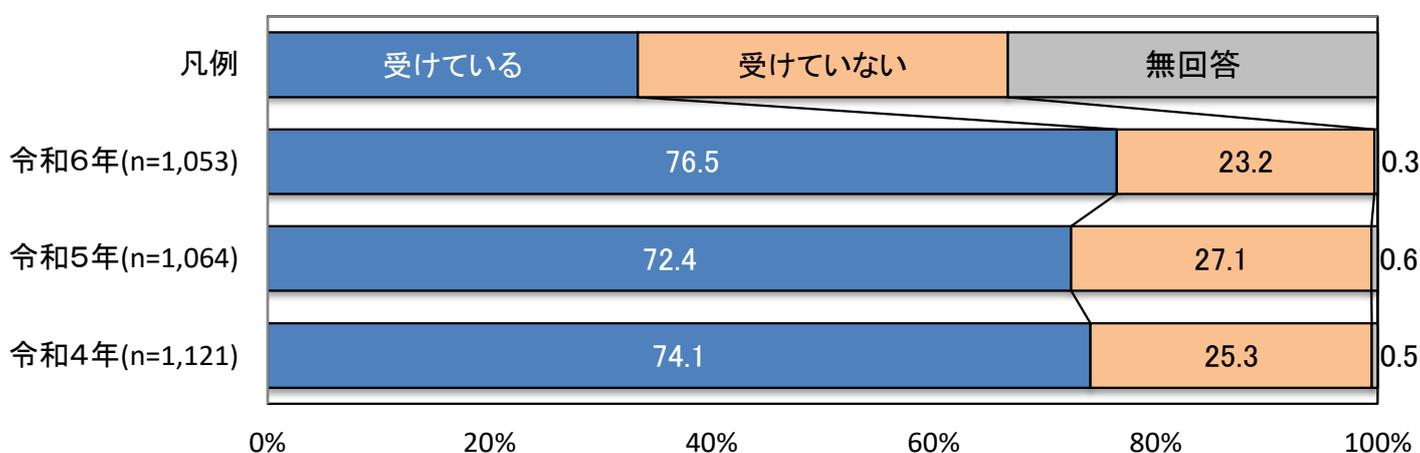
(1) 健康づくりへの取組み状況

①健診の受診(問17)

生活習慣病予防のための健診（生活習慣病健診、特定健診、後期高齢者健診、人間ドック）を受けていますか。受けていない方は、その理由は何ですか。（複数回答可）

生活習慣病予防のための健診（生活習慣病健診、特定健診、後期高齢者健診、人間ドック）を「受けている」人の割合は全体の76.5%と7割を超え、「受けていない」人の割合は23.2%となっている。

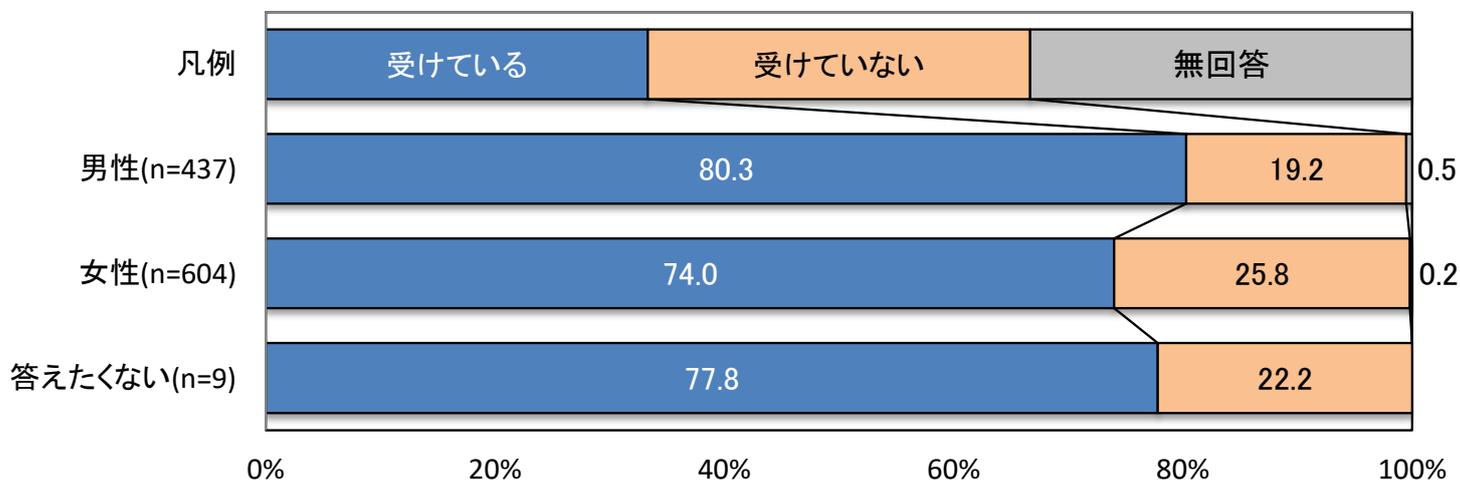
受けていない理由については、「時間が合わない」の28.3%が最も高く、以下、「医療機関を定期受診中」26.2%、「費用がかかる」20.5%が続いている。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	人	%	人	%	人	%
1 受けている	806	76.5	770	72.4	831	74.1
2 受けていない	244	23.2	288	27.1	284	25.3
3 無回答	3	0.3	6	0.6	6	0.5
合計	1,053	100.0	1064	100.0	1121	100.0

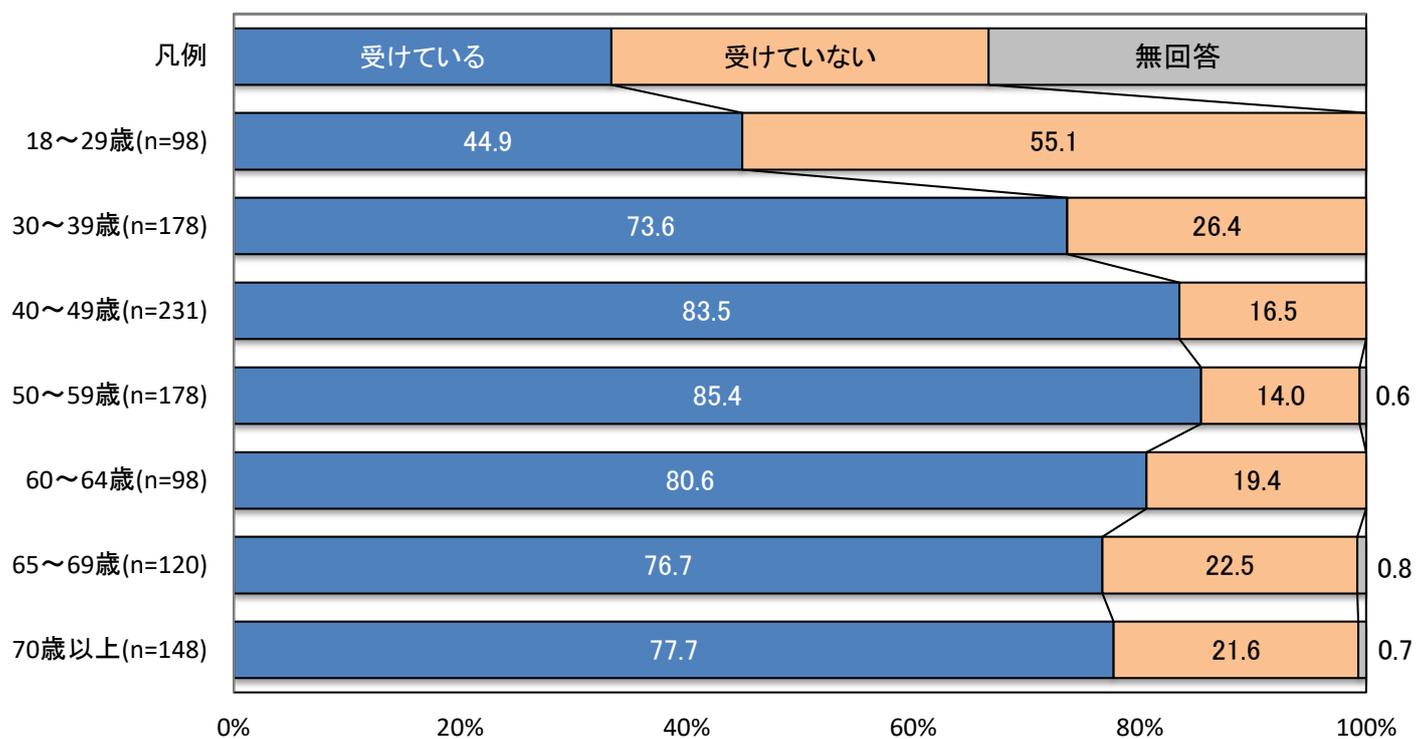
【性別】

●生活習慣病予防のための健診（生活習慣病健診、特定健診、後期高齢者健診、人間ドック）を受けている人の割合は、男性 80.3%、女性 74.0%となっており、男性では8割を超えている。

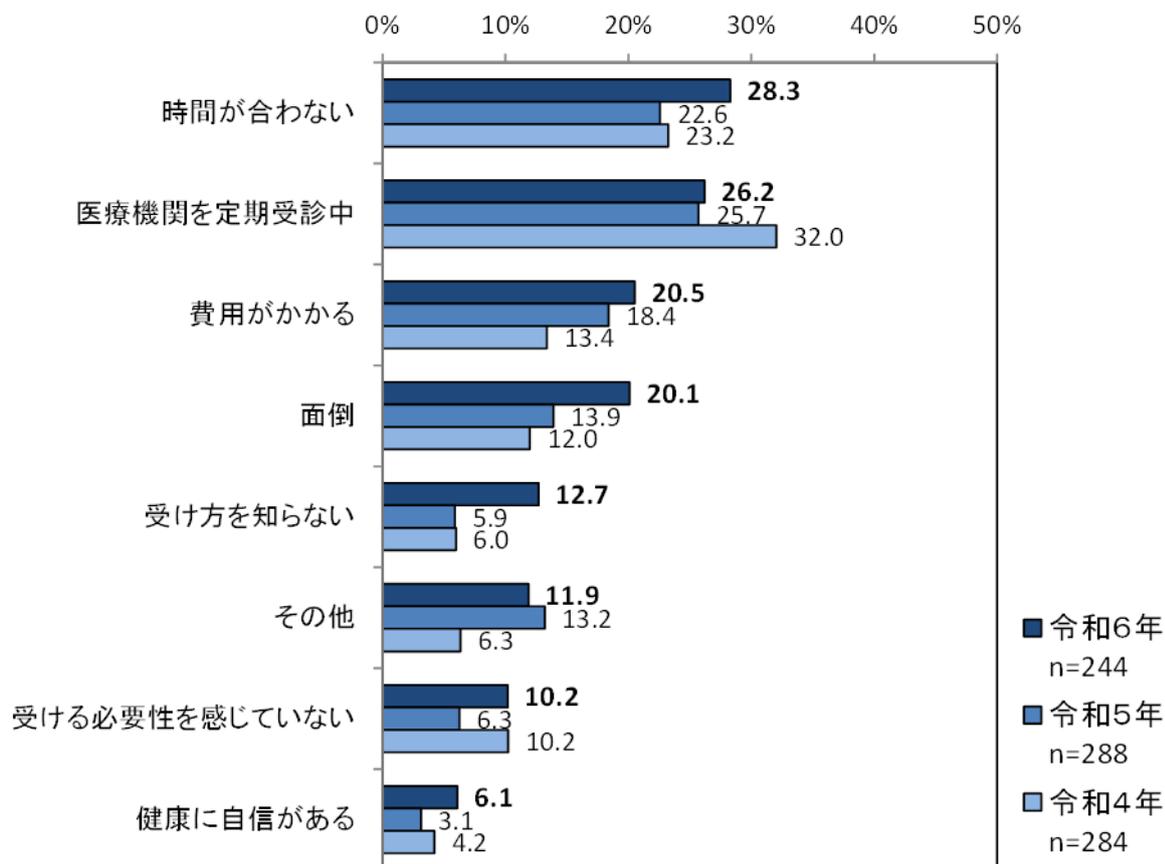


【年齢別】

●生活習慣病予防のための健診（生活習慣病健診、特定健診、後期高齢者健診、人間ドック）を受けている人の割合は、20代以下を除く全ての年代で7割を超えている。20代以下では44.9%と半数を割っている。



【受けない理由】



その他の記述内容	件数
職場の定期検診を受けている	8
学生のため	4
受ける年齢になっていないため	3
周囲から痛いという話を聞くため、怖くて受診しづらい	1
受けて良いのかわからない	1
健康に自信がない	1
無職	1
時間ではなく、平日が無理、土曜日で受けるのも合わない	1
健診の案内は来るが、会社の健診との重複がよくわからず、結果的にどちらも受けていない	1

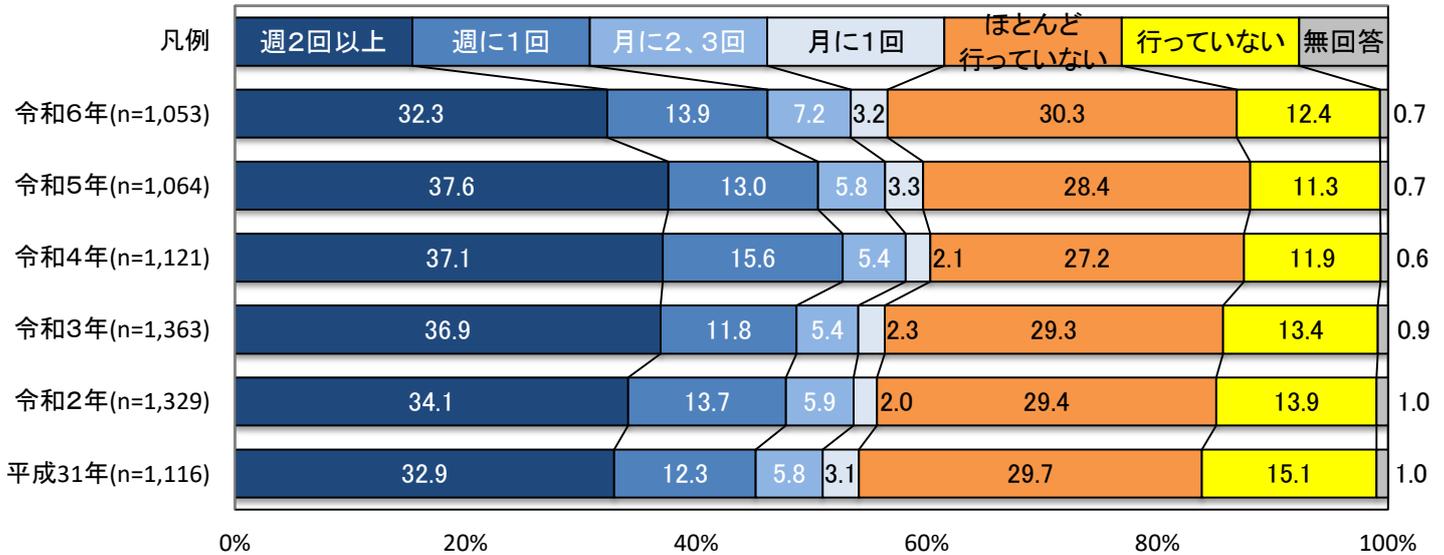
②健康づくりの取組み頻度(問18)

あなたは、日頃から、体を動かすことに取り組んでいますか。

日頃から体を動かすことに取り組んでいる人(月1回以上)の割合は全体の56.6%と6割弱となっており、取り組んでいない(「ほとんど行っていない」+「行っていない」)人の割合は42.7%となっている。

取り組んでいる場合の頻度では、「週2回以上」32.3%が最も高く、次いで「週1回」が13.9%となっている。

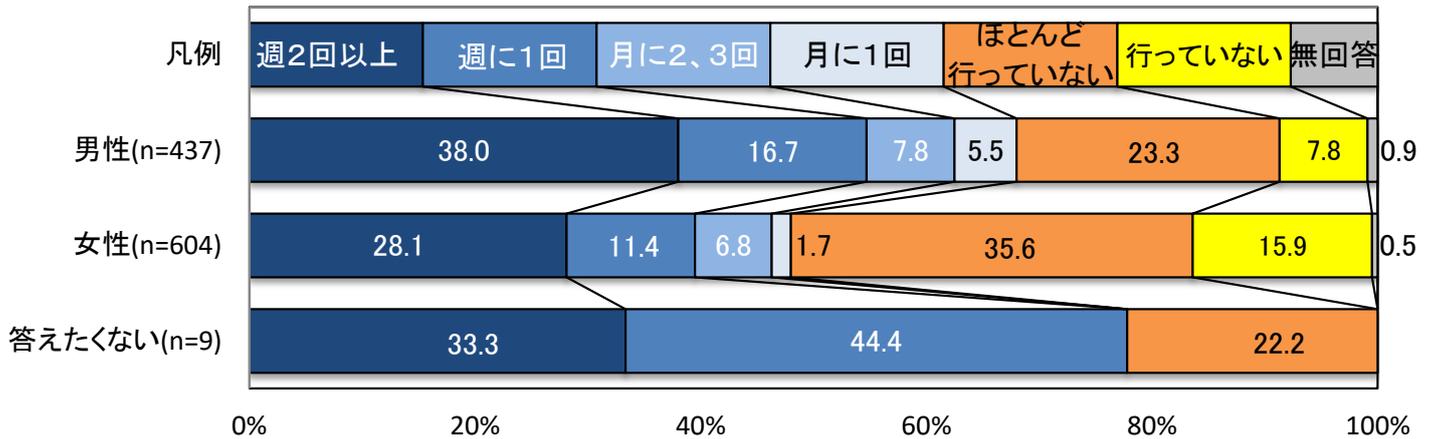
昨年度と比較して、日頃から体を動かすことに取り組んでいる人の割合は、3.1%減少している。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 週2回以上行っている	340	32.3	400	37.6	416	37.1	503	36.9	453	34.1	367	32.9
2 週に1回行っている	146	13.9	138	13.0	175	15.6	161	11.8	182	13.7	137	12.3
3 月に2、3回行っている	76	7.2	62	5.8	61	5.4	73	5.4	78	5.9	65	5.8
4 月に1回行っている	34	3.2	35	3.3	24	2.1	31	2.3	27	2.0	35	3.1
5 ほとんど行っていない	319	30.3	302	28.4	305	27.2	400	29.3	391	29.4	332	29.7
6 行っていない	131	12.4	120	11.3	133	11.9	183	13.4	185	13.9	169	15.1
7 無回答	7	0.7	7	0.7	7	0.6	12	0.9	13	1.0	11	1.0
合計	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

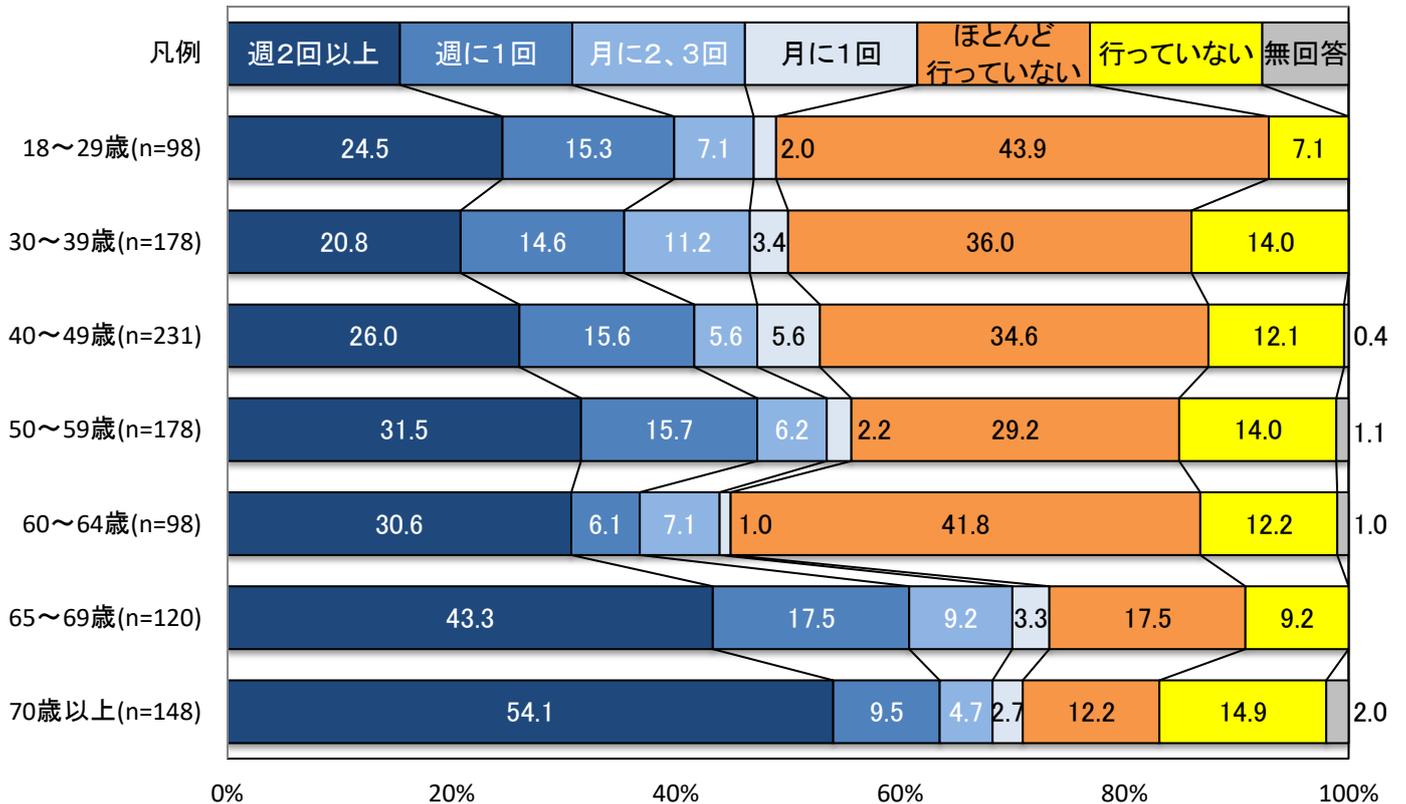
【性別】

- 日ごろから体を動かすことに取り組んでいる人の割合は、男性 68.0%、女性 48.0%となっており、男性が女性を上回っている。特に男性は「週2回以上」が 38.0%となっており、「週に1回」16.7%と合わせると半数以上が高頻度で日ごろから体を動かすことに取り組んでいる。
- 一方、女性の高頻度の取り組みの割合は 4 割弱の 39.5%となっている。



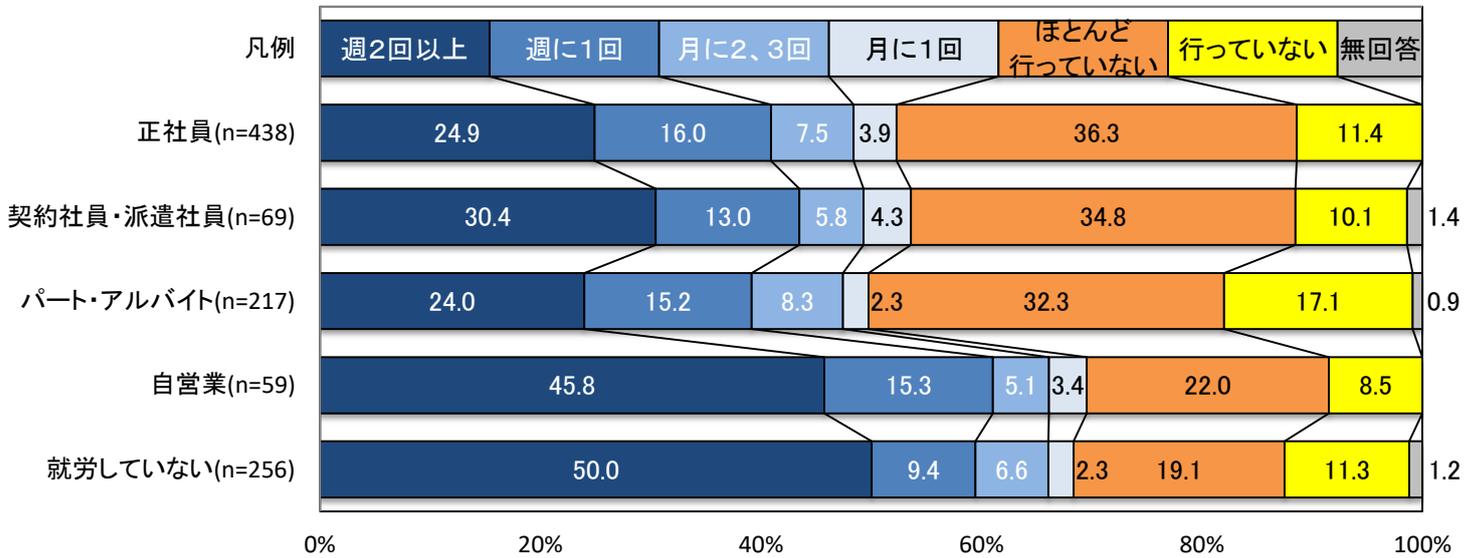
【年齢別】

- 日頃から体を動かすことに取り組んでいる人の割合は、50代以下の年代では約半数となっている。60～64歳では 44.8%と最も低くなっており、65～69歳と70代以上では、それぞれ 73.3%、71.0%と、どちらも7割を上回っている。



【職業別】

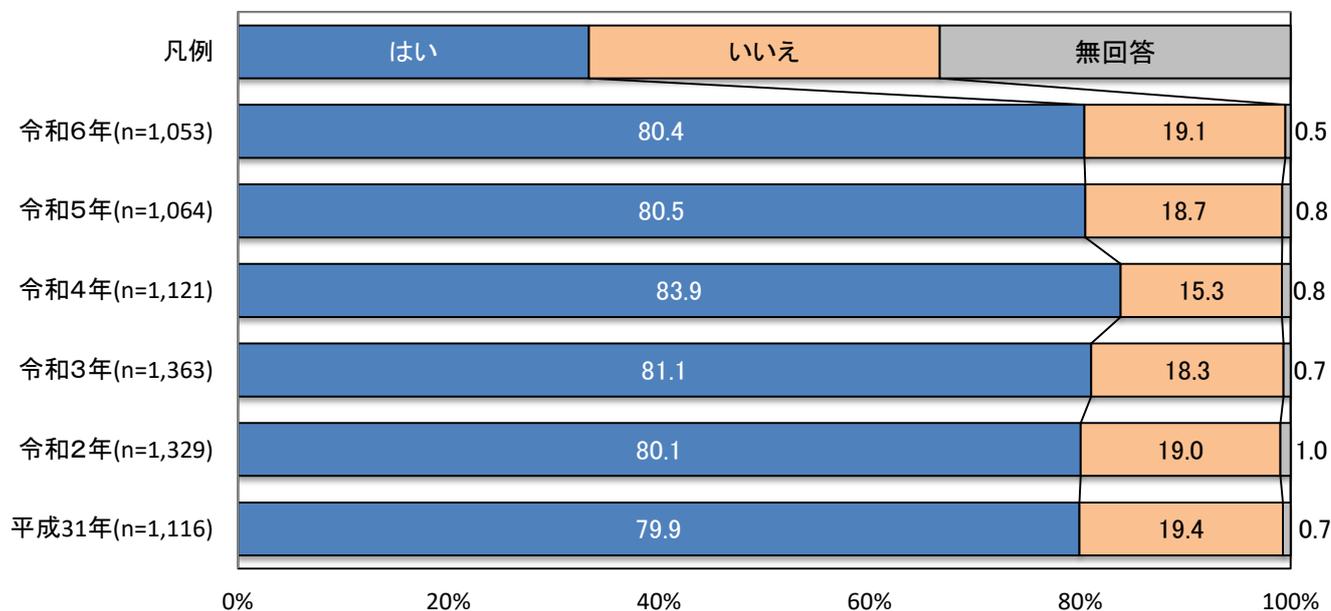
- 日頃から体を動かすことに取り組んでいる人の割合は、自営業で69.6%、就労していない人で68.3%と高くなっており、正社員、契約社員・派遣社員、パート・アルバイトでは約半数となっている。
- 就労していない人においては、半数の人が週2回以上取り組んでいる。



(2) ストレス解消法 (問 19)

自分なりのストレス解消法を持っていますか。

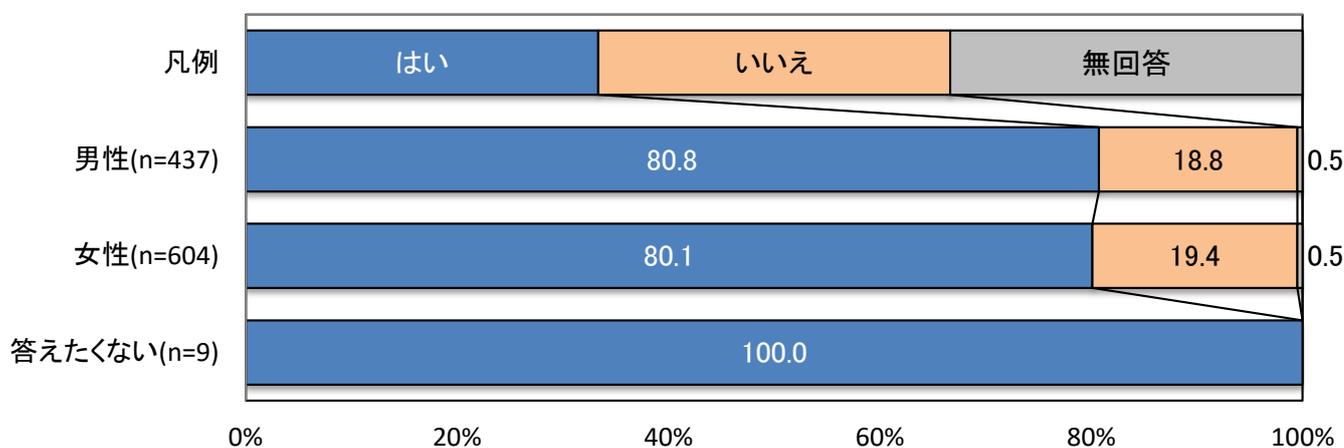
ストレス解消法を持っている人の割合は、80.4%となっている。前年度と比較すると、持っている人の割合はほぼ変わらない。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 はい	847	80.4	856	80.5	940	83.9	1105	81.1	1064	80.1	892	79.9
2 いいえ	201	19.1	199	18.7	172	15.3	249	18.3	252	19.0	216	19.4
3 無回答	5	0.5	9	0.8	9	0.8	9	0.7	13	1.0	8	0.7
合計	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

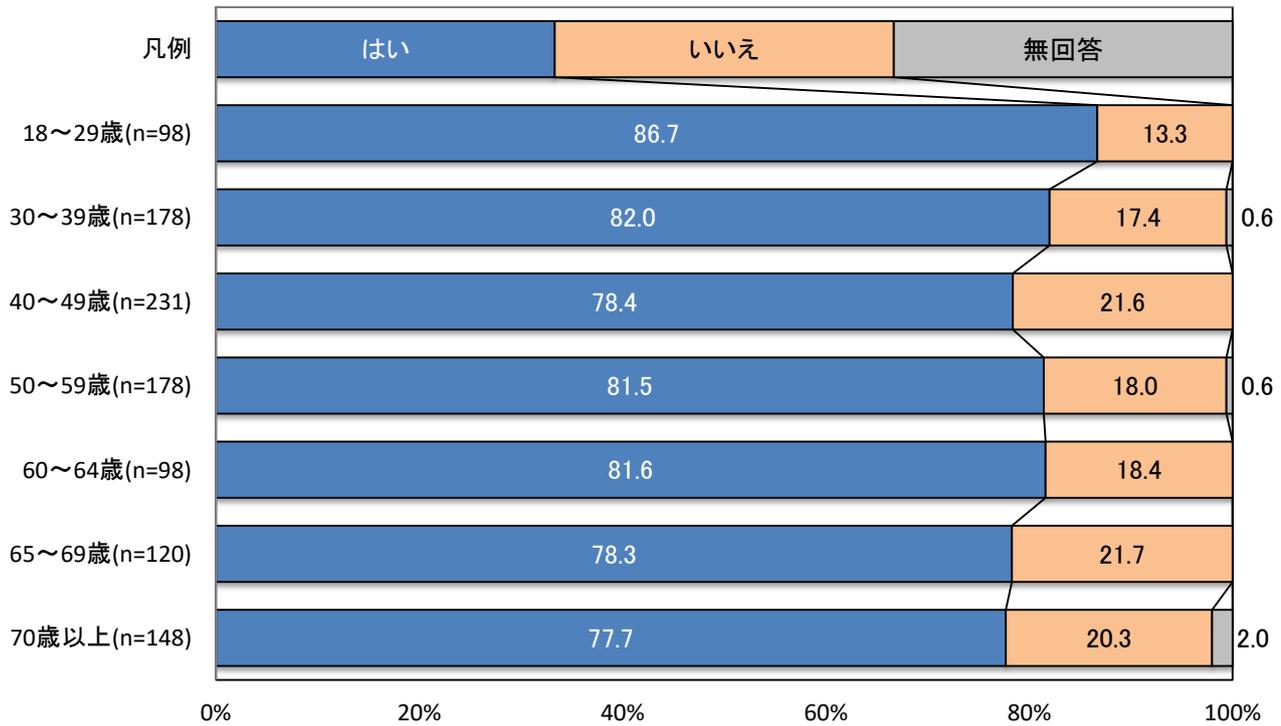
【性別】

●性別による大きな差は、認められない。



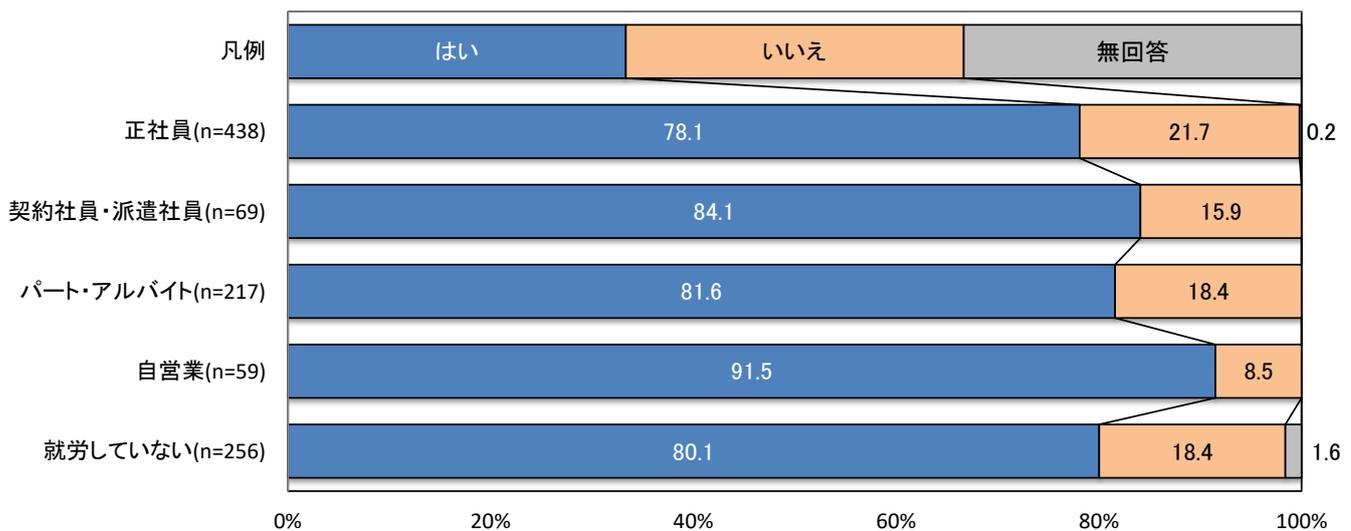
【年齢別】

●ストレス解消法を持っている人の割合は、すべての年代で8割前後となっている。



【職業別】

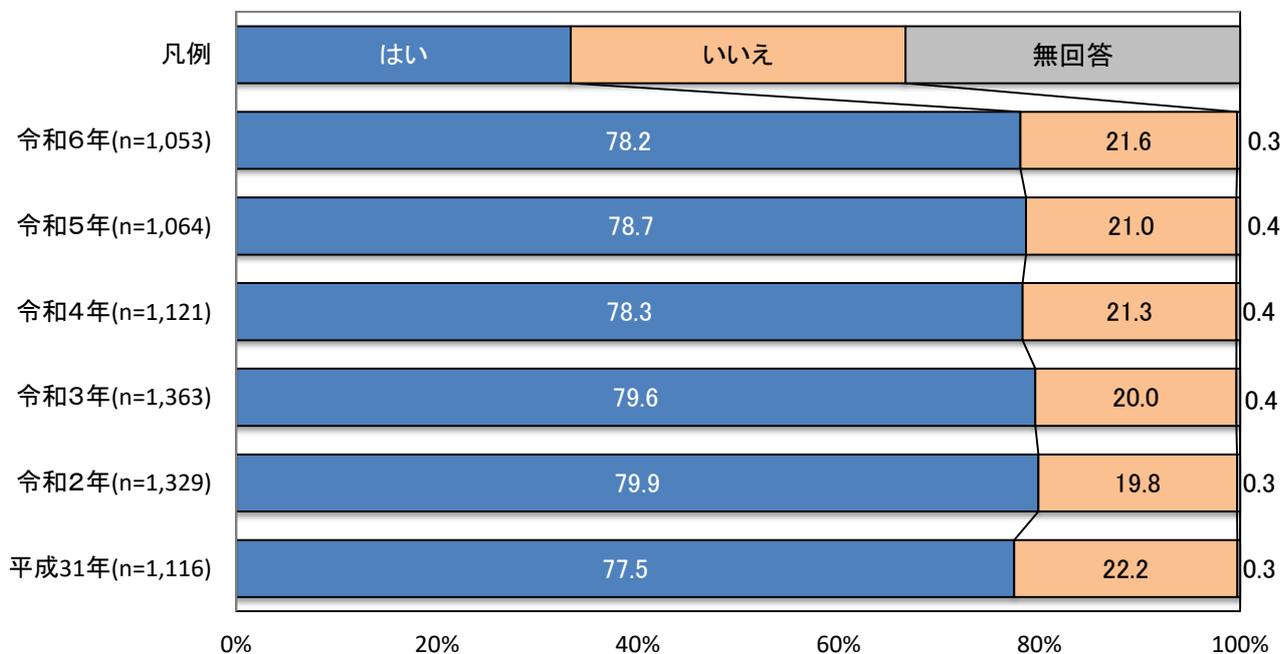
●ストレス解消法を持っている人の割合は、自営業が91.5%で最も高く、他の職業でも8割前後となっている。



(3) 規則正しい食生活（問20）

食事は1日3回（朝・昼・晩）規則正しく食べていますか。

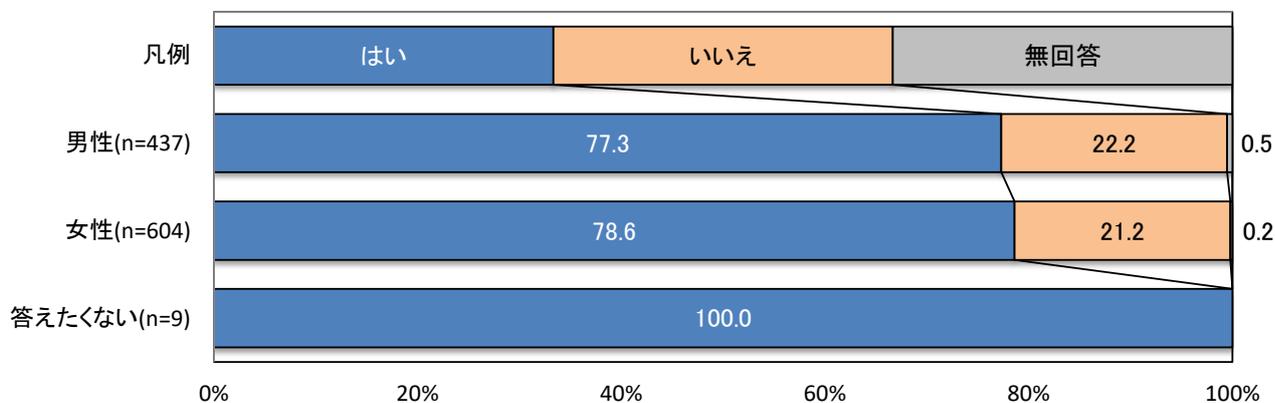
規則正しく食事をとっている人の割合は78.2%、規則正しく食事をとっていない人の割合は21.6%となっている。
前年度と比較して、大きな差は認められない。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 はい	823	78.2	837	78.7	878	78.3	1085	79.6	1062	79.9	865	77.5
2 いいえ	227	21.6	223	21.0	239	21.3	273	20.0	263	19.8	248	22.2
3 無回答	3	0.3	4	0.4	4	0.4	5	0.4	4	0.3	3	0.3
合計	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

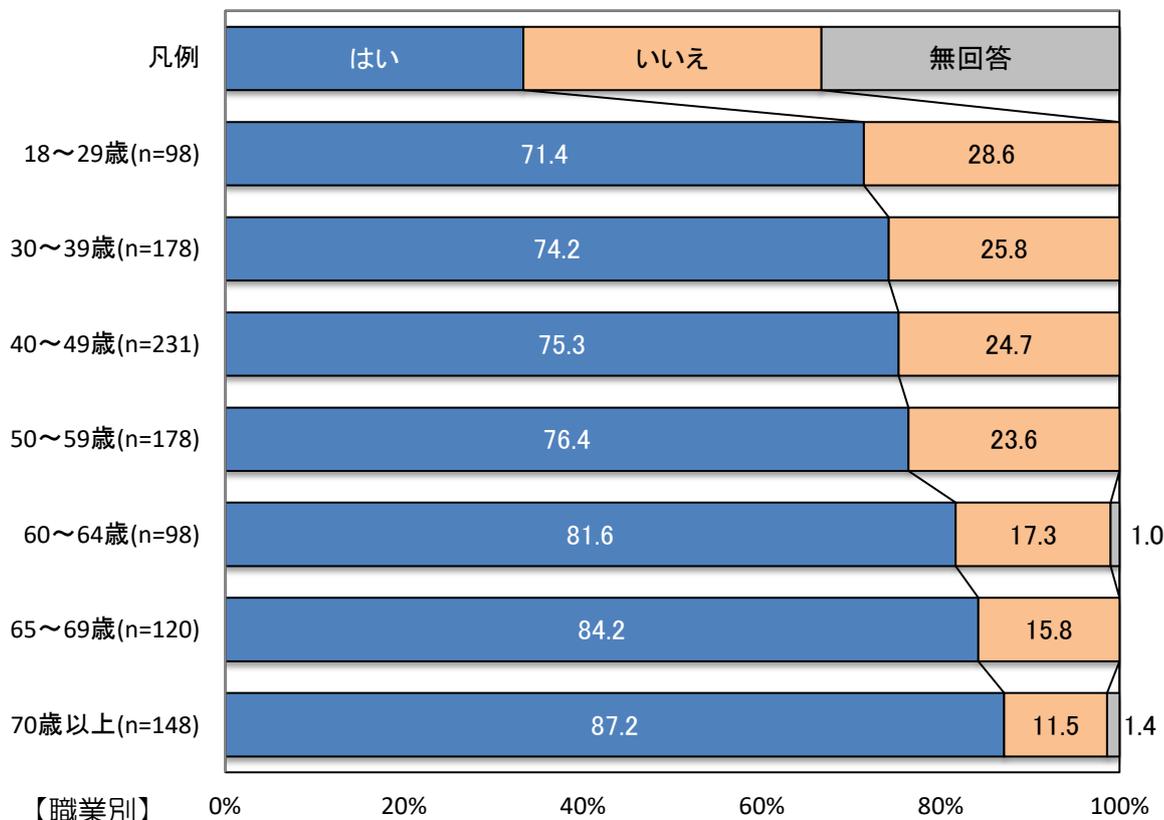
【性別】

●規則正しく食事をとっている人の割合は、男性77.3%、女性78.6%となっており、性別による大きな差は認められない。



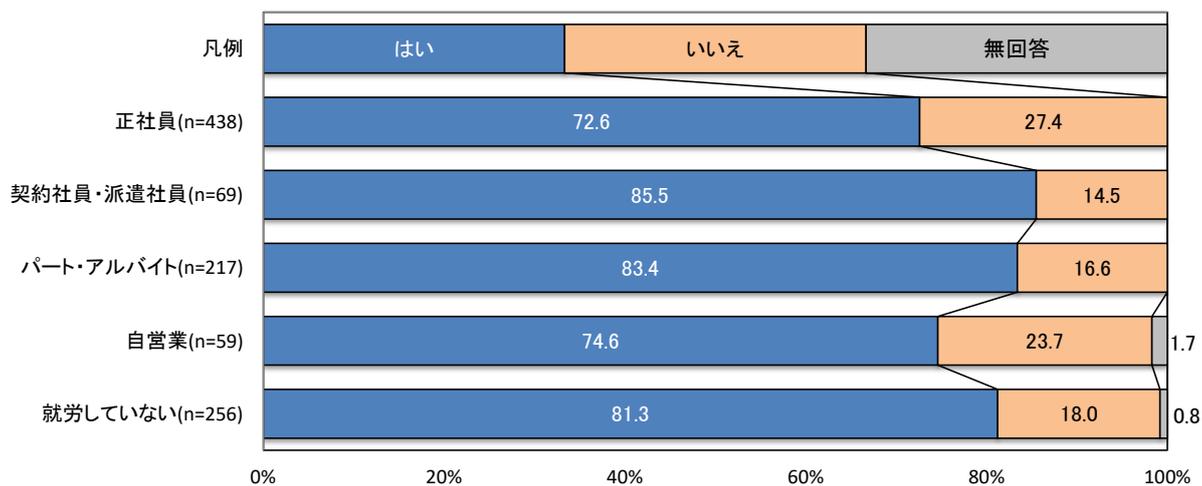
【年齢別】

●規則正しく食事をとっている人の割合は、すべての年代で7割以上となっている。規則正しく食事をとっていない人の割合は、年代が下がるにつれて高くなっている。



【職業別】

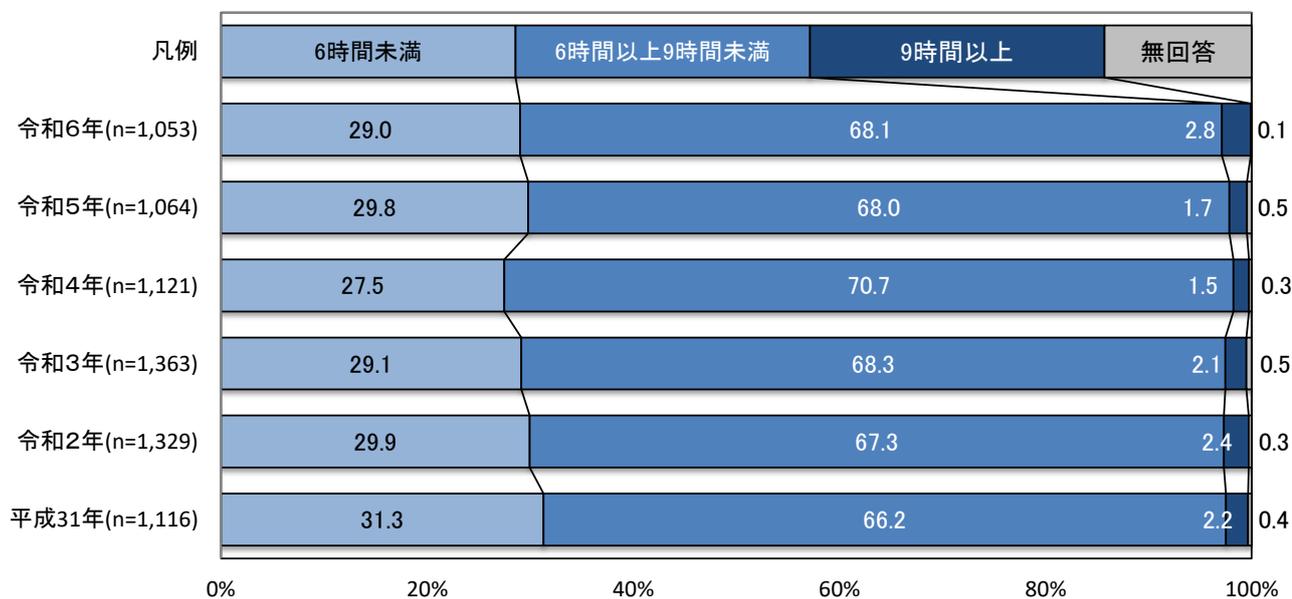
●規則正しく食事をとっている人の割合は、正社員と自営業が他の職業に比べてやや低く、3～4人に1人が規則正しい食事をとっていない。



(4) 睡眠時間(問21)

昼寝を含めて1日の睡眠時間は何時間くらいですか。

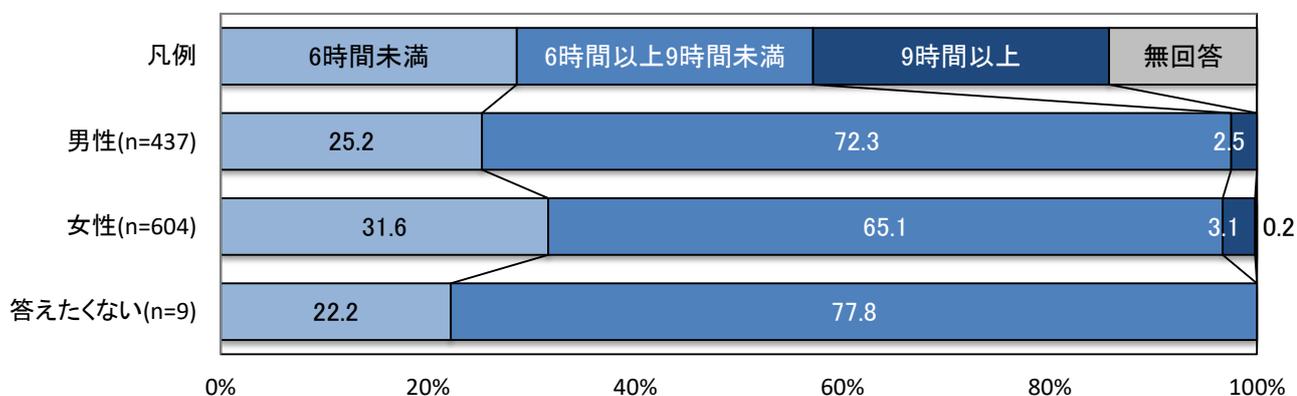
1日の睡眠時間は、「6時間以上9時間未満」の人の割合が68.1%と最も高くなっている。前年度と比較して大きな差は認められない。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 6時間未満	305	29.0	317	29.8	308	27.5	397	29.1	398	29.9	349	31.3
2 6時間以上9時間未満	717	68.1	724	68.0	793	70.7	931	68.3	895	67.3	739	66.2
3 9時間以上	30	2.8	18	1.7	17	1.5	28	2.1	32	2.4	24	2.2
4 無回答	1	0.1	5	0.5	3	0.3	7	0.5	4	0.3	4	0.4
合計	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

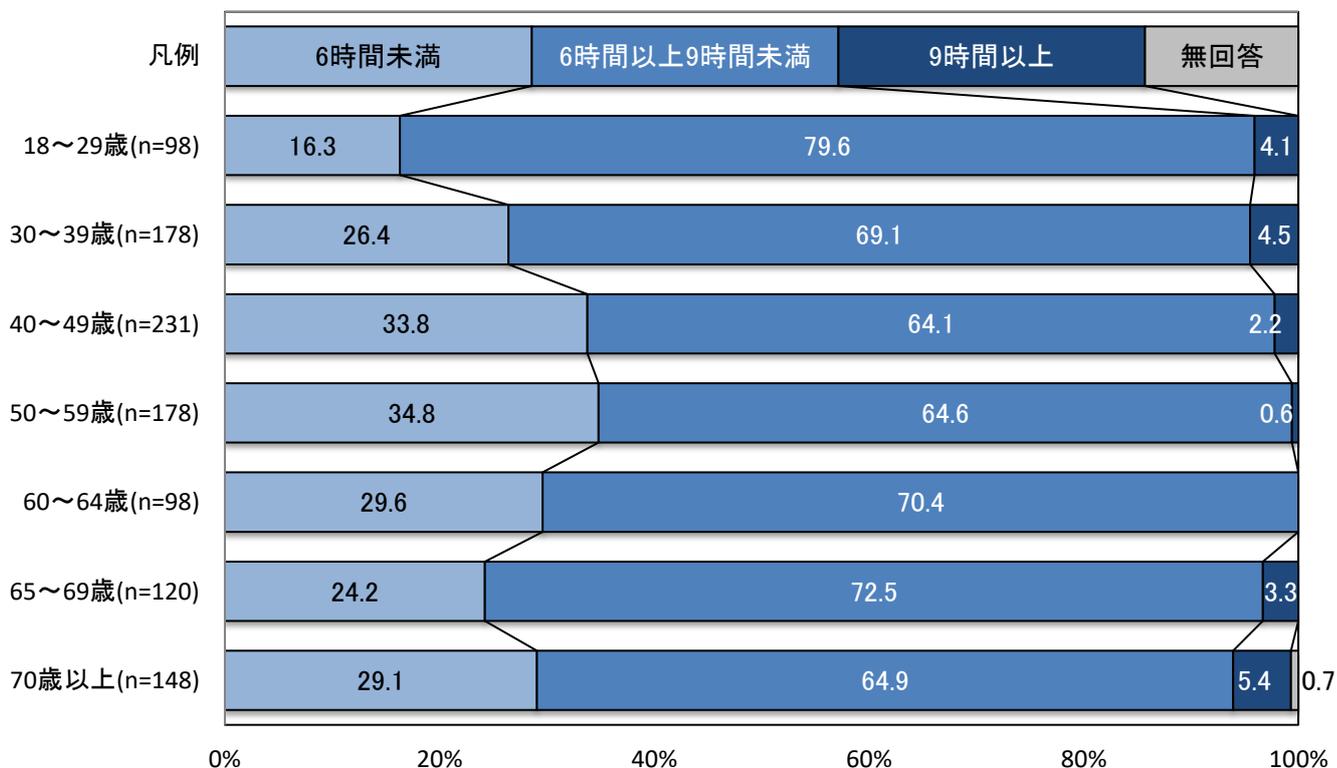
【性別】

●女性の6時間未満の人の割合は31.6%となっており、男性よりも高くなっている。



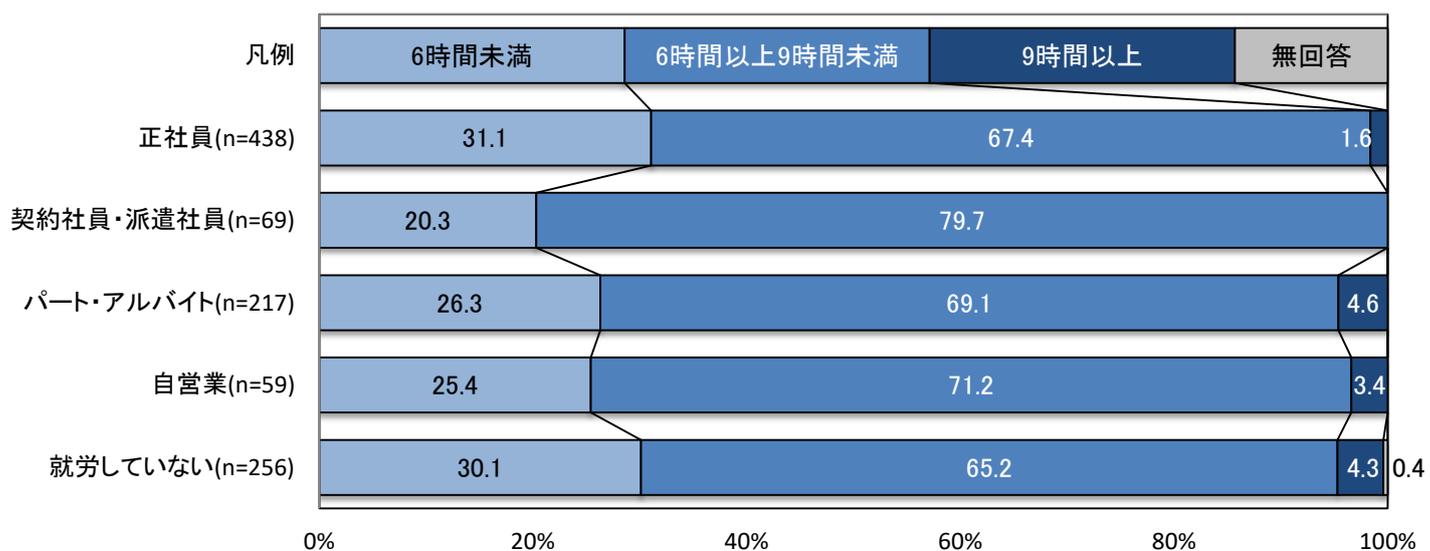
【年齢別】

●生産年齢人口の中でも40代、50代では睡眠時間が短くなっており、6時間未満の人の割合は30%以上で他の年代と比べ高くなっている。



【職業別】

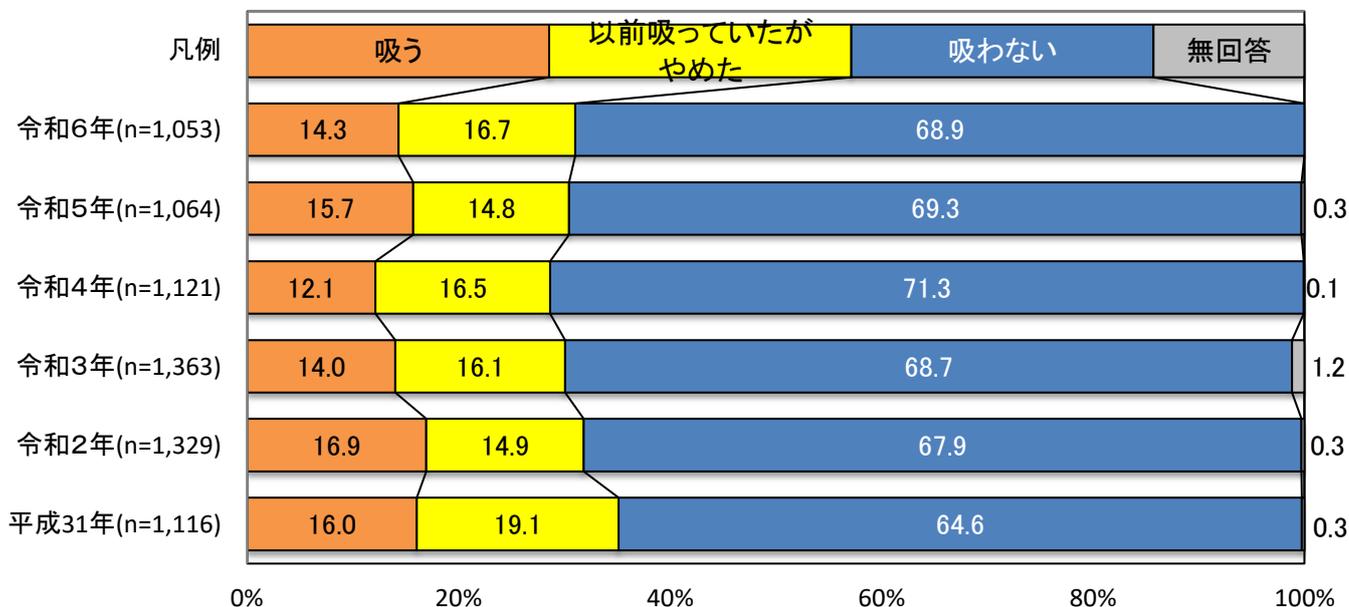
●睡眠時間6時間未満の人の割合をみると、正社員では31.1%と最も高く、他の職業に比べて睡眠時間が短い人の割合が高くなっている。



(5) 喫煙（問22）

タバコを吸いますか。（電子タバコを含む）

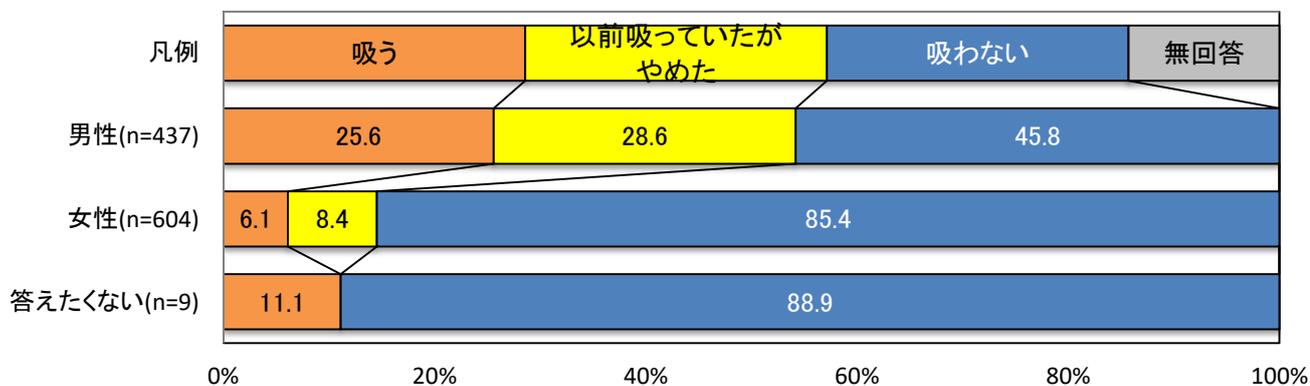
タバコを「吸わない」人が68.9%と最も多く、「以前吸っていたがやめた」人の16.7%と合わせると非喫煙者が8割以上を占めている。喫煙者は14.3%。
前年度と比較して、喫煙者の割合はほぼ変わらない。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 吸う	151	14.3	167	15.7	136	12.1	191	14.0	225	16.9	179	16.0
2 以前吸っていたがやめた	176	16.7	157	14.8	185	16.5	219	16.1	198	14.9	213	19.1
3 吸わない	726	68.9	737	69.3	799	71.3	937	68.7	902	67.9	721	64.6
4 無回答	0	0.0	3	0.3	1	0.1	16	1.2	4	0.3	3	0.3
合計	1,053	100.0	1064	100.0	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

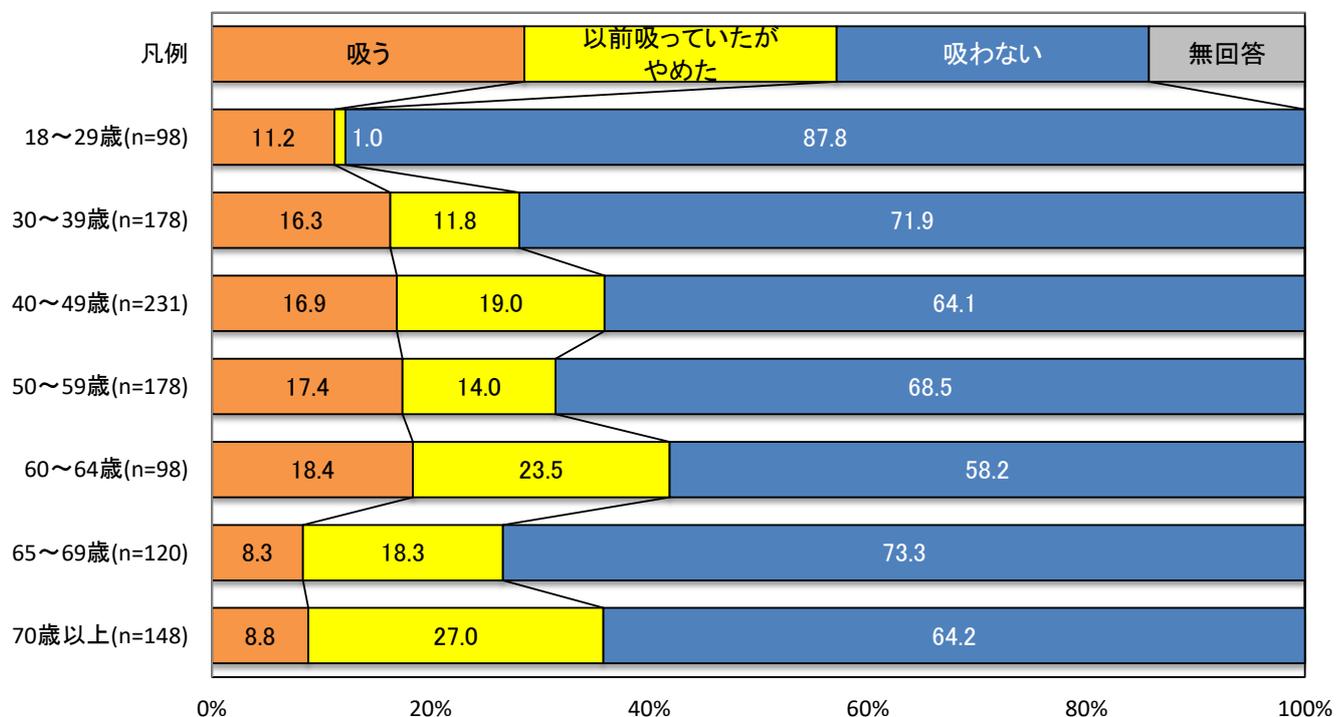
【性別】

- 喫煙者の割合は、男性が25.6%、女性が6.1%と男性が女性を上回っている。
- 男性では28.6%が、以前吸っていたがやめたとしている。



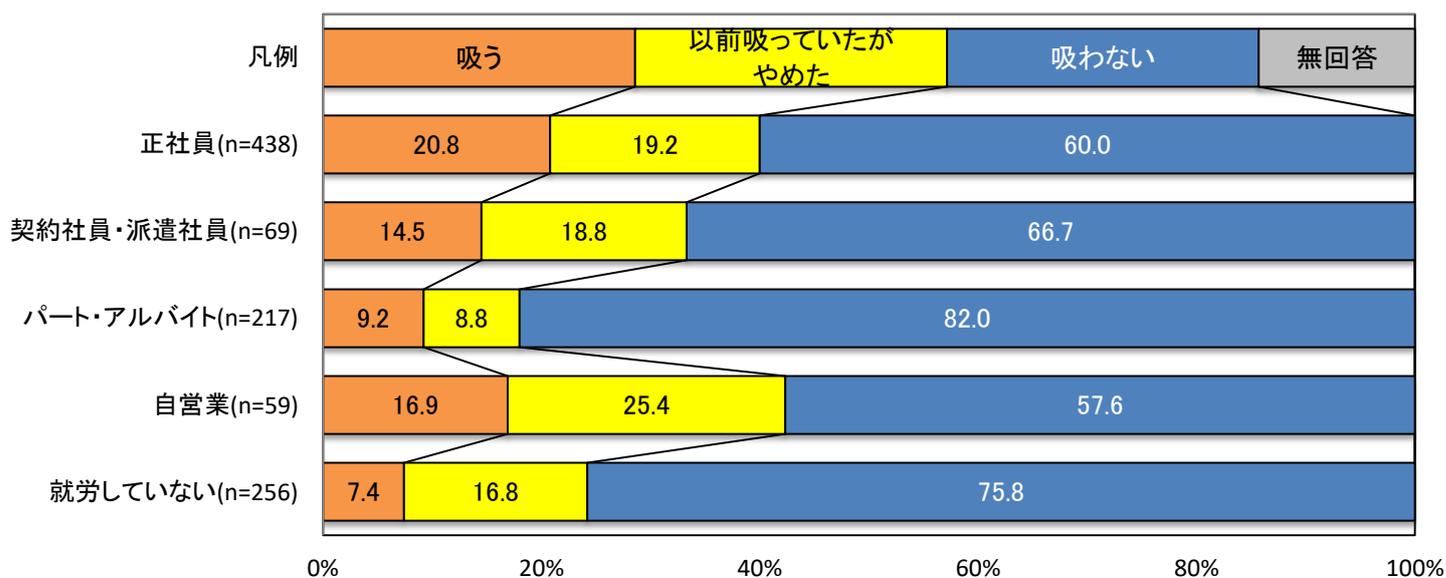
【年齢別】

- 喫煙者の割合は、すべての年代で2割未満となっている。
- 喫煙者の割合は、30代から60～64歳の年代で20%弱となっており、他の年代よりもやや高い。



【職業別】

- 喫煙者の割合は、正社員が20.8%で最も高く、自営業の16.9%が続いている。パート・アルバイト、就労していない人の喫煙率は1割未満となっている。

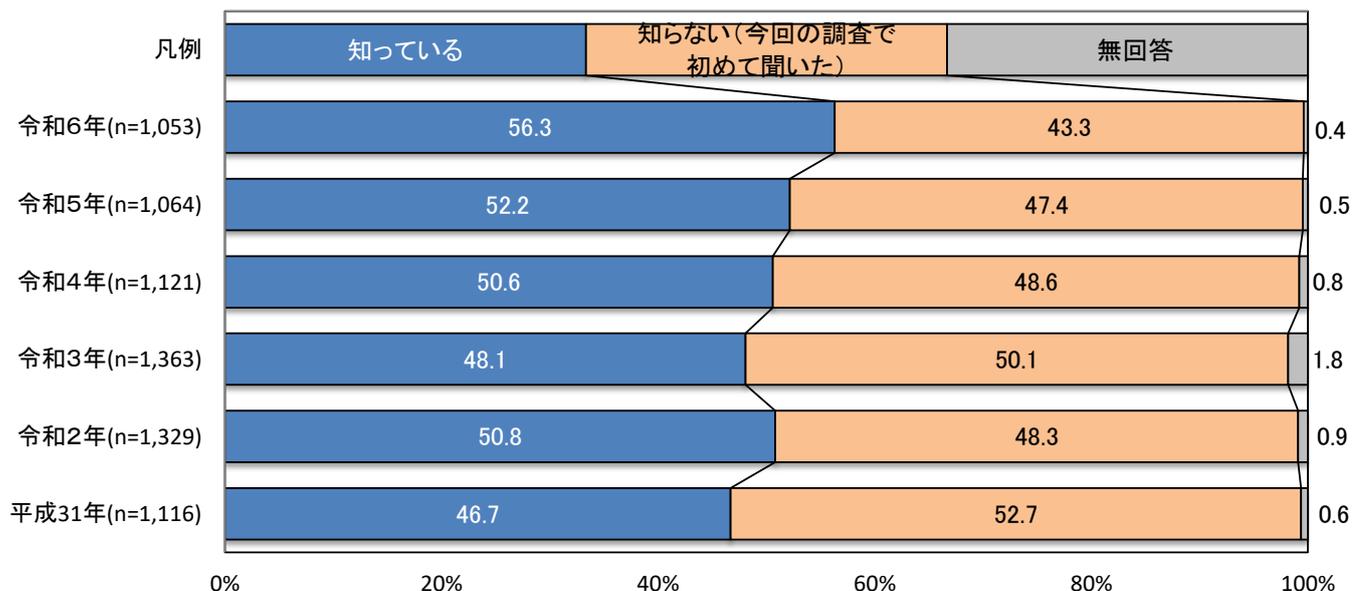


3. 健康知識について

飲酒量(問23)

生活習慣病のリスクを高める飲酒量を知っていますか。

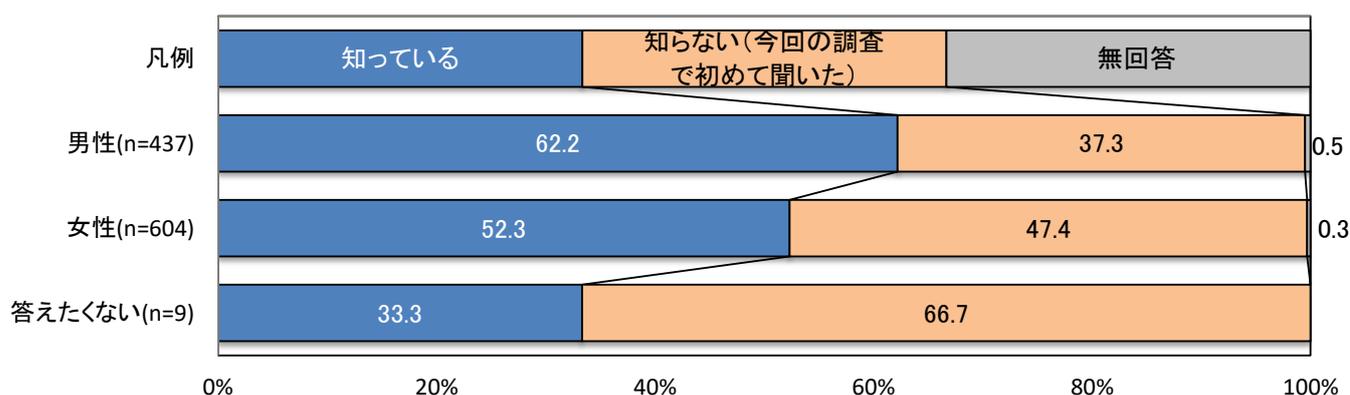
生活習慣病のリスクを高める飲酒量を「知っている人」の割合は 56.3%となっており、過半数を占めている。
 平成31年度以降、リスクを高める飲酒量を知っている人の割合は微増傾向であることが認められる。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 知っている	593	56.3	555	52.2	567	50.6	655	48.1	675	50.8	521	46.7
2 知らない(今回の調査で初めて聞いた)	456	43.3	504	47.4	545	48.6	683	50.1	642	48.3	588	52.7
3 無回答	4	0.4	5	0.5	9	0.8	25	1.8	12	0.9	7	0.6
合計	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

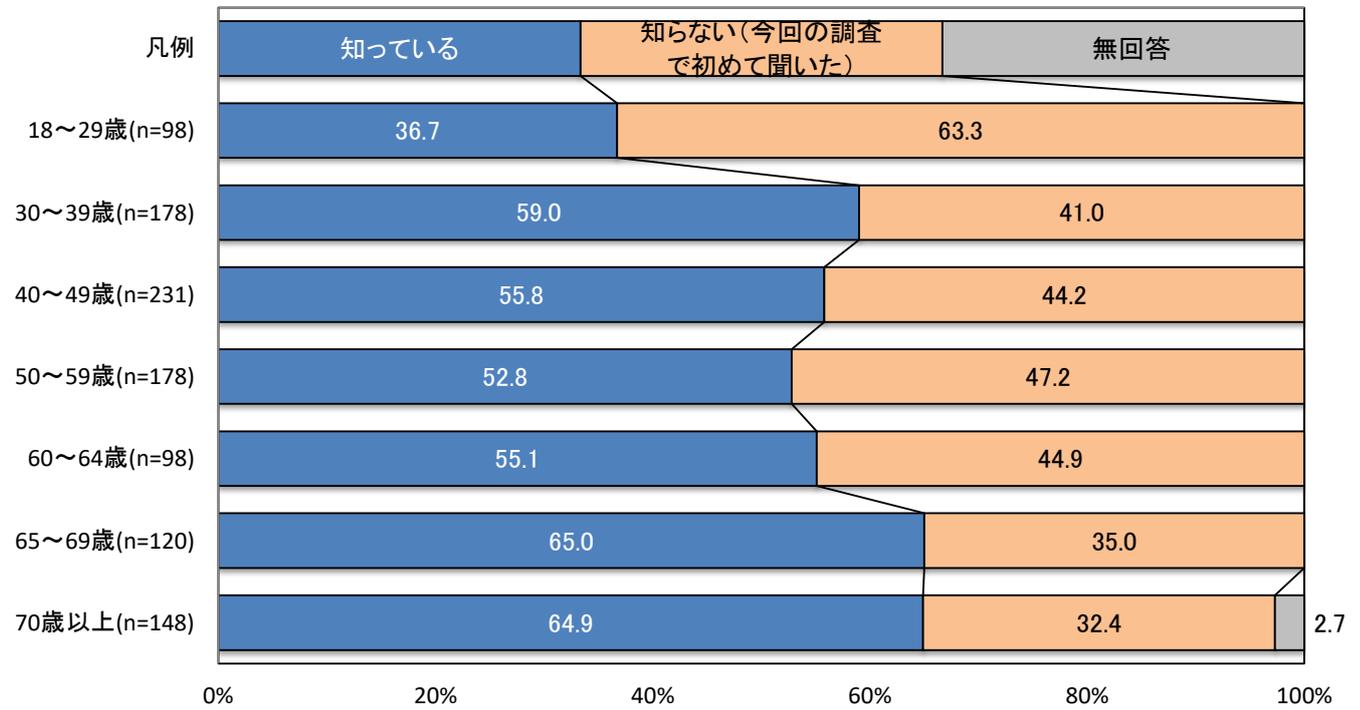
【性別】

●生活習慣病のリスクを高める飲酒量について知っている人の割合は、男性 62.2%、女性 52.3%と男性が女性を上回っている。



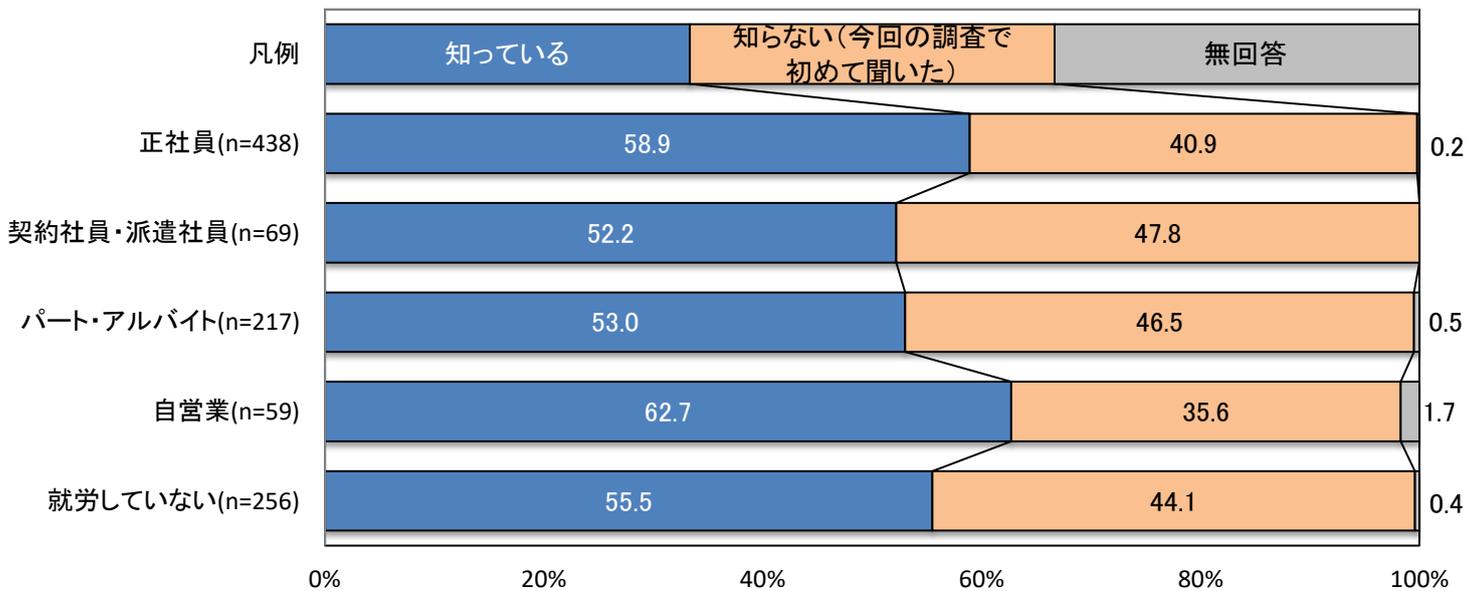
【年齢別】

●生活習慣病のリスクを高める飲酒量について知らない人の割合は、20代以下の63.3%が最も高く、これに50代の47.2%が続いている。



【職業別】

●生活習慣病のリスクを高める飲酒量を知っている人の割合は、自営業が62.7%と最も高く、他の職種においても半数を超えている。

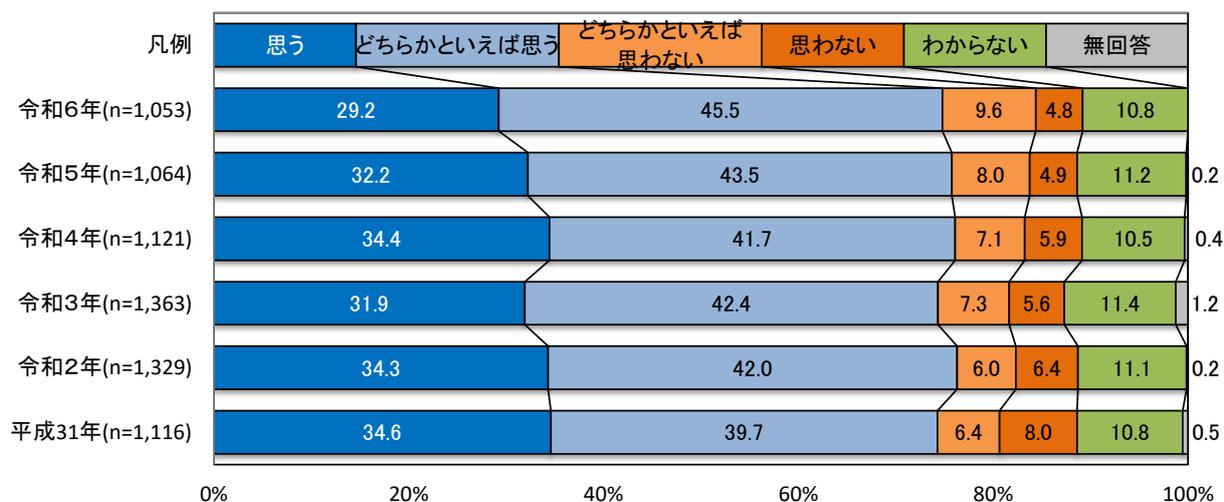


4. 生涯学習等について

(1) 生きがいを持った生活（問25）

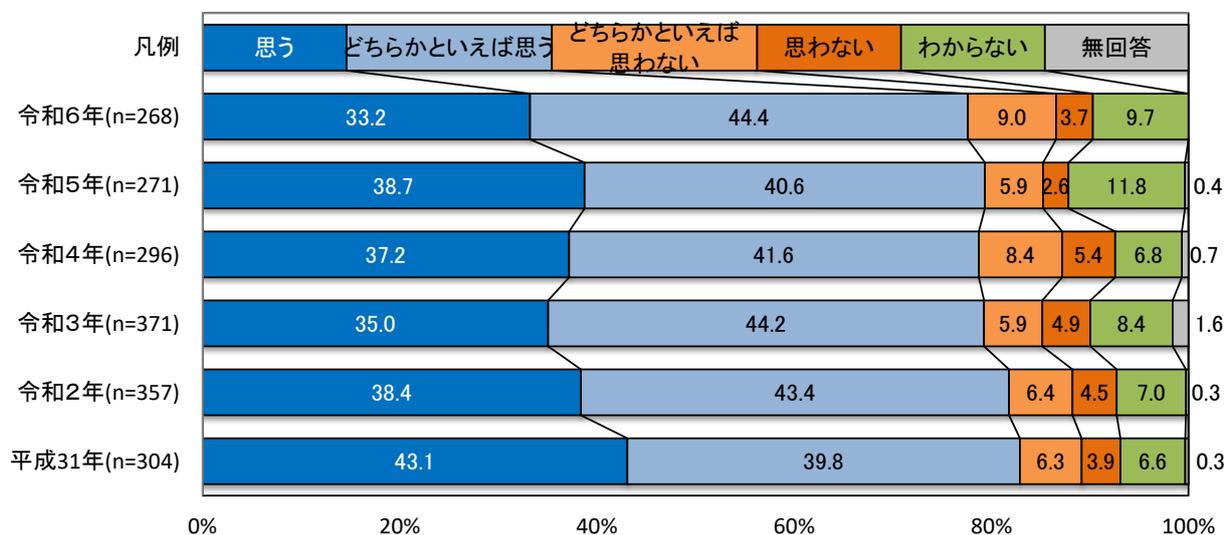
あなたは、生きがいを持って生活していると思いますか。

生きがいを持って生活していると思う人（「思う」+「どちらかといえば思う」）の割合は74.7%を占めている。思わない人（「思わない」+「どちらかといえば思わない」）は14.4%、「わからない」は10.8%となっている。
 前年度と比較して大きな差は認められない。
 なお、65歳以上のみで集計した場合をみると、思う人の割合が全世代の集計結果と比べ2.9ポイント高くなっている。



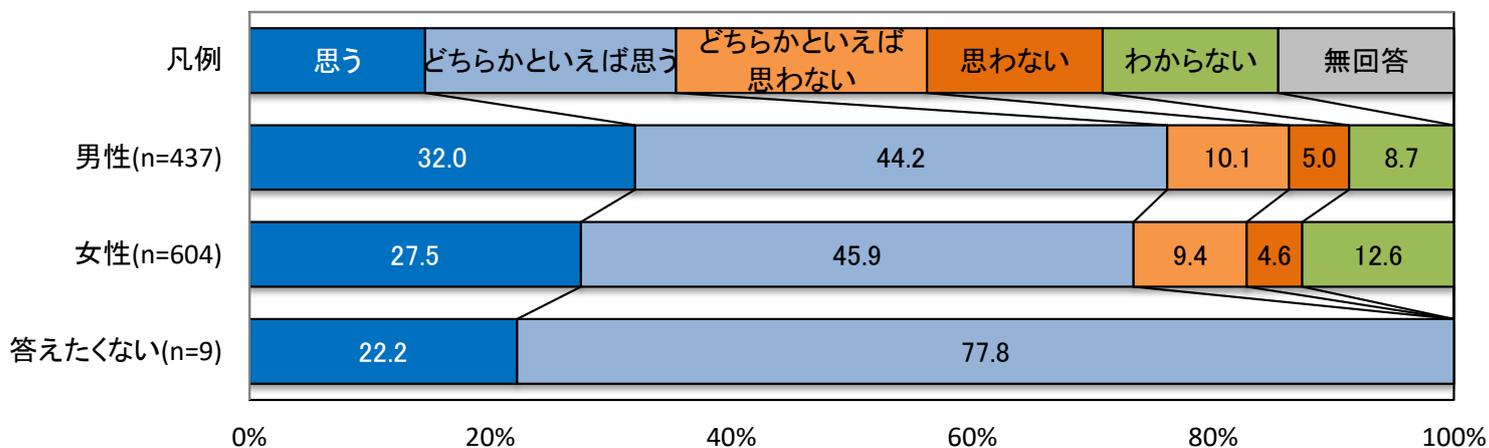
	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 思う	308	29.2	343	32.2	386	34.4	435	31.9	456	34.3	386	34.6
2 どちらかといえば思う	479	45.5	463	43.5	467	41.7	578	42.4	558	42.0	443	39.7
3 どちらかといえば思わない	101	9.6	85	8.0	80	7.1	100	7.3	80	6.0	71	6.4
4 思わない	51	4.8	52	4.9	66	5.9	77	5.6	85	6.4	89	8.0
5 わからない	114	10.8	119	11.2	118	10.5	156	11.4	148	11.1	121	10.8
6 無回答	0	0.0	2	0.2	4	0.4	17	1.2	2	0.2	6	0.5
合計	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

65歳以上



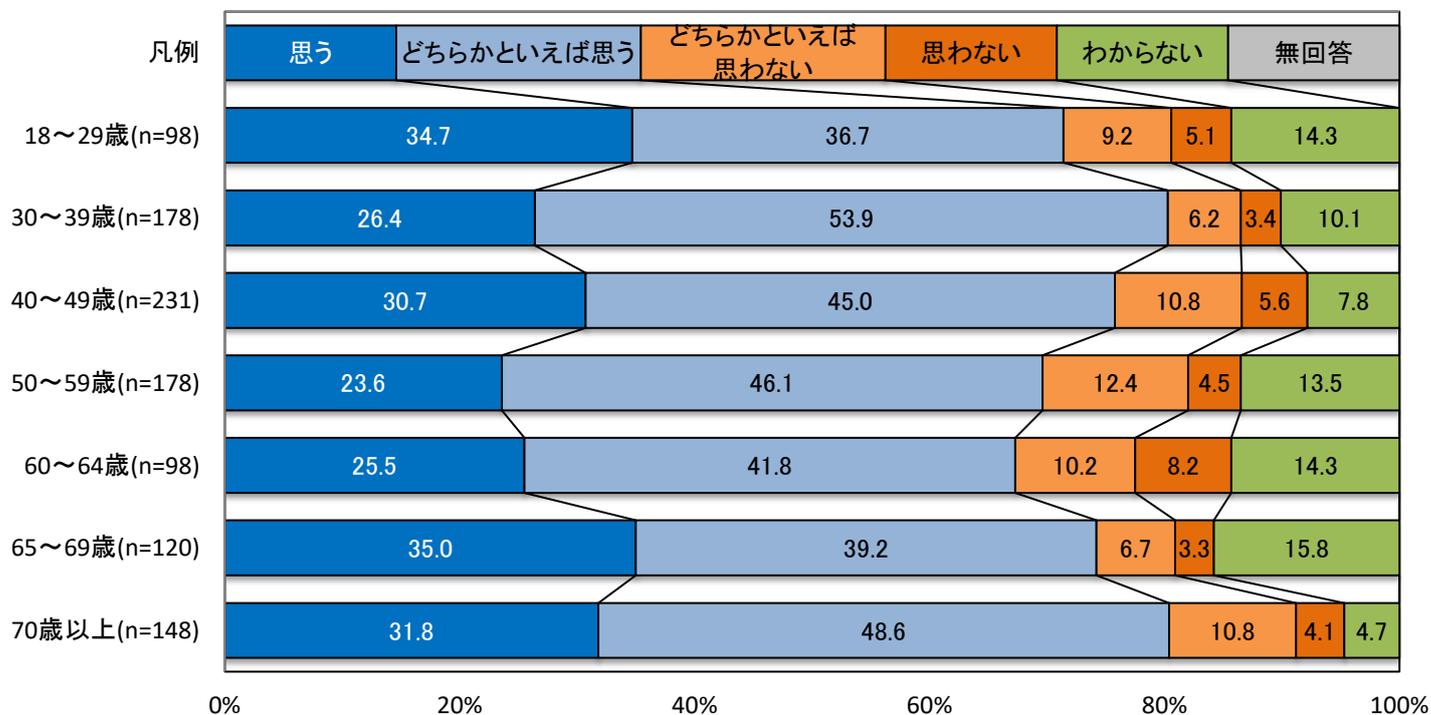
【性別】

●生きがいをもって生活していると思う人の割合は、男性の76.2%に対し女性は73.4%となっており、男性の割合がやや高い。



【年齢別】

●生きがいをもって生活していると思う人の割合は、70歳以上の80.4%が最も高く、これに30代の80.3%、40代の75.7%が続いている。一方、60～64歳で生きがいをもって生活していると思う人の割合は67.3%で最も低くなっている。

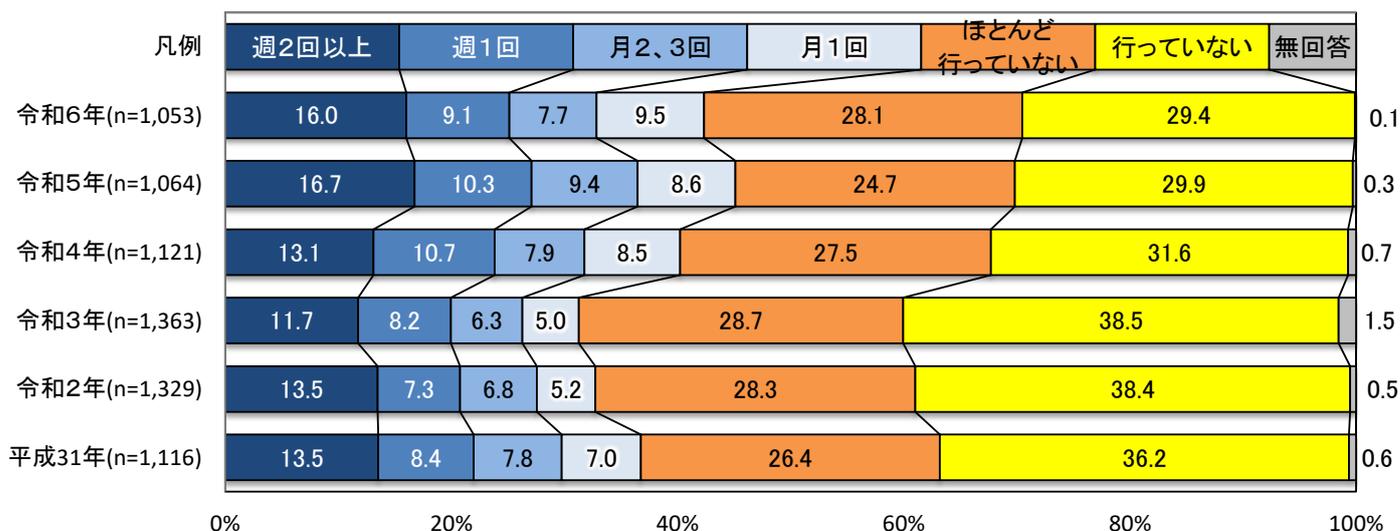


(2) 生涯学習について

①生涯学習の実施（問26）

あなたは、生涯学習（学び：文化活動、趣味、レクリエーション活動など）をどのくらい行っていますか。

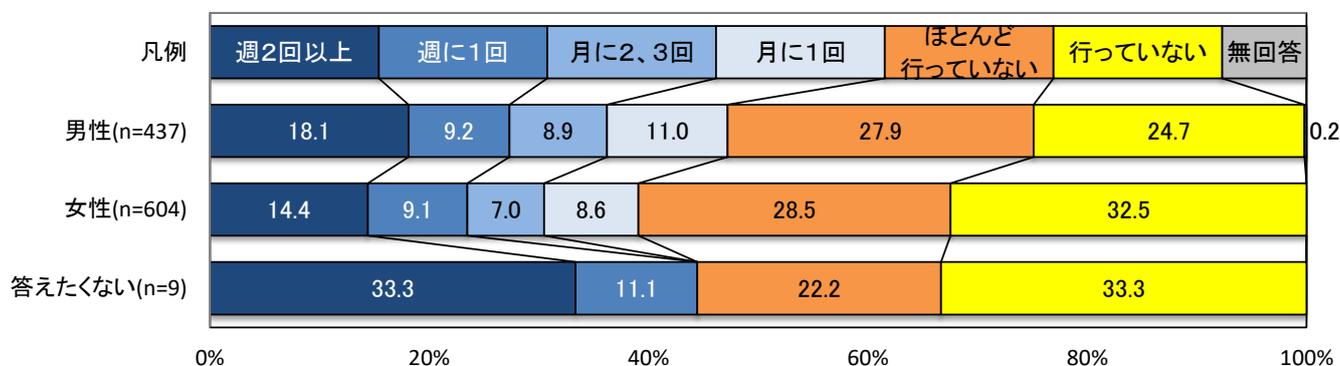
生涯学習を行っている人（月1回以上）の割合は42.3%、行っていない人（「ほとんど行っていない」+「行っていない」）の割合は57.5%となっている。
 行っている頻度をみると、「週2回以上」が16.0%で最も高くなっている。
 前年度と比較すると、行っている人の割合は、2.7ポイント減少している。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 週2回以上行っている	169	16.0	178	16.7	147	13.1	160	11.7	179	13.5	151	13.5
2 週1回行っている	96	9.1	110	10.3	120	10.7	112	8.2	97	7.3	94	8.4
3 月2、3回行っている	81	7.7	100	9.4	89	7.9	86	6.3	90	6.8	87	7.8
4 月1回行っている	100	9.5	92	8.6	95	8.5	68	5.0	69	5.2	78	7.0
5 ほとんど行っていない	296	28.1	263	24.7	308	27.5	391	28.7	376	28.3	295	26.4
6 行っていない	310	29.4	318	29.9	354	31.6	525	38.5	511	38.4	404	36.2
7 無回答	1	0.1	3	0.3	8	0.7	21	1.5	7	0.5	7	0.6
合計	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

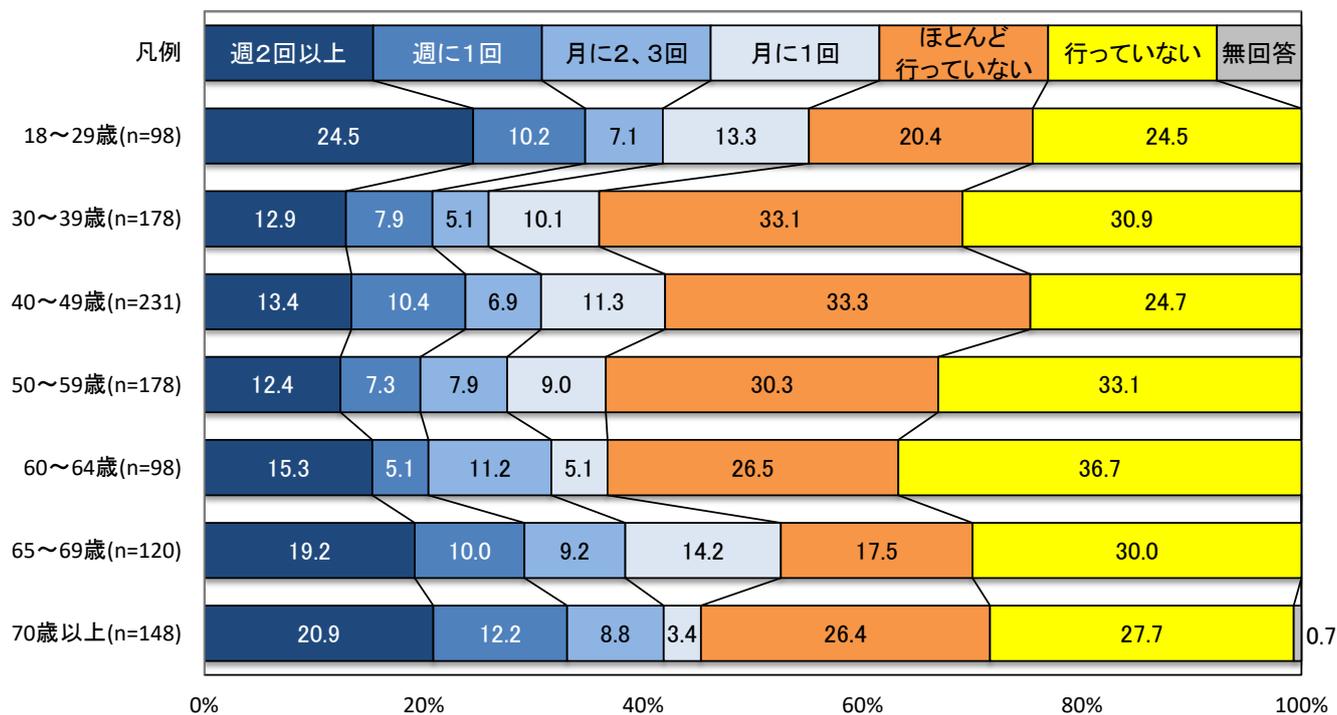
【性別】

●生涯学習を行っている人の割合は、男性 47.2%、女性 39.1%となっており、男性が女性より高くなっている。



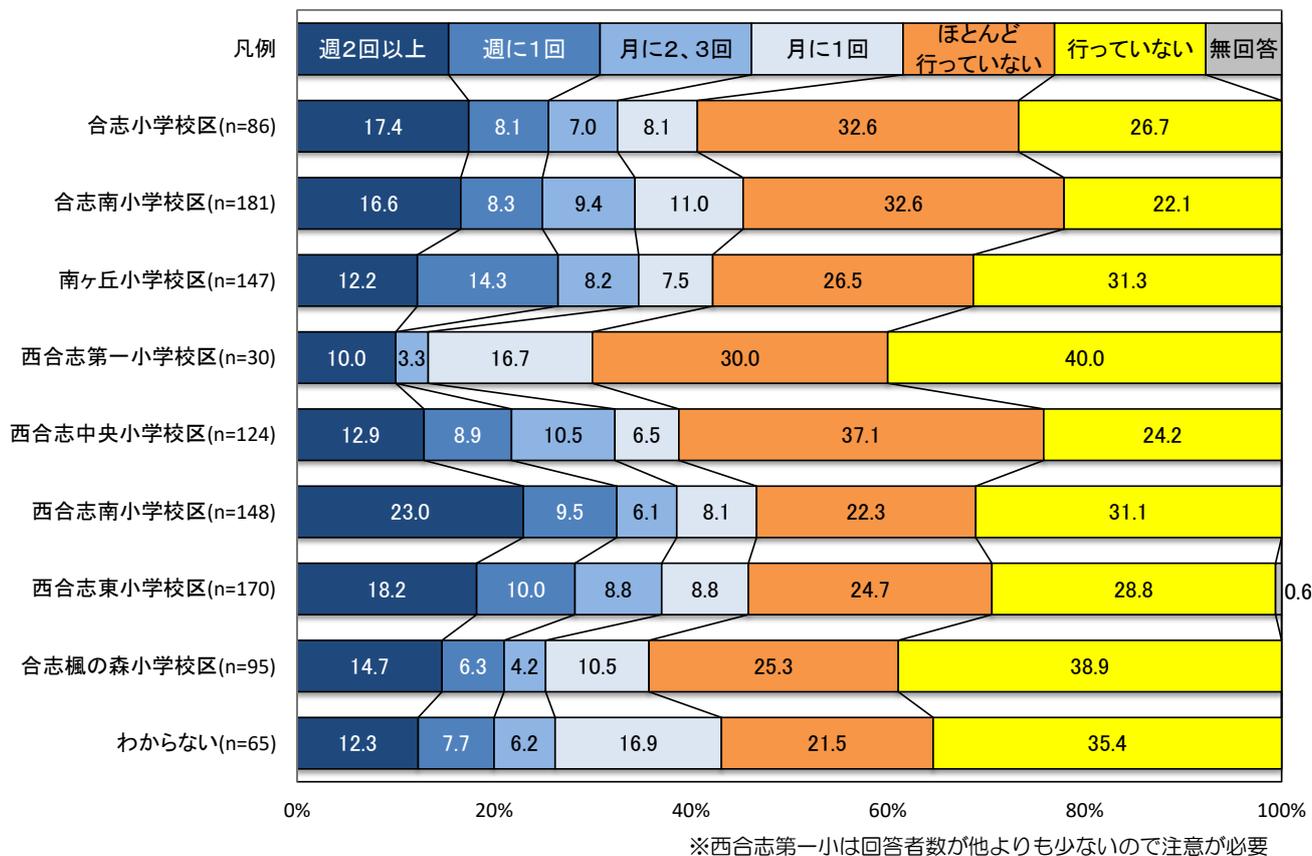
【年齢別】

●生涯学習を行っている人の割合は、20代以下で55.1%、65～69歳で52.6%となっており、他の年代に比べて高くなっている。また、30代、50代、60～64歳では30%台と低くなっていることがわかる。



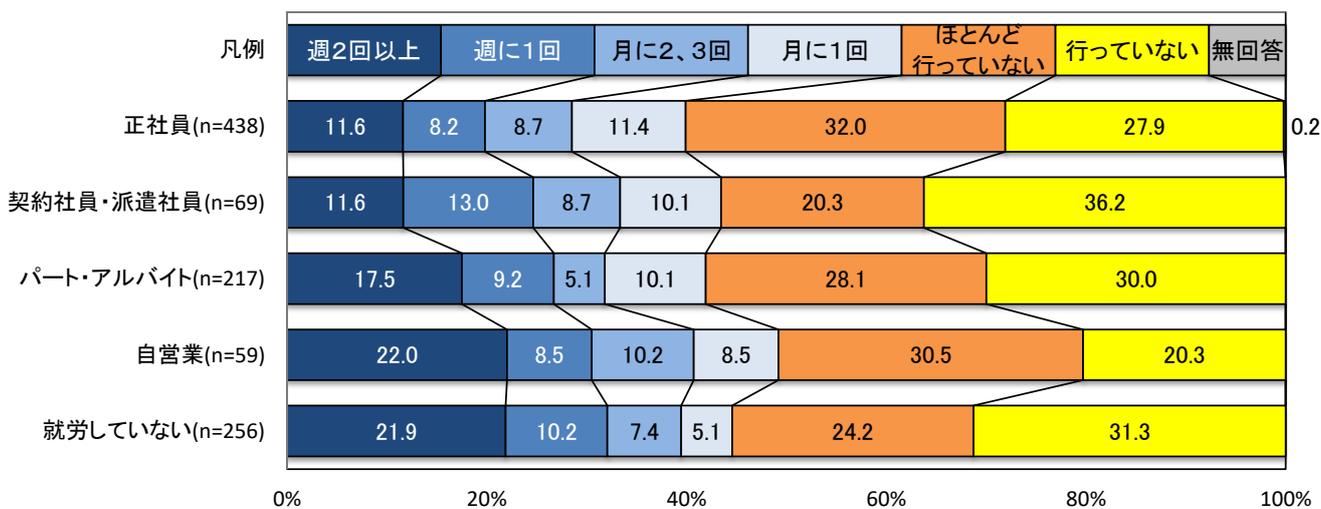
【校区別】

●生涯学習を行っている人の割合は、西合志第一小 30.0%（回答者数は 30 人）、合志楓の森小で 35.7%となっており、他の校区より低い。



【職業別】

●生涯学習を行っている人の割合は、正社員で 39.9%となっており、他の職業よりもやや低い。

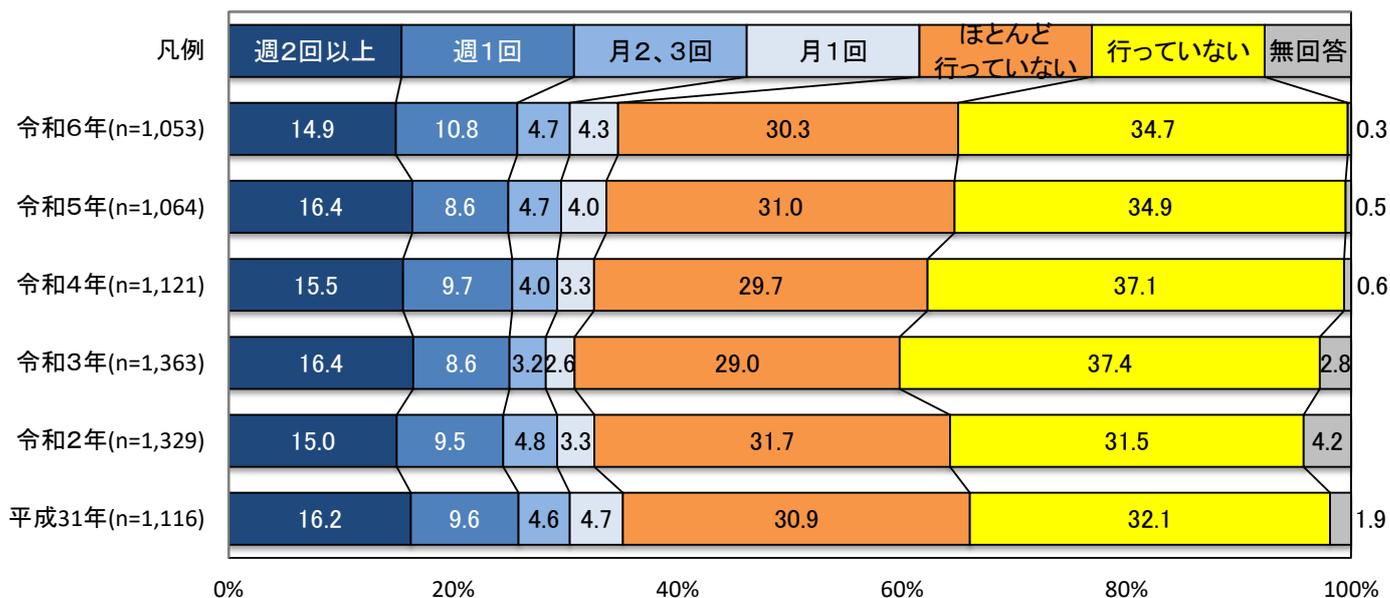


(3) スポーツについて

①スポーツの実施（問27）

あなたは、スポーツをどのくらい行っていますか。

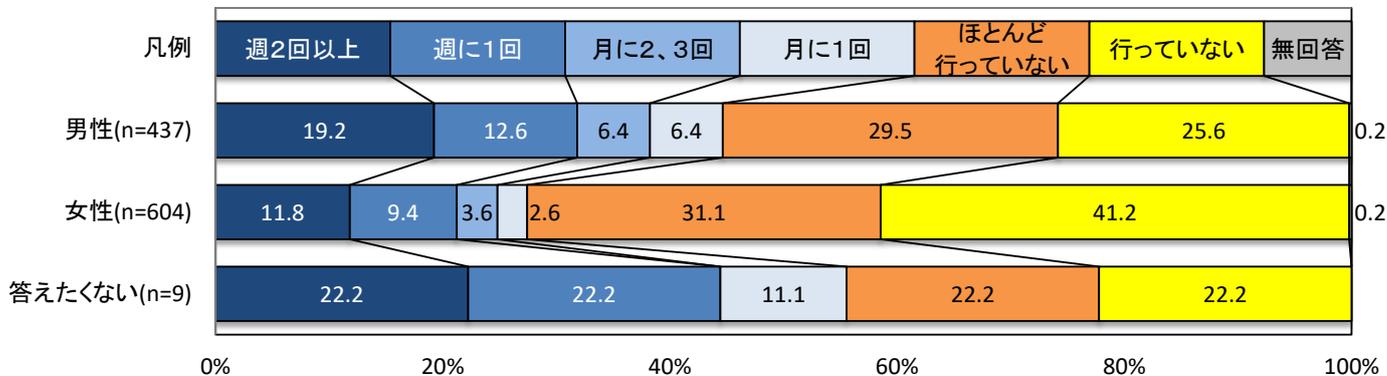
スポーツを行っている人（月1回以上）の割合は34.7%、行っていない人（「ほとんど行っていない」+「行っていない」）の割合は65.0%となっている。
 なお、行っている人の頻度では、「週2回以上」の14.9%が最も高くなっている。
 前年度と比較して大きな差は認められない。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 週2回以上行っている	157	14.9	174	16.4	174	15.5	224	16.4	199	15.0	181	16.2
2 週1回行っている	114	10.8	91	8.6	109	9.7	117	8.6	126	9.5	107	9.6
3 月2,3回行っている	50	4.7	50	4.7	45	4.0	44	3.2	64	4.8	51	4.6
4 月1回行っている	45	4.3	43	4.0	37	3.3	35	2.6	44	3.3	53	4.7
5 ほとんど行っていない	319	30.3	330	31.0	333	29.7	395	29.0	421	31.7	345	30.9
6 行っていない	365	34.7	371	34.9	416	37.1	510	37.4	419	31.5	358	32.1
7 無回答	3	0.3	5	0.5	7	0.6	38	2.8	56	4.2	21	1.9
合計	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

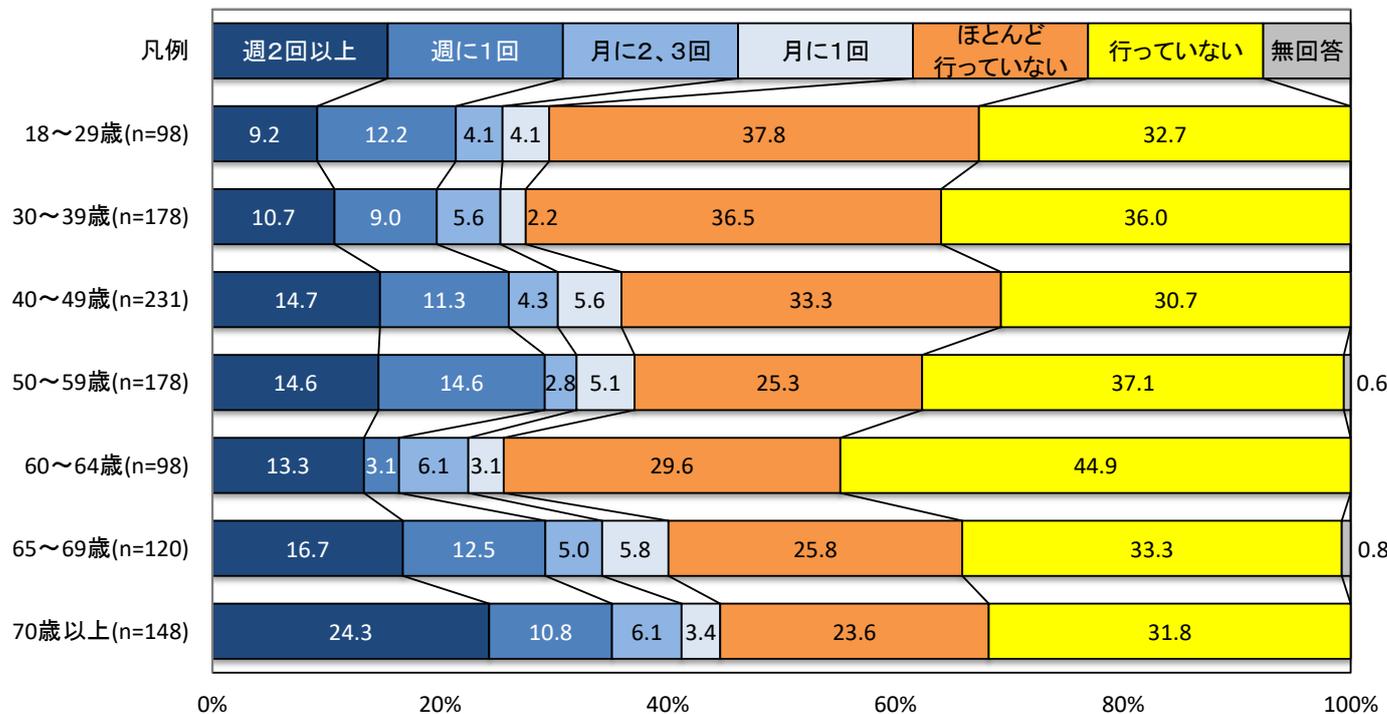
【性別】

- スポーツを行っている人の割合は、男性の44.6%に対し、女性は27.4%となっており、男性の割合が高くなっている。特に男性は「週2回以上」の高頻度の割合が19.2%となっている。



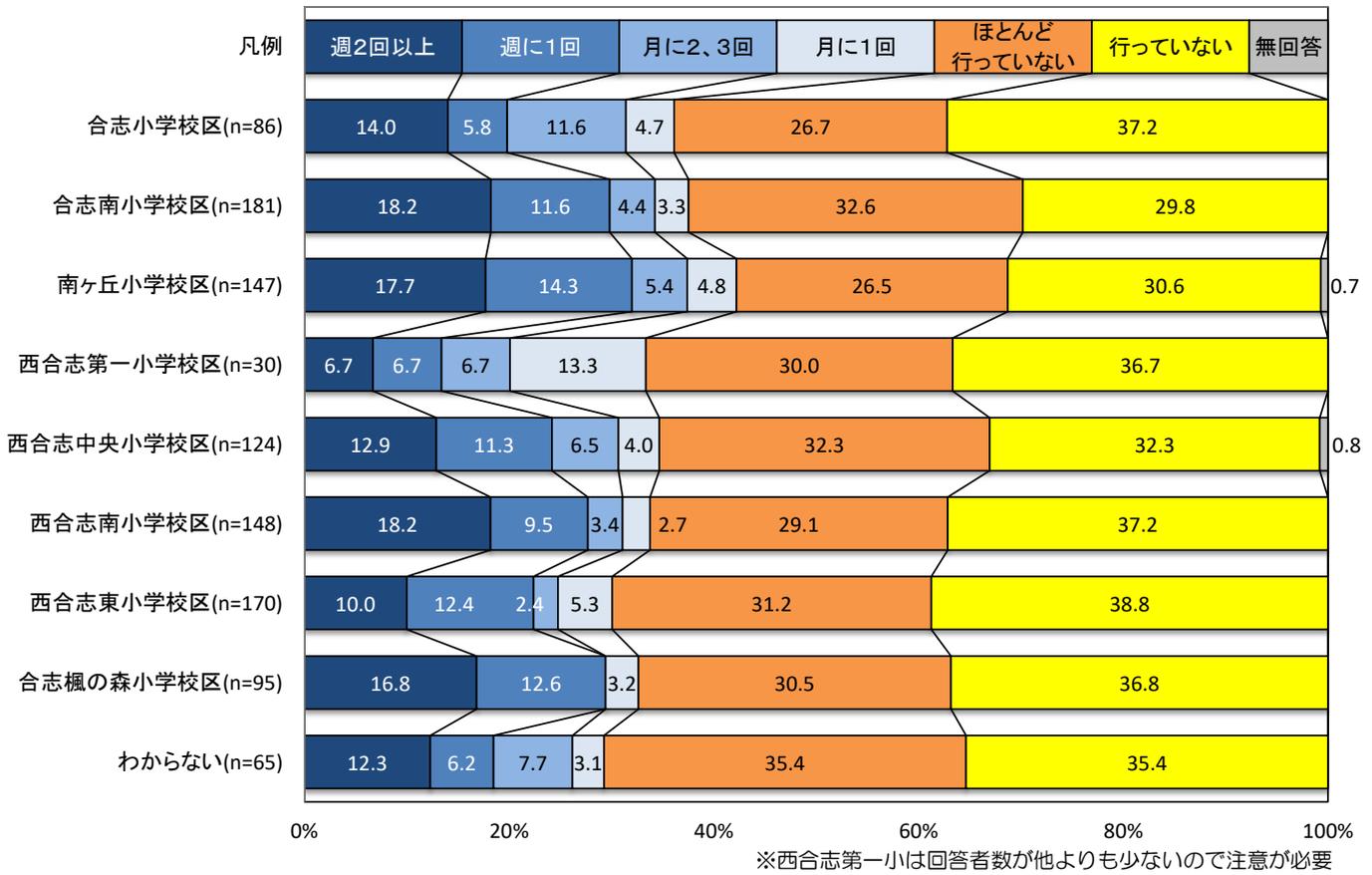
【年齢別】

- スポーツを行っている人の割合は、20代以下で29.6%となっているが、30代で27.5%に減少し、その後は60～64歳を除いて、年齢とともに概ね増加傾向が認められ、70歳以上では44.6%となっている。
- 行っていない人（「ほとんど行っていない」+「行っていない」）の割合は、30代以下、60～64歳で70%を超えており、他の年代よりも高い。



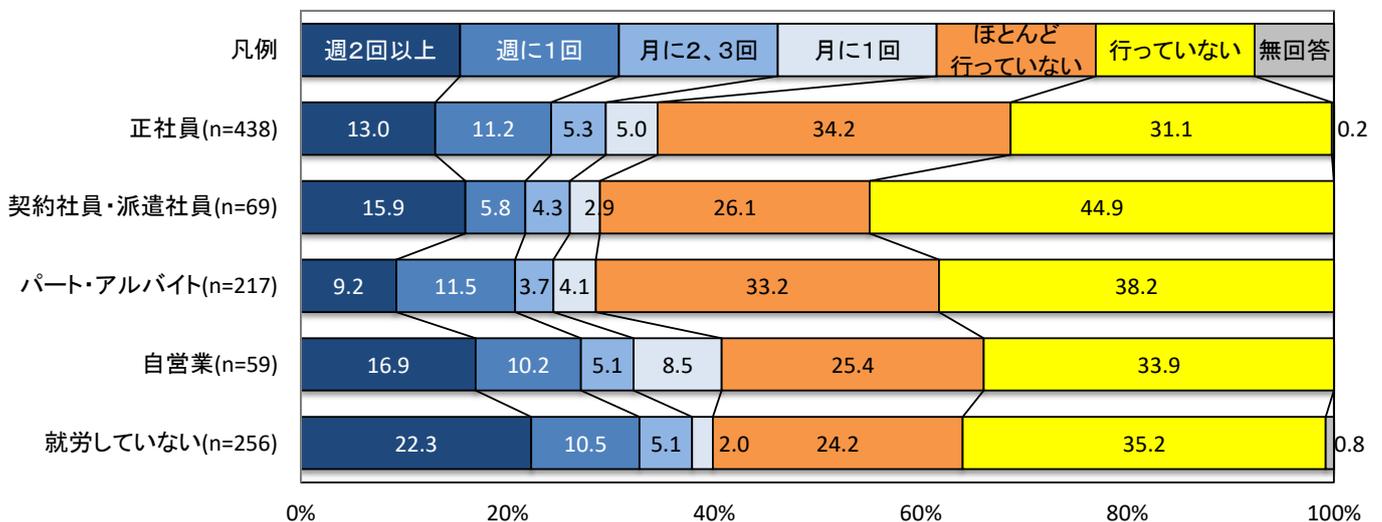
【校区別】

- スポーツを行っている人の割合は、南ヶ丘小が42.2%となっており、他の校区と比べて高くなっている。



【職業別】

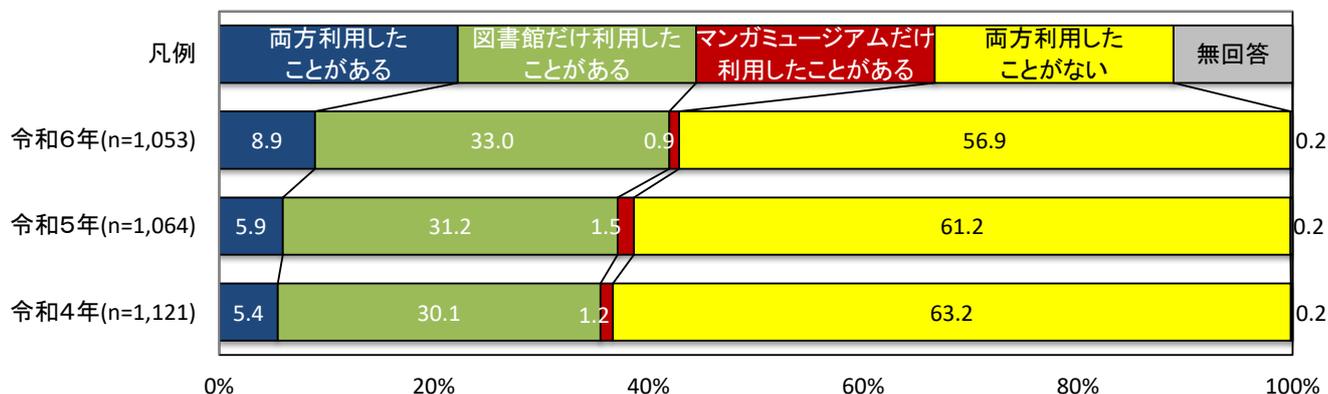
- スポーツを行っている人の割合は、自営業では40.7%となっており、他の職業に比べて高い。
- また、契約社員・派遣社員とパート・アルバイトでは、スポーツを行っている人の割合がどちらも3割未満となっている。



(4) 図書館の利用(問28)

あなたは、過去1年間で合志市立図書館と合志マンガミュージアムを利用したことがありますか。

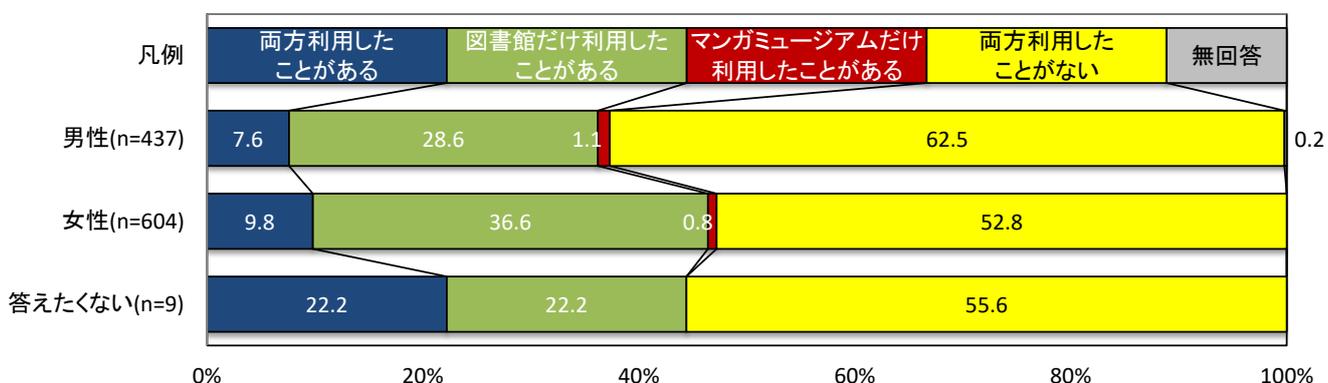
過去1年間に、図書館またはマンガミュージアムを利用したことがある人の割合は42.8%となっている。「両方利用したことがない」人は56.9%となっている。
前年度と比べると、過去1年間の利用者の割合が4.2ポイント増加している。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	人	%	人	%	人	%
1 両方利用したことがある	94	8.9	63	5.9	61	5.4
2 合志市立図書館だけ利用したことがある	348	33.0	332	31.2	337	30.1
3 合志マンガミュージアムだけ利用したことがある	10	0.9	16	1.5	13	1.2
4 両方利用したことがない	599	56.9	651	61.2	708	63.2
5 無回答	2	0.2	2	0.2	2	0.2
合計	1,053	100.0	1064	100.0	1121	100.0

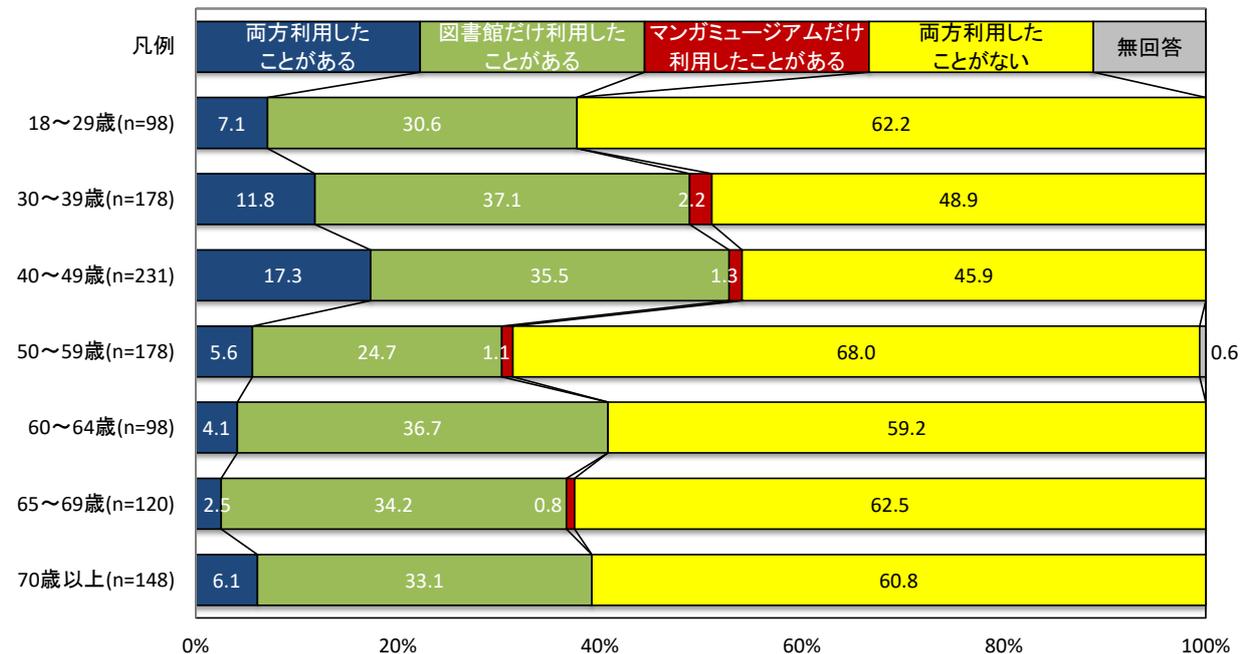
【性別】

- 過去1年間に図書館またはマンガミュージアムを利用したことがある人の割合は、男性37.3%、女性47.2%となっており、女性が男性を上回っている。



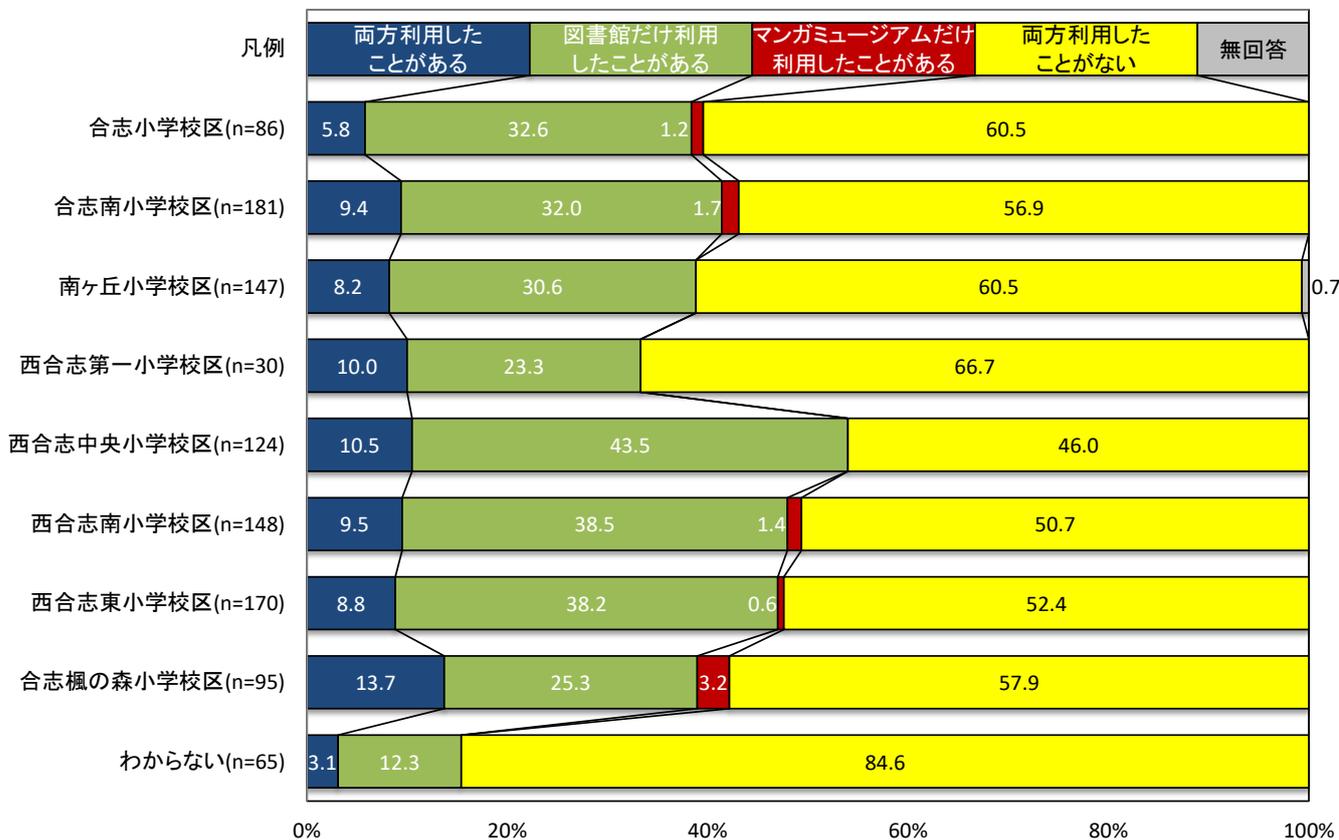
【年齢別】

●過去1年間に図書館またはマンガミュージアムを利用したことがある人の割合は、40代54.1%、30代51.1%となっており、他の年代と比べて高くなっている。



【校区別】

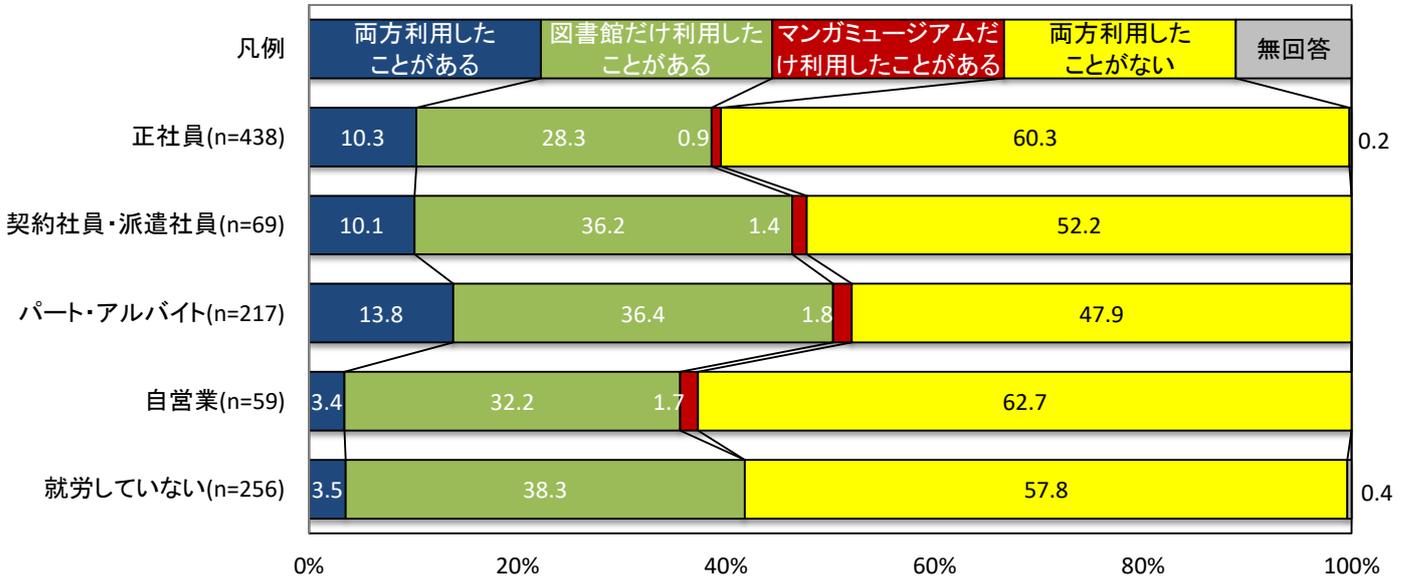
●過去1年間に図書館またはマンガミュージアムを利用したことがある人の割合は、西合志中央小、西合志南小、西合志東小で5割前後となっており、他の小学校区と比べ高くなっている。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

【職業別】

●過去1年間に図書館またはマンガミュージアムを利用したことがある人の割合は、パート・アルバイトで52.0%となっており、他の職業に比べて高い。

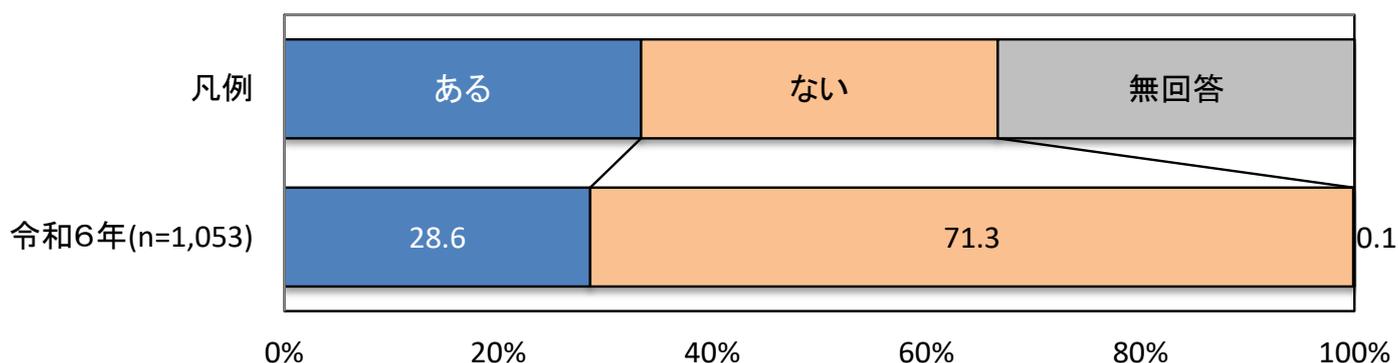


5. 総合健康センター「ユーパレス弁天」について

(1) ユーパレス弁天利用（問29）

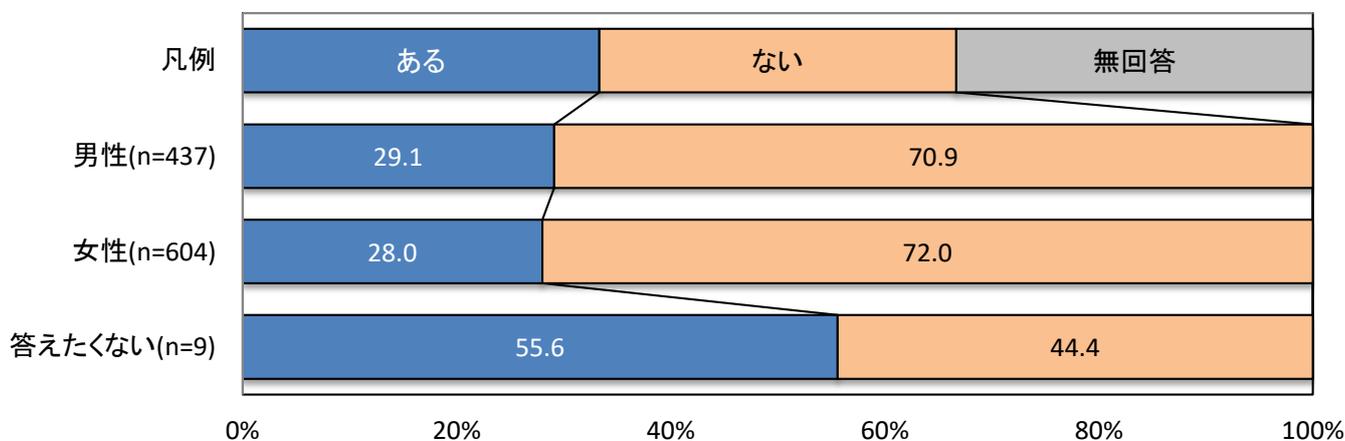
あなたは過去1年間で、総合健康センター「ユーパレス弁天」を利用しましたか？

過去1年間に、ユーパレス弁天を利用したことがある人の割合は28.6%となっており、利用していないが7割を超えている。



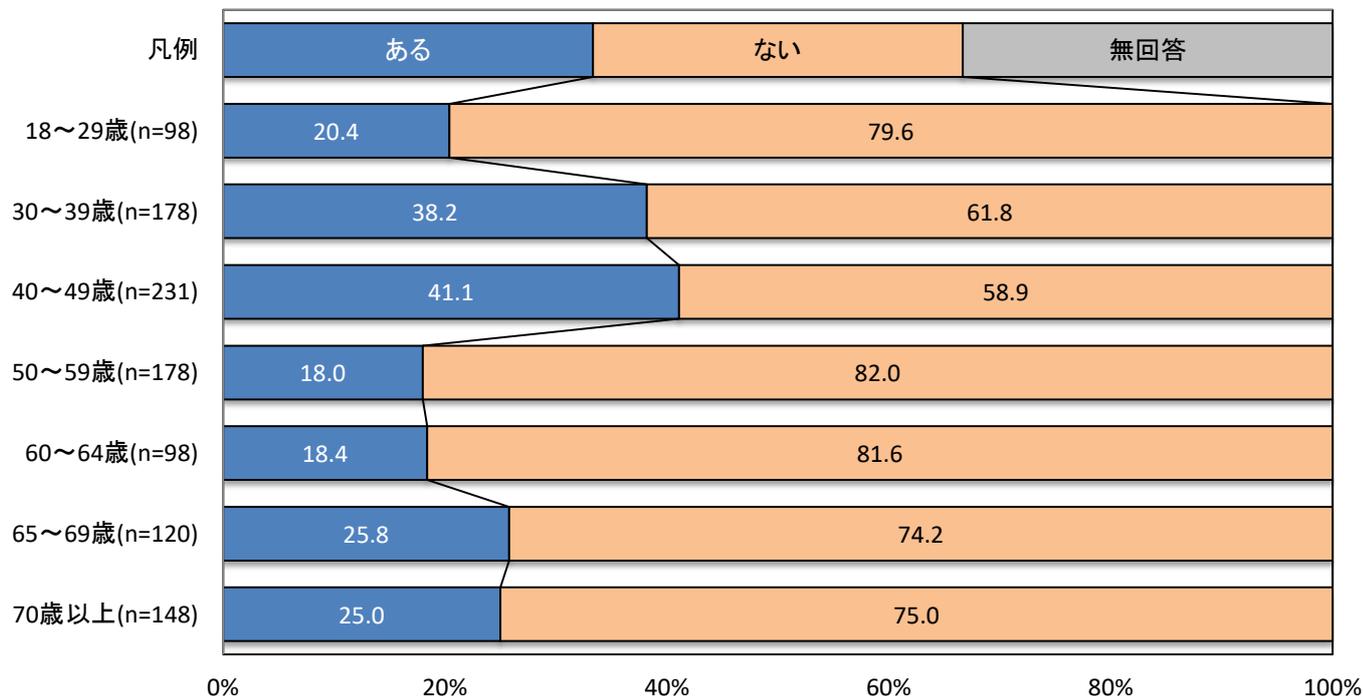
【性別】

- 過去1年間にユーパレス弁天を利用したことがある人の割合は、男性29.1%、女性28.0%となっており、性別による大きな差は認められない。



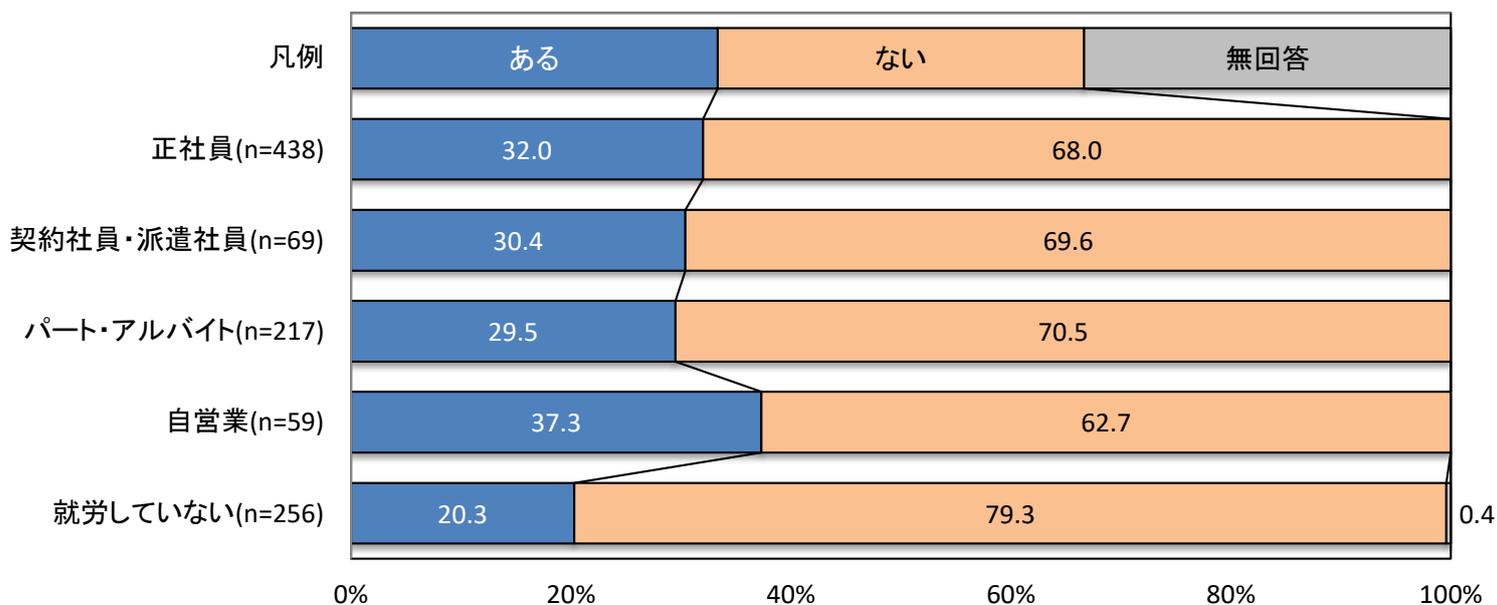
【年齢別】

●過去1年間にユーパレス弁天を利用したことのある人の割合は、30代、40代が4割前後となっており、他の年代と比べて高くなっている。



【職業別】

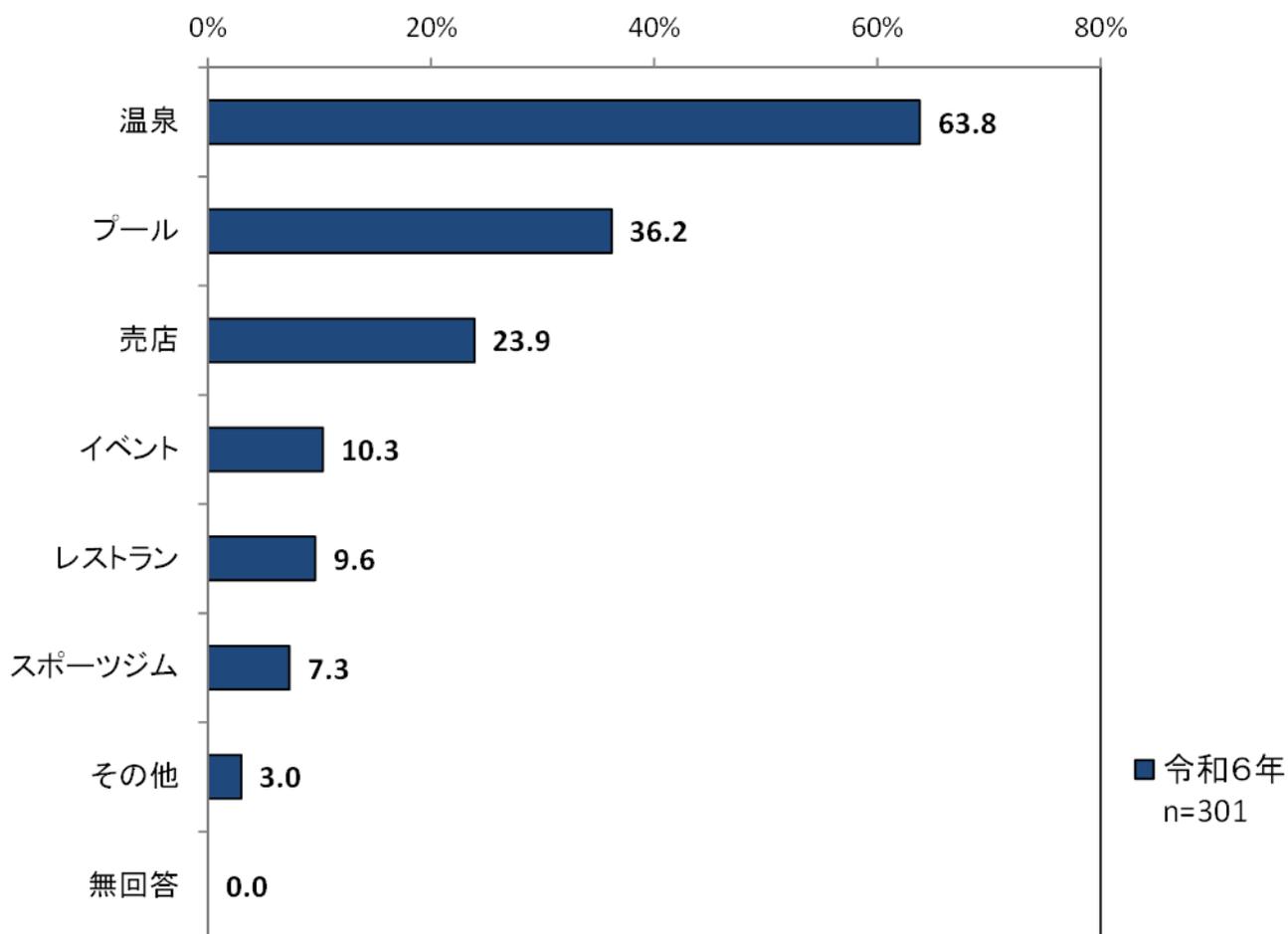
●過去1年間にユーパレス弁天を利用したことのある人の割合は、自営業で37.3%となっており、他の職業に比べて高い。



(2) 利用目的 (問30)

何の目的で利用しましたか。(複数回答可)

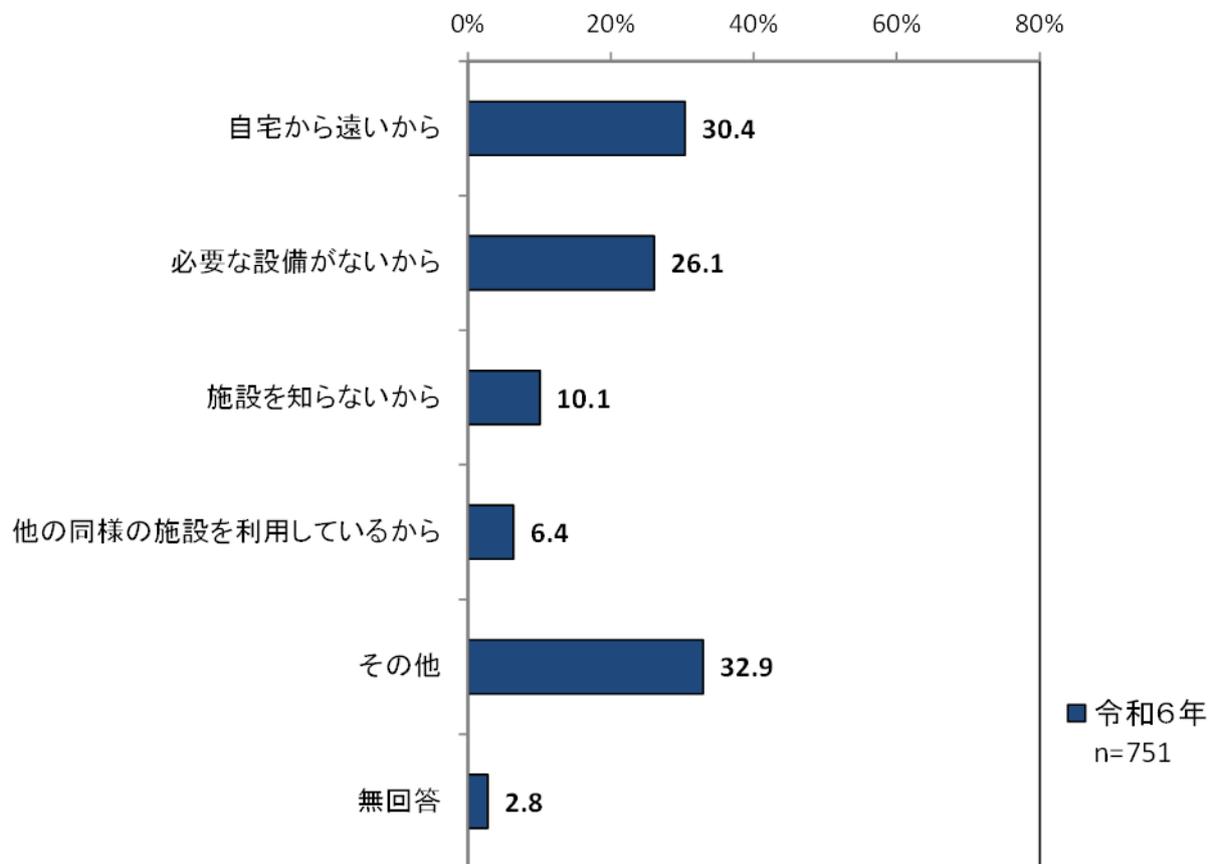
ユーパレス弁天の利用目的としては、「温泉」が 63.8%で最も高く、「プール」が 36.2%、「売店」が 23.9%と続いている。



(3) 非利用理由 (問31)

利用しなかったのはなぜですか。(複数回答可)

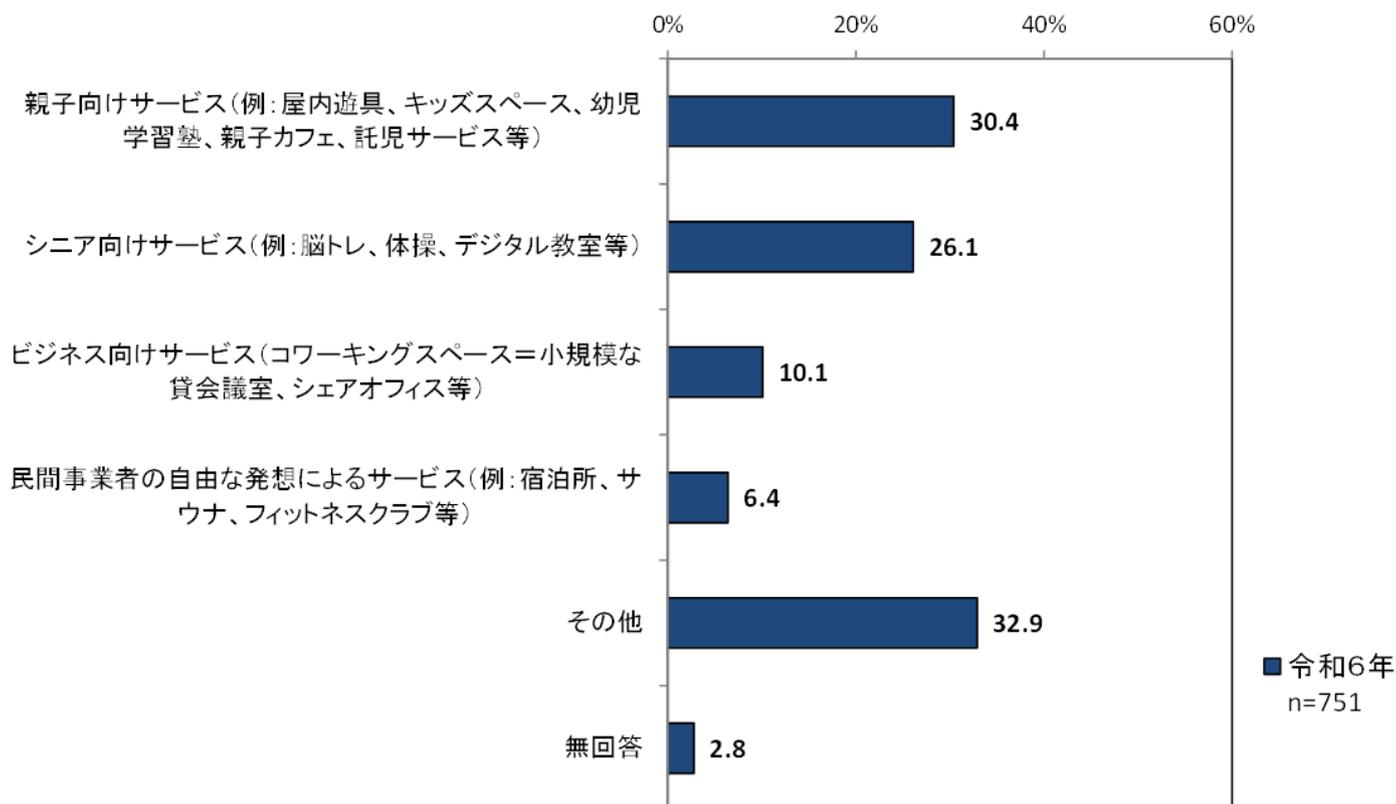
ユーパレス弁天を利用しなかった理由として、「自宅から遠いから」が30.4%、「必要な設備がないから」が26.1%と高くなっている。



(4) 希望する機能 (問32)

利用しなかった人は、ユーパレス弃天にどんな機能があったら利用したいと思いますか。(上位2つまで選択可)

ユーパレス弃天に希望する機能として、「親子向けサービス」が30.4%で最も高く、「シニア向けサービス」が26.1%が続いている。



生活環境について

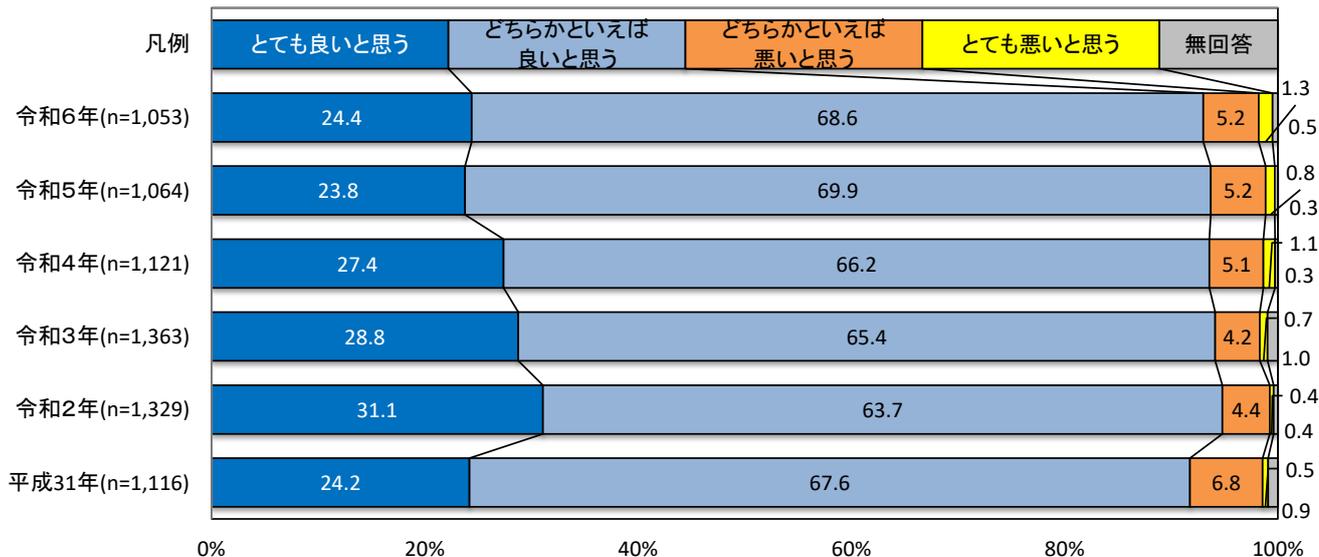
1. 住環境の評価

(1) 住環境評価（問46）

あなたの住んでいるところは、良い住環境だと思いますか？

住環境について、良い（「とても良い」+「どちらかといえば良い」）とする人の割合は93.0%となっており、悪い（「とても悪い」+「どちらかといえば悪い」）とする人の割合は6.5%となっている。

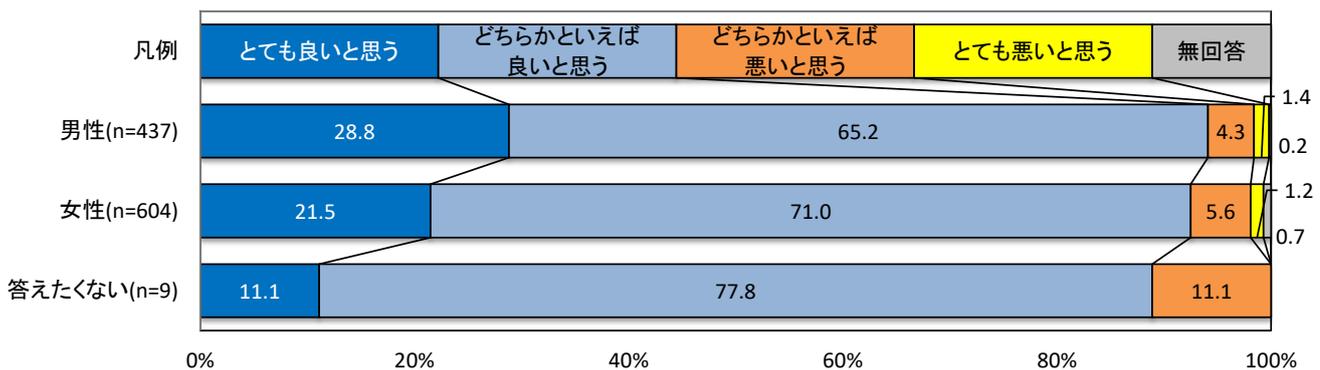
前年度と比較して、大きな差は認められない。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 とても良いと思う	257	24.4	253	23.8	307	27.4	392	28.8	413	31.1	270	24.2
2 どちらかといえば良いと思う	722	68.6	744	69.9	742	66.2	891	65.4	847	63.7	754	67.6
3 どちらかといえば悪いと思う	55	5.2	55	5.2	57	5.1	57	4.2	59	4.4	76	6.8
4 とても悪いと思う	14	1.3	9	0.8	12	1.1	10	0.7	5	0.4	6	0.5
5 無回答	5	0.5	3	0.3	3	0.3	13	1.0	5	0.4	10	0.9
合計	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

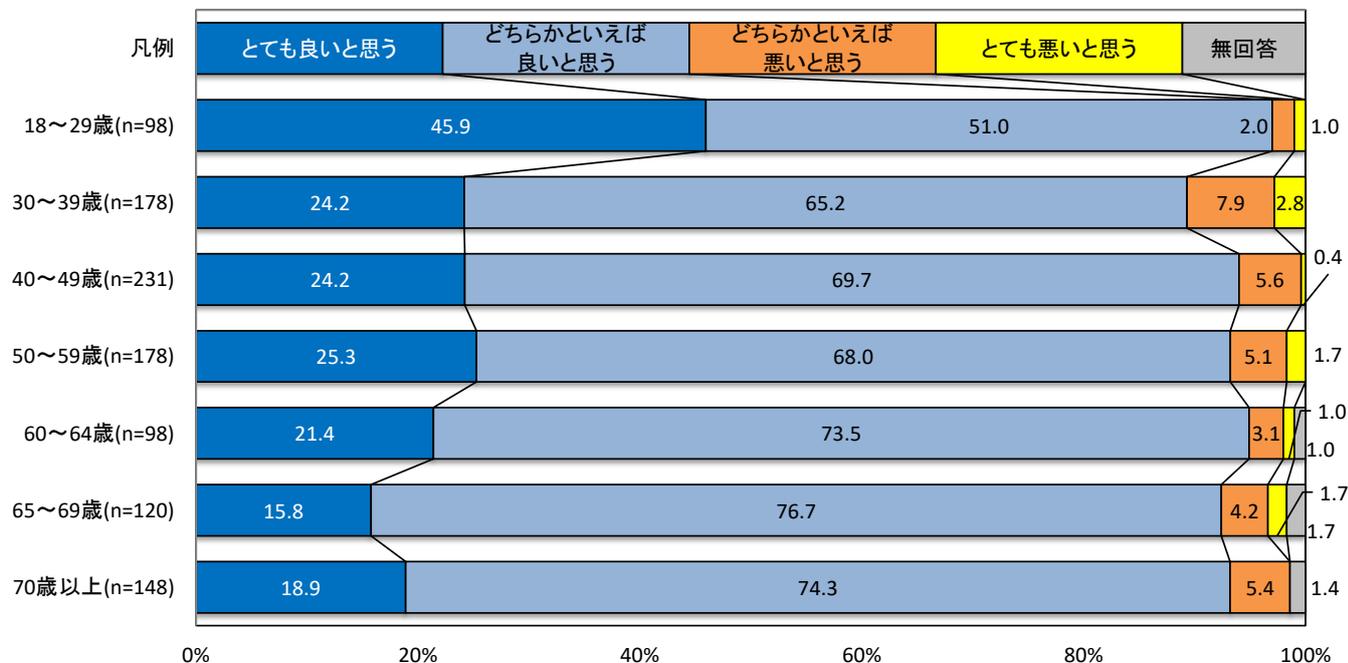
【性別】

●住環境について、「とても良い」と回答した人の割合は、男性で28.8%、女性で21.5%となっており、男性がやや多くなっている。



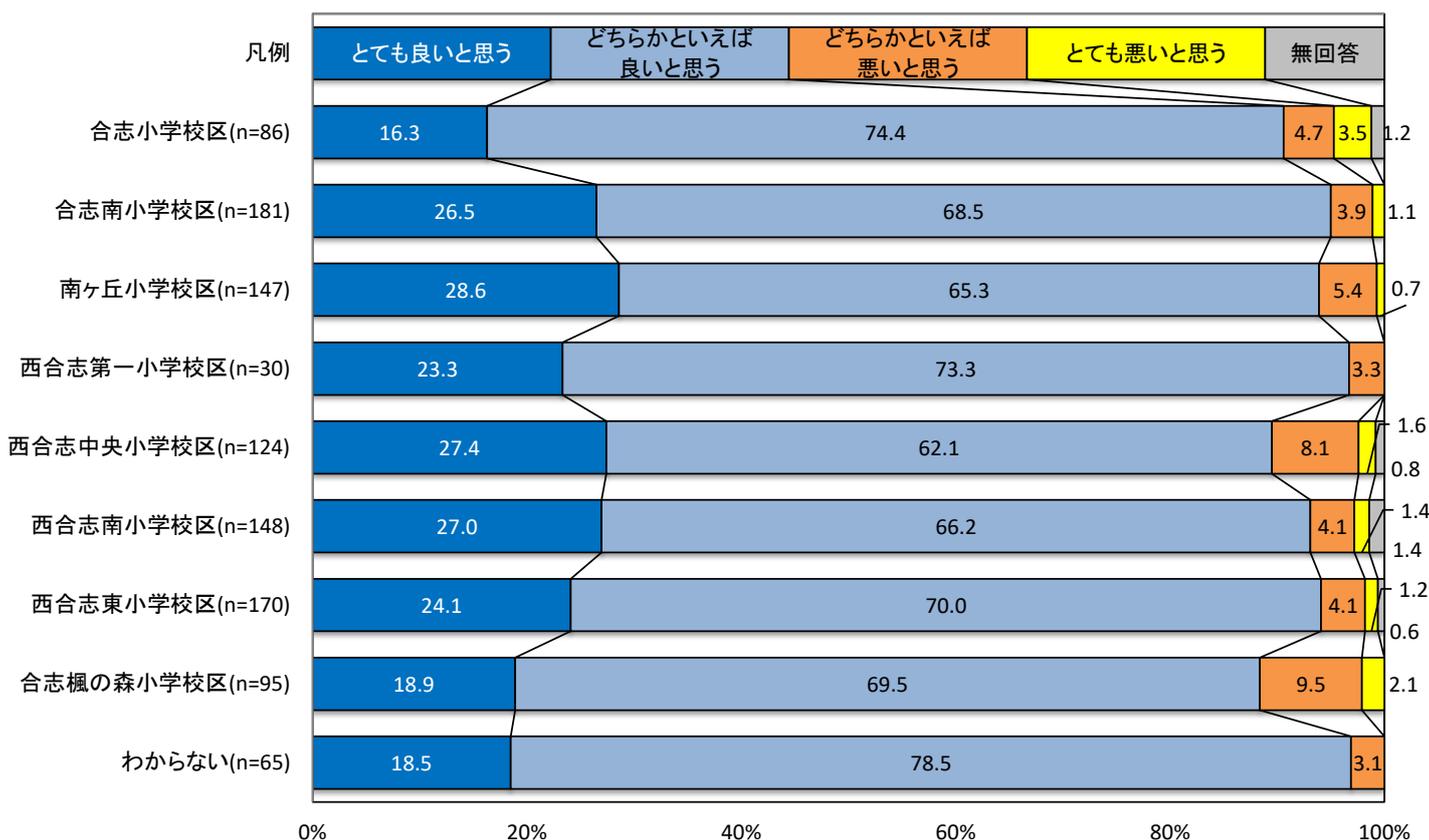
【年齢別】

- 住環境について、良いとする割合については、各年代で90%前後を占め大きな差は認められない。
- とても良いとする割合は、20代以下の45.9%が最も高く、その割合は30代から60～64歳までは20%台で推移し、その後は65～69歳15.8%、70歳以上で18.9%とやや低くなっている。



【校区別】

- 住環境について良いとする割合は、全ての校区で9割前後となっており、南ヶ丘小、西合志中央小、西合志南小、合志南小では「とても良い」が30%弱となっている。



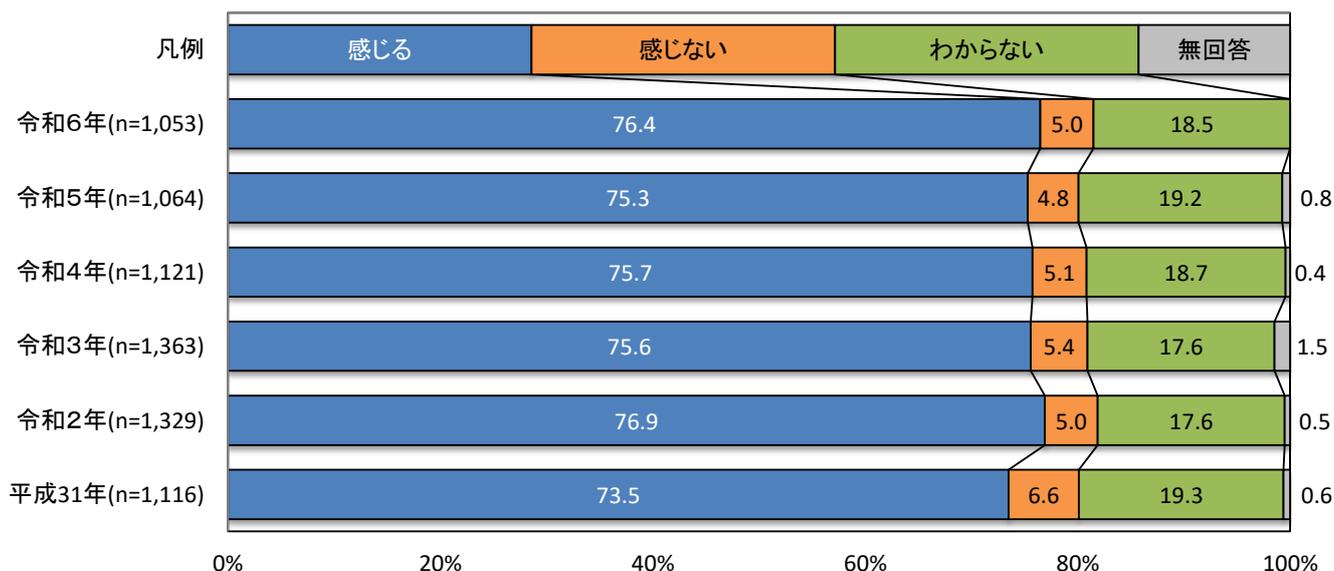
(2) 住み慣れた地域 (問24)

あなたは、住み慣れた地域で生活できていると感じますか。

住み慣れた地域で生活できていると「感じる」人の割合は 76.4%となっており、「感じない」は 5.0%、「わからない」は 18.5%となっている。

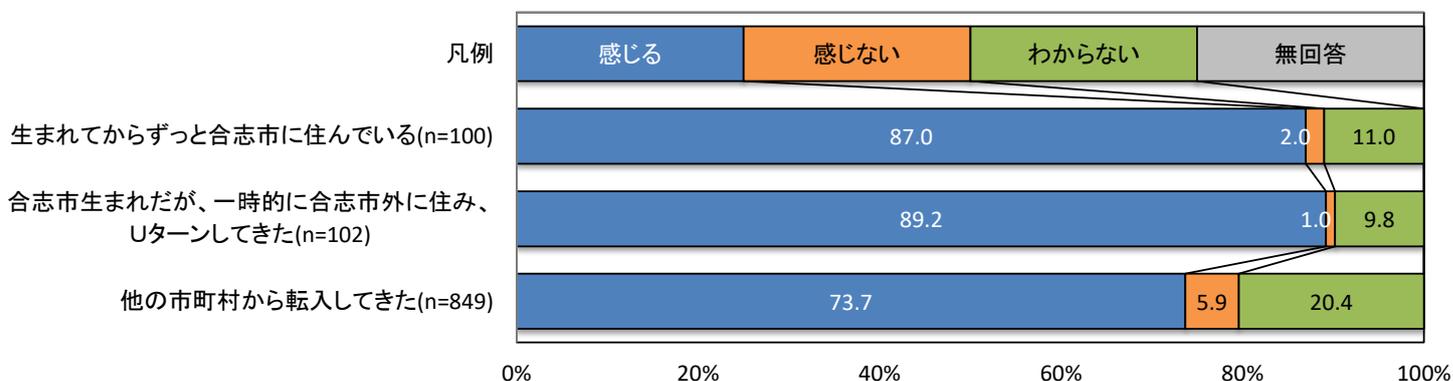
前年度と比較して大きな差は認められない。

なお、居住パターンにおいて、以前から市内に居住している人と U ターンした人と比較しても、大きな差は認められないが、転入者については、住み慣れた地域で生活できていると「感じる」人の割合がやや低くなっている。



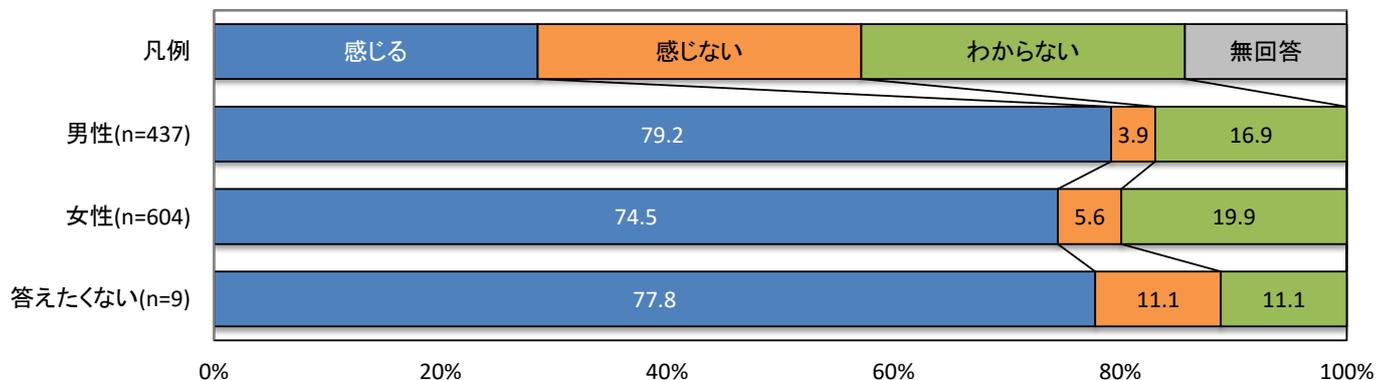
	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 感じる	805	76.4	801	75.3	849	75.7	1030	75.6	1022	76.9	820	73.5
2 感じない	53	5.0	51	4.8	57	5.1	73	5.4	66	5.0	74	6.6
3 わからない	195	18.5	204	19.2	210	18.7	240	17.6	234	17.6	215	19.3
4 無回答	0	0.0	8	0.8	5	0.4	20	1.5	7	0.5	7	0.6
合計	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

居住パターン



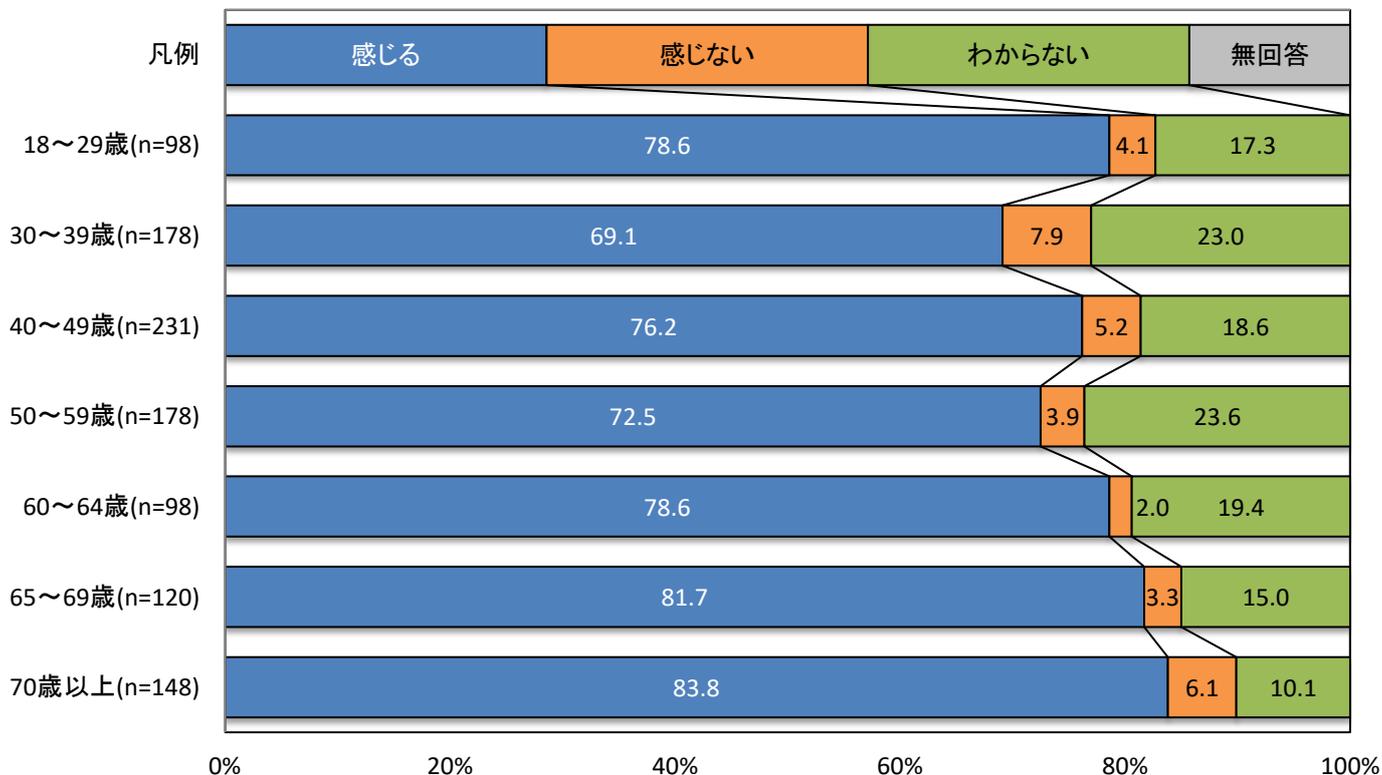
【性別】

●住み慣れた地域で生活できていると感じる人の割合について、男性が79.2%、女性が74.5%と、男性がやや高くなっている。



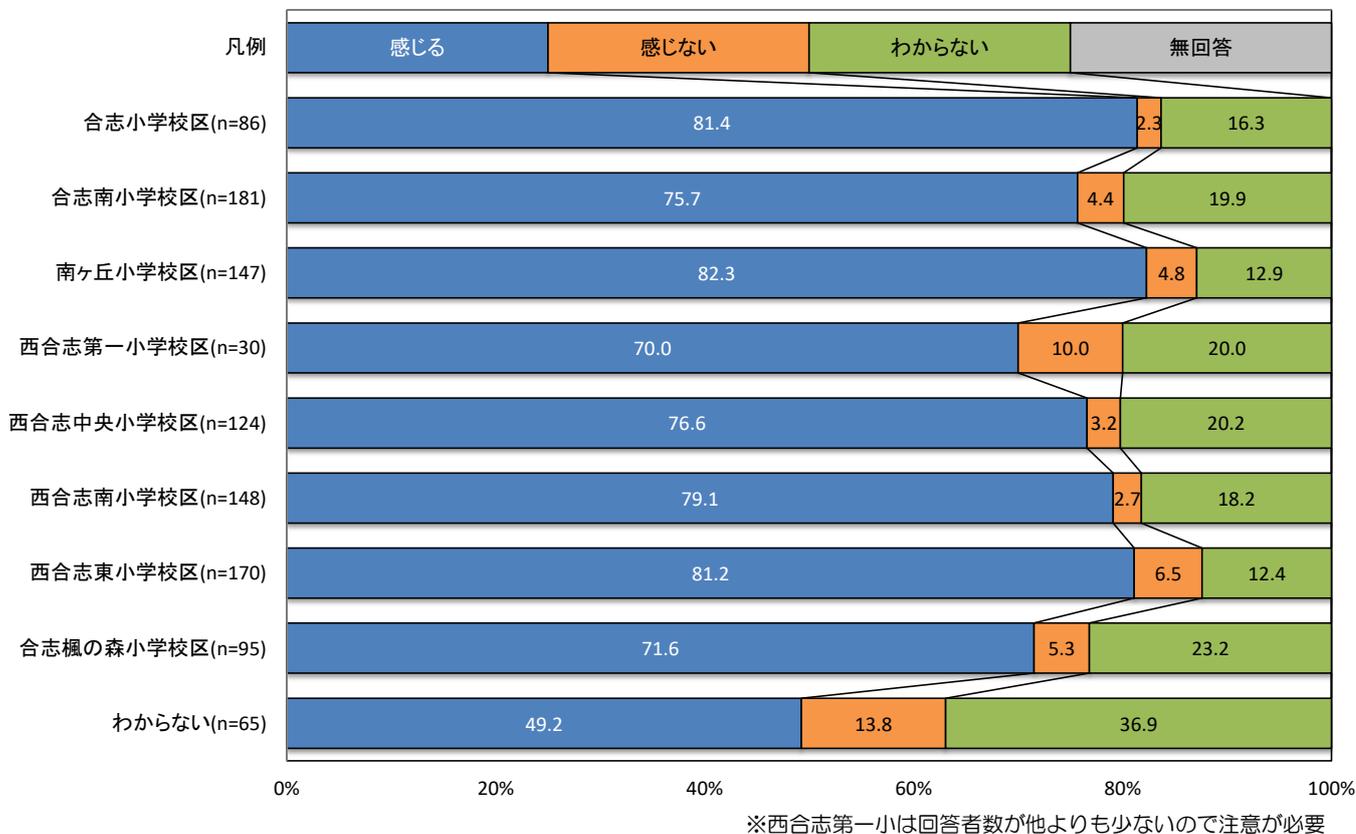
【年齢別】

●住み慣れた地域で生活できていると感じる人の割合は、概ね80%前後で推移しているが、30代、50代では70%前後とやや低くなっている。



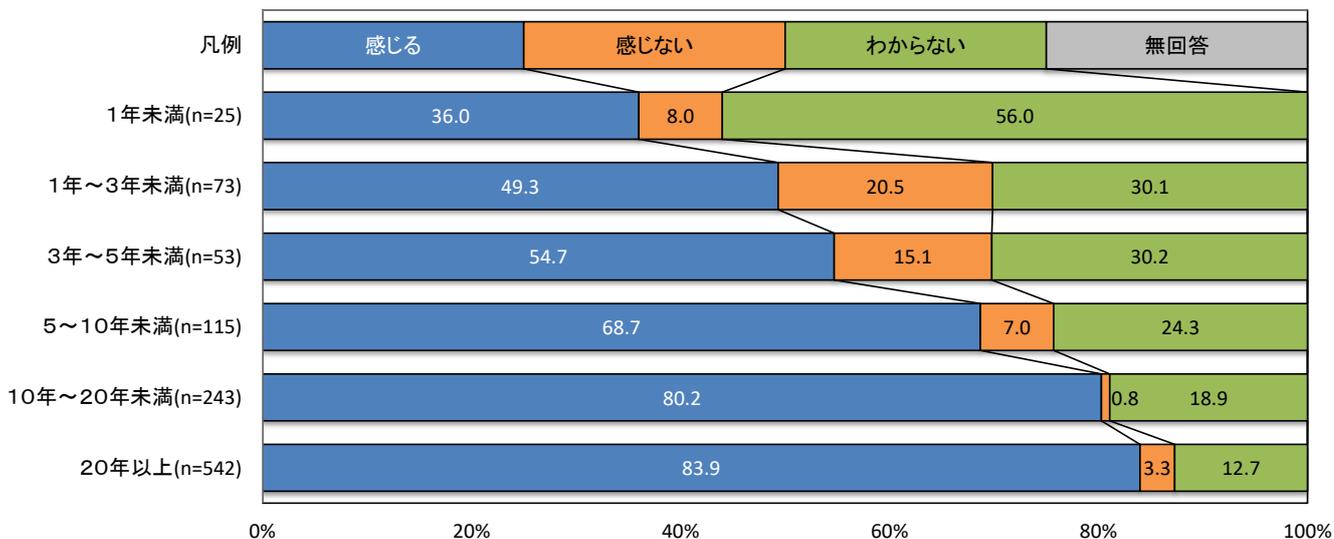
【校区別】

●住み慣れた地域で生活できていると感じる人の割合は、合志小、南ヶ丘小、西合志東小で8割を超えており、他の校区よりやや高い。



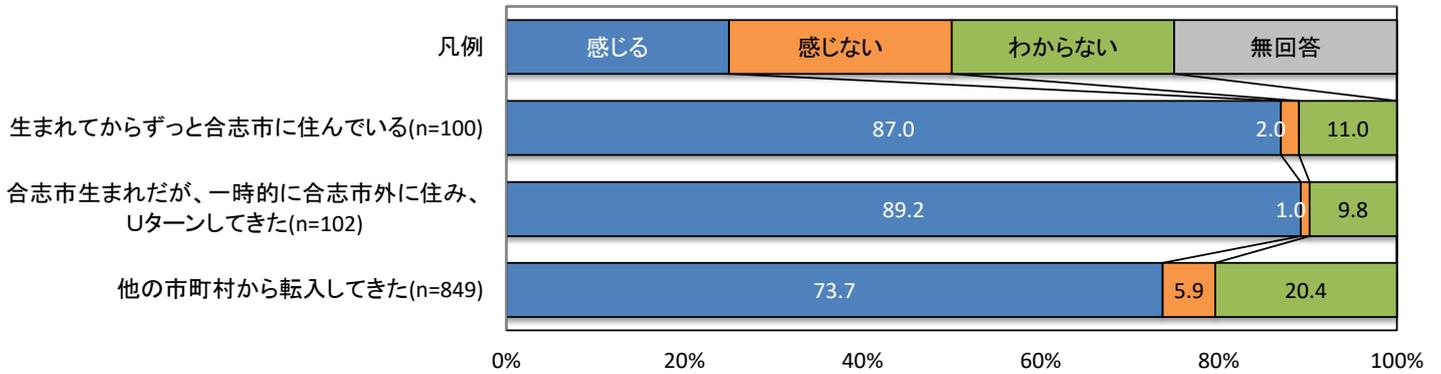
【居住年数別】

●居住年数が長くなるにつれ、住み慣れた地域で生活できていると感じている人の割合は高くなっていく。居住年数が3年以上になると、半数以上が住み慣れた地域と感じている。



【出身地別】

●住み慣れた地域で生活できていると感じる人の割合は、転出なく合志市に住んでいる人では87.0%、Uターンして住んでいる人は89.2%と9割に近いが、転入で住んでいる人では73.7%とやや低くなっている。



2. 交通について

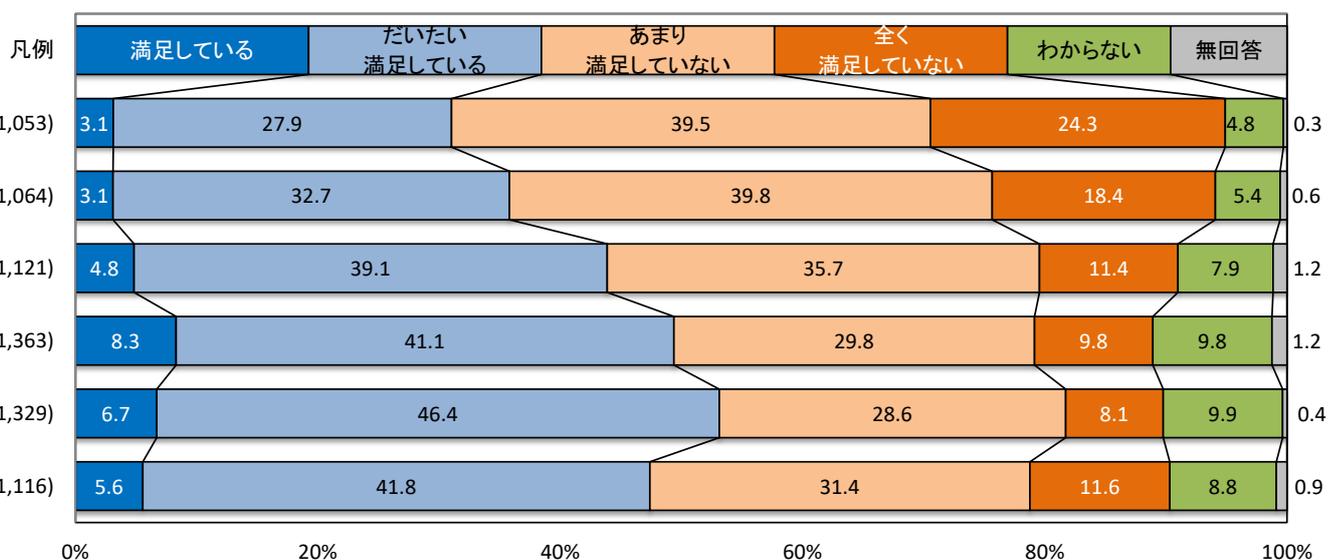
(1) 道路移動の満足度（問48）

あなたは、合志市内の道路の利用に満足していますか。

合志市内の道路の利用に満足していない（「全く満足していない」+「あまり満足していない」）人の割合は63.8%となり、「満足している」+「だいたい満足している」人の割合31.0%を大きく上回っている。

前年度と比較して、満足している人の割合が4.8ポイント減少し、満足していない人の割合は5.6ポイント増加している。

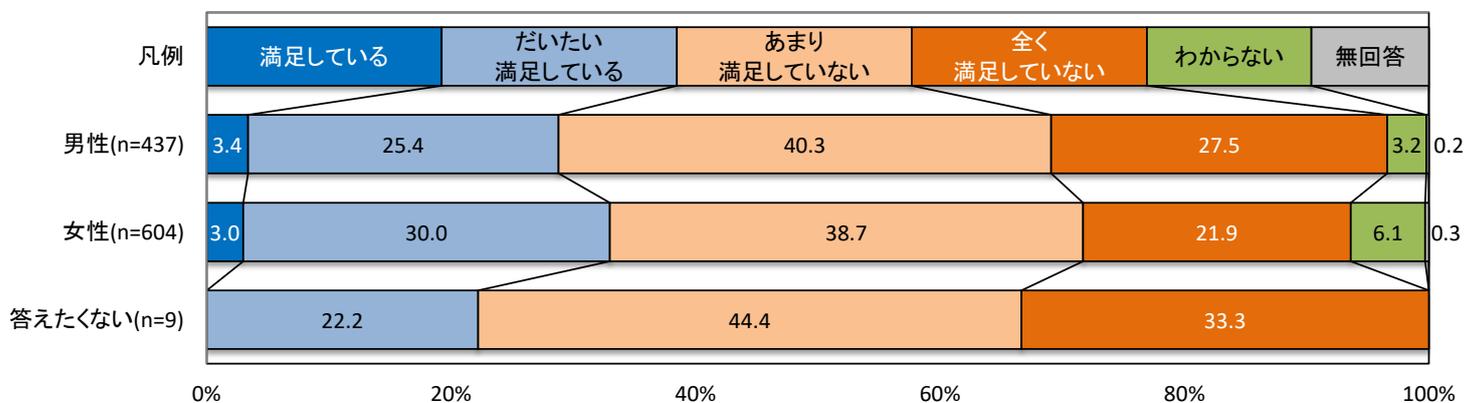
令和2年度以降、満足していない人の割合は増加傾向にある。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 満足している	33	3.1	33	3.1	54	4.8	113	8.3	89	6.7	62	5.6
2 だいたい満足している	294	27.9	348	32.7	438	39.1	560	41.1	617	46.4	467	41.8
3 あまり満足していない	416	39.5	424	39.8	400	35.7	406	29.8	380	28.6	350	31.4
4 全く満足していない	256	24.3	196	18.4	128	11.4	133	9.8	107	8.1	129	11.6
5 わからない	51	4.8	57	5.4	88	7.9	134	9.8	131	9.9	98	8.8
6 無回答	3	0.3	6	0.6	13	1.2	17	1.2	5	0.4	10	0.9
合計	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

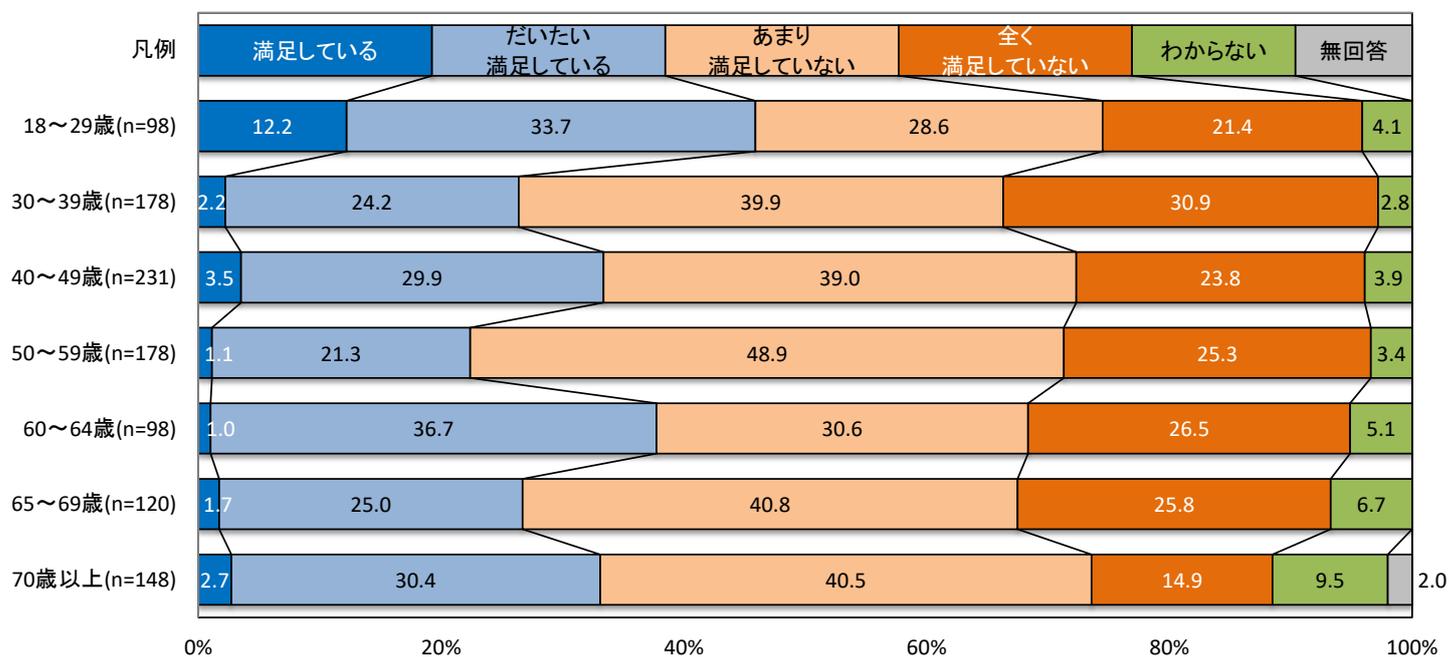
【性別】

●合志市内の道路の利用に満足していない人の割合は、男性 67.8%、女性 60.6%となっており、男性の割合が高い。



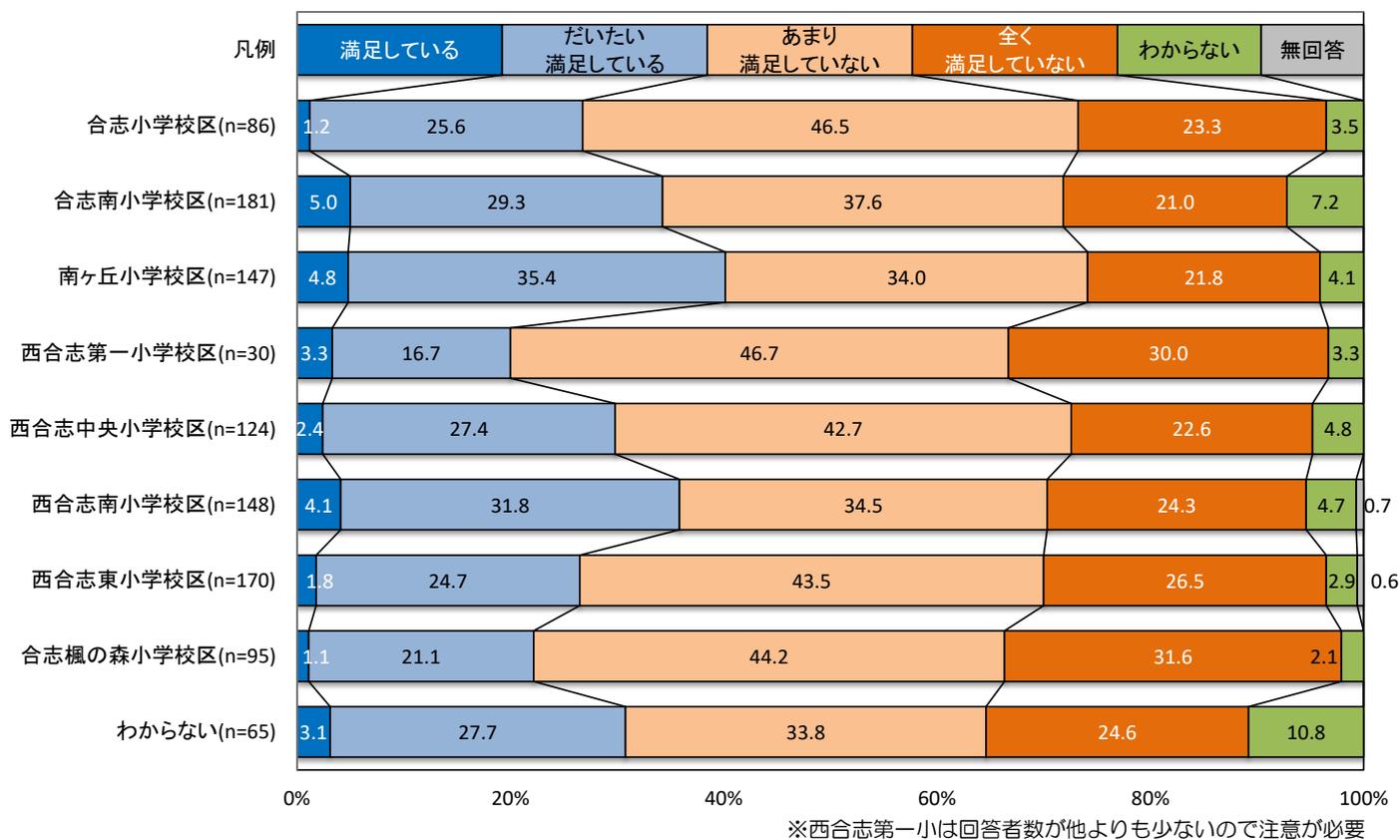
【年齢別】

●合志市内の道路の利用に満足していない人の割合は、すべての年代で半数以上となっており、特に 30 代と 50 代では 7 割を超えている。



【校區別】

●合志市内の道路の利用に満足していない人の割合は、すべての校区で半数を超えており、西合志第一小（回答者30人）の76.7%が最も高く、これに合志楓の森小の75.8%、西合志東小の70.0%が続いている。



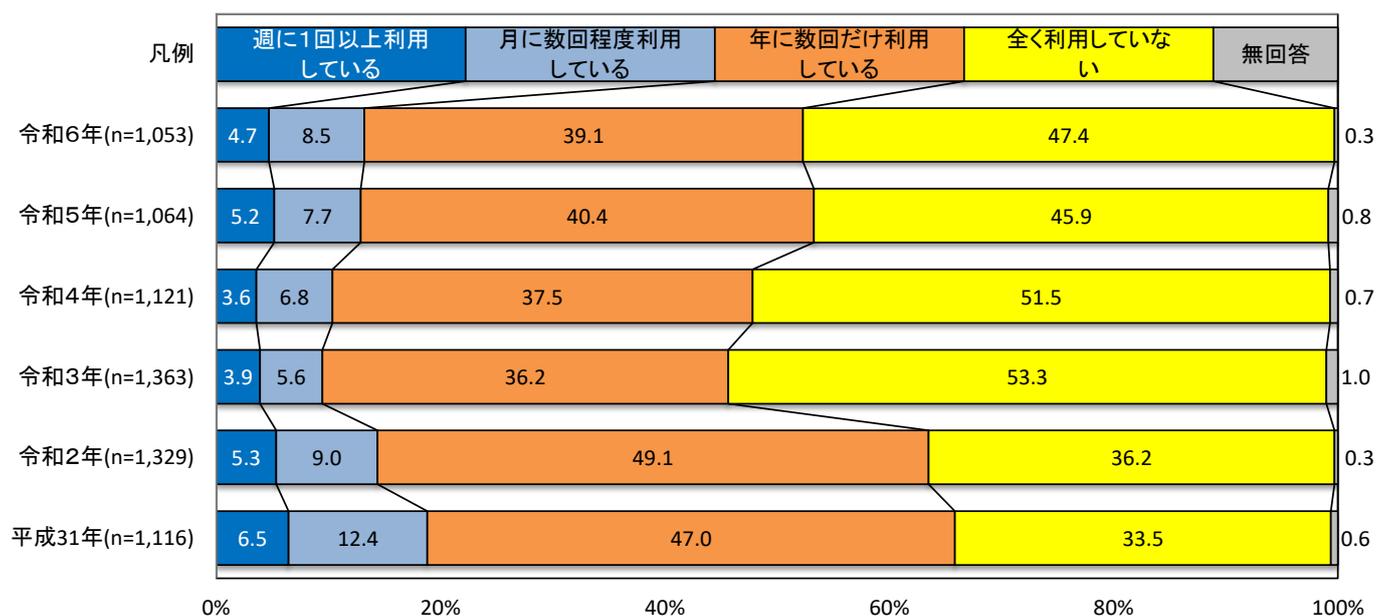
(2) 公共交通の利用について

①公共交通の利用状況(問49)

あなたは、どの程度公共交通機関（JR、バス、電車）を利用していますか。

公共交通機関を「週に1回以上利用している」人の割合は4.7%、「月に数回程度利用している」が8.5%、「年に数回だけ利用している」が39.1%で、利用している人を合わせた割合は52.3%となっている。一方、「全く利用していない」が47.4%となっており、半数近くの人が公共交通機関を利用していない。

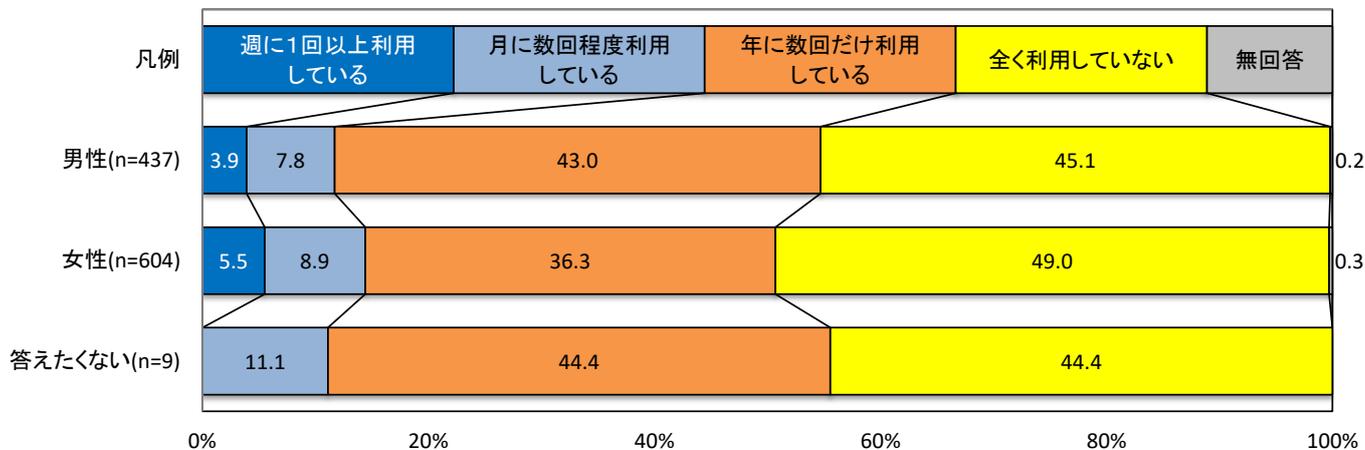
前年度と比較すると、年に数回以上利用している人の割合に大きな変化は見られない。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 週に1回以上利用している	50	4.7	55	5.2	40	3.6	53	3.9	71	5.3	72	6.5
2 月に数回程度利用している	89	8.5	82	7.7	76	6.8	76	5.6	120	9.0	138	12.4
3 年に数回だけ利用している	412	39.1	430	40.4	420	37.5	493	36.2	653	49.1	525	47.0
4 全く利用していない	499	47.4	488	45.9	577	51.5	727	53.3	481	36.2	374	33.5
5 無回答	3	0.3	9	0.8	8	0.7	14	1.0	4	0.3	7	0.6
合計	1,053	100.0	1064	100.0	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

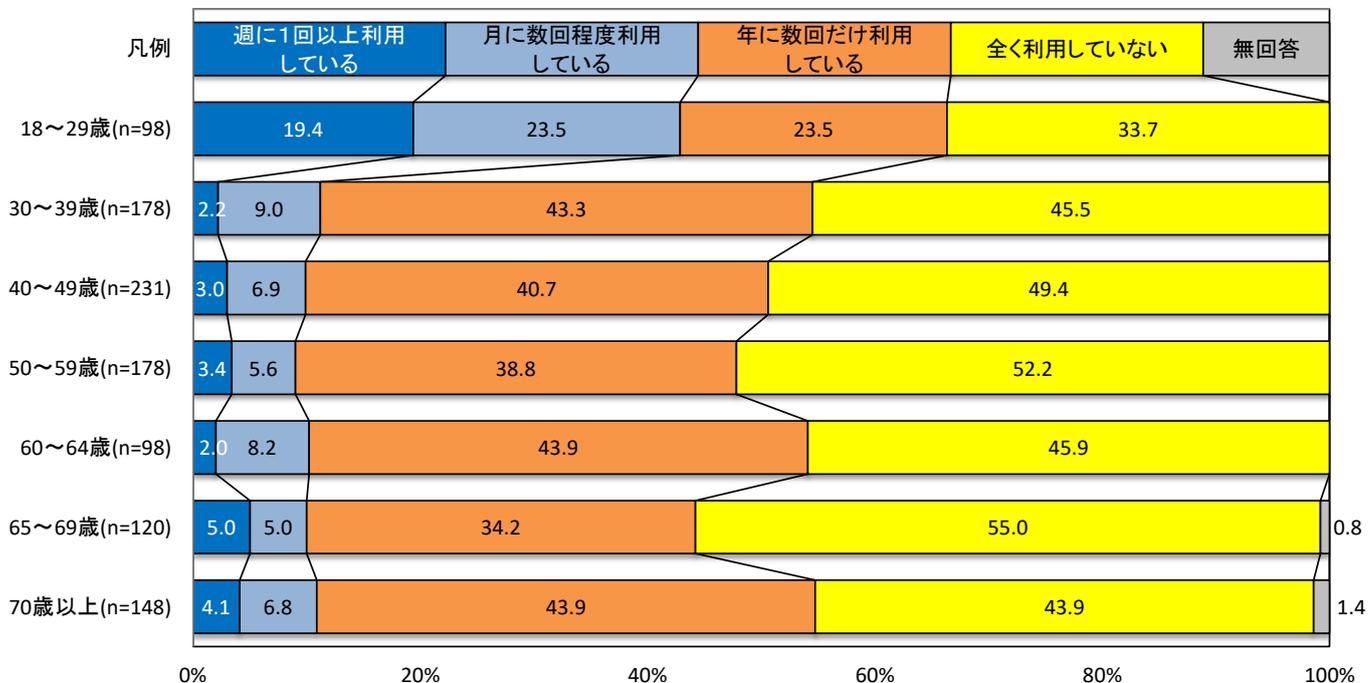
【性別】

- 公共交通機関を利用している人の割合について、「全く利用していない」人の割合は、女性がやや高くなっている。



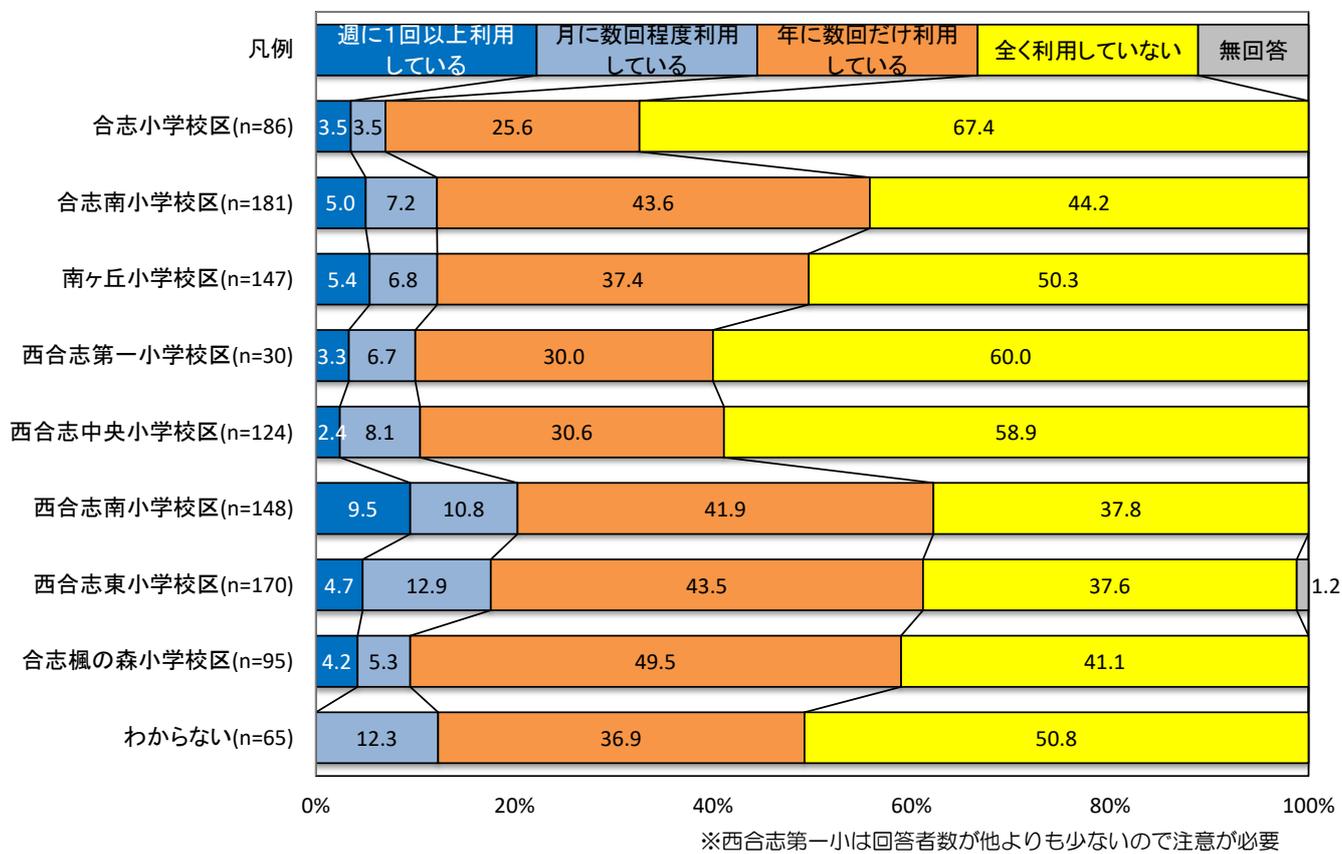
【年齢別】

- 20代以下では、公共交通機関を「週に1回以上利用している」人の割合は19.4%、「月に数回程度利用している」人が23.5%と他の年代と比べて高頻度で利用している人の割合が高くなっている。
- 公共交通機関を「全く利用していない」人の割合は、20代以下を除く各年代で半数前後となっている。



【校区別】

- 公共交通を利用している人の割合は、西合志南小、西合志東小が60%台で他の校区よりも高くなっている。
- 一方、合志小では67.4%が全く利用していないとなっている。



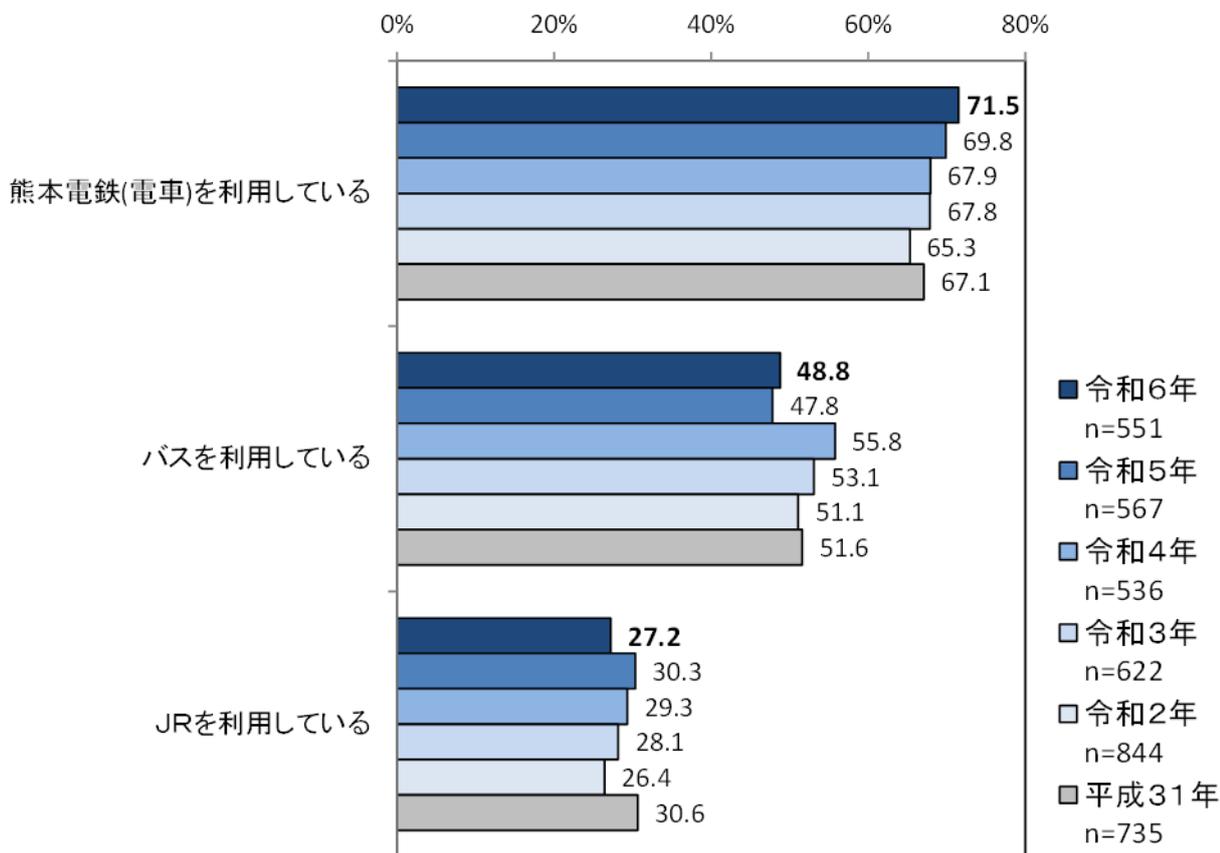
②利用機関（問50）

問49で1～3と答えた方にお尋ねします。

あなたは、どの公共交通機関を利用していますか。（複数回答可）

公共交通機関を利用している551人について利用している交通機関をみると、「熊本電鉄（電車）」が71.5%、「バス」が48.8%、「JR」が27.2%となっている。

前年度と比較して、「JR」の割合が3.1ポイント減少している。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	n=551		n=567		n=536		n=622		n=844		n=735	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 JRを利用している	150	27.2	172	30.3	157	29.3	175	28.1	223	26.4	225	30.6
2 熊本電鉄(電車)を利用している	394	71.5	396	69.8	364	67.9	422	67.8	551	65.3	493	67.1
3 バスを利用している	269	48.8	271	47.8	299	55.8	330	53.1	431	51.1	379	51.6

【性別】

- 熊本電鉄（電車）を利用している人の割合は、男性74.1%、女性69.0%となっており、男性の割合がやや高くなっている。

【年齢別】

- 年齢別にみると、40代以下の世代では熊本電鉄（電車）の利用率が8割前後で高く、65歳以上では他の世代に比べてバスの利用率が高い。
- 30代では、他の世代と比べ、JRの利用率が低く、17.5%となっている。

【校區別】

- 校區別にみると、合志小学校区では最も利用している交通機関はJRとなっている。
- 西合志中央小学校区、合志楓の森小学校区では、熊本電鉄（電車）の利用率が9割を超えている。

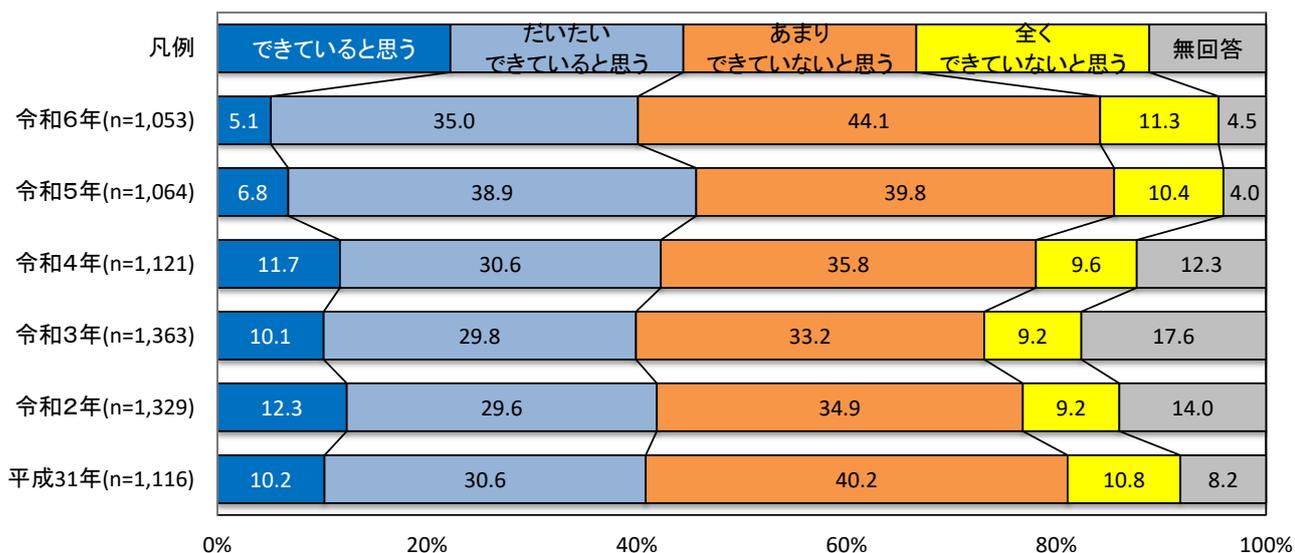
	合計	熊本電鉄（電車）を利用している	バスを利用している	JRを利用している
全体	551	71.5%	48.8%	27.2%
■性別				
男性	239	74.1%	46.0%	27.6%
女性	306	69.0%	51.0%	27.1%
答えたくない	5	100.0%	60.0%	20.0%
■年代別				
18～29歳	65	72.3%	52.3%	30.8%
30～39歳	97	77.3%	50.5%	17.5%
40～49歳	117	80.3%	41.9%	28.2%
50～59歳	85	68.2%	47.1%	35.3%
60～64歳	53	69.8%	49.1%	32.1%
65～69歳	53	67.9%	56.6%	22.6%
70歳以上	81	58.0%	50.6%	25.9%
■校區別				
合志小学校区	28	50.0%	39.3%	60.7%
合志南小学校区	101	55.4%	66.3%	37.6%
南ヶ丘小学校区	73	26.0%	67.1%	58.9%
西合志第一小学校区	12	50.0%	83.3%	16.7%
西合志中央小学校区	51	94.1%	39.2%	7.8%
西合志南小学校区	92	89.1%	35.9%	10.9%
西合志東小学校区	104	88.5%	44.2%	19.2%
合志楓の森小学校区	56	94.6%	28.6%	8.9%
わからない	32	71.9%	46.9%	31.3%

③公共交通の乗り継ぎの評価（問52）

あなたは、公共交通機関を使った合志市内外への乗り換え、乗り継ぎが円滑にできていると思いますか。

公共交通機関での乗り換え、乗り継ぎが円滑にできている（「できている」+「だいたいできている」）人の割合は40.1%、「あまりできていない」は44.1%、「全くできていない」は11.3%となっている。

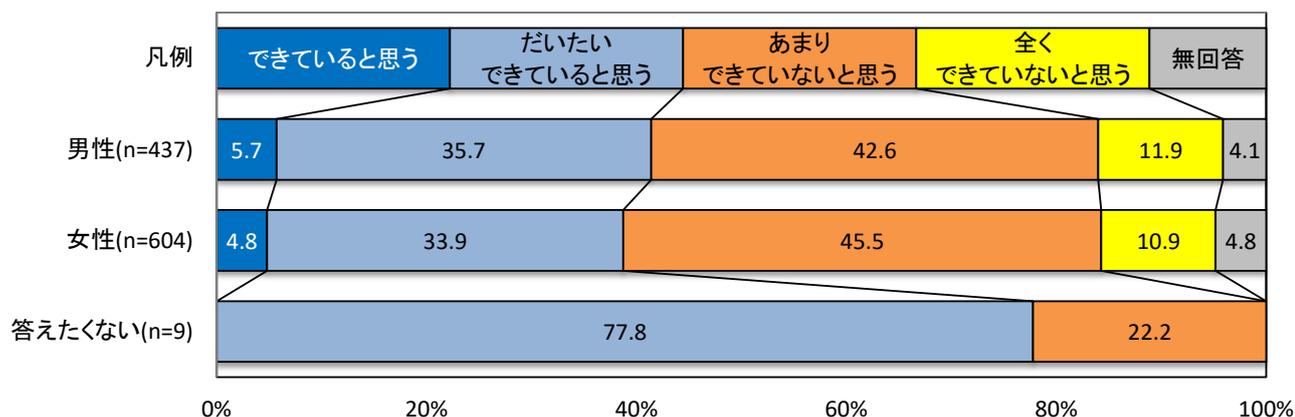
前年度と比較すると、乗り継ぎが円滑にできている人の割合は、5.6ポイント減少している。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 できていると思う	54	5.1	72	6.8	131	11.7	138	10.1	164	12.3	114	10.2
2 だいたいできていると思う	369	35.0	414	38.9	343	30.6	406	29.8	393	29.6	342	30.6
3 あまりできていないと思う	464	44.1	424	39.8	401	35.8	453	33.2	464	34.9	449	40.2
4 全くできていないと思う	119	11.3	111	10.4	108	9.6	126	9.2	122	9.2	120	10.8
5 無回答	47	4.5	43	4.0	138	12.3	240	17.6	186	14.0	91	8.2
合計	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

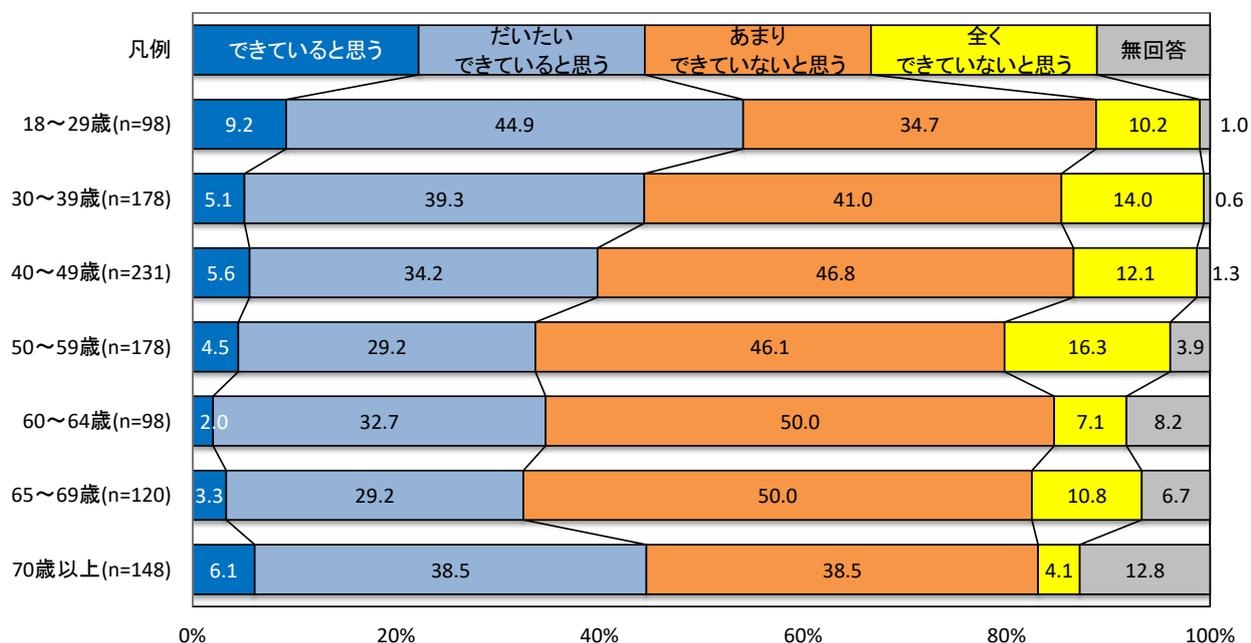
【性別】

●公共交通機関での乗り換え、乗り継ぎが円滑にできていると感じている割合について、男性が41.4%、女性が38.7%と、男性がやや高くなっている。



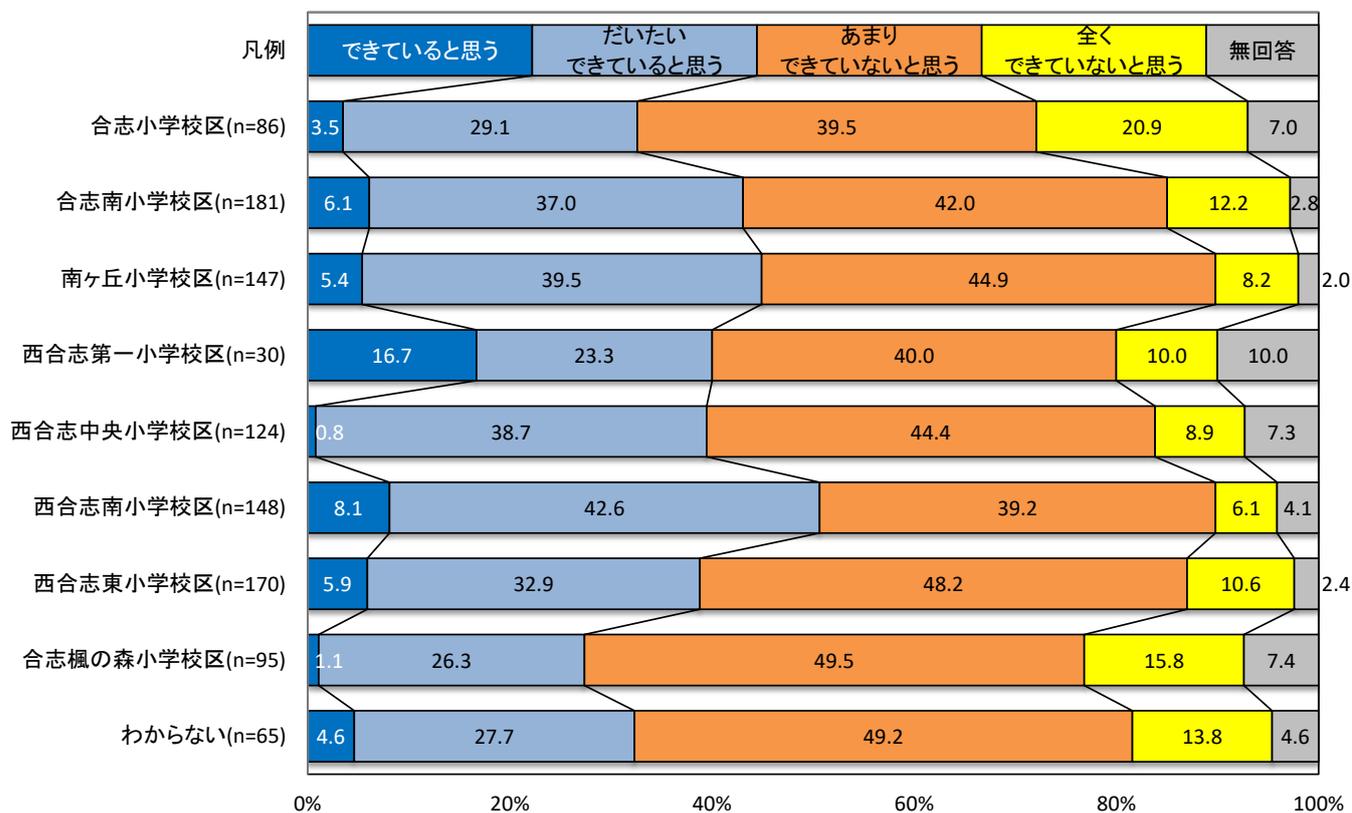
【年齢別】

- 公共交通機関での乗り換え、乗り継ぎが円滑にできていると感じている割合は、20代以下では54.1%と最も高くなっている。「あまりできていない」と「全くできていない」を合わせた割合は、50～59歳の62.4%が最も高くなっている。



【校区別】

- 公共交通機関での乗り換え、乗り継ぎが円滑にできていないと感じている割合は、西合志南小が45.3%と最も低く、それ以外のすべての校区では円滑にできていないとする回答が50%以上となっている。



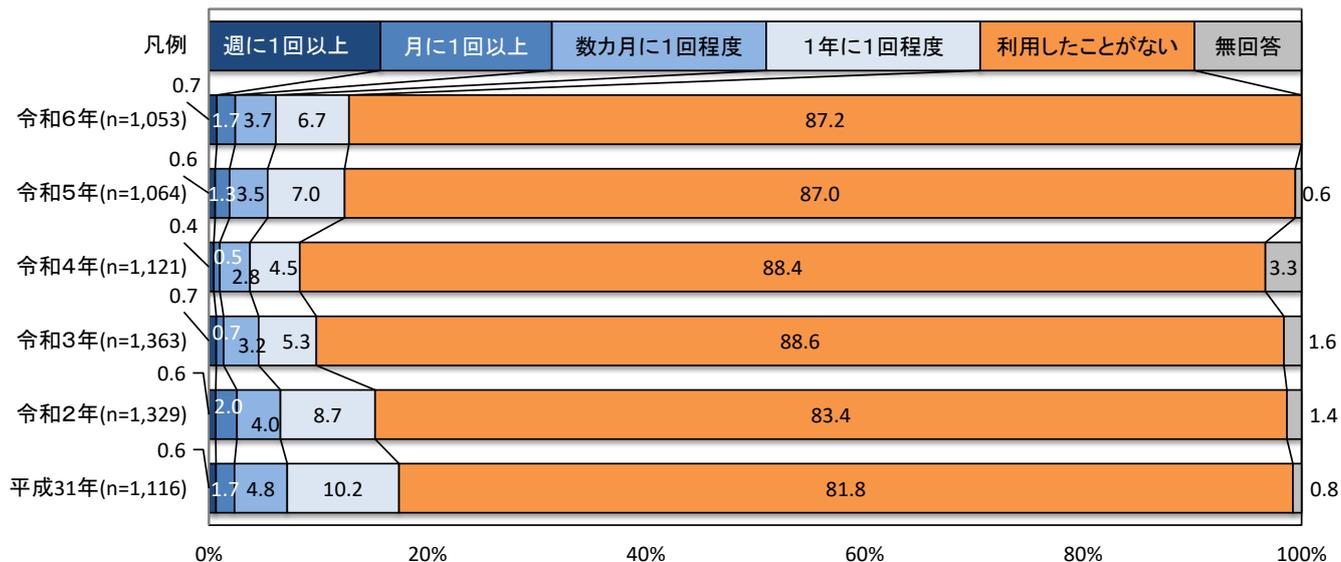
※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

(3) 合志市が委託しているバスについて

①利用経験（問53）

あなたは、過去1年間で合志市が委託しているレターバスや乗り合いタクシーのいずれかを利用したことがありますか。

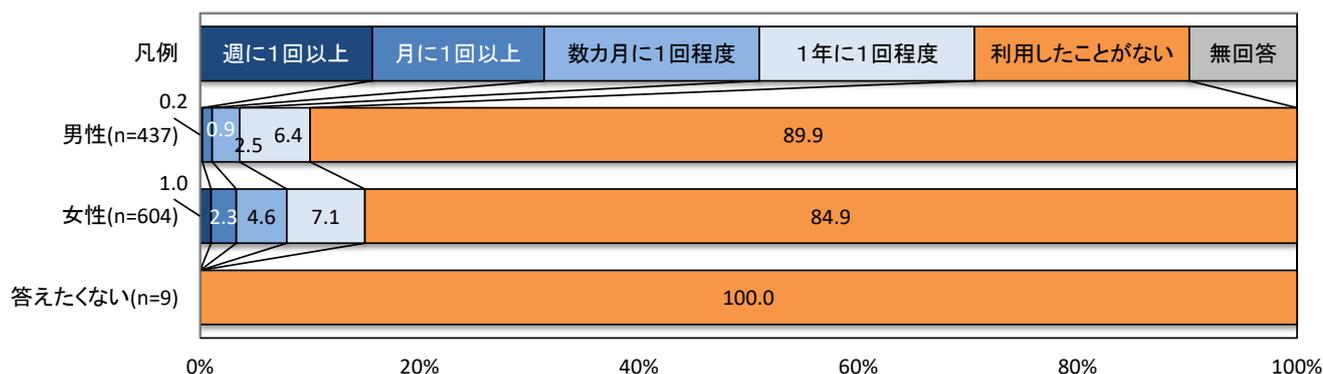
レターバスや乗り合いタクシーを利用したことがある人の割合は12.8%となっており、87.2%の人は「利用したことがない」となっている。
前年度と比較して、大きな差は認められない。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 週に1回以上利用する	7	0.7	6	0.6	5	0.4	9	0.7	8	0.6	7	0.6
2 月に1回以上利用する	18	1.7	14	1.3	6	0.5	9	0.7	26	2.0	19	1.7
3 数カ月に1回程度利用する	39	3.7	37	3.5	31	2.8	44	3.2	53	4.0	54	4.8
4 1年に1回程度利用する	71	6.7	75	7.0	51	4.5	72	5.3	115	8.7	114	10.2
5 利用したことがない	918	87.2	926	87.0	991	88.4	1207	88.6	1109	83.4	913	81.8
6 無回答	0	0.0	6	0.6	37	3.3	22	1.6	18	1.4	9	0.8
合計	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

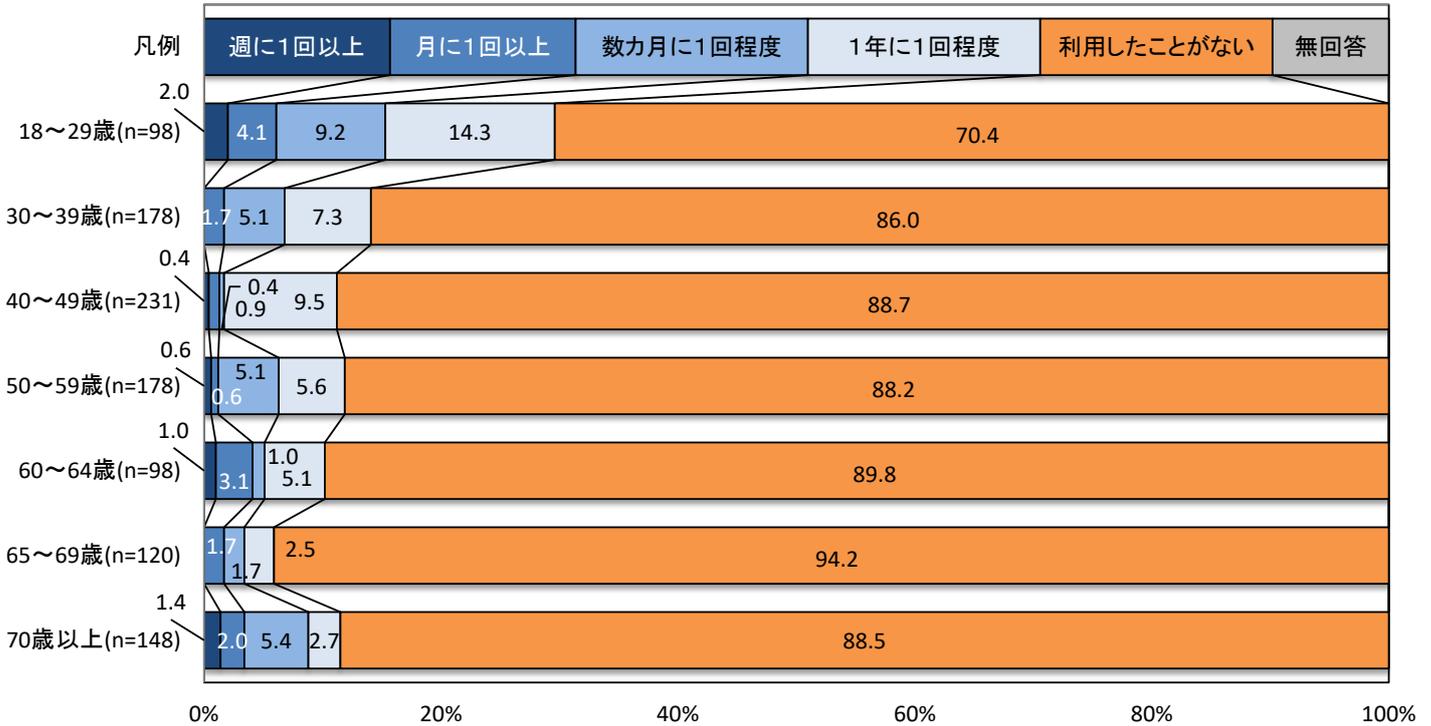
【性別】

●レターバスや乗り合いタクシーを利用したことがある人の割合は、男性10.0%、女性15.0%となっており、女性の割合が高い。



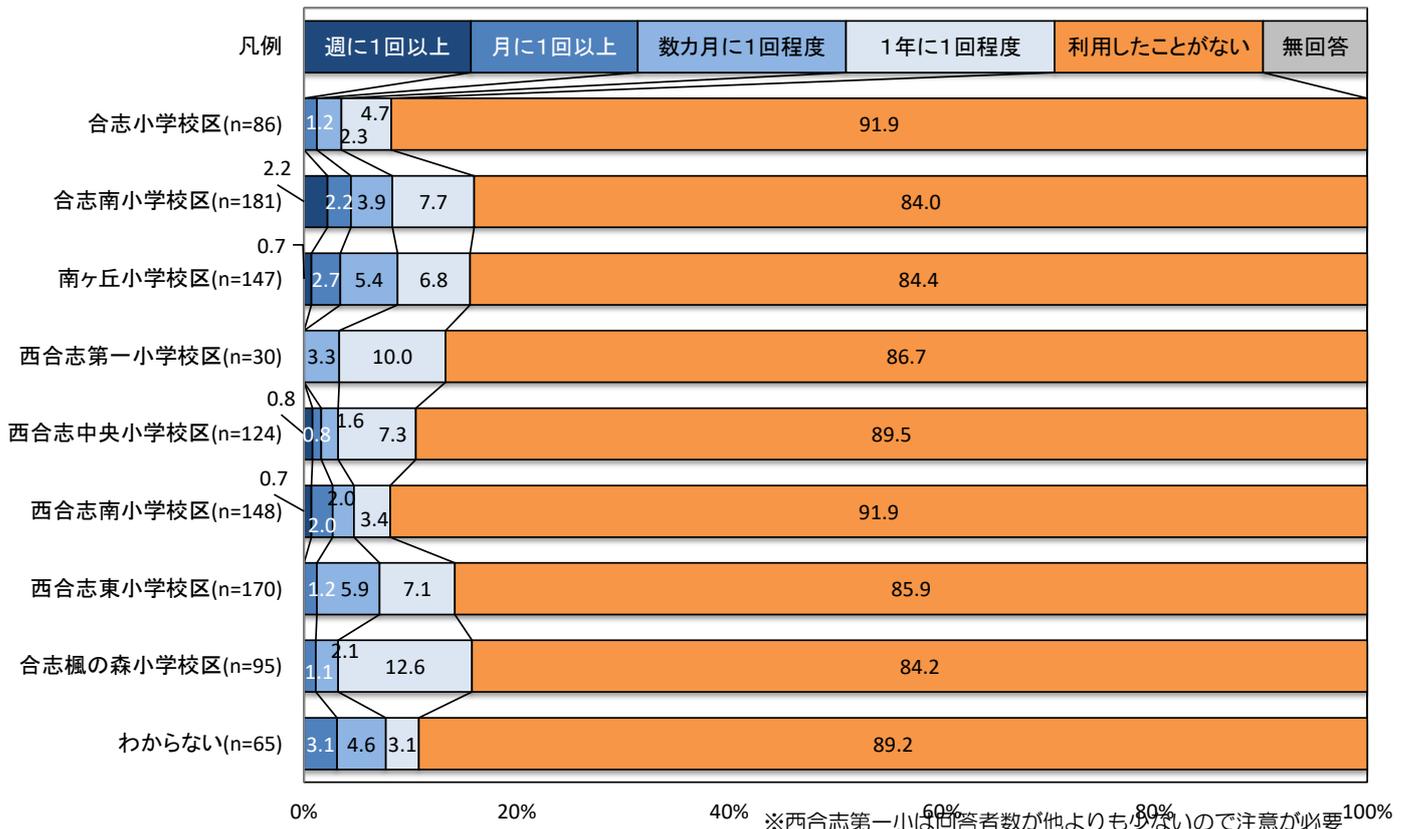
【年齢別】

●レターバスや乗り合いタクシーを利用したことがある人の割合は、20代以下では29.6%と最も高く、その他の年代では1割前後と低くなっている。



【校区別】

●レターバスや乗り合いタクシーを利用したことがある人の割合は、合志南小の16.0%が最も高く、西合志南小の8.1%が最も低い。他の校区では10～15%程度となっている。

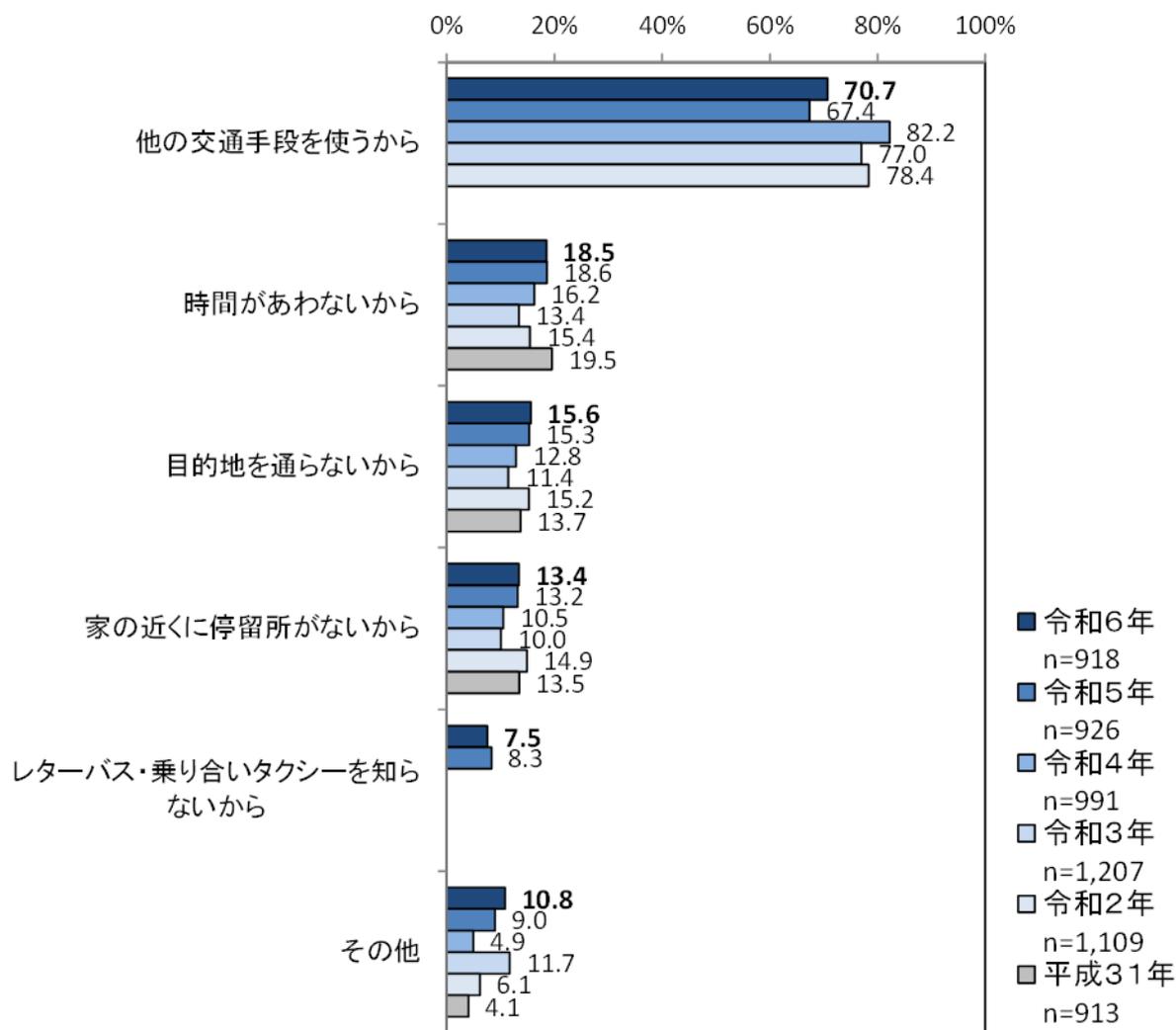


②利用しない理由（問54）

問53で「5.利用したことがない」と答えた方にお尋ねします。
それはなぜですか。（複数回答可）

レターバスや乗り合いタクシーを利用したことがない918人について、利用しない理由を尋ねたところ、「他の交通手段を使うから」が70.7%と最も多く、次いで「時間が合わないから」18.5%、「目的地を通らないから」15.6%、「家の近くに停留所がないから」13.4%となっている。

前年度と比較すると、「他の交通手段を使うから」の割合は、3.3ポイント増加している。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	n=918		n=926		n=991		n=1207		n=1109		n=913	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 時間があわないから	170	18.5	172	18.6	161	16.2	162	13.4	171	15.4	178	19.5
2 家の近くに停留所がないから	123	13.4	122	13.2	104	10.5	121	10.0	165	14.9	123	13.5
3 目的地を通らないから	143	15.6	142	15.3	127	12.8	138	11.4	169	15.2	125	13.7
4 他の交通手段を使うから	649	70.7	624	67.4	815	82.2	929	77.0	869	78.4		
5 レターバス・乗り合いタクシーを知らないから	69	7.5	77	8.3								
6 その他	99	10.8	83	9.0	49	4.9	141	11.7	68	6.1	37	4.1

その他の記述内容	件数
自家用車を利用	65
利用する機会がない	7
時間がかかる	6
ルートがわからない	2
便数が少ない	2
時刻表がわかりづらい	1

【性別、年齢別、校區別】

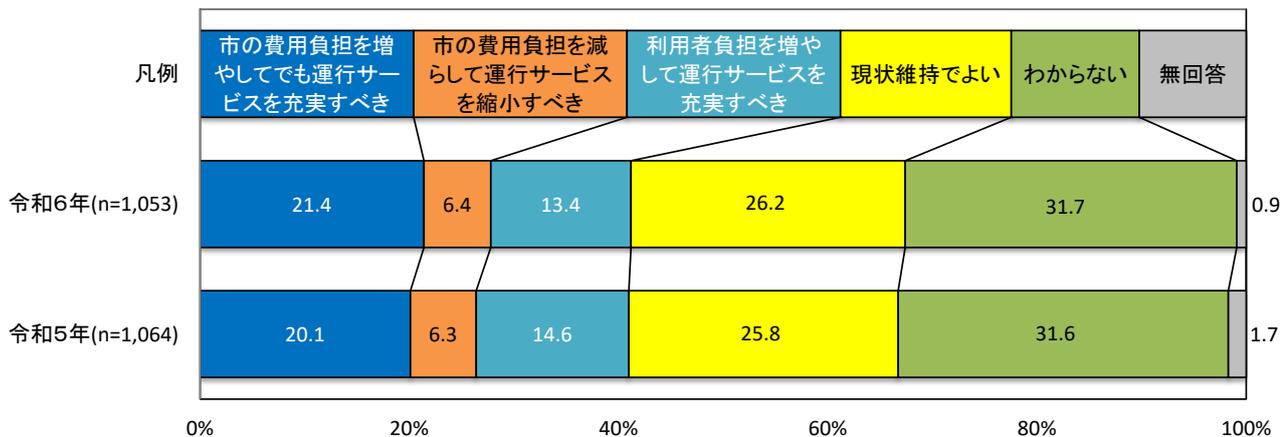
- 性別では「家の近くに停留所がないから」に差がみられ、女性の割合が高くなっている。
- 年齢別では、50代で「時間があわない」「目的地を通らない」の割合が高くなっている。
- 校區別では、合志小、合志楓の森小で「時間があわないから」、合志楓の森小で「家の近くに停留所がないから」がそれぞれ高くなっている。

	合計	時間があわないから	家の近くに停留所がないから	目的地を通らないから	他の交通手段を使うから	クレターバス・乗り合いタクシーを知らないから	その他
全体	918	18.5%	13.4%	15.6%	70.7%	7.5%	10.8%
■性別							
男性	393	17.0%	9.9%	15.5%	70.2%	8.4%	9.9%
女性	513	19.7%	16.0%	15.6%	71.2%	6.8%	11.7%
答えたくない	9	11.1%	11.1%	11.1%	77.8%	0.0%	0.0%
■年代別							
18～29歳	69	15.9%	17.4%	17.4%	69.6%	13.0%	5.8%
30～39歳	153	15.0%	11.8%	11.1%	69.9%	12.4%	7.2%
40～49歳	205	20.5%	18.0%	17.6%	77.1%	4.4%	7.8%
50～59歳	157	26.8%	13.4%	19.7%	73.2%	5.1%	8.3%
60～64歳	88	19.3%	14.8%	15.9%	64.8%	4.5%	19.3%
65～69歳	113	15.9%	12.4%	15.0%	72.6%	7.1%	11.5%
70歳以上	131	12.2%	5.3%	11.5%	62.6%	8.4%	19.1%
■校區別							
合志小学校区	79	27.8%	12.7%	12.7%	63.3%	5.1%	17.7%
合志南小学校区	152	17.1%	10.5%	15.1%	69.1%	9.2%	9.2%
南ヶ丘小学校区	124	21.8%	9.7%	18.5%	78.2%	5.6%	5.6%
西合志第一小学校区	26	11.5%	3.8%	11.5%	65.4%	7.7%	15.4%
西合志中央小学校区	111	12.6%	13.5%	15.3%	74.8%	4.5%	10.8%
西合志南小学校区	136	12.5%	18.4%	13.2%	68.4%	11.8%	10.3%
西合志東小学校区	146	19.9%	9.6%	17.1%	74.7%	6.2%	8.2%
合志楓の森小学校区	80	25.0%	22.5%	16.3%	66.3%	2.5%	12.5%
わからない	58	17.2%	17.2%	15.5%	69.0%	17.2%	15.5%

③コミュニティバスの今後の在り方について（問51）

あなたは、コミュニティバス（レターバス・乗り合いタクシー）の運行サービス（運行ルート・便数など）についてどう思いますか。現在、コミュニティバスは年間約9,000万円の財源を使って市が委託して運行しています。

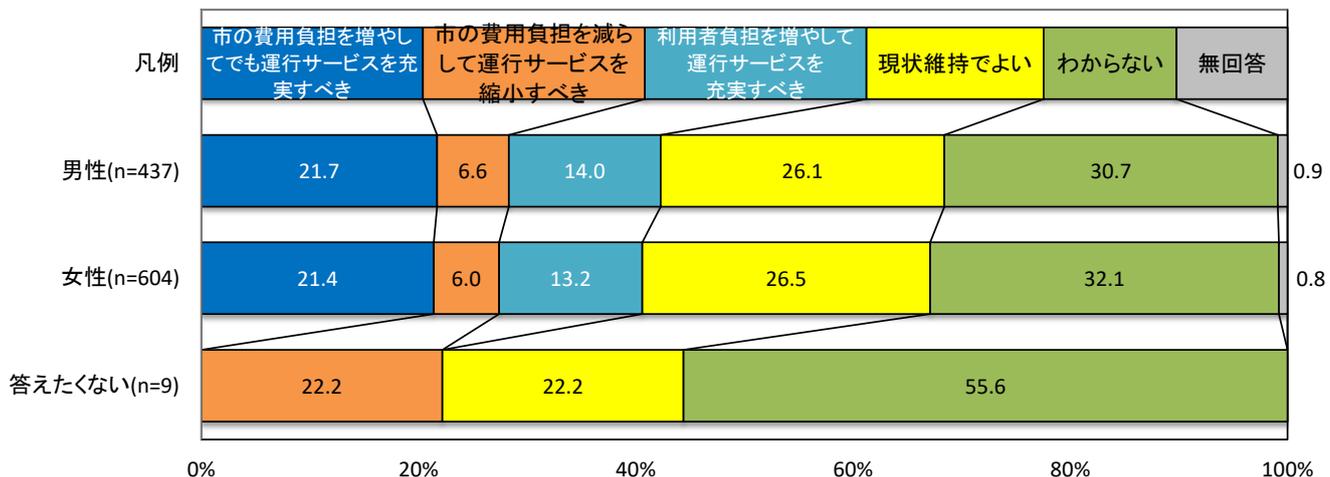
コミュニティバスの今後の在り方について尋ねたところ、「わからない」が31.7%で最も高く、以下、割合が高い方から「現状維持でよい」26.2%、「市の費用負担を増やしてでも運行サービスを充実すべき」21.4%、「利用者負担を増やして運行サービスを充実すべき」13.4%、「市の費用負担を減らして運行サービスを縮小すべき」6.4%の順となっている。「わからない」を除けば、現状維持もしくは運行を充実すべきという意見が多くなっている。



	令和6年度		令和5年度	
	人	%	人	%
1 市の費用負担を増やしてでも、運行サービス（運行ルート・便数など）を充実すべき	225	21.4	214	20.1
2 市の費用負担を減らして運行サービスを縮小すべき	67	6.4	67	6.3
3 利用者負担を増やして運行サービスを充実すべき	141	13.4	155	14.6
4 現状維持でよい	276	26.2	274	25.8
5 わからない	334	31.7	336	31.6
6 無回答	10	0.9	18	1.7
合計	1,053	100.0	1,064	100.0

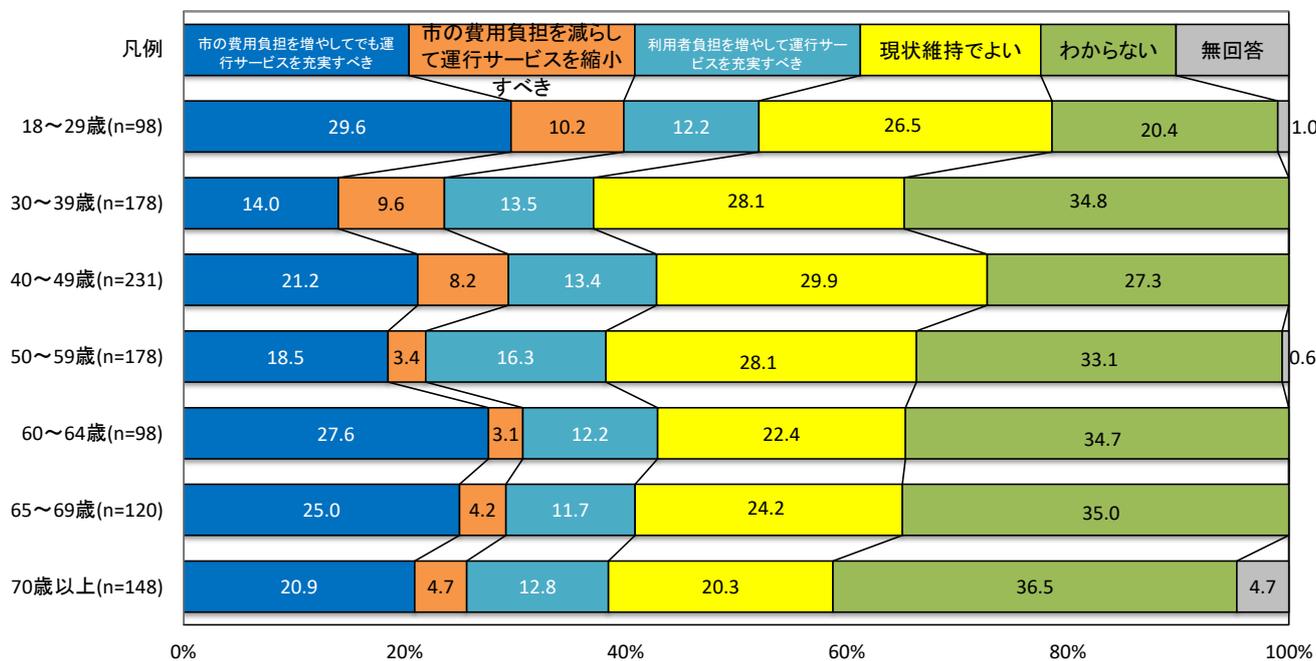
【性別】

●性別による大きな差は認められない。



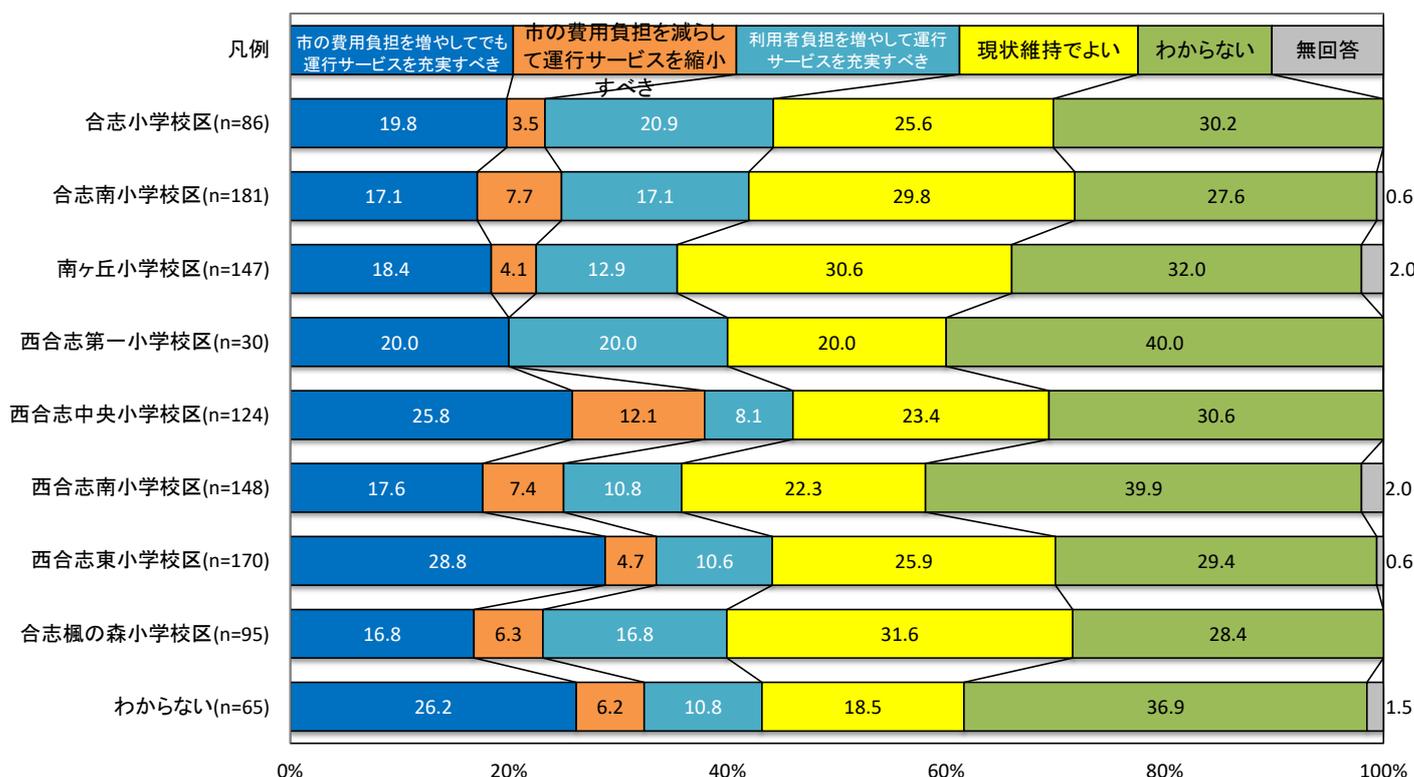
【年齢別】

- 「市の費用負担を増やしても運行サービスを充実すべき」の割合は、20代以下の29.6%が最も高く、これに60～64歳の27.6%、65～69歳の25.0%が続く。「現状維持でよい」の割合は、40代の29.9%が最も高く、これに30代、50代の28.1%が続いている。



【校区別】

- 「市の費用負担を増やしても運行サービスを充実すべき」の割合は、西合志東小の28.8%が最も高く、これに西合志中央小の25.8%が続いている。「現状維持でよい」の割合は、合志楓の森小の31.6%が最も高く、これに南ヶ丘小の30.6%が続いている。

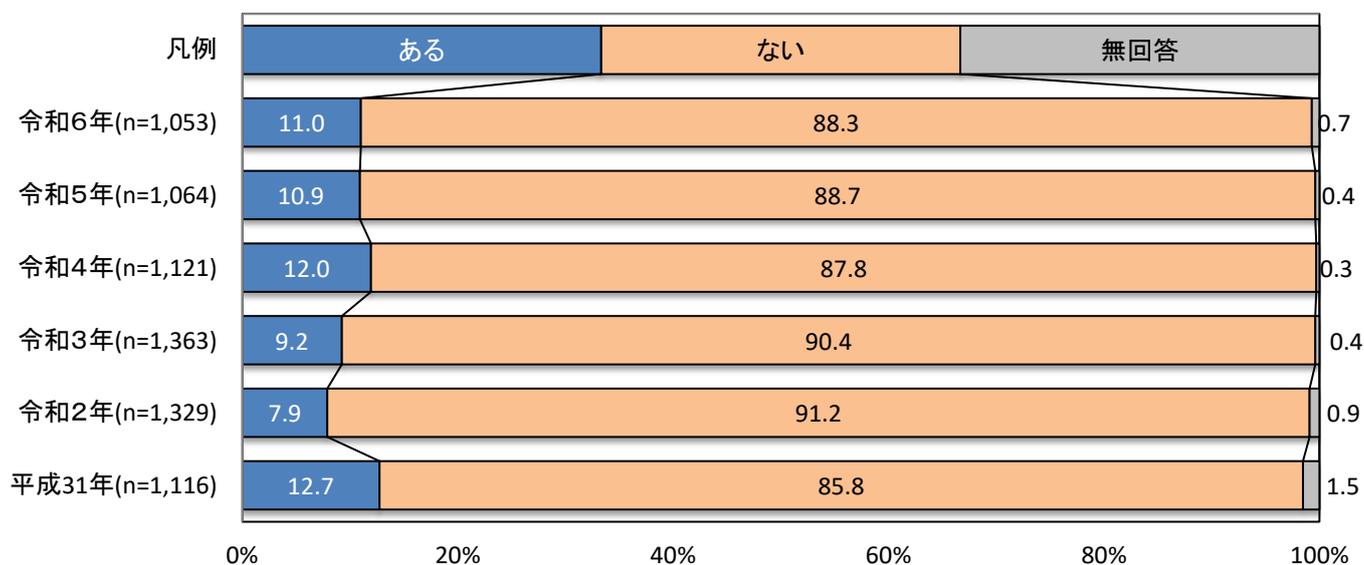


3. 人権侵害について

(1) 人権が侵害された経験（問33）

あなたは、過去1年間で自分の人権が侵害されたと感じたことがありますか。（複数回答可）

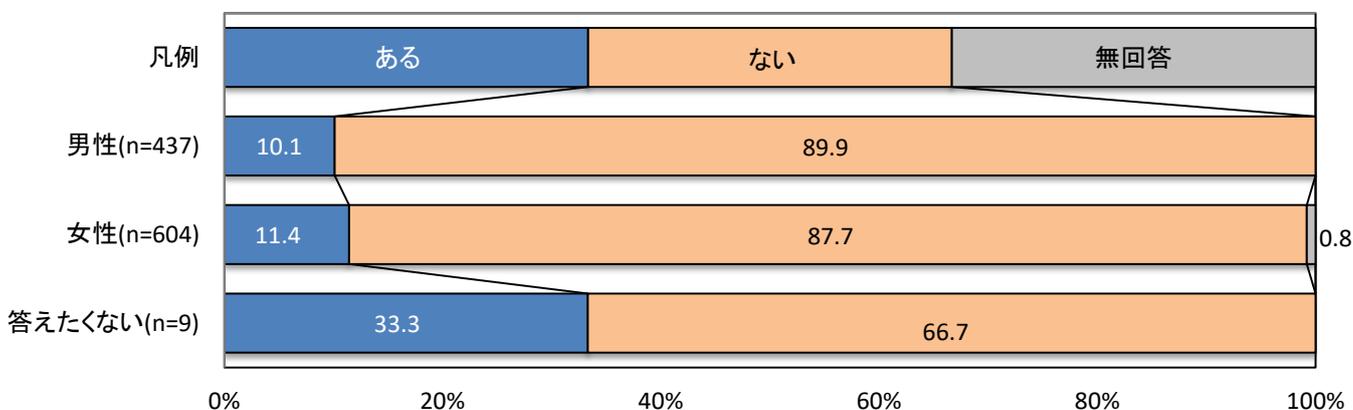
過去1年間で自分の人権が侵害されたことが「ある」人の割合は11.0%で、前年度調査と大きな差は認められない。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 ある	116	11.0	116	10.9	134	12.0	126	9.2	105	7.9	142	12.7
2 ない	930	88.3	944	88.7	984	87.8	1232	90.4	1212	91.2	957	85.8
3 無回答	7	0.7	4	0.4	3	0.3	5	0.4	12	0.9	17	1.5
合計	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

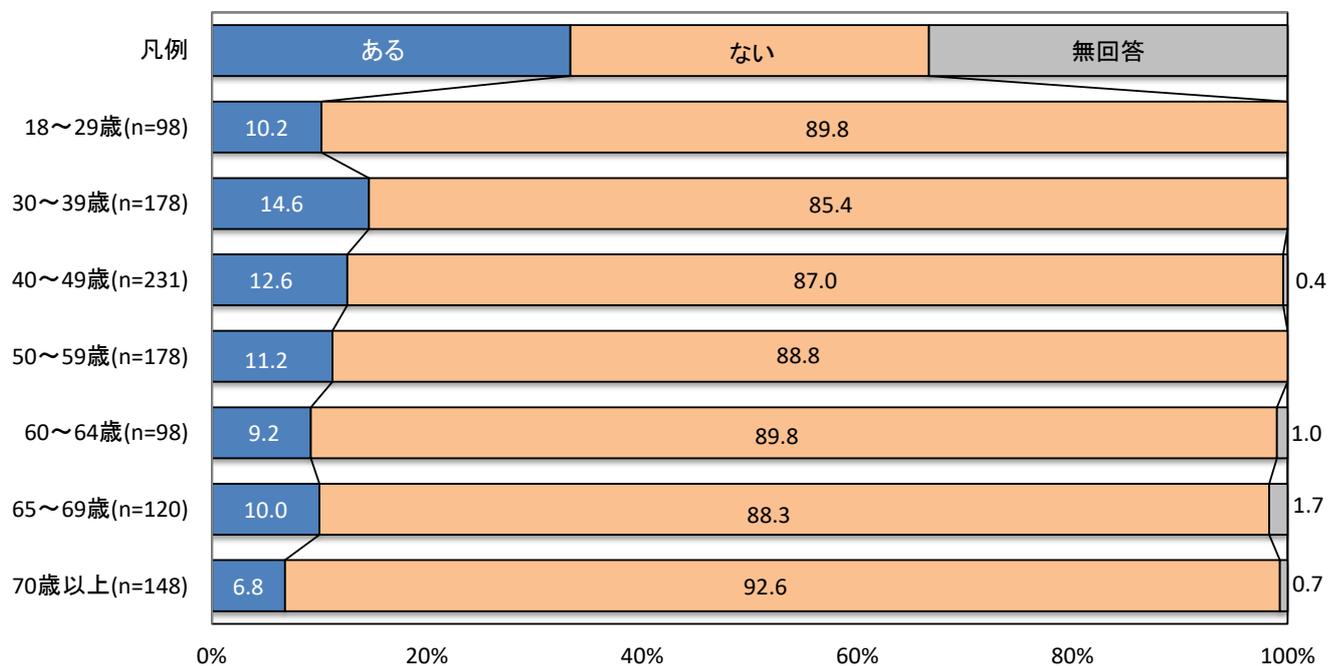
【性別】

●人権が侵害されたことがある人の割合については、性別による大きな差は認められない。



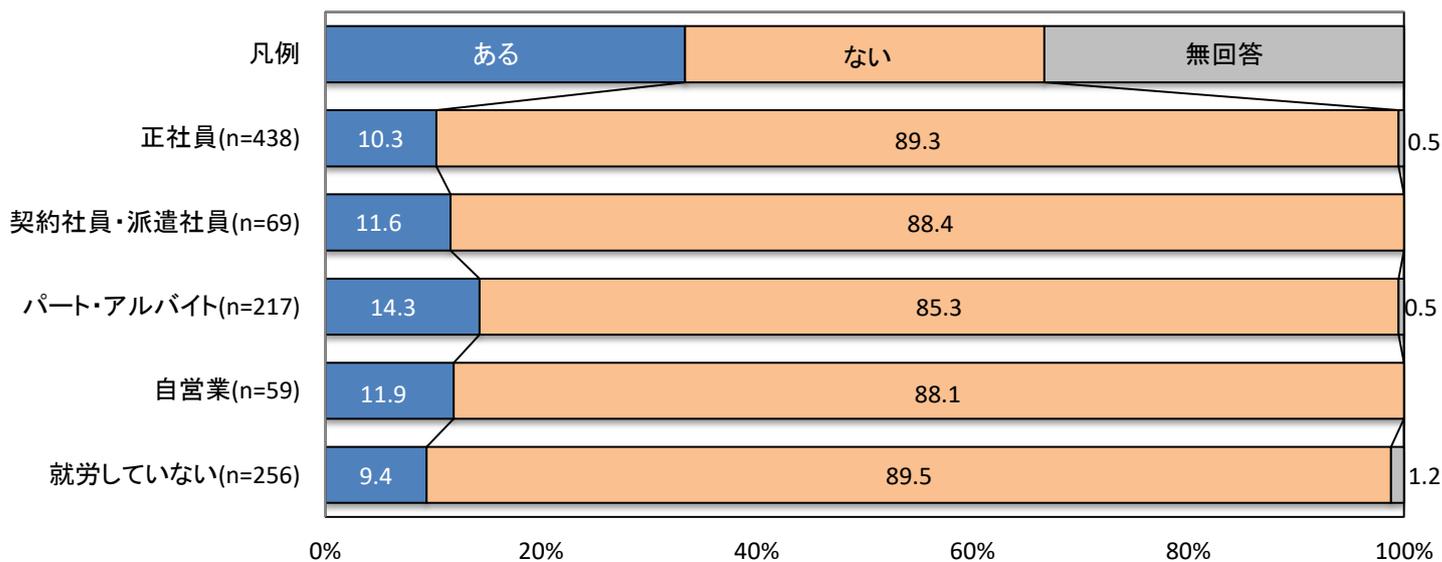
【年齢別】

●人権を侵害されたことがある人の割合は、30代の14.6%が最も高く、これに40代の12.6%、50代の11.2%が続いている。



【職業別】

●人権を侵害されたことがある人の割合は、パート・アルバイトの14.3%が最も高く、これに自営業の11.9%、契約社員・派遣社員の11.6%が続いている。

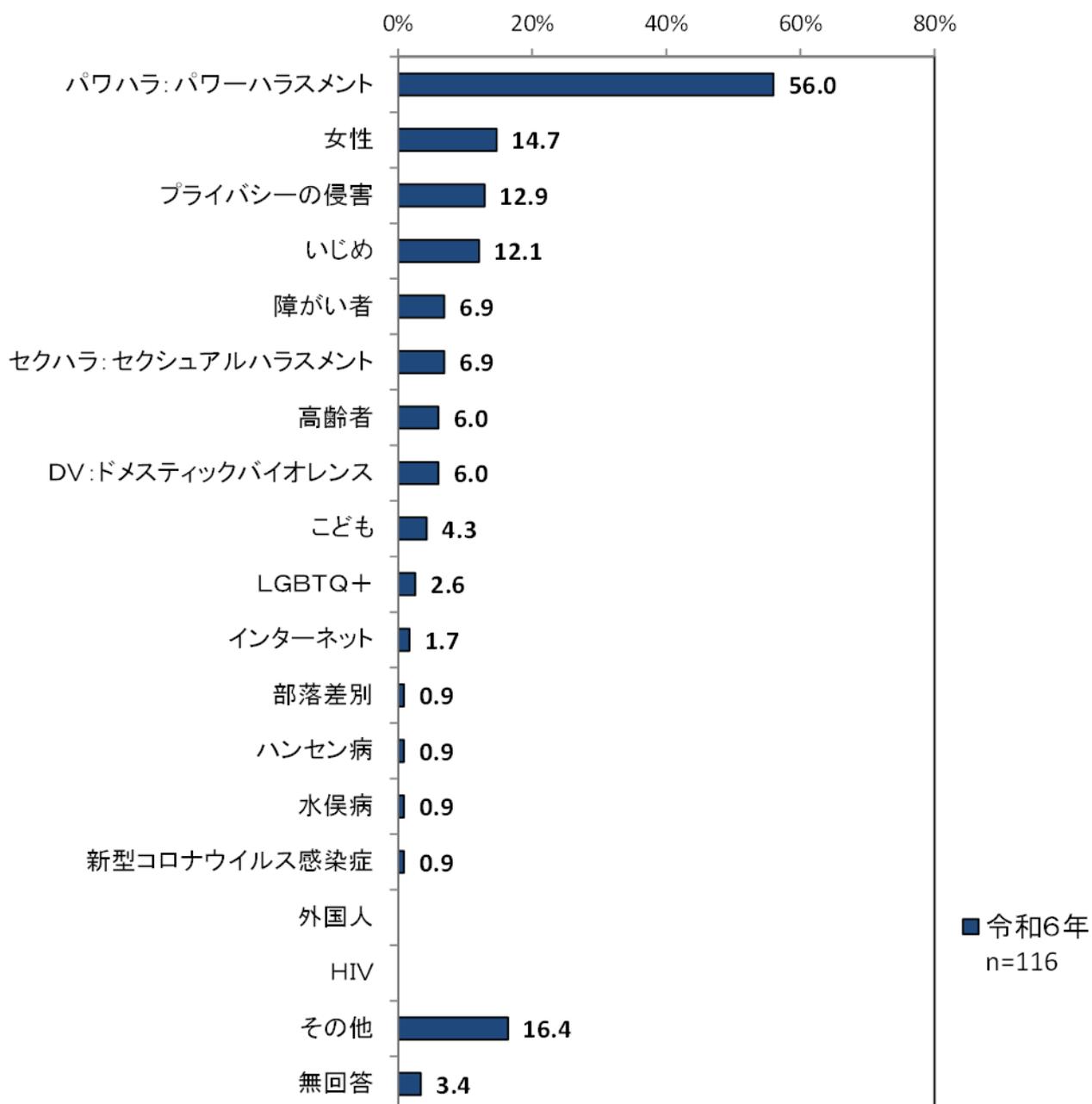


(2) 侵害された内容(問34)

問33で「1.ある」と答えた方にお尋ねします。

それはどのような場合ですか？差し支えなければお聞かせください。(複数回答可)

この1年間に人権が侵害されたことがある116人に、侵害された具体的な内容を尋ねたところ、「パワハラ」の56.0%が最も高く、次いで「女性」14.7%、「プライバシーの侵害」12.9%、「いじめ」12.1%の順となっている。



その他の記述内容	件数
モラハラ：モラルハラスメント	5
カスハラ：カスタマーハラスメント	2
病気に関すること	1
糞尿被害	1
陰口	1
近所トラブル	1
他県出身であること	1
他の人と対応が違うこと	1

【性別】

- 人権を侵害された内容について、「パワハラ」は男性 63.6%、女性 53.6%と男性での割合が高くなっている。「いじめ」「プライバシーの侵害」では男性よりも女性の割合が高くなっている。

【年齢別】

- 人権を侵害された内容について、20 代以下、60～64 歳を除いた世代では「パワハラ」が最も高く、30 代～40 代で 70%弱となっている。
- また、20 代以下では「セクハラ」、60～64 歳では「いじめ」が最も高い。

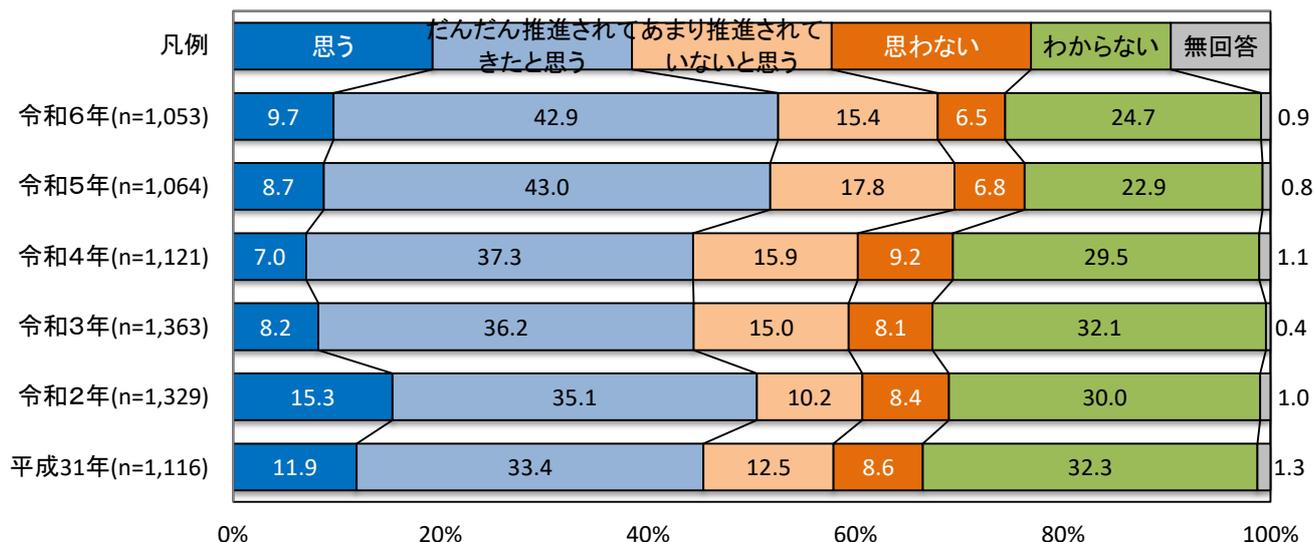
	合計	部落差別	ハンセン病	水俣病	LGBTQ+	子ども	女性	高齢者	障がい者	インターネット	外国人	HIV	DV：ドメスティックバイオレンス	セクハラ：セクシュアルハラスメント	パワハラ：パワーハラスメント	いじめ	プライバシーの侵害	新型コロナウイルス感染症	その他
全体	116	0.9%	0.9%	0.9%	2.6%	4.3%	14.7%	6.0%	6.9%	1.7%	0.0%	0.0%	6.0%	6.9%	56.0%	12.1%	12.9%	0.9%	16.4%
■性別																			
男性	44	2.3%	2.3%	2.3%	2.3%	0.0%	0.0%	6.8%	11.4%	2.3%	0.0%	0.0%	4.5%	2.3%	63.6%	9.1%	11.4%	0.0%	15.9%
女性	69	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	7.2%	24.6%	5.8%	4.3%	1.4%	0.0%	0.0%	5.8%	10.1%	53.6%	14.5%	14.5%	1.4%	15.9%
答えたくない	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
■年代別																			
18～29歳	10	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	30.0%	20.0%	20.0%	10.0%	0.0%	10.0%
30～39歳	26	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	7.7%	11.5%	0.0%	3.8%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	11.5%	69.2%	7.7%	11.5%	3.8%	19.2%
40～49歳	29	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	17.2%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	6.9%	0.0%	69.0%	10.3%	10.3%	0.0%	13.8%
50～59歳	20	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.0%	5.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	60.0%	10.0%	15.0%	0.0%	25.0%
60～64歳	9	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	33.3%	55.6%	33.3%	0.0%	22.2%
65～69歳	12	8.3%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	16.7%	58.3%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%
70歳以上	10	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	30.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%	0.0%	20.0%	0.0%	10.0%

4. 男女共同参画社会の推進について

(1) 男女共同参画社会の推進（問35）

あなたは、男女共同参画社会が推進されてきたと思いますか。

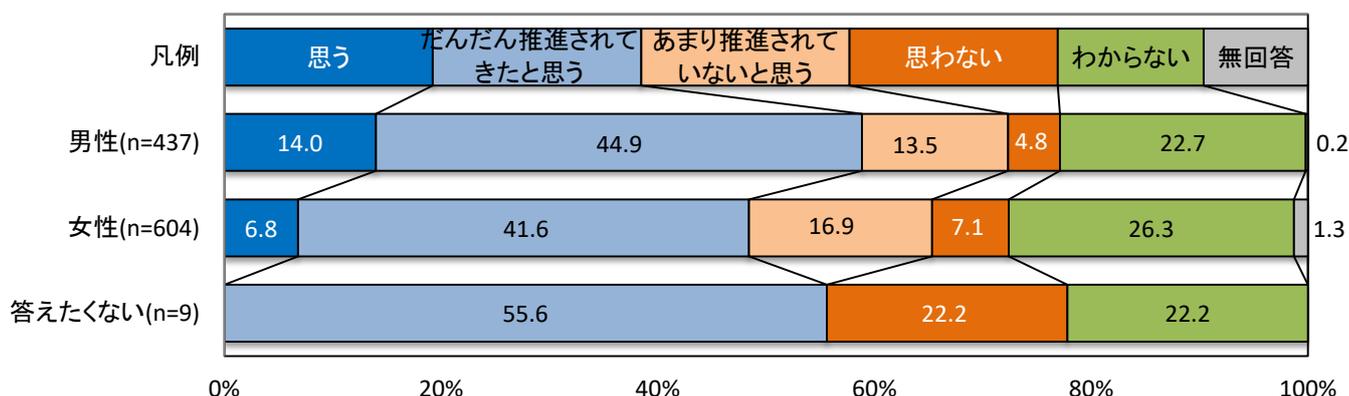
男女共同参画社会が推進されてきたと思う（「思う」+「だんだん推進されてきたと思う」）割合は 52.6%で半数を上回り、思わない（「あまり推進されていないと思う」+「思わない」）は 21.9%、「わからない」は 24.7%となっている。
前年度と比べ大きな差は見られない。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 思う	102	9.7	93	8.7	79	7.0	112	8.2	204	15.3	133	11.9
2 だんだん推進されてきたと思う	452	42.9	458	43.0	418	37.3	493	36.2	467	35.1	373	33.4
3 あまり推進されていないと思う	162	15.4	189	17.8	178	15.9	204	15.0	135	10.2	140	12.5
4 思わない	68	6.5	72	6.8	103	9.2	110	8.1	111	8.4	96	8.6
5 わからない	260	24.7	244	22.9	331	29.5	438	32.1	399	30.0	360	32.3
6 無回答	9	0.9	8	0.8	12	1.1	6	0.4	13	1.0	14	1.3
合計	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

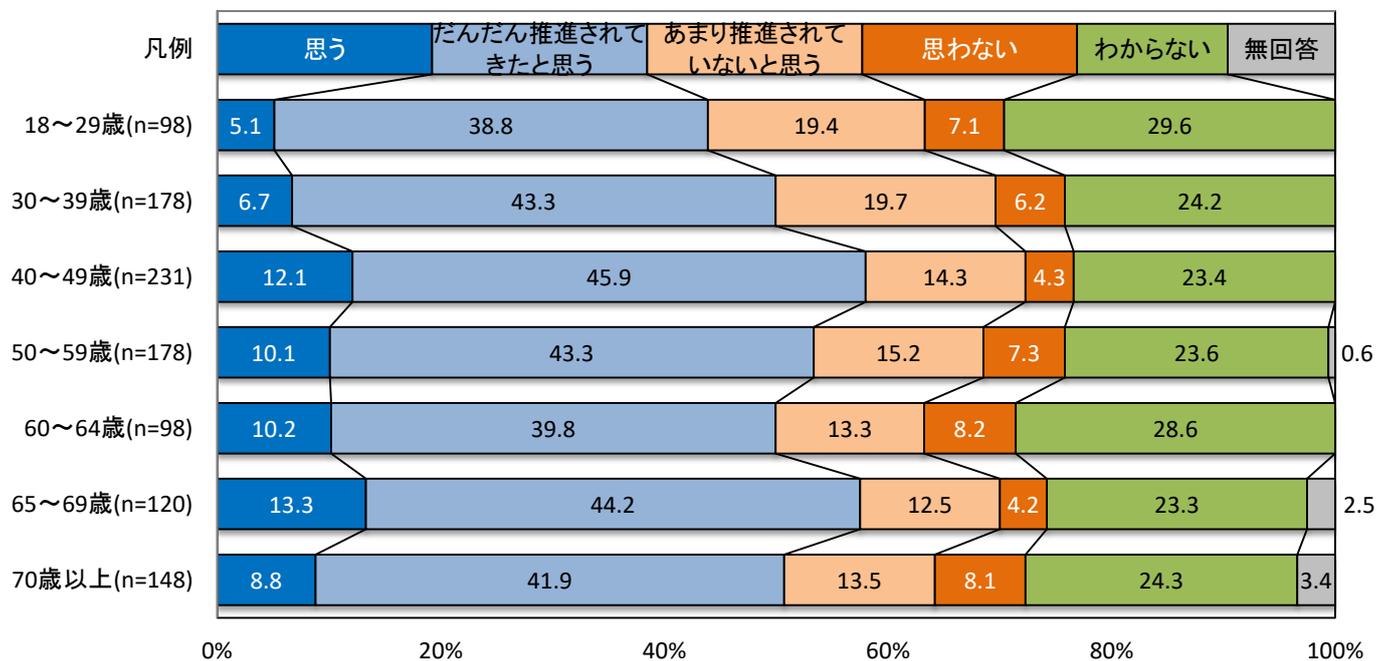
【性別】

●男女共同参画社会が推進されてきたと思う割合は、男性 58.9%、女性 48.4%となっており、男性が女性を 10.5 ポイント上回っている。



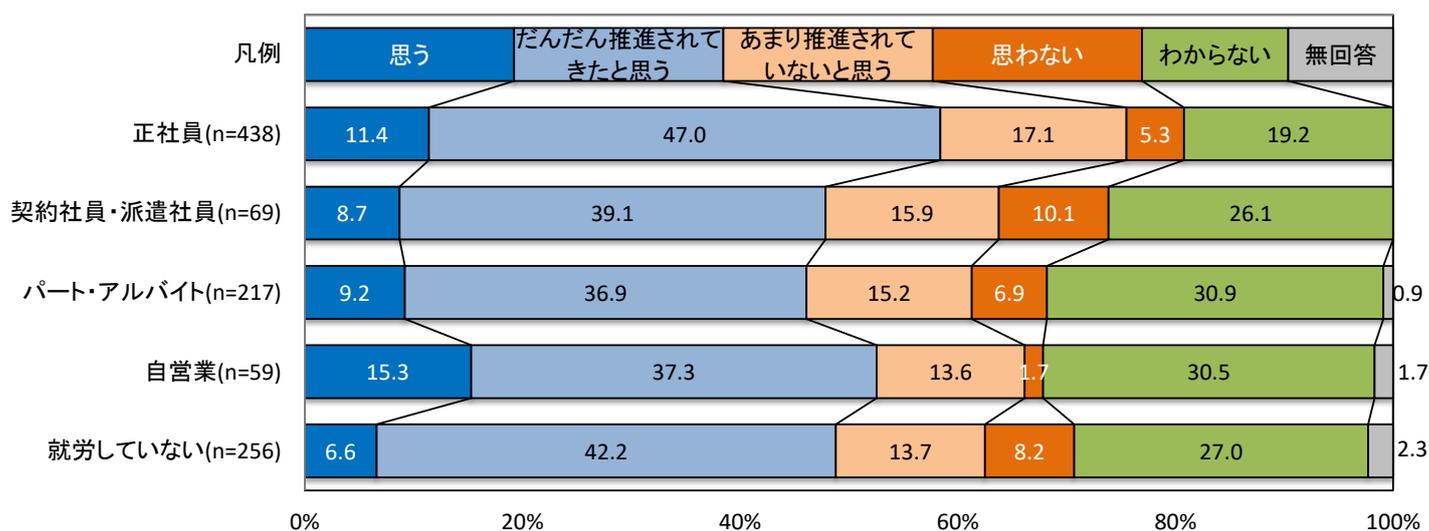
【年齢別】

●男女共同参画社会が推進されてきたと思う割合は、20代以下を除く全ての世代で半数以上となっている。



【職業別】

●正社員と自営業では、男女共同参画社会が推進されてきたと思う割合は半数を超えており、他の職業においても、概ね半数に近い割合となっている。

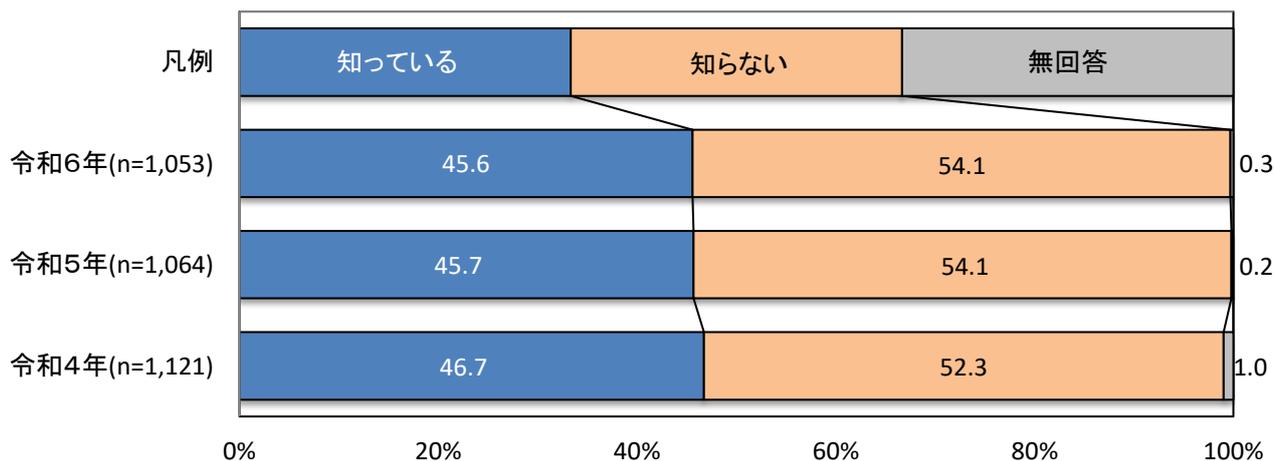


(2) 相談専門部署について

①専門相談部署の認知度（問36）

あなたは、女性や子どもに関する相談専門部署が市役所内にあることを知っていますか。
 （例えば、DV/離婚相談や子育ての困難さ、児童虐待など）

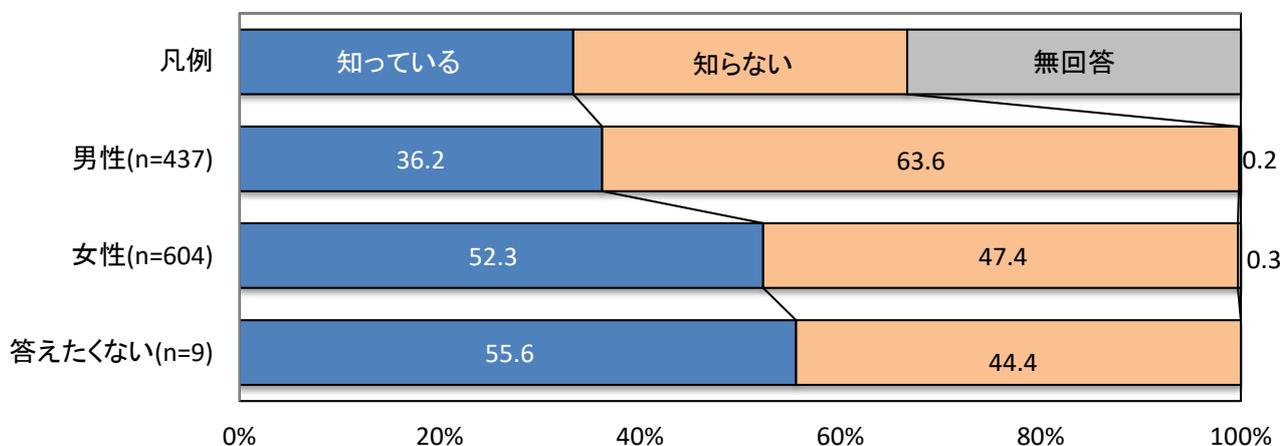
女性や子どもに関する相談専門部署が市役所内にあることを知っているかについては、「知っている」が45.6%、「知らない」が54.1%となっている。
 前年度と比べ大きな差は認められない。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	人	%	人	%	人	%
1 知っている	480	45.6	486	45.7	524	46.7
2 知らない	570	54.1	576	54.1	586	52.3
3 無回答	3	0.3	2	0.2	11	1.0
合計	1,053	100.0	1064	100.0	1121	100.0

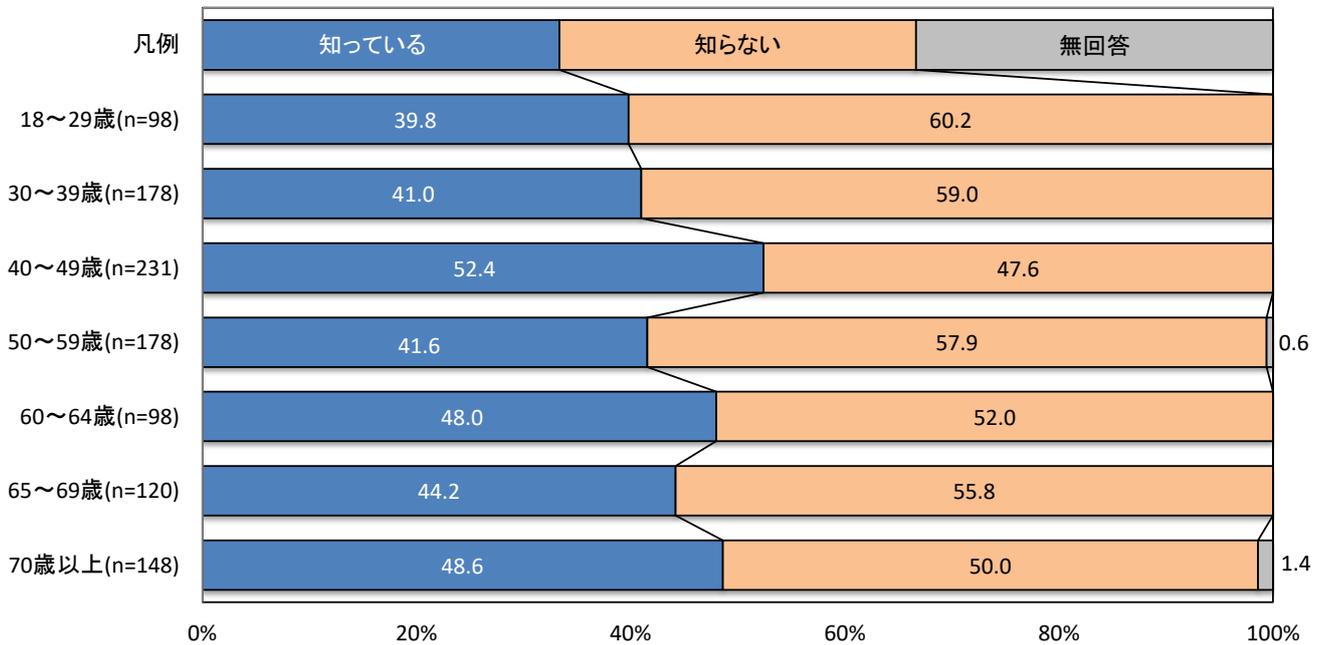
【性別】

●女性や子どもに関する相談専門部署が市役所内にあることを知っている人の割合は、男性が36.2%、女性が52.3%となっており、性別による認知度の差が認められる。



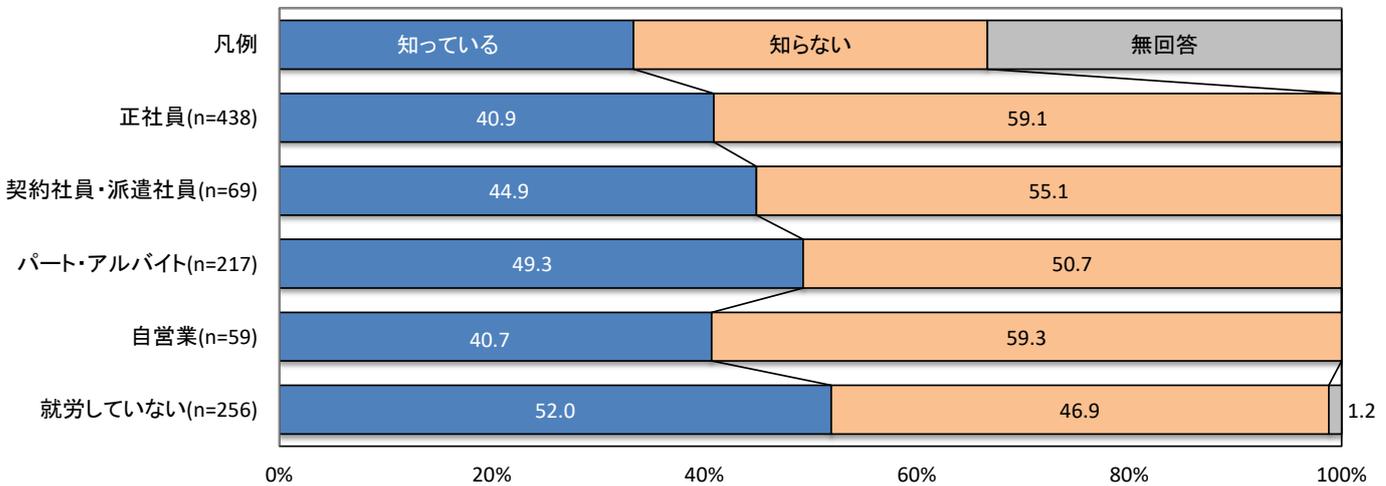
【年齢別】

●女性や子どもに関する相談専門部署が市役所内にあることを知っている割合は、40代では半数を超えており、他の年代よりも高くなっている。



【職業別】

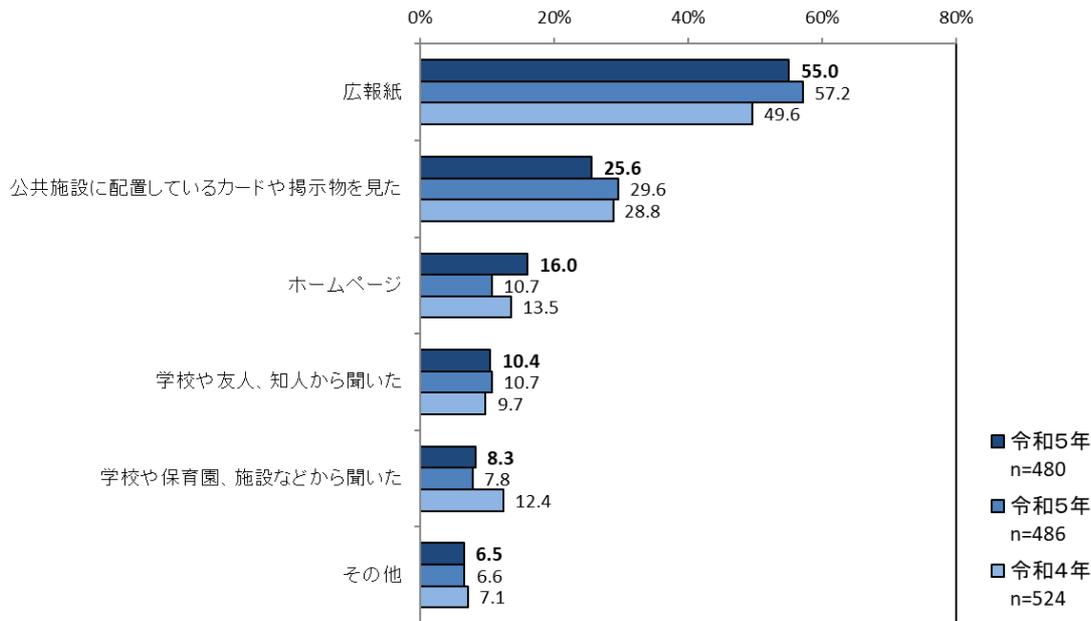
●女性や子どもに関する相談専門部署が市役所内にあることを知っている割合は、就労していない人が52.0%で最も高く、次いでパート・アルバイトの49.3%となっている。



②専門相談部署が市役所内にあることを知った方法（問37）

問36で「1.知っている」と答えた方にお尋ねします。
相談窓口を知った方法は何か。（複数回答可）

相談専門部署が市役所内にあることを知った方法については、「広報紙」が55.0%と最も高く、次いで「公共施設に配置しているカードや掲示物を見た」が25.6%、「ホームページ」が16.0%、「学校や友人、知人から聞いた」が10.4%となっている。
前年度と比べ「公共施設に配置しているカードや掲示物を見た」の割合が4.0ポイント減少している。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	n=480		n=486		n=524	
	人	%	人	%	人	%
1 広報紙	264	55.0	278	57.2	260	49.6
2 ホームページ	77	16.0	52	10.7	71	13.5
3 公共施設に配置しているカードや掲示物を見た	123	25.6	144	29.6	151	28.8
4 学校や保育園、施設などから聞いた	40	8.3	38	7.8	65	12.4
5 学校や友人、知人から聞いた	50	10.4	52	10.7	51	9.7
6 その他	31	6.5	32	6.6	37	7.1
7 無回答	6	1.3	17	3.5	0	0.0

その他の記述内容	件数
仕事上で知っている	9
当然あるだろうと思っていた	3
相談を受けてもらったから	2
学校で学んだ	1
社会福祉協議会で知った	1
役場に行った際に知った	1
テレビ	1

【性別】

- 相談専門部署が市役所内にあることを知った方法について、「公共施設に配置しているカードや掲示物を見た」は男性 11.4%、女性 32.9%となっており、女性が男性を 21.5 ポイント上回っている。

【年齢別】

- 相談専門部署が市役所内にあることを知った方法について、30代では「公共施設に配置しているカードや掲示物を見た」、30代を除く全ての世代では「広報紙」がそれぞれ最も高くなっている。50代では、他の世代に比べ「ホームページ」での認知が高くなっている。

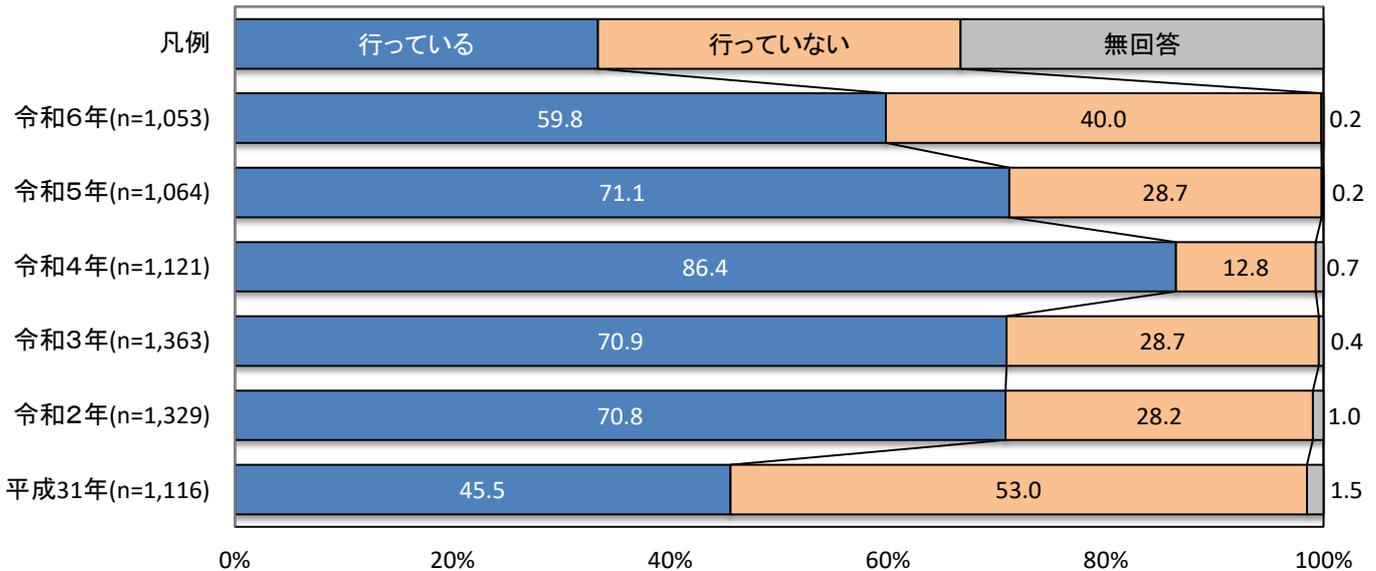
	合計	広報紙	ホームページ	公共施設に配置しているカードや掲示物を見た	学校や保育園、施設などから聞いた	学校や友人、知人から聞いた	その他
全体	480	55.0%	16.0%	25.6%	8.3%	10.4%	6.5%
■性別							
男性	158	58.2%	18.4%	11.4%	3.8%	15.2%	5.7%
女性	316	53.8%	14.9%	32.9%	10.4%	8.2%	6.3%
答えたくない	5	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%
■年代別							
18～29歳	39	30.8%	10.3%	17.9%	28.2%	2.6%	20.5%
30～39歳	73	35.6%	17.8%	37.0%	12.3%	13.7%	5.5%
40～49歳	121	46.3%	17.4%	36.4%	11.6%	9.9%	5.8%
50～59歳	74	58.1%	24.3%	21.6%	8.1%	13.5%	4.1%
60～64歳	47	74.5%	10.6%	21.3%	0.0%	12.8%	4.3%
65～69歳	53	73.6%	17.0%	20.8%	0.0%	5.7%	7.5%
70歳以上	72	73.6%	9.7%	11.1%	0.0%	11.1%	2.8%

危機管理について

1. 健康危機への備え（問40）

あなたは、新型インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症に関して、日頃から情報収集を行っていますか。

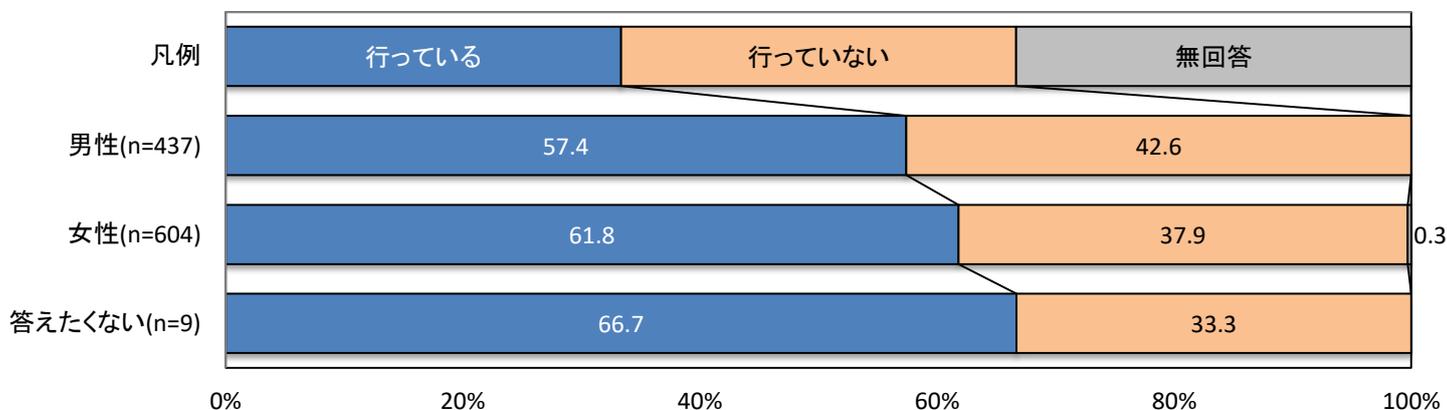
新型インフルエンザや新型コロナウイルス感染症などの健康危機に備え、日頃から情報収集を行っている人の割合は59.8%、行っていない人は40.0%となっている。
前年度と比較して、行っている人の割合は11.3ポイント減少している。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 行っている	630	59.8	757	71.1	969	86.4	966	70.9	941	70.8	508	45.5
2 行っていない	421	40.0	305	28.7	144	12.8	391	28.7	375	28.2	591	53.0
3 無回答	2	0.2	2	0.2	8	0.7	6	0.4	13	1.0	17	1.5
合計	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

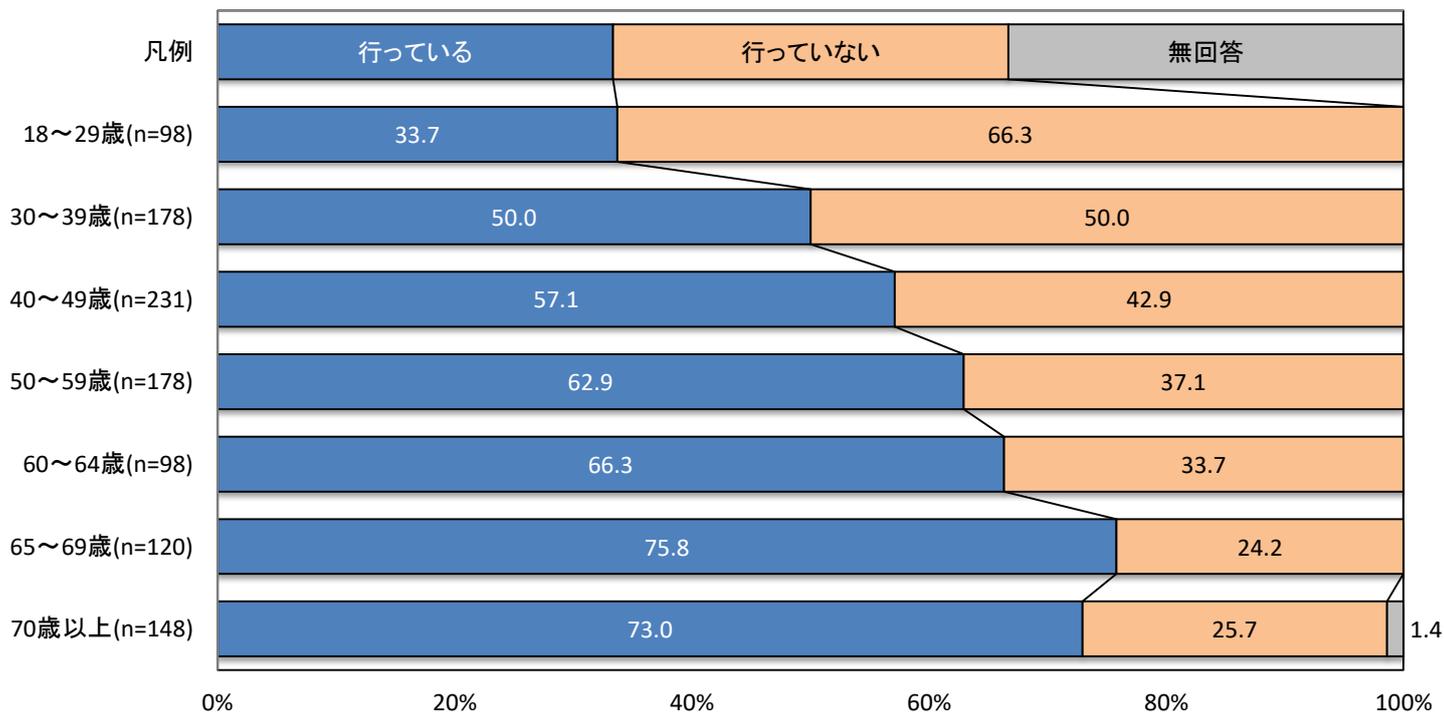
【性別】

●日頃から情報収集を行っている人の割合について、男性 57.4%、女性 61.8%と、女性がやや高くなっている。



【年齢別】

●日頃から情報収集を行っている人の割合は、概ね年代が上がるにつれ高くなっており、65～69歳以上では7割台となっている。

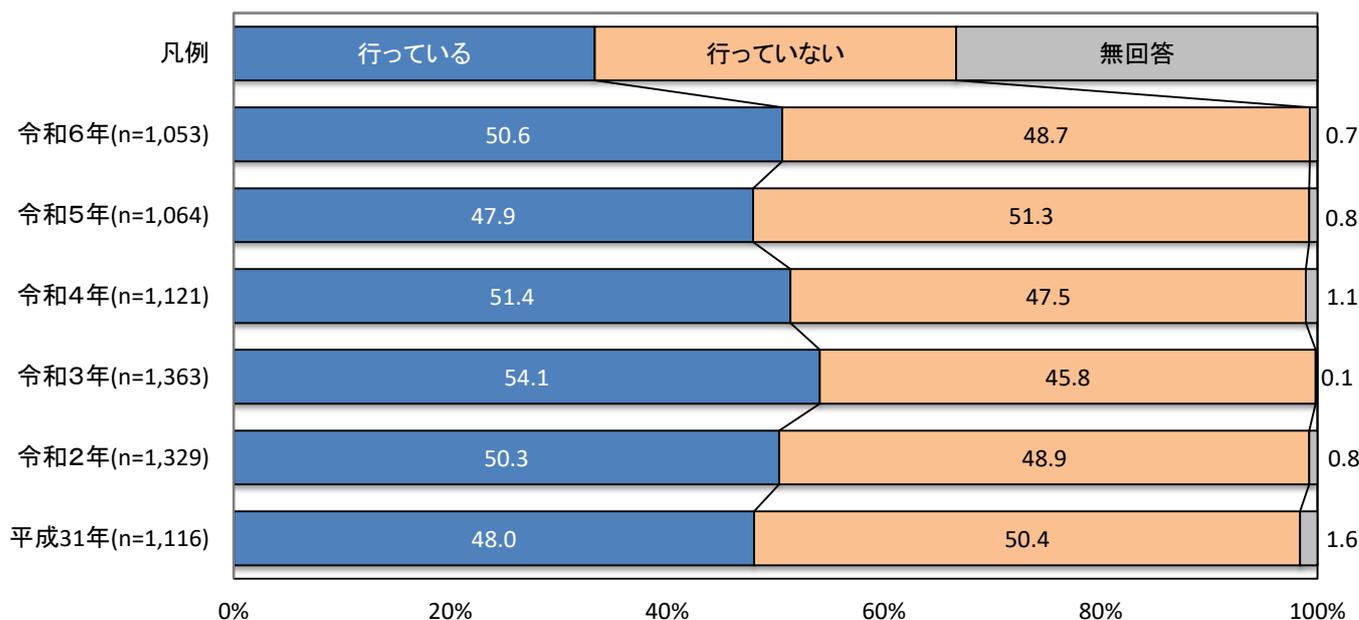


2. 防災の取組み

(1) 家庭内防災（問4-1）

あなたは、家庭内で防災に対する取組み（非常持ち出し袋の準備、家族での話し合い等）を行っていますか。

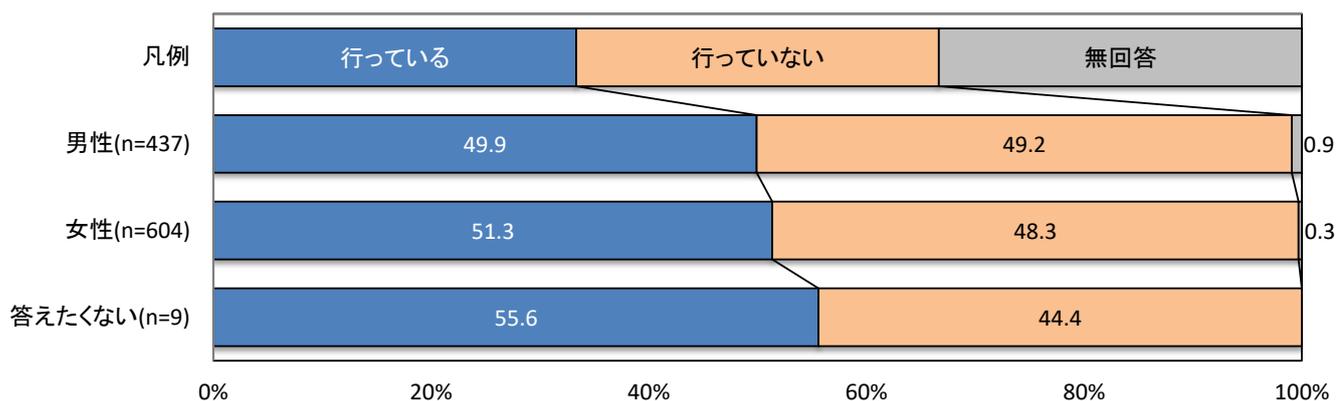
家庭内で防災に対する取組みを「行っている」人の割合は 50.6%、「行っていない」人の割合は 48.7%となっている。
 昨年度と比べ、「行っている」人の割合が 2.7 ポイント増加している。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 行っている	533	50.6	510	47.9	576	51.4	737	54.1	669	50.3	536	48.0
2 行っていない	513	48.7	546	51.3	533	47.5	624	45.8	650	48.9	562	50.4
3 無回答	7	0.7	8	0.8	12	1.1	2	0.1	10	0.8	18	1.6
合計	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

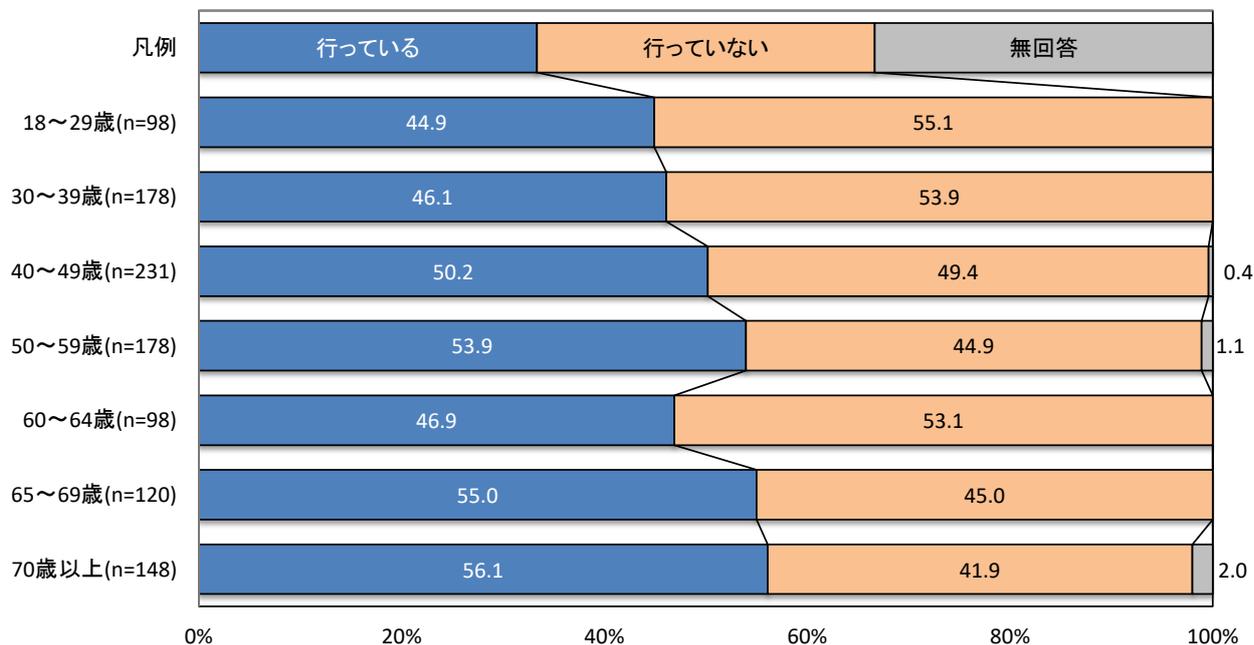
【性別】

- 家庭内で防災に対する取組みを行っている人の割合について、性別による大きな差は認められない。



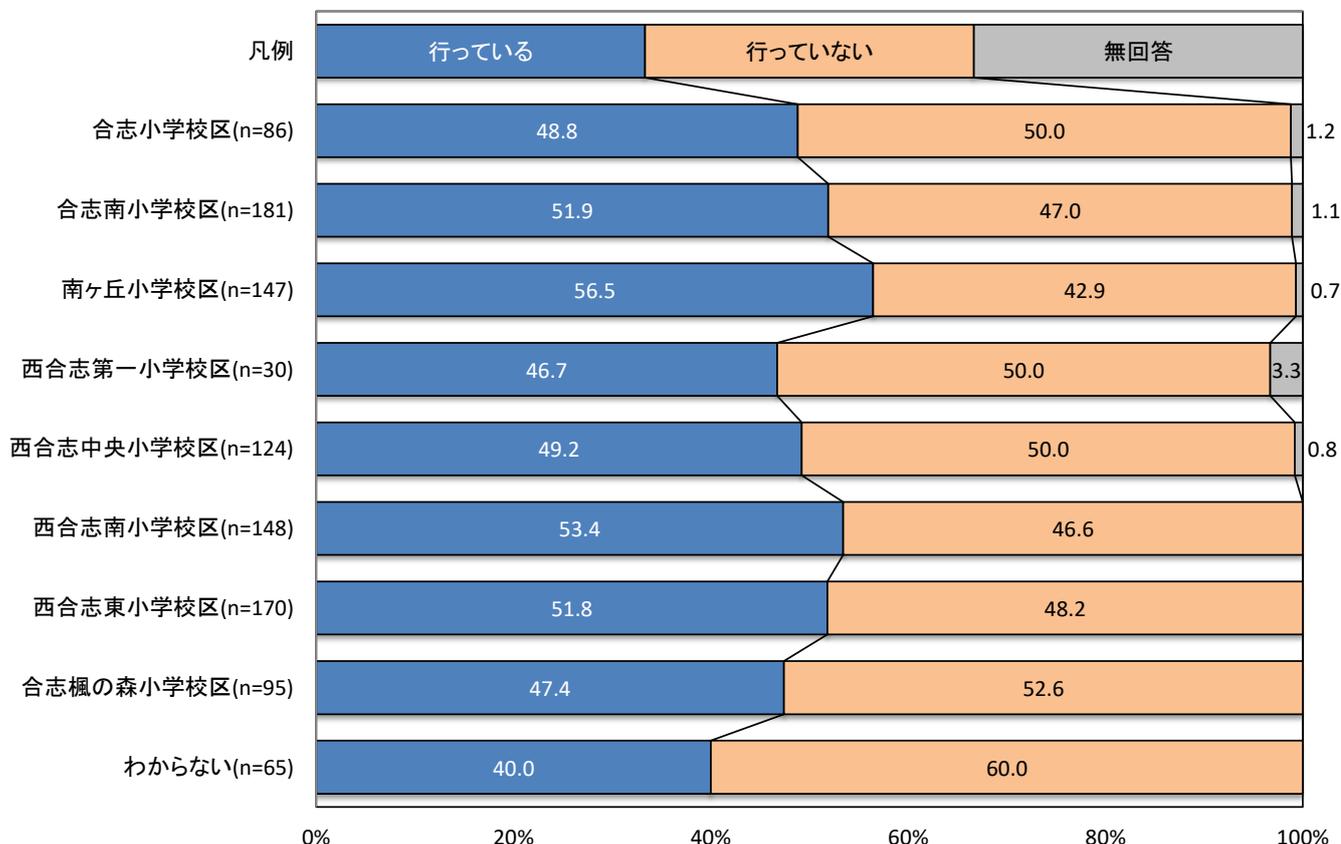
【年齢別】

●家庭内で防災に対する取り組みを行っている人の割合は、年代が下がるほど概ね低くなっていく傾向が認められる。



【校区別】

●家庭内で防災に対する取り組みを行っている人の割合は、すべての校区で約半数となっている。



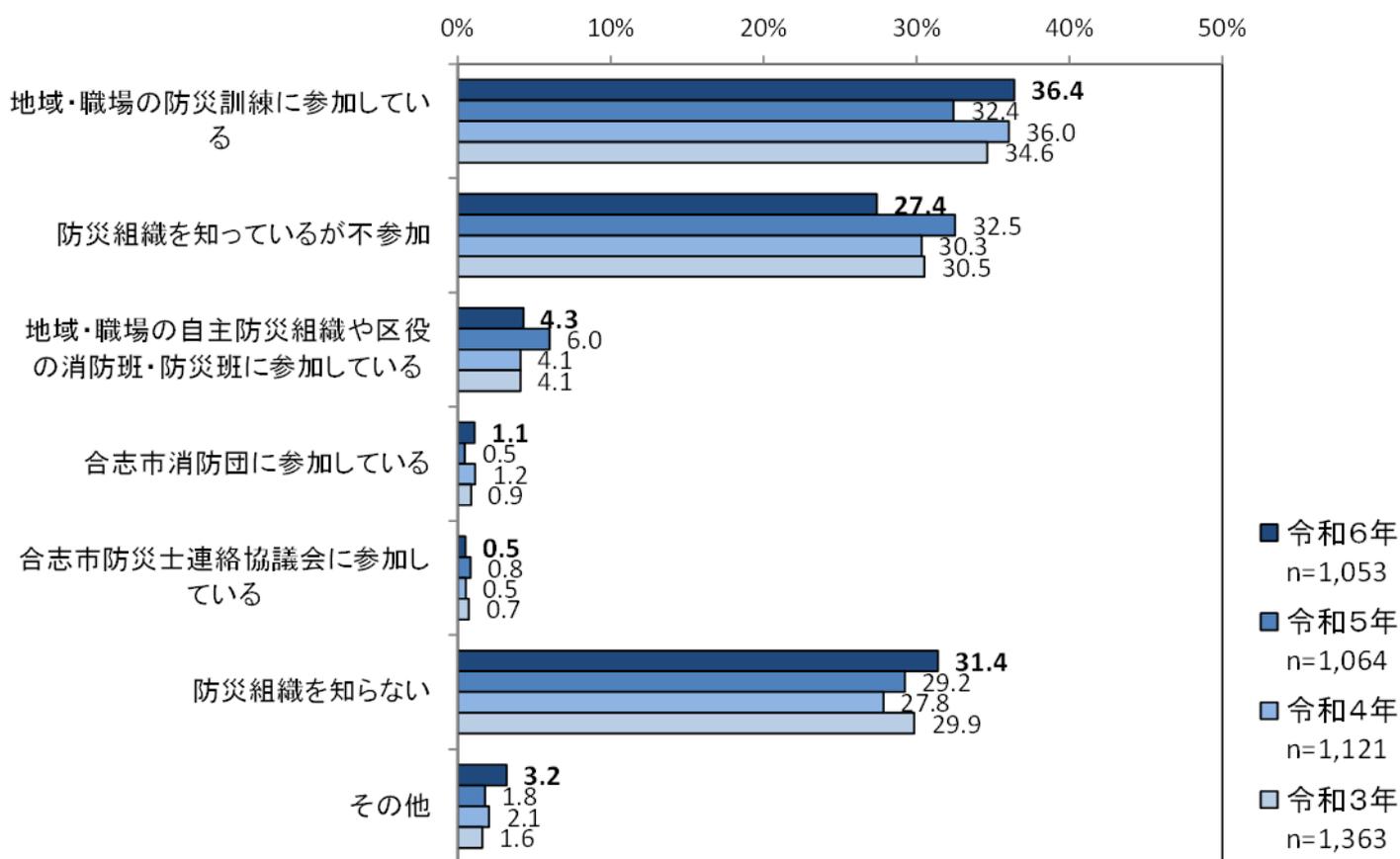
※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

(2) 地域防災 (問 4 2)

あなたは、地域・職場内で防災に対する取組み（防災訓練の参加、自主防災組織・消防団への参加等）を行っていますか。（複数回答可）

地域・職場内での防災に対する取組みについては、「地域・職場の防災訓練に参加している」が36.4%で最も高く、次いで「防災組織を知らない」人の割合が31.4%、「防災組織について知っているが、参加していない」が27.4%となっている。

防災に取り組んでいる人（「地域・職場の防災訓練に参加している」+「地域・職場の自主防災組織や区役の消防班・防災班に参加している」+「合志市消防団に参加している」+「合志市防災士連絡協議会に参加している」）の割合は42.3%となっており、昨年度と比べ2.6ポイント増加している。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	n=1053		n=1064		n=1121		n=1363	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 地域・職場の防災訓練に参加している	383	36.4	345	32.4	404	36.0	472	34.6
2 地域・職場の自主防災組織や区役の消防班・防災班に参加している	45	4.3	64	6.0	46	4.1	56	4.1
3 合志市消防団に参加している	12	1.1	5	0.5	13	1.2	12	0.9
4 合志市防災士連絡協議会に参加している	5	0.5	9	0.8	6	0.5	10	0.7
5 防災組織を知っているが参加していない	288	27.4	346	32.5	340	30.3	416	30.5
6 防災組織を知らない	331	31.4	311	29.2	312	27.8	407	29.9
7 その他	34	3.2	19	1.8	23	2.1	22	1.6

【性別】

- 性別による大きな差は認められない。

【年齢別】

- 地域・職場の防災訓練に参加している割合は、40代～70歳未満の世代で最も高くなっている。

【校区別】

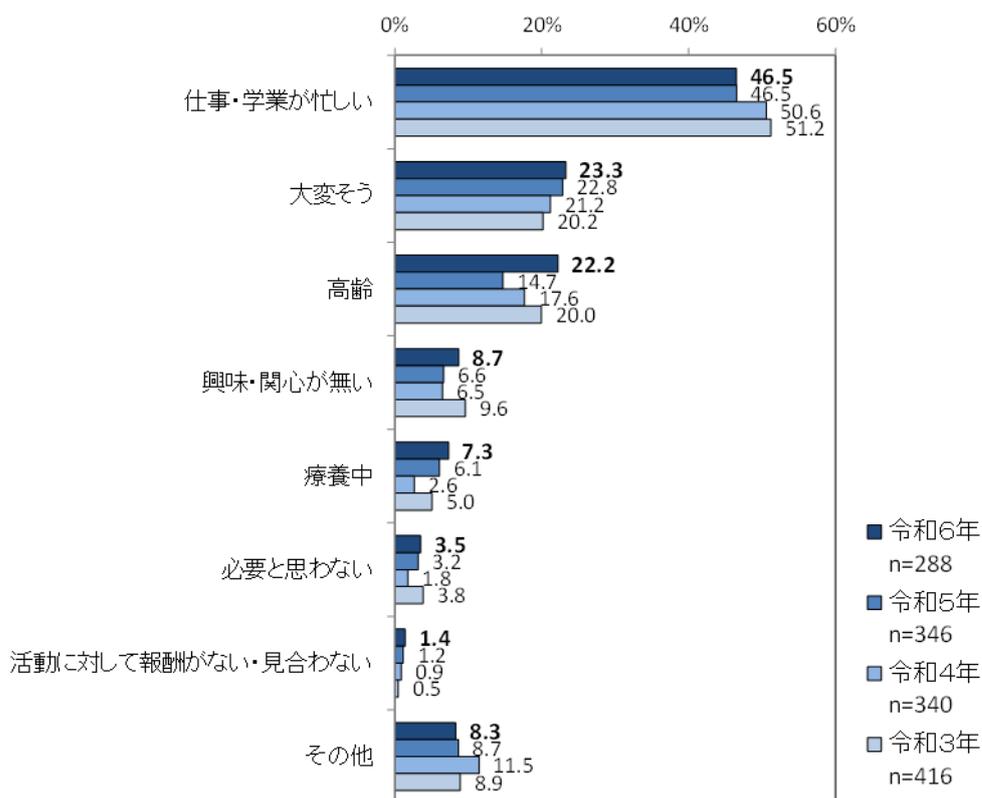
- 地域・職場内で防災に対する取り組みを「行っている」割合は、西合志第一小と合志小が半数以上となり、他の校区よりも高くなっている。

	合計	地域・職場の防災訓練に参加している	地域・職場の自主防災組織や区役所の消防・防災班に参加している	合志市消防団に参加している	合志市防災士連絡協議会に参加している	防災組織を知っているが不参加	防災組織を知らない	その他
全体	1053	36.4%	4.3%	1.1%	0.5%	27.4%	31.4%	3.2%
■性別								
男性	437	36.2%	8.2%	2.3%	1.1%	29.1%	28.6%	2.7%
女性	604	36.6%	1.5%	0.3%	0.0%	25.8%	33.8%	3.6%
答えたくない	9	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	44.4%	22.2%	0.0%
■年代別								
18～29歳	98	18.4%	1.0%	0.0%	0.0%	25.5%	56.1%	2.0%
30～39歳	178	36.5%	1.7%	1.7%	0.6%	18.5%	42.1%	2.2%
40～49歳	231	40.3%	5.6%	3.5%	0.4%	24.7%	30.7%	2.6%
50～59歳	178	43.8%	5.6%	0.6%	0.0%	25.3%	25.3%	3.4%
60～64歳	98	34.7%	2.0%	0.0%	2.0%	27.6%	34.7%	3.1%
65～69歳	120	43.3%	3.3%	0.0%	0.0%	32.5%	17.5%	4.2%
70歳以上	148	28.4%	8.1%	0.0%	0.7%	41.9%	20.3%	5.4%
■校区別								
合志小学校区	86	43.0%	7.0%	4.7%	0.0%	31.4%	18.6%	4.7%
合志南小学校区	181	28.7%	3.3%	0.0%	0.6%	26.0%	44.2%	3.3%
南ヶ丘小学校区	147	37.4%	6.1%	0.0%	0.0%	28.6%	21.8%	6.1%
西合志第一小学校区	30	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	20.0%	3.3%
西合志中央小学校区	124	33.9%	2.4%	4.0%	0.8%	31.5%	28.2%	1.6%
西合志南小学校区	148	39.2%	6.8%	1.4%	1.4%	27.7%	31.1%	2.7%
西合志東小学校区	170	40.6%	4.1%	0.0%	0.6%	27.1%	27.1%	1.2%
合志楓の森小学校区	95	36.8%	3.2%	1.1%	0.0%	29.5%	32.6%	3.2%
わからない	65	24.6%	1.5%	0.0%	0.0%	16.9%	53.8%	4.6%

(3) 防災への取り組みに参加しない理由（問43）

問42で「5. 防災組織について知っているが、参加していない」と答えた方にお尋ねします。それはなぜですか。（複数回答可）

「防災組織を知っているが、参加していない」288人について、参加していない理由を尋ねたところ、「仕事・学業が忙しい」の割合が46.5%で最も高く、次いで「大変そう」23.3%、高齢22.2%となっており、前年度と比較して「高齢」を理由に参加していない人の割合が7.5ポイント増加している。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	n=288		n=346		n=340		n=416	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1 仕事・学業が忙しいから	134	46.5	161	46.5	172	50.6	213	51.2
2 療養中だから	21	7.3	21	6.1	9	2.6	21	5.0
3 高齢だから	64	22.2	51	14.7	60	17.6	83	20.0
4 興味・関心が無いから	25	8.7	23	6.6	22	6.5	40	9.6
5 必要と思わないから	10	3.5	11	3.2	6	1.8	16	3.8
6 大変そうだから	67	23.3	79	22.8	72	21.2	84	20.2
7 活動に対して報酬がない・見合わないから	4	1.4	4	1.2	3	0.9	2	0.5
8 その他	24	8.3	30	8.7	39	11.5	37	8.9

その他の記述内容	件数
配偶者等が参加しているため	5
日程が合わない	4
子育てなどで忙しいから	4
身体が不自由なため	2
依頼がないため	2
コロナが心配だから	1
参加する機会がないから	1

【性別】

- 参加していない・防災に対する取組みを行っていない理由として、「高齢」をあげている人の割合は男性 30.7%、女性 15.4%で、男性が女性より 15.3 ポイント高くなっている。一方「大変そう」をあげている人の割合は男性 21.3%、女性 25.0%で、女性が男性より 3.7 ポイント高くなっている。

【年齢別】

- 参加していない・防災に対する取組みを行っていない理由として、65 歳以上では「高齢」の割合が最も高くなっている。また、「仕事・学業が忙しい」をあげている人の割合は、20 代以下、50 代では 7 割を超えている。

【校区別】

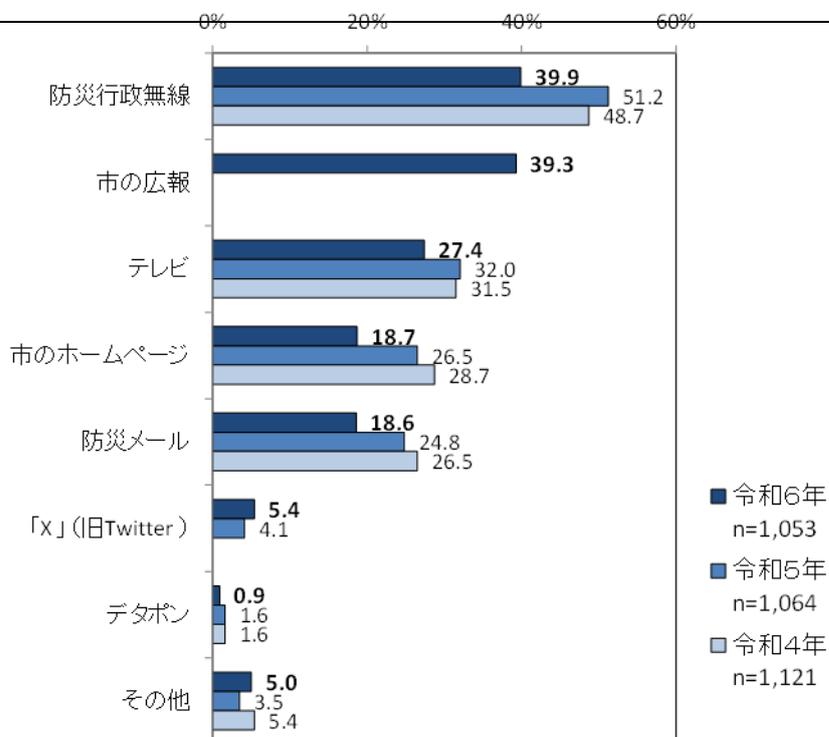
- 参加していない・防災に対する取組みを行っていない理由として、すべての校区で「仕事・学業が忙しい」をあげている人の割合が最も高く、合志小、西合志南小では「高齢」の割合が約 3 割となっており、他の校区よりも高くなっている。

	合計	忙し 仕事 い・学 業が	療 養 中	高 齢	興 味 ・ 関 心 が	必 要 と 思 わ な い	大 変 そ う	見 報 酬 が な い 対 し て	活 動 に 対 し て	そ の 他
全体	288	46.5%	7.3%	22.2%	8.7%	3.5%	23.3%	1.4%	8.3%	
■性別										
男性	127	45.7%	7.1%	30.7%	9.4%	4.7%	21.3%	3.1%	3.1%	
女性	156	46.8%	7.7%	15.4%	7.7%	2.6%	25.0%	0.0%	12.2%	
答えたくない	4	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	
■年代別										
18～29歳	25	76.0%	8.0%	0.0%	12.0%	4.0%	8.0%	0.0%	4.0%	
30～39歳	33	66.7%	3.0%	0.0%	21.2%	12.1%	33.3%	3.0%	9.1%	
40～49歳	57	57.9%	0.0%	0.0%	15.8%	3.5%	35.1%	1.8%	10.5%	
50～59歳	45	73.3%	6.7%	2.2%	6.7%	2.2%	17.8%	2.2%	8.9%	
60～64歳	27	48.1%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	14.8%	0.0%	18.5%	
65～69歳	39	28.2%	15.4%	38.5%	0.0%	2.6%	38.5%	0.0%	5.1%	
70歳以上	62	4.8%	9.7%	67.7%	4.8%	1.6%	11.3%	1.6%	4.8%	
■校区別										
合志小学校区	27	40.7%	7.4%	29.6%	3.7%	3.7%	14.8%	0.0%	7.4%	
合志南小学校区	47	36.2%	10.6%	25.5%	4.3%	4.3%	23.4%	2.1%	12.8%	
南ヶ丘小学校区	42	42.9%	9.5%	23.8%	4.8%	2.4%	31.0%	4.8%	7.1%	
西合志第一小学校区	5	80.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
西合志中央小学校区	39	51.3%	5.1%	15.4%	12.8%	5.1%	23.1%	2.6%	5.1%	
西合志南小学校区	41	41.5%	7.3%	29.3%	9.8%	2.4%	22.0%	0.0%	7.3%	
西合志東小学校区	46	52.2%	4.3%	21.7%	13.0%	4.3%	19.6%	0.0%	10.9%	
合志楓の森小学校区	28	50.0%	0.0%	14.3%	10.7%	3.6%	28.6%	0.0%	10.7%	
わからない	11	72.7%	9.1%	0.0%	18.2%	0.0%	36.4%	0.0%	0.0%	

(4) 防災情報の収集方法（問44）

あなたは市の防災情報をどのようにして収集していますか。（複数回答可）

市の防災情報をどのようにして収集しているかについて、「防災行政無線」が39.9%と最も高く、以下、「市の広報」39.3%、「テレビ」27.4%、「市のホームページ」18.7%の順となっている。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	n=1053		n=1064		n=1121	
	人	%	人	%	人	%
1 防災行政無線	420	39.9	545	51.2	546	48.7
2 テレビ	289	27.4	341	32.0	353	31.5
3 市のホームページ	197	18.7	282	26.5	322	28.7
4 防災メール	196	18.6	264	24.8	297	26.5
5 デタボン	9	0.9	17	1.6	18	1.6
6 「X」(旧Twitter)	57	5.4	44	4.1		
7 市の広報	414	39.3				
8 その他	53	5.0	37	3.5	60	5.4

その他の記述内容	件数
インターネット	7
防災アプリ	5
SNS	3
家族	3
引っ越してきたばかりでわからない	1
職場からの情報	1
近所の人	1
回覧板	1

【性別】

- 市の防災情報をどのようにして収集しているかについて、男性では防災行政無線、女性では市の広報が最も高くなっている。

【年齢別】

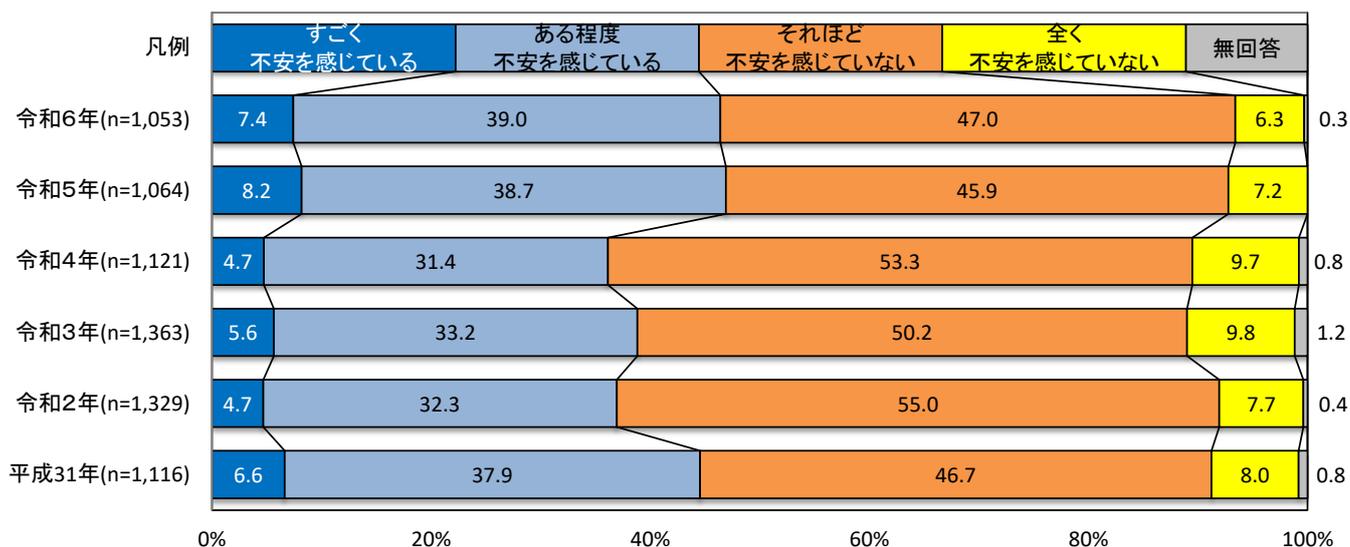
- 市の防災情報をどのようにして収集しているかについて、防災行政無線、市の広報の割合は、年代が上がるにつれ概ね高くなっていく傾向が認められる。一方、テレビでの情報収集割合は、年代が下がるごとに高くなっている。

	合計	防災行政無線	テレビ	市のホームページ	防災メール	データポン	Twitter（旧t t e r）	市の広報	その他
全体	1,053	39.9%	27.4%	18.7%	18.6%	0.9%	5.4%	39.3%	5.0%
■性別									
男性	437	41.6%	27.0%	20.1%	19.5%	0.7%	4.3%	38.2%	4.6%
女性	604	38.9%	27.8%	17.5%	18.0%	1.0%	6.1%	39.9%	5.1%
答えたくない	9	22.2%	33.3%	22.2%	22.2%	0.0%	11.1%	55.6%	11.1%
■年代別									
18～29歳	98	25.5%	42.9%	17.3%	8.2%	0.0%	19.4%	22.4%	9.2%
30～39歳	178	30.9%	30.9%	18.5%	13.5%	1.1%	7.9%	30.9%	5.1%
40～49歳	231	35.1%	28.6%	21.6%	22.5%	0.0%	3.9%	38.1%	5.6%
50～59歳	178	38.2%	23.6%	24.2%	20.8%	0.6%	5.6%	39.3%	4.5%
60～64歳	98	48.0%	23.5%	15.3%	21.4%	1.0%	1.0%	45.9%	4.1%
65～69歳	120	52.5%	21.7%	17.5%	21.7%	3.3%	1.7%	47.5%	2.5%
70歳以上	148	54.1%	23.6%	11.5%	18.9%	0.7%	1.4%	51.4%	4.7%

3. 犯罪被害に合う不安（問45）

あなたやあなたの家族が、合志市内において犯罪被害（詐欺、窃盗、痴漢等）などに不安を感じていますか。

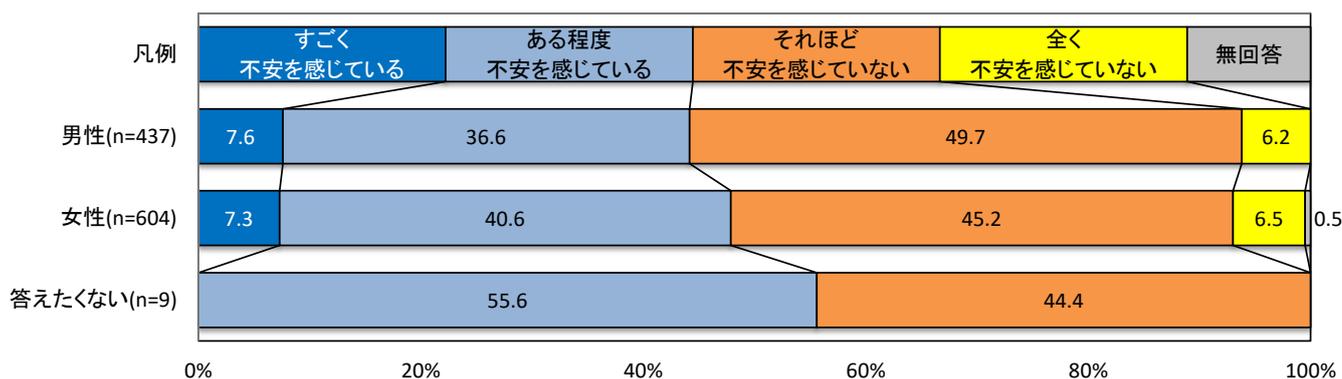
合志市内で犯罪被害にあう不安を感じている（「すごく不安を感じている」+「ある程度不安を感じている」）人の割合は 46.4%となっており、不安を感じていない（「全く不安を感じていない」+「それほど不安を感じていない」）が53.3%となっている。
前年度と比べ、大きな差は認められない。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 すごく不安を感じている	78	7.4	87	8.2	53	4.7	77	5.6	62	4.7	74	6.6
2 ある程度不安を感じている	411	39.0	412	38.7	352	31.4	452	33.2	429	32.3	423	37.9
3 それほど不安を感じていない	495	47.0	488	45.9	598	53.3	684	50.2	731	55.0	521	46.7
4 全く不安を感じていない	66	6.3	77	7.2	109	9.7	134	9.8	102	7.7	89	8.0
5 無回答	3	0.3	0	0.0	9	0.8	16	1.2	5	0.4	9	0.8
合計	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

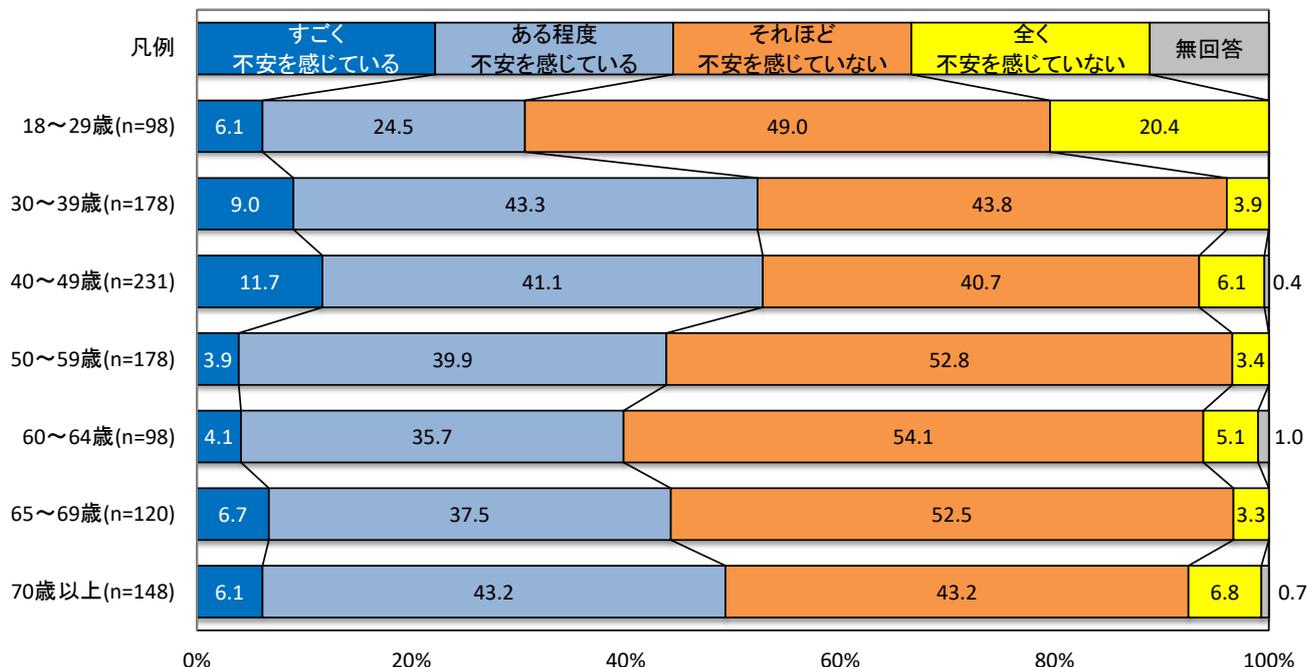
【性別】

●犯罪被害にあう不安を感じている人の割合は、男性 44.2%、女性 47.9%となっており、女性が男性を 3.7 ポイント上回っている。



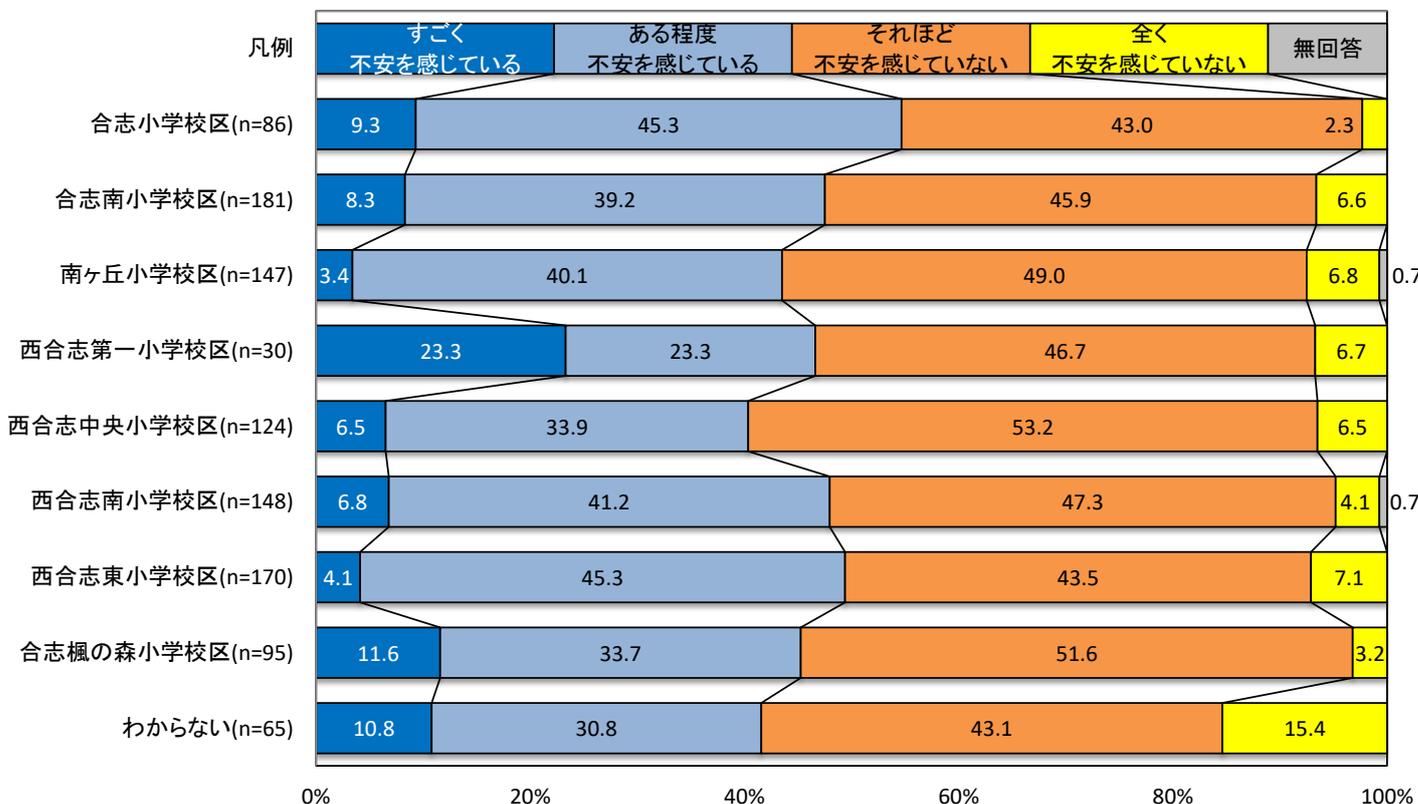
【年齢別】

●犯罪被害にあう不安を感じている人の割合は、30代、40代で5割を超えて高くなっている。20代以下では犯罪被害にあう不安を感じていない人が約7割となっている。



【校区別】

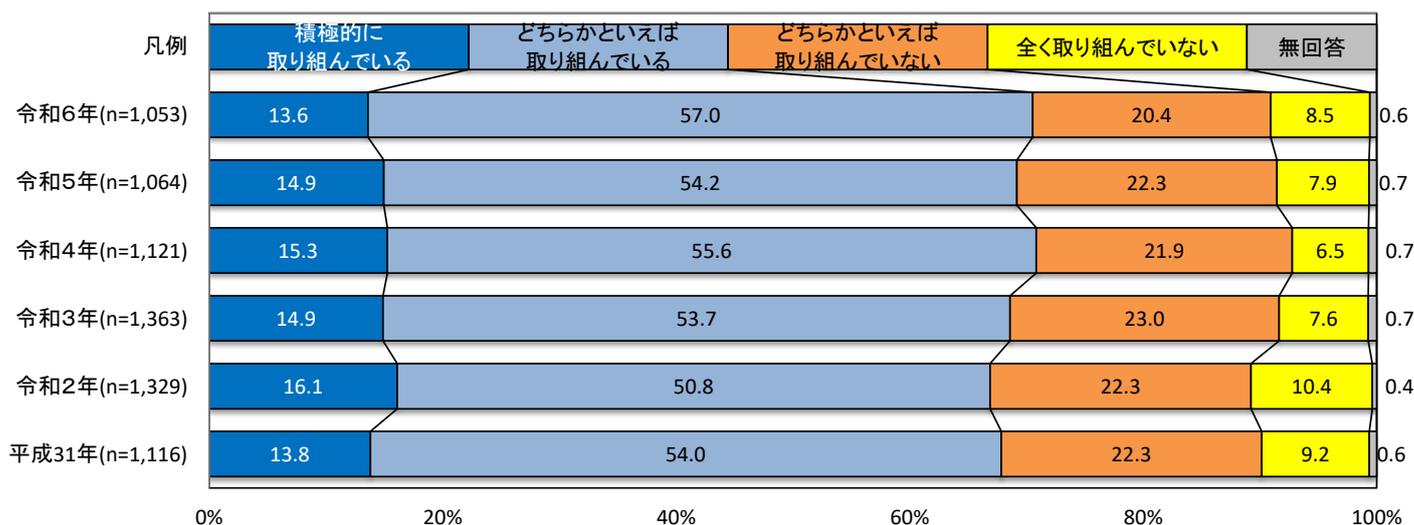
●犯罪被害にあう不安を感じている人の割合は、合志小で5割を超えており、その他の校区では40%台で推移している。



4. 地球温暖化防止への取組み（問47）

あなたの世帯では、何らかの地球温暖化防止対策（太陽光発電、太陽熱温水器、低燃費車両、LED化等の省エネ家電、節電等）に取り組んでいますか。

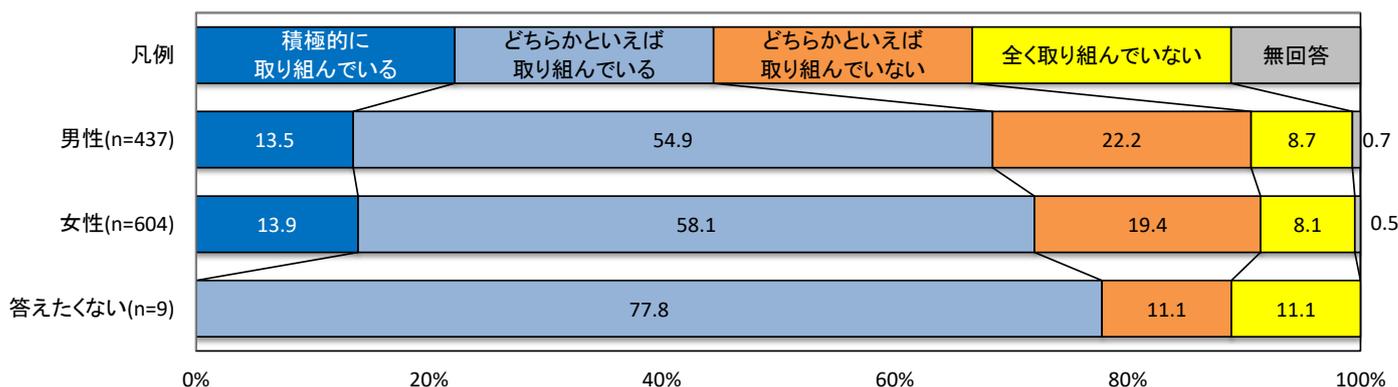
地球温暖化防止対策に取り組んでいる（「積極的に取り組んでいる」+「どちらかといえば取り組んでいる」）人の割合は70.6%となっており、取り組んでいない（「全く取り組んでいない」+「どちらかといえば取り組んでいない」）人の割合は28.9%となっている。
前年度と比較して大きな差は認められない。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 積極的に取り組んでいる	143	13.6	159	14.9	171	15.3	203	14.9	214	16.1	154	13.8
2 どちらかといえば取り組んでいる	600	57.0	577	54.2	623	55.6	732	53.7	675	50.8	603	54.0
3 どちらかといえば取り組んでいない	215	20.4	237	22.3	246	21.9	314	23.0	297	22.3	249	22.3
4 全く取り組んでいない	89	8.5	84	7.9	73	6.5	104	7.6	138	10.4	103	9.2
5 無回答	6	0.6	7	0.7	8	0.7	10	0.7	5	0.4	7	0.6
合計	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

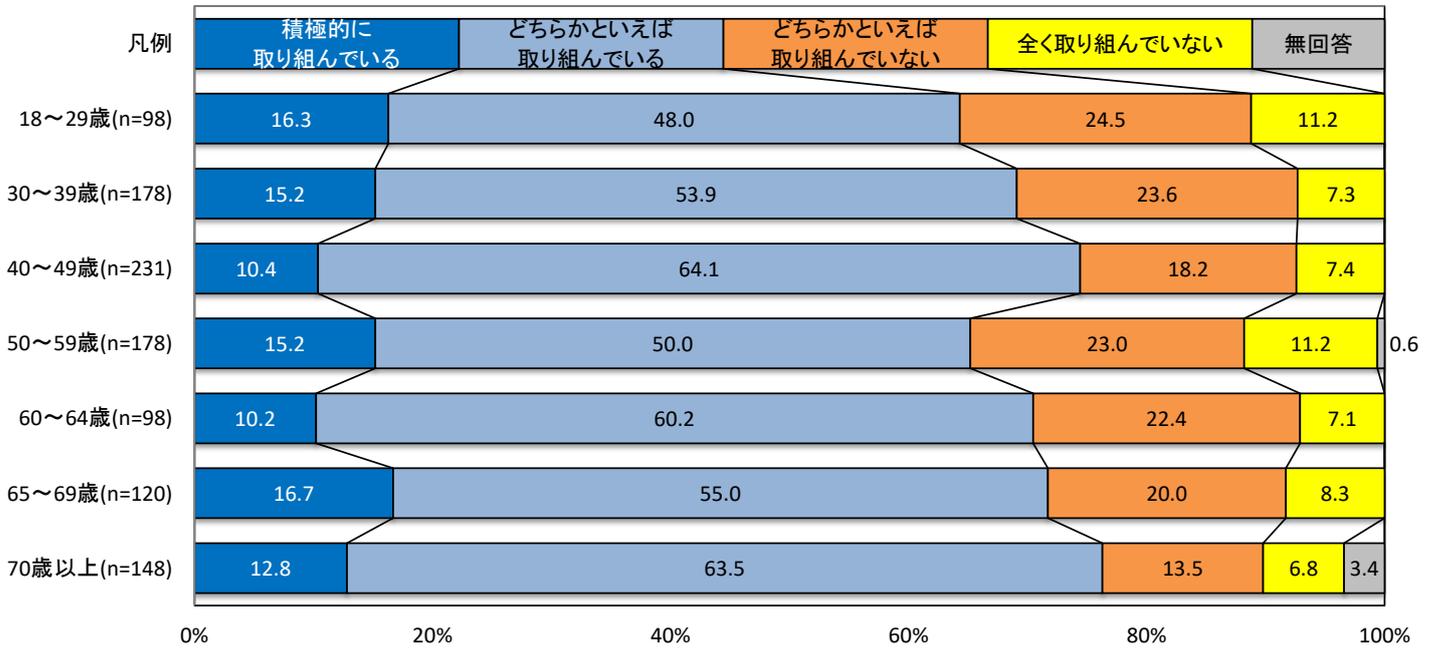
【性別】

●地球温暖化防止対策に取り組んでいる人の割合は、男性68.4%、女性72.0%となっており、女性の割合がやや高い。



【年齢別】

●地球温暖化防止対策に取り組んでいる人の割合は、年代に関係なく6割を超えており、特に40代、60歳以上では7割台となっている。



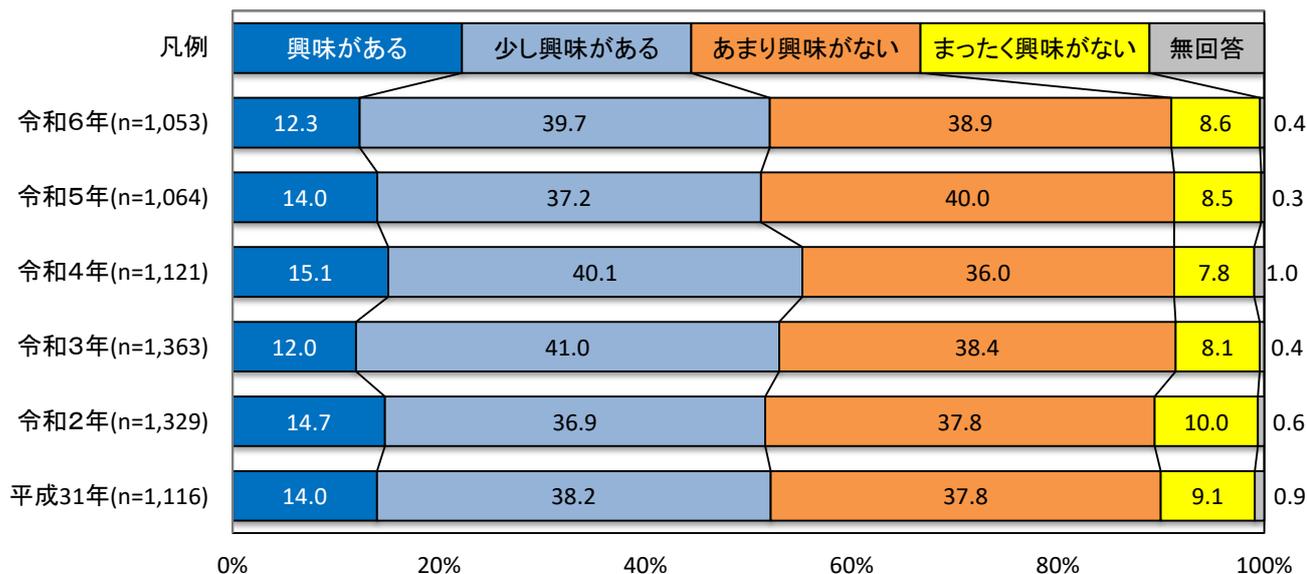
郷土意識について

1. 合志市の歴史・伝統文化への関心（問38）

あなたは、合志市の歴史・伝統文化に興味がありますか。

合志の歴史・伝統文化に興味がある人（「興味がある」＋「少し興味がある」）の割合は52.0%、興味がない人（「まったく興味がない」＋「あまり興味がない」）の割合は47.5%となっている。

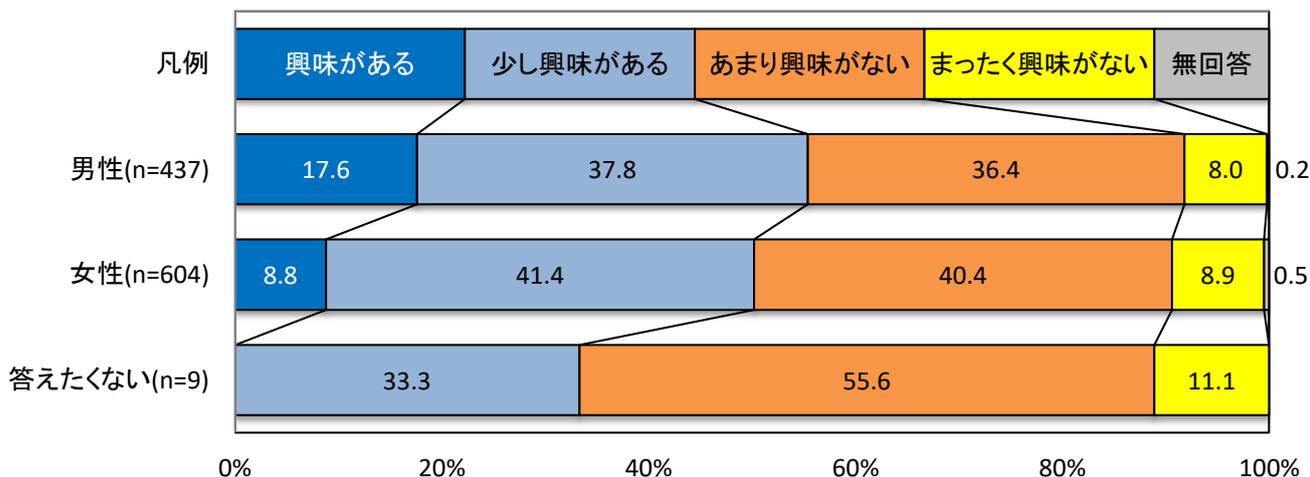
前年度と比べ、大きな差は認められない。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 興味がある	130	12.3	149	14.0	169	15.1	163	12.0	196	14.7	156	14.0
2 少し興味がある	418	39.7	396	37.2	450	40.1	559	41.0	490	36.9	426	38.2
3 あまり興味がない	410	38.9	426	40.0	404	36.0	524	38.4	502	37.8	422	37.8
4 まったく興味がない	91	8.6	90	8.5	87	7.8	111	8.1	133	10.0	102	9.1
5 無回答	4	0.4	3	0.3	11	1.0	6	0.4	8	0.6	10	0.9
合計	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

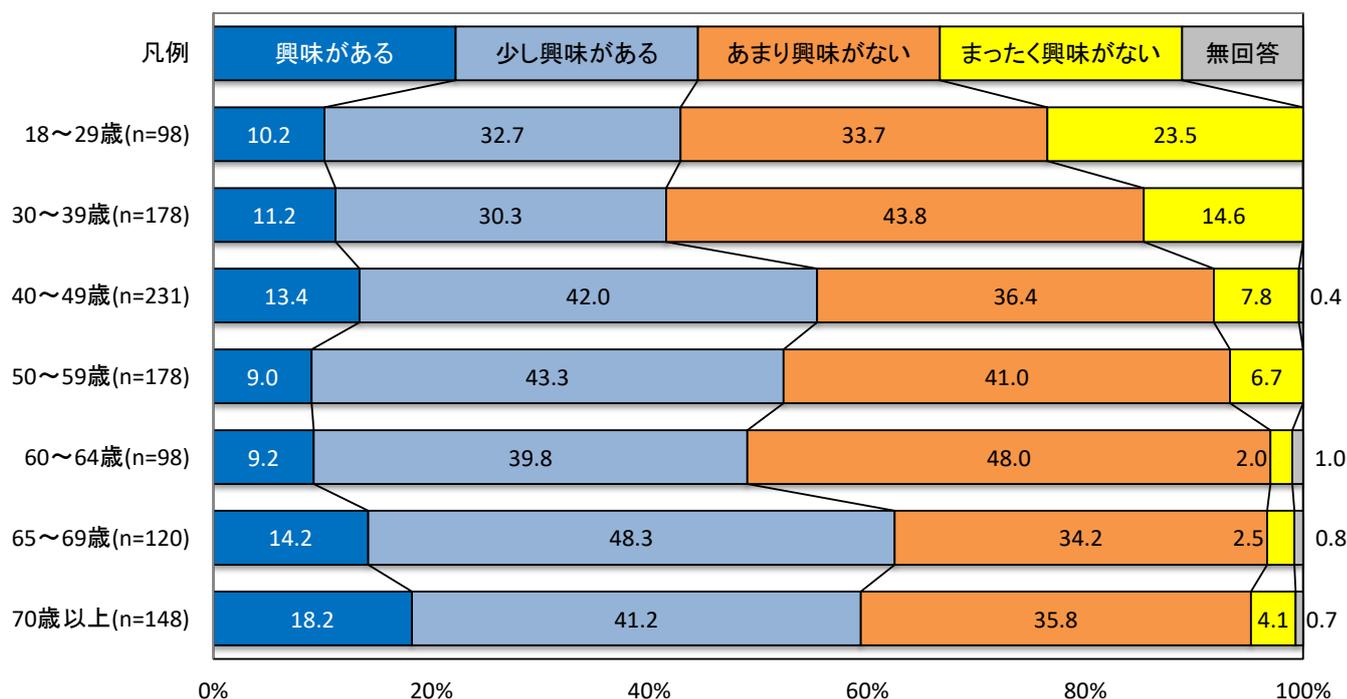
【性別】

●合志の歴史・伝統文化に興味がある人の割合は、男性 55.4%、女性 50.2%となっており、男性が女性を 5.2 ポイント上回っている。



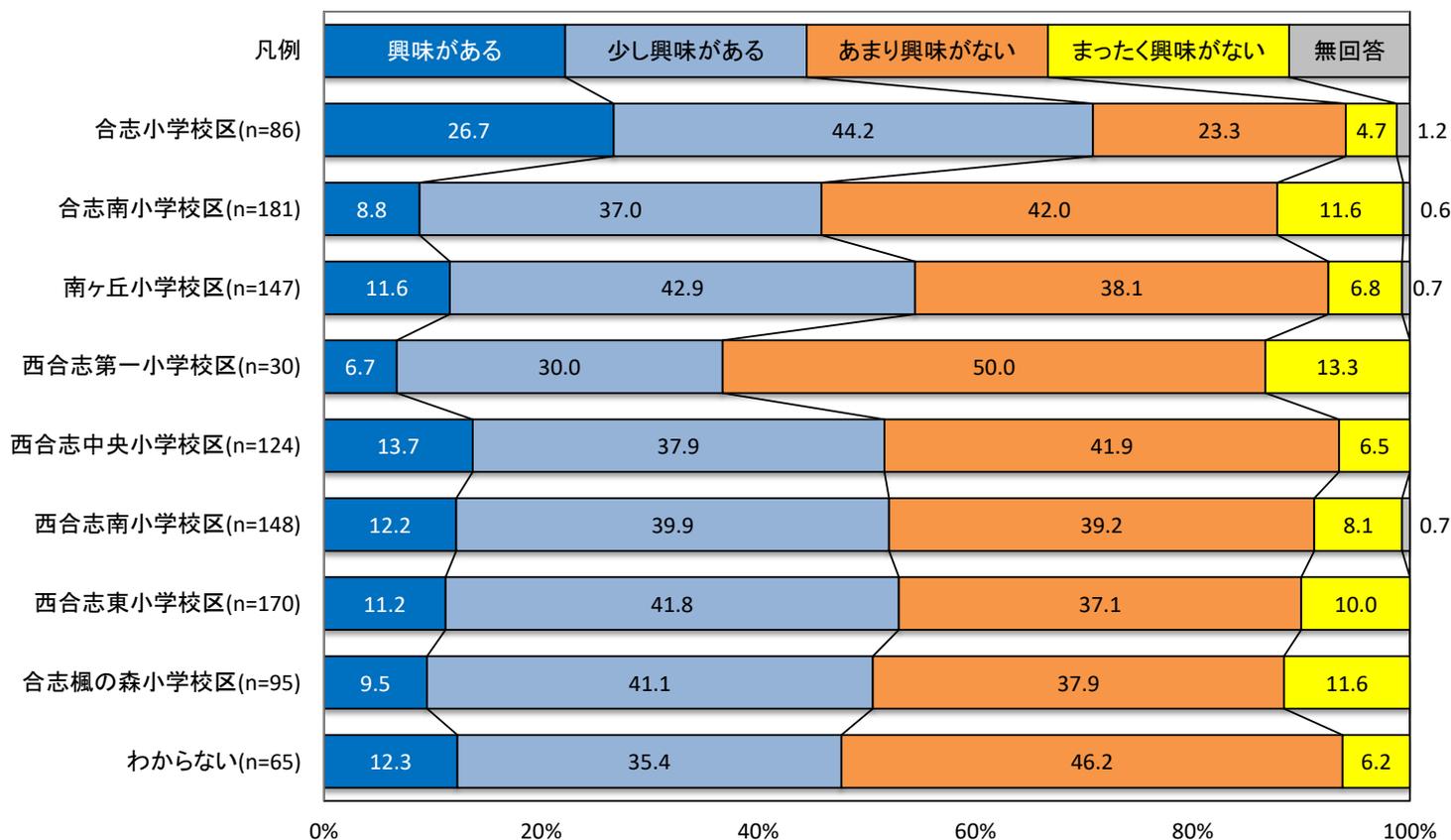
【年齢別】

●合志の歴史・伝統文化に興味がある人の割合は、65～69歳では6割を超えている。



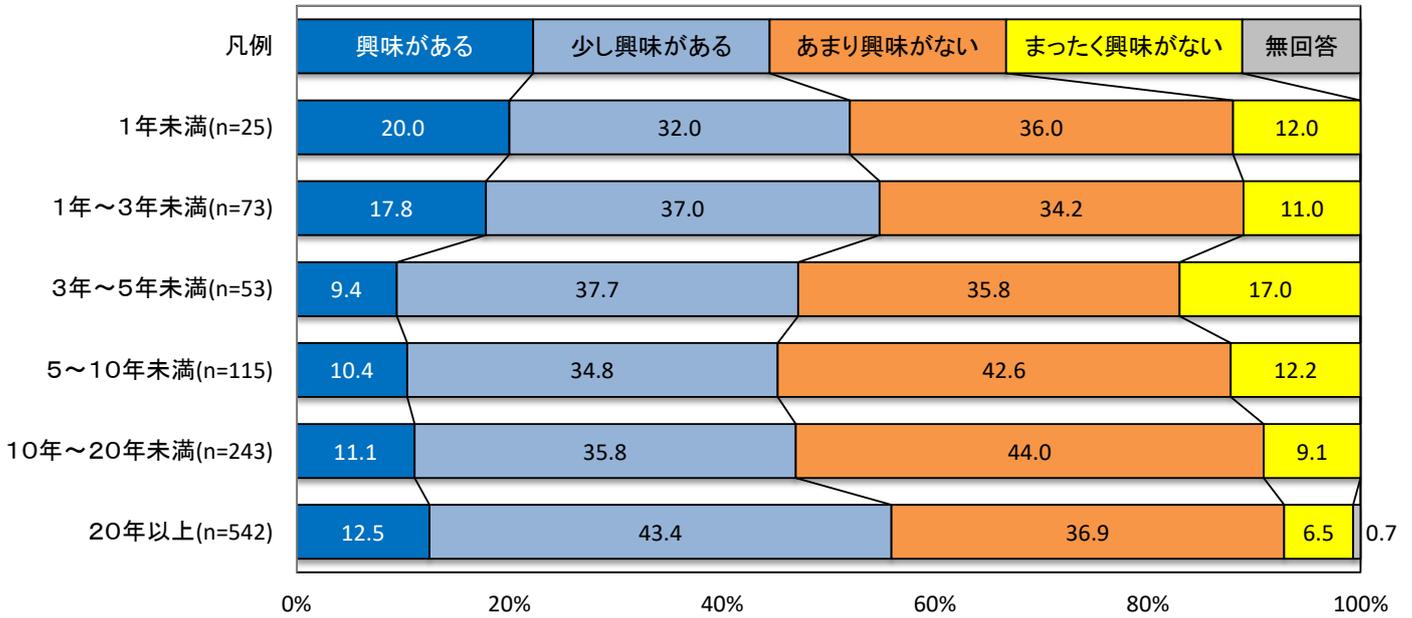
【校区別】

●合志の歴史・伝統文化に興味がある人の割合は、合志小の70.9%が最も高く、これに南ヶ丘小の54.5%、西合志東小の53.0%が続いている。



【居住年数別】

●合志の歴史・伝統文化に興味がある人の割合は、居住年数にかかわらず約半数となっているが、居住年数 20 年以上が 55.9%で最も高くなっている。

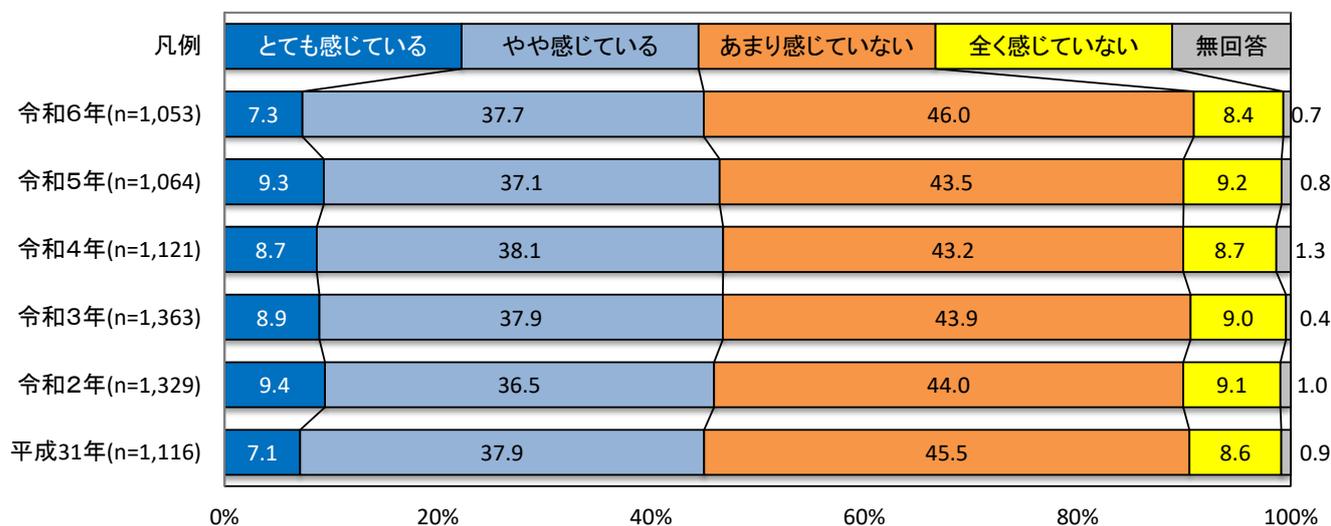


2. 郷土としての合志市への意識（問39）

あなたは、歴史、伝統文化を通して合志市に愛着を感じていますか

歴史、伝統文化を通して合志市に愛着を感じている（「とても感じている」+「やや感じている」）人の割合は45.0%、感じていない人（「あまり感じていない」+「全く感じていない」）人の割合は54.4%となっている。

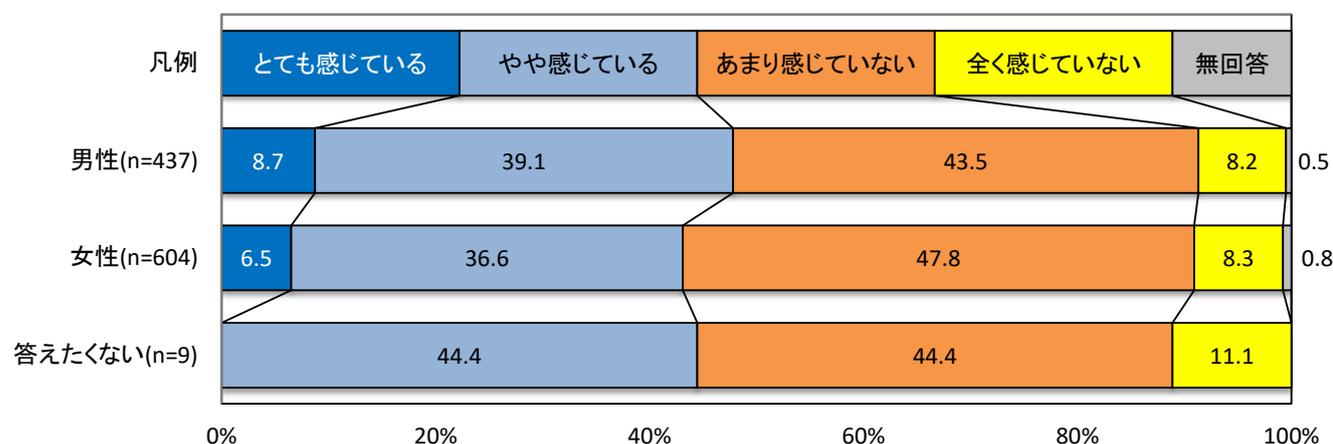
前年度と比較して大きな差は認められない。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 とても感じている	77	7.3	99	9.3	97	8.7	121	8.9	125	9.4	79	7.1
2 やや感じている	397	37.7	395	37.1	427	38.1	516	37.9	485	36.5	423	37.9
3 あまり感じていない	484	46.0	463	43.5	484	43.2	598	43.9	585	44.0	508	45.5
4 全く感じていない	88	8.4	98	9.2	98	8.7	122	9.0	121	9.1	96	8.6
5 無回答	7	0.7	9	0.8	15	1.3	6	0.4	13	1.0	10	0.9
合計	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

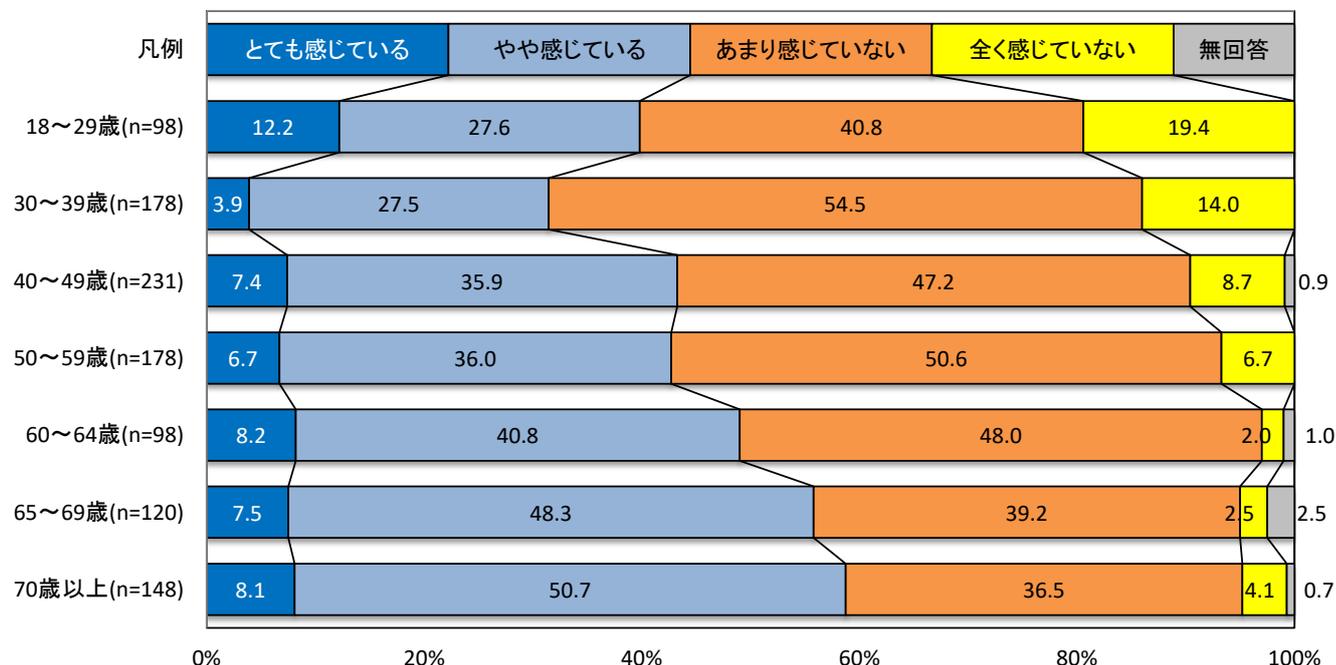
【性別】

- 歴史、伝統文化を通して合志市に愛着を感じている人の割合について、男性が47.8%、女性が43.1%と男性が4.7ポイント高くなっている。



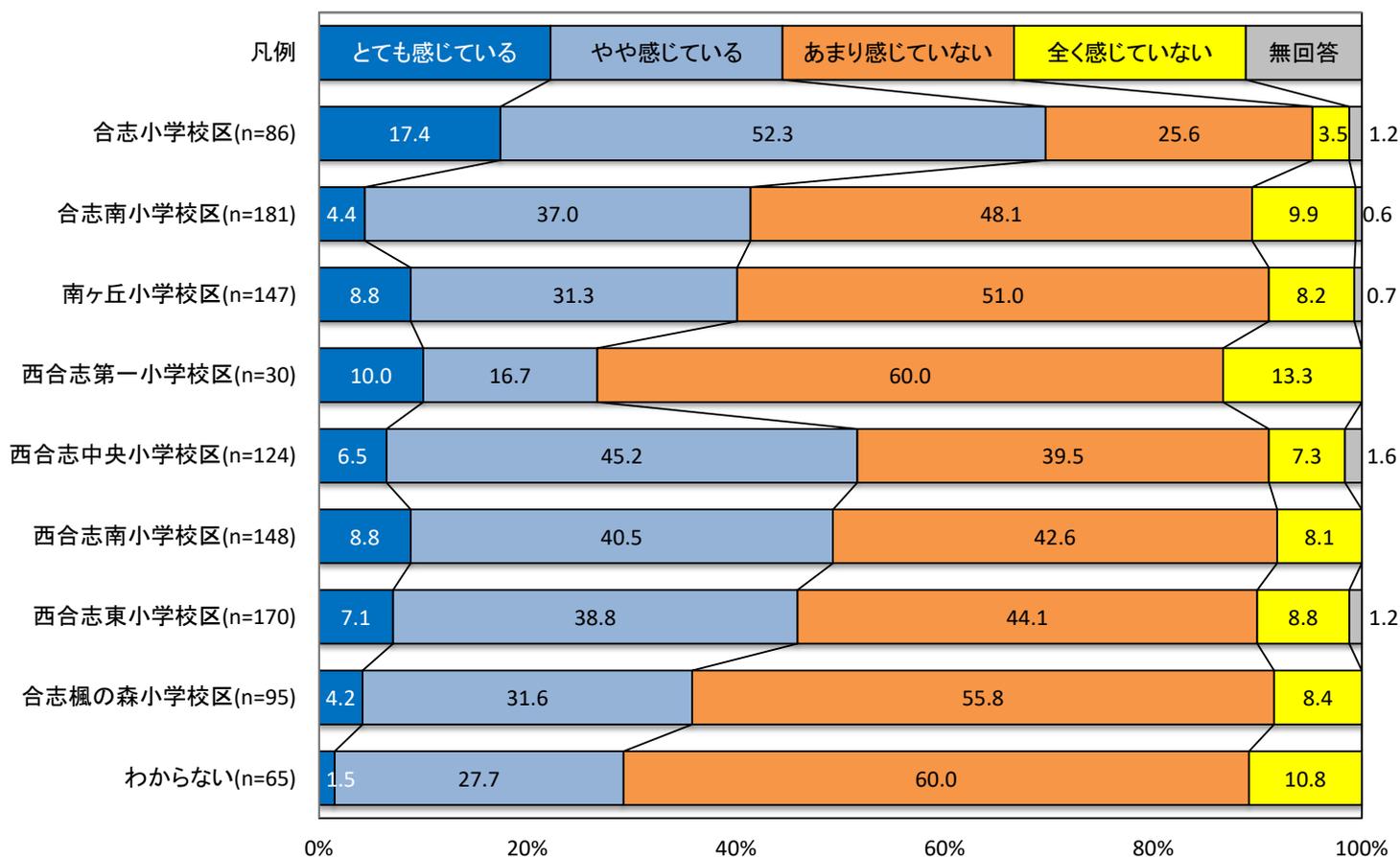
【年齢別】

●歴史、伝統文化を通して合志市に愛着を感じている人の割合は、30代以降、概ね年齢が上がるほど高くなっており、30代では3割台だが、70歳以上では約6割となっている。



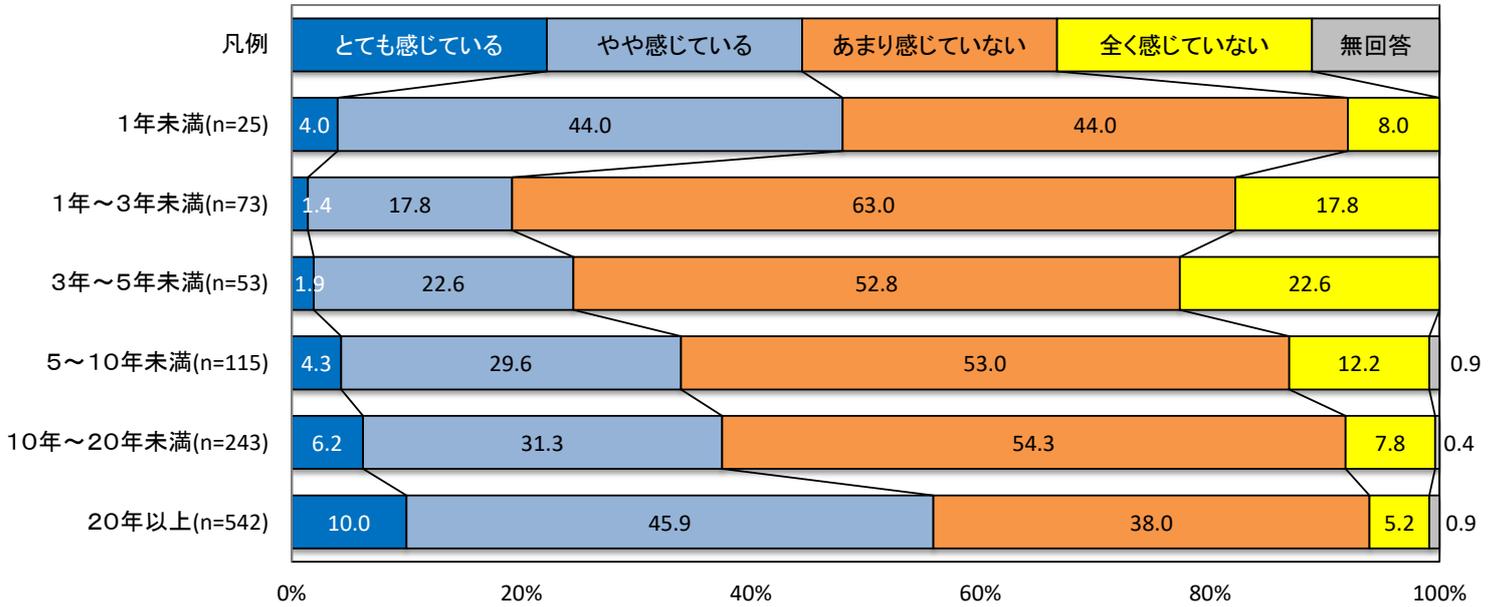
【校區別】

●歴史、伝統文化を通して合志市に愛着を感じている人の割合は、合志小の69.7%が最も高く、西合志中央小においても半数を超えている。



【居住年数別】

●歴史、伝統文化を通して合志市に愛着を感じている人の割合は、1～3年未満では2割弱だが、居住年数が長くなるにつれて高くなっており、20年以上では半数を超えている。



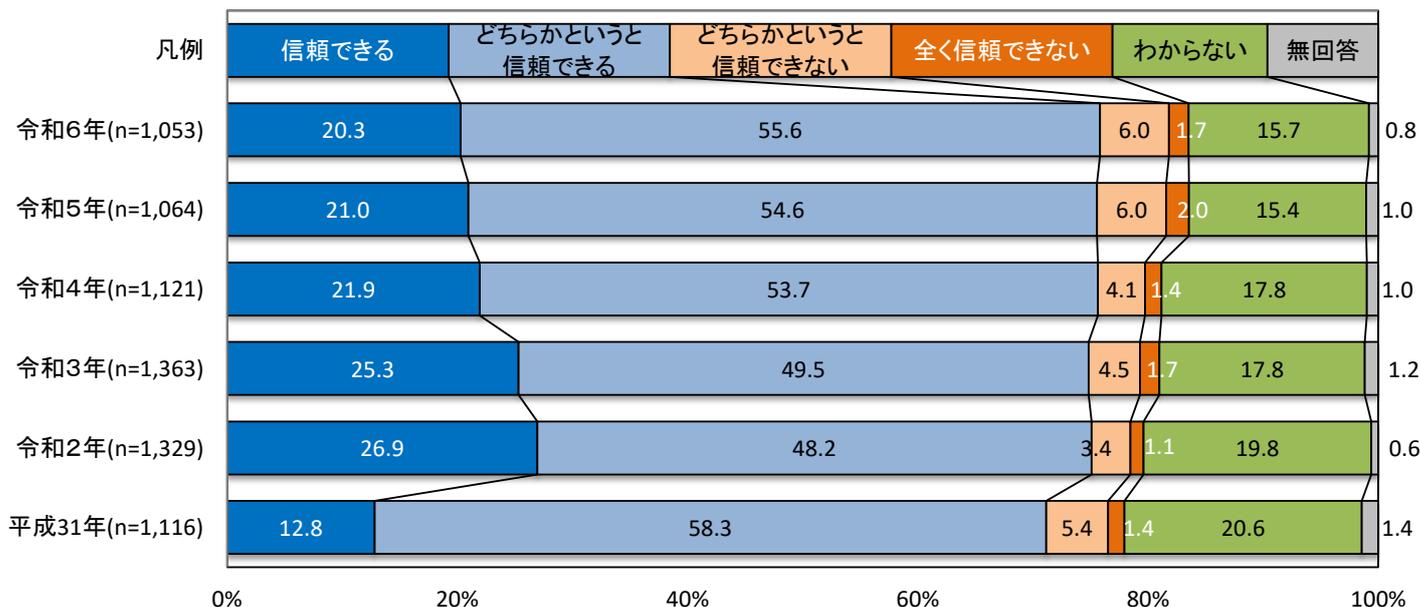
市政について

1. 市役所について

(1) 市役所への信頼（問55）

あなたにとって市役所は信頼できる存在ですか。

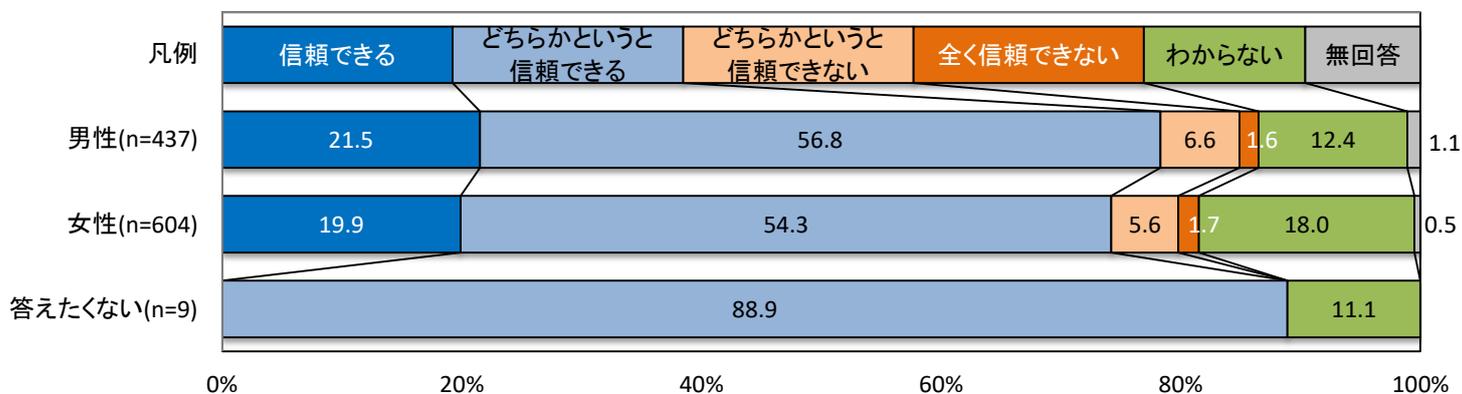
市役所が信頼できる（「信頼できる」+「どちらかという信頼できる」）と回答した人の割合は75.9%と全体の4分の3を占めており、信頼できない（「全く信頼できない」+「どちらかという信頼できない」）は7.7%となっている。
前年度と比較して、大きな差は認められない。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 信頼できる	214	20.3	223	21.0	246	21.9	345	25.3	358	26.9	143	12.8
2 どちらかという信頼できる	585	55.6	581	54.6	602	53.7	675	49.5	640	48.2	651	58.3
3 どちらかという信頼できない	63	6.0	64	6.0	46	4.1	61	4.5	45	3.4	60	5.4
4 全く信頼できない	18	1.7	21	2.0	16	1.4	23	1.7	15	1.1	16	1.4
5 わからない	165	15.7	164	15.4	200	17.8	243	17.8	263	19.8	230	20.6
6 無回答	8	0.8	11	1.0	11	1.0	16	1.2	8	0.6	16	1.4
合計	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

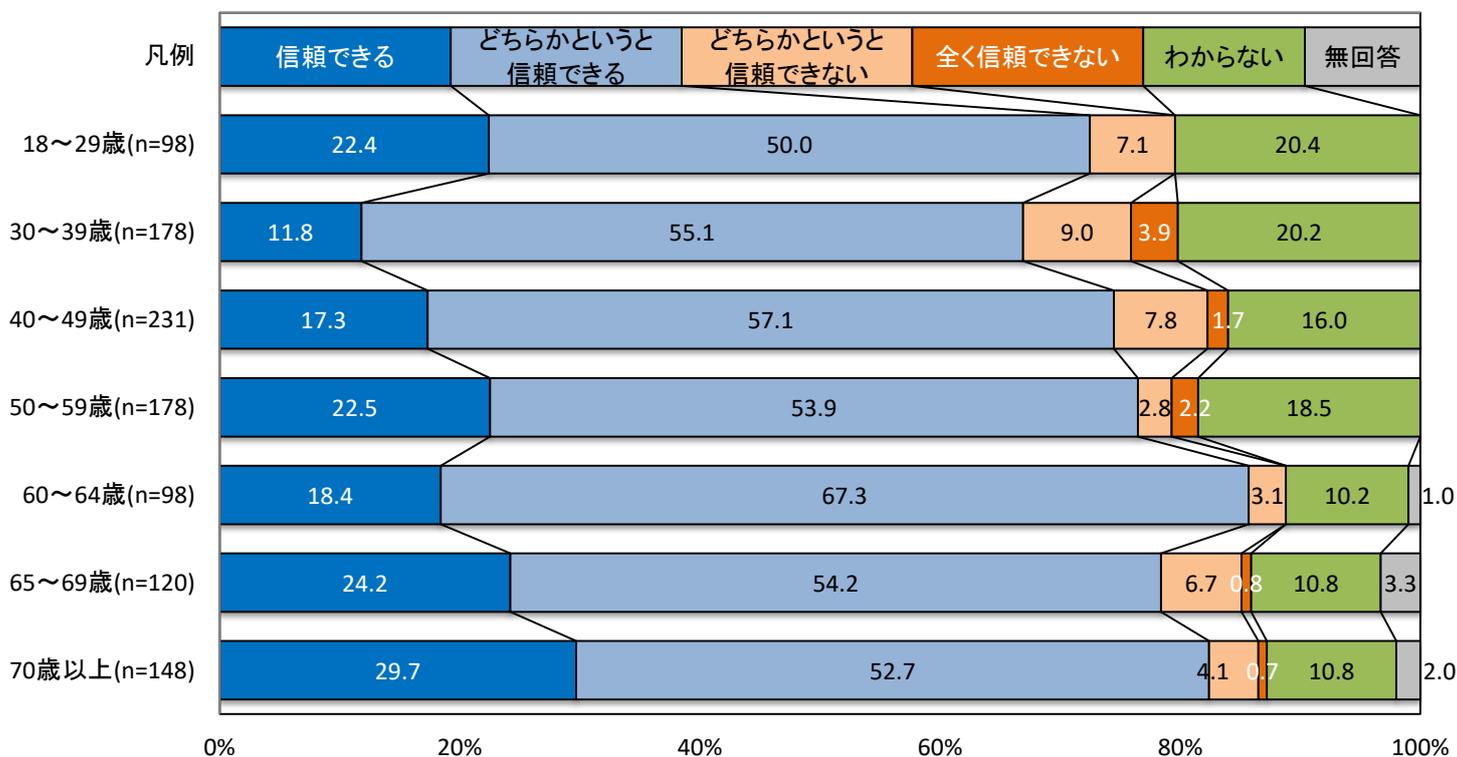
【性別】

●市役所が信頼できると回答した人の割合については、男性が78.3%、女性が74.2%と、男性が4.1ポイント高くなっている。



【年齢別】

●市役所が信頼できると回答した人の割合は、最も低い30代で66.9%となっており、それ以外の世代ではすべて7割を超えている。最も高いのは、60～64歳の85.7%で、これに70歳以上の82.4%、65～69歳の78.4%が続いている。

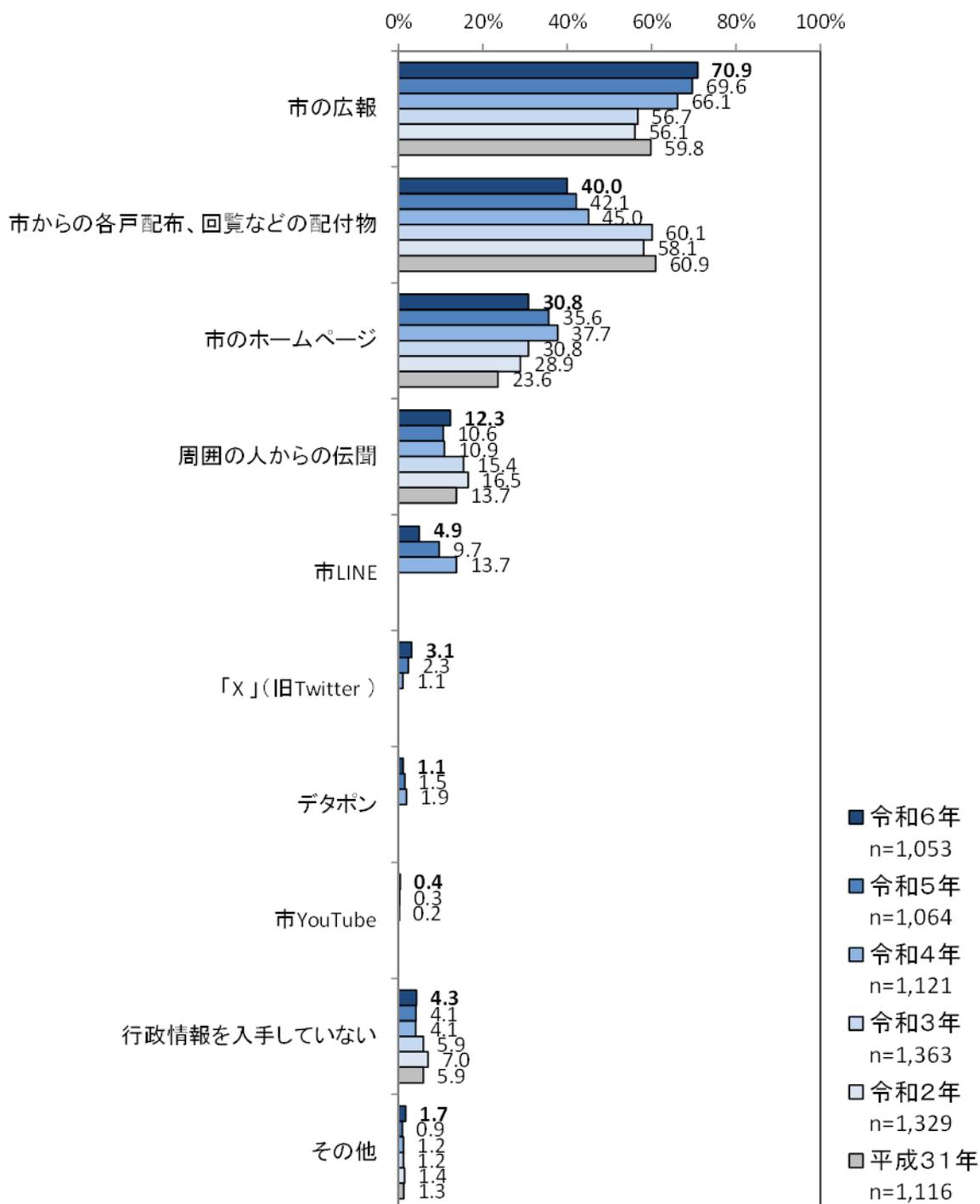


(2) 行政情報の入手（問56）

あなたは、どのように行政情報を入手していますか。（複数回答可）

行政情報の入手方法については、「市の広報」が70.9%、次いで「市からの各戸配付、回覧などの配布物」40.0%、「市のホームページ」30.8%、「周囲からの伝聞」12.3%、「市LINE」4.9%の順となっている。「行政情報を入手していない」人の割合は4.3%となっている。

前年度と比較して上位の項目に違いはみられないものの、「市からの各戸配付、回覧などの配布物」の割合には減少傾向が認められる。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	n=1053		n=1064		n=1121		n=1363		n=1329		n=1116	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 市の広報	747	70.9	741	69.6	741	66.1	773	56.7	745	56.1	667	59.8
2 市のホームページ	324	30.8	379	35.6	423	37.7	420	30.8	384	28.9	263	23.6
3 「X」(旧Twitter)	33	3.1	25	2.3	12	1.1						
4 市YouTube	4	0.4	3	0.3	2	0.2						
5 市LINE	52	4.9	103	9.7	154	13.7						
6 デタポン	12	1.1	16	1.5	21	1.9						
7 周囲の人からの伝聞	130	12.3	113	10.6	122	10.9	210	15.4	219	16.5	153	13.7
8 行政情報を入手していない	45	4.3	44	4.1	46	4.1	80	5.9	93	7.0	66	5.9
9 市からの各戸配布、回覧などの配付物	421	40.0	448	42.1	505	45.0	819	60.1	772	58.1	680	60.9
10 その他	18	1.7	10	0.9	13	1.2	16	1.2	19	1.4	14	1.3

【性別】

- 「市の広報」「市からの配布物」では女性の割合が男性を上回っている。

【年齢別】

- 行政情報の入手方法については、「市からの配布物」は概ね年齢が高くなるほど利用している人が多くなっている。30～50代では4割前後が「市のホームページ」から情報を入手している。

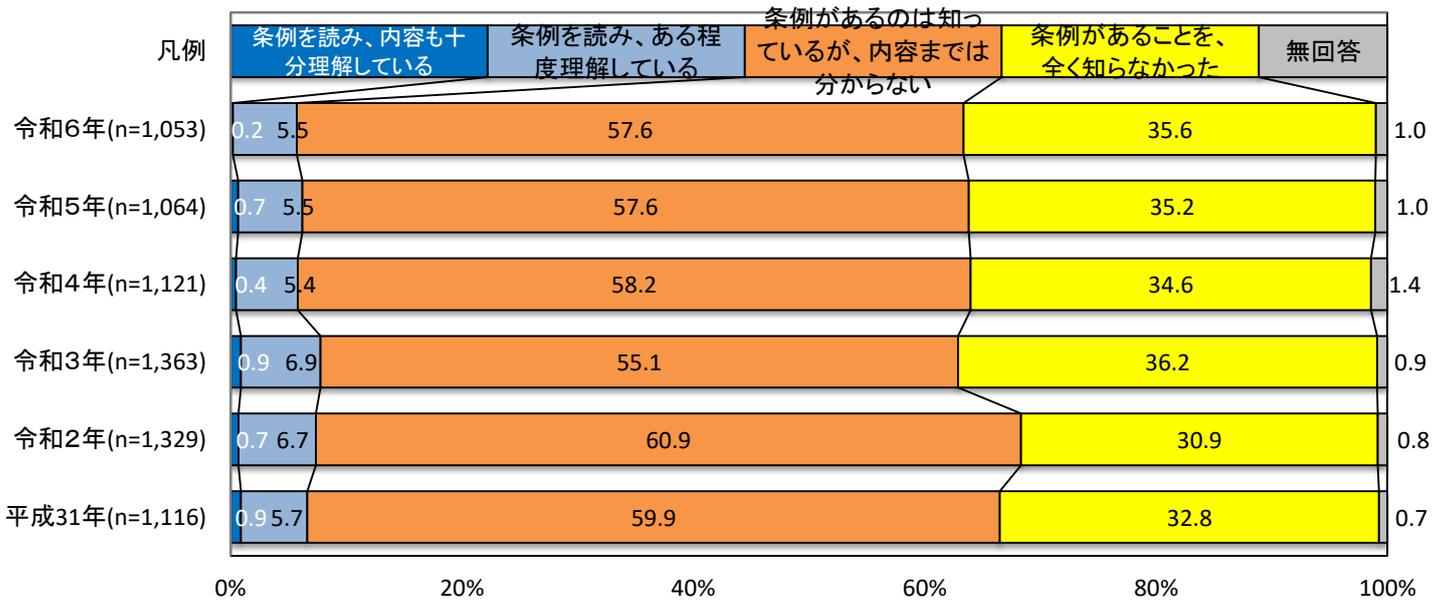
	合計	市の広報	市のホームページ	「X」(旧Twitter)	市YouTube	市LINE	デタポン	周囲の人からの伝聞	行政情報を入手していない	市からの各戸配布、回覧などの配付物	その他
全体	1,053	70.9%	30.8%	3.1%	0.4%	4.9%	1.1%	12.3%	4.3%	40.0%	1.7%
■性別											
男性	437	68.4%	31.4%	2.7%	0.5%	4.3%	1.1%	11.4%	5.7%	37.5%	1.6%
女性	604	72.5%	30.1%	3.5%	0.3%	5.5%	1.2%	13.2%	3.3%	42.1%	1.8%
答えたくない	9	88.9%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
■年代別											
18～29歳	98	40.8%	22.4%	13.3%	0.0%	4.1%	1.0%	24.5%	17.3%	24.5%	3.1%
30～39歳	178	60.7%	37.6%	3.9%	0.0%	5.1%	0.0%	17.4%	5.1%	34.8%	3.4%
40～49歳	231	69.7%	41.6%	3.5%	0.4%	4.3%	0.9%	13.0%	3.9%	35.5%	0.4%
50～59歳	178	78.1%	36.0%	1.1%	1.1%	6.7%	0.6%	5.1%	3.4%	32.6%	3.4%
60～64歳	98	80.6%	26.5%	1.0%	0.0%	3.1%	1.0%	9.2%	3.1%	45.9%	0.0%
65～69歳	120	84.2%	23.3%	0.0%	0.0%	5.8%	2.5%	10.8%	0.8%	56.7%	0.8%
70歳以上	148	79.7%	14.2%	1.4%	0.7%	4.7%	2.7%	9.5%	0.0%	55.4%	0.7%

(3) 合志市自治基本条例の認知(問57)

あなたは、合志市自治基本条例を知っていますか。

合志市の自治基本条例を知っている(「条例を読み、内容も十分理解している」+「条例を読み、ある程度理解している」+「条例があるのは知っているが、内容まではわからない」)人の割合は6割台となっているものの、内容まで理解している人(「内容も十分理解している」+「ある程度理解している」)は1割に満たず、条例の存在は知っているが内容までは理解していない割合が半数を超えている。また、「条例があることを全く知らなかった」は35.6%となっている。

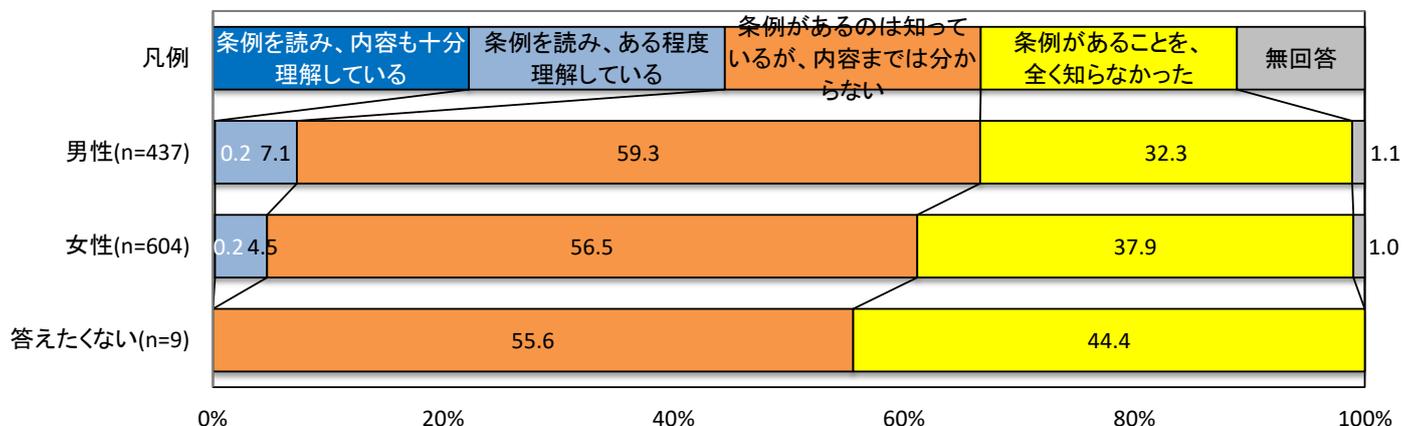
前年度と比較して大きな差は認められない。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 条例を読み、内容も十分理解している	2	0.2	7	0.7	5	0.4	12	0.9	9	0.7	10	0.9
2 条例を読み、ある程度理解している	58	5.5	59	5.5	60	5.4	94	6.9	89	6.7	64	5.7
3 条例があるのは知っているが、内容まではわからない	607	57.6	613	57.6	652	58.2	751	55.1	810	60.9	668	59.9
4 条例があることを、全く知らなかった	375	35.6	374	35.2	388	34.6	494	36.2	410	30.9	366	32.8
5 無回答	11	1.0	11	1.0	16	1.4	12	0.9	11	0.8	8	0.7
合計	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

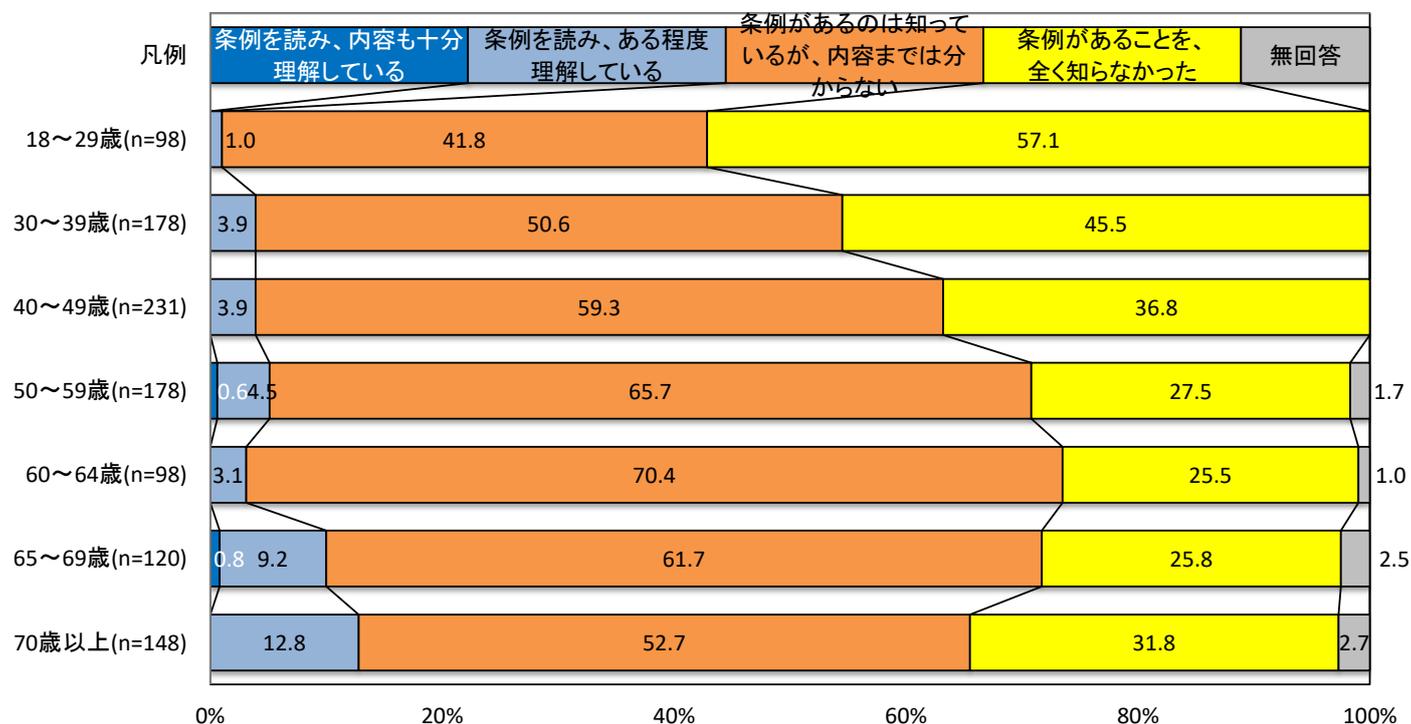
【性別】

- 条例を知っている人の割合については、男性が66.6%、女性が61.2%と、男性が5.4ポイント高くなっている。



【年齢別】

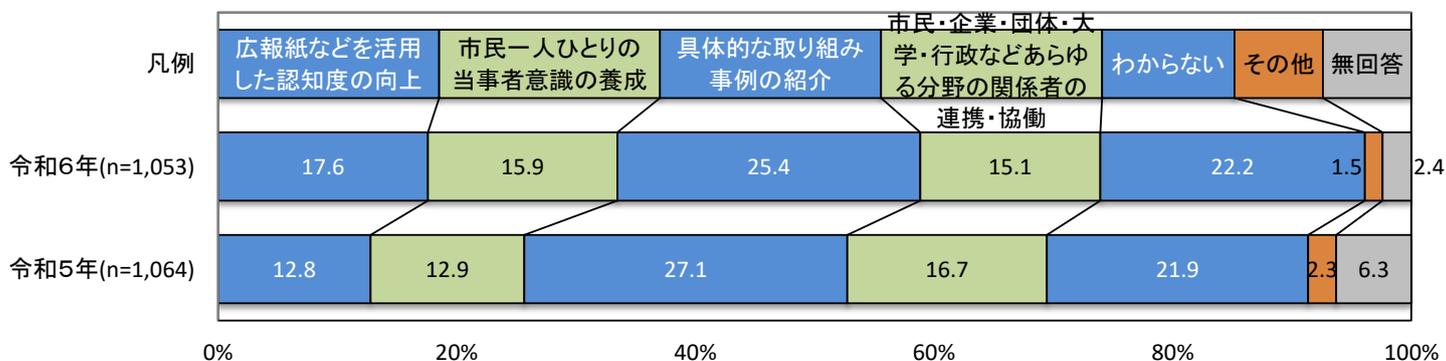
- 20代以下では条例を知らない割合が57.1%で最も高くなっている。
- 年代が上がるにつれ、概ね条例を知っている人の割合も高くなっており30代以上で半数を超え、60～64歳では7割以上となっている。一方、内容をある程度理解している割合は最も高い70歳以上においても12.8%となっている。



(4) SDGsの認知(問58)

あなたは、SDGsを更に推進するために市が何をすべきだと思いますか。

「具体的な取り組み事例の紹介」の25.4%が最も高く、以下、「わからない」22.2%、「広報紙などを活用した認知度の向上」17.6%、「市民一人ひとりの当事者意識の養成」15.9%、「あらゆる分野の関係者の連携・協働」15.1%の順となっている。

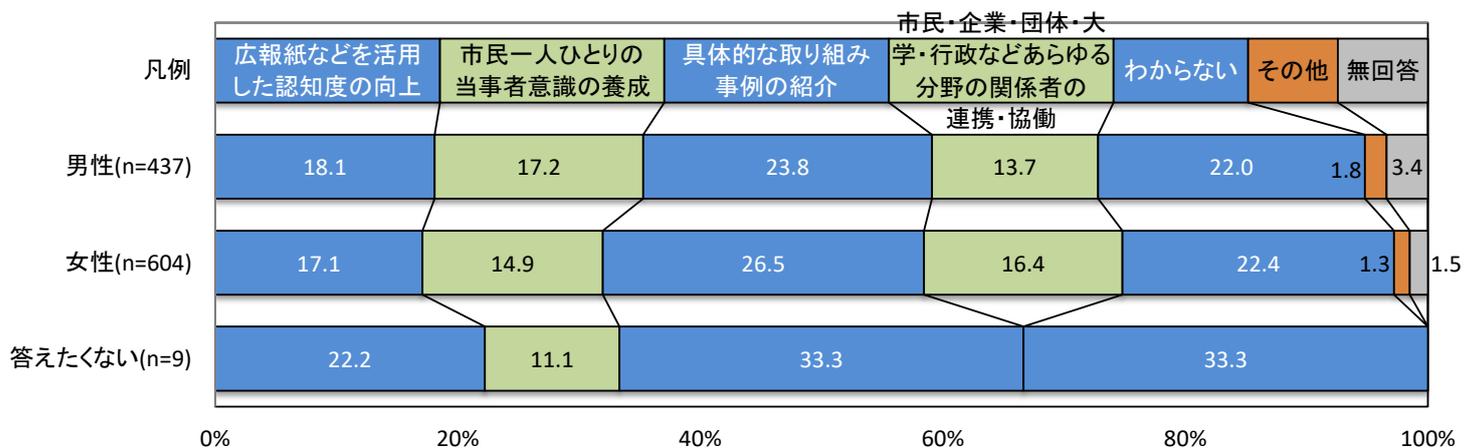


	令和6年度		令和5年度	
	人	%	人	%
1 広報紙などを活用した認知度の向上	185	17.6	136	12.8
2 市民一人ひとりの当事者意識の養成	167	15.9	137	12.9
3 具体的な取り組み事例の紹介	267	25.4	288	27.1
4 市民・企業・団体・大学・行政などあらゆる分野の関係者の連携・協働	159	15.1	178	16.7
5 わからない	234	22.2	233	21.9
6 その他	16	1.5	25	2.3
7 無回答	25	2.4	67	6.3
合計	1,053	100.0	1064	100.0

その他の記述内容	件数
推進しなくてよい	11
補助金を出す	3
学生の意見を取り入れる	1
推進に成功した国を模倣する	1
ゴミ分別ステーションの充実	1
長期的な取り組みを行ってほしい	1
自然エネルギーの活用	1
自然の保護	1
効果についての検証が必要	1
広報誌のデータ化	1
現状が良くわからない	1
継続的な啓発が必要	1

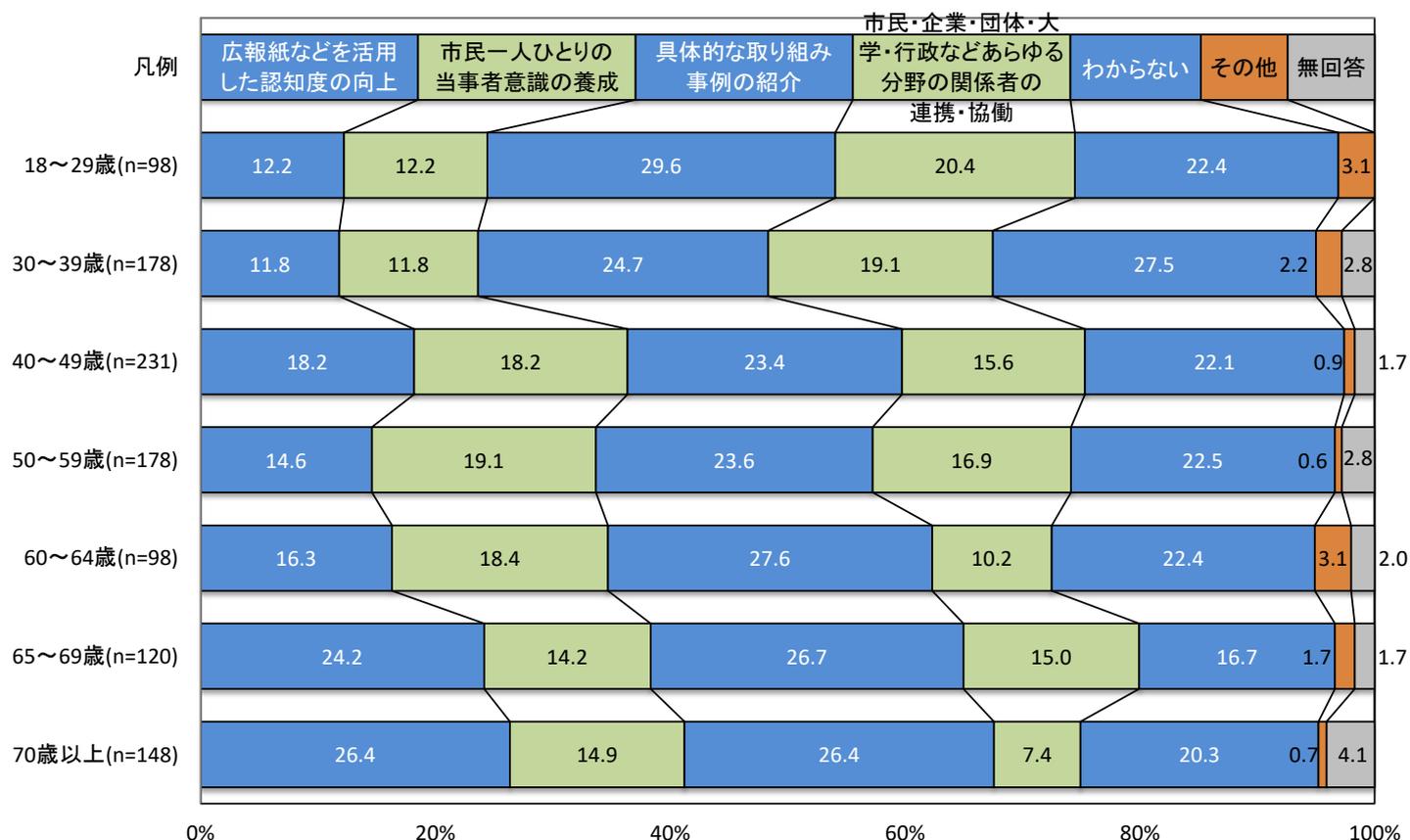
【性別】

●性別による大きな差は認められない。



【年齢別】

●65歳以上で「広報紙などを活用した認知度の向上」の割合が高くなっている。



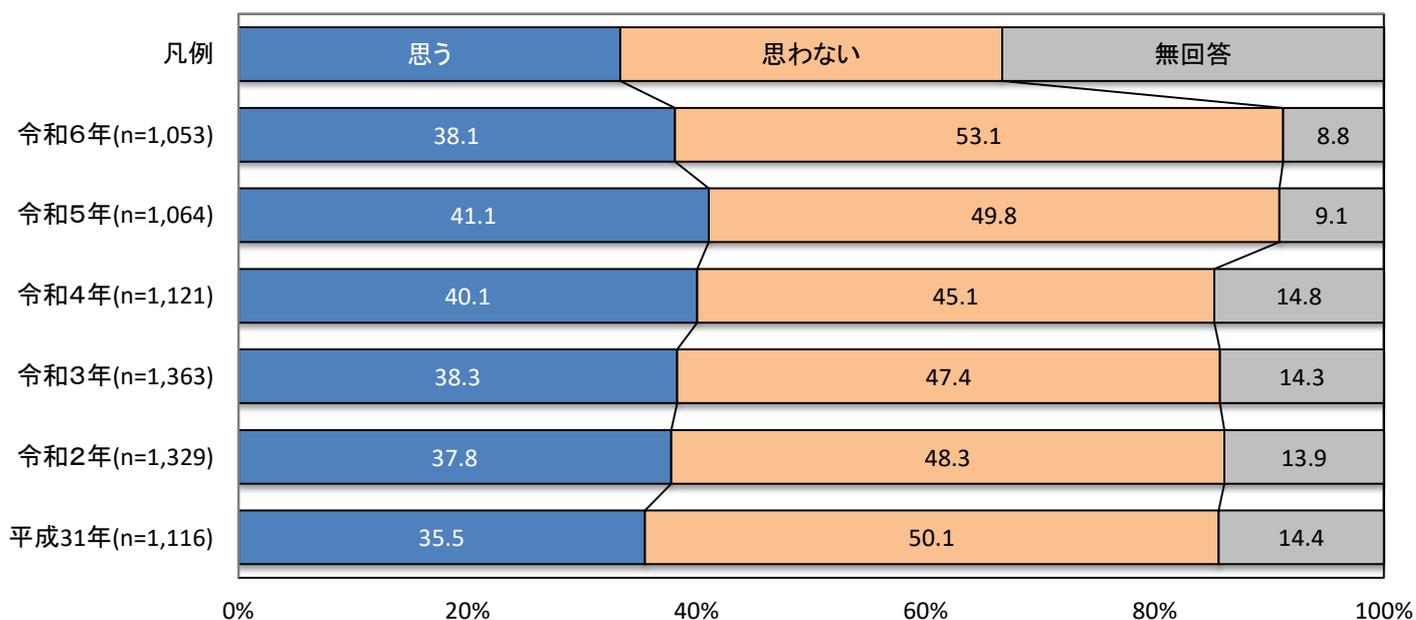
2. 市議会の活動について

(1) 市議会の運営（問59）

あなたは、市議会が市民の意見を反映した運営になっていると思いますか。

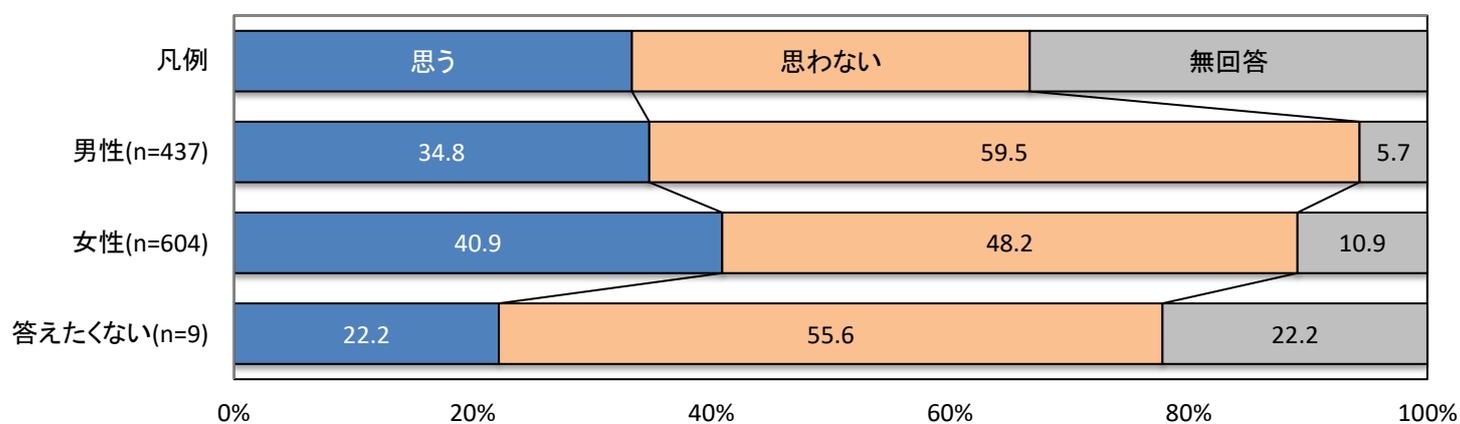
市議会が市民の意見を反映した運営になっていると「思う」人の割合は 38.1%、「思わない」が 53.1%となっている。

前年度までは、徐々に「思う」の割合が増加していたが、今年度では 3.0 ポイント減少している。



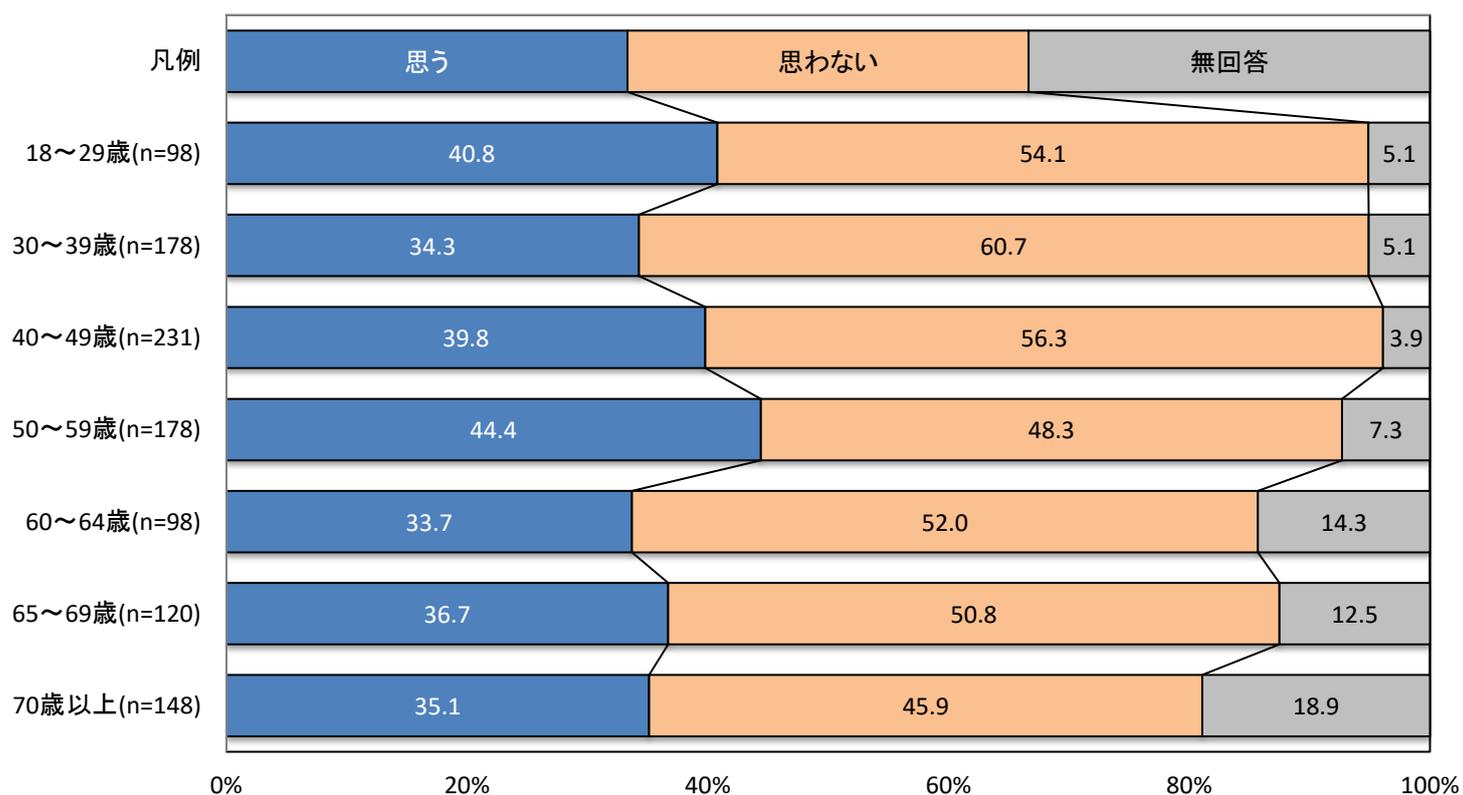
【性別】

●市議会が市民の意見を反映した運営になっていると「思わない」人の割合は、男性が59.5%、女性が48.2%となっており、男性では女性より11.3ポイント高くなっている。



【年齢別】

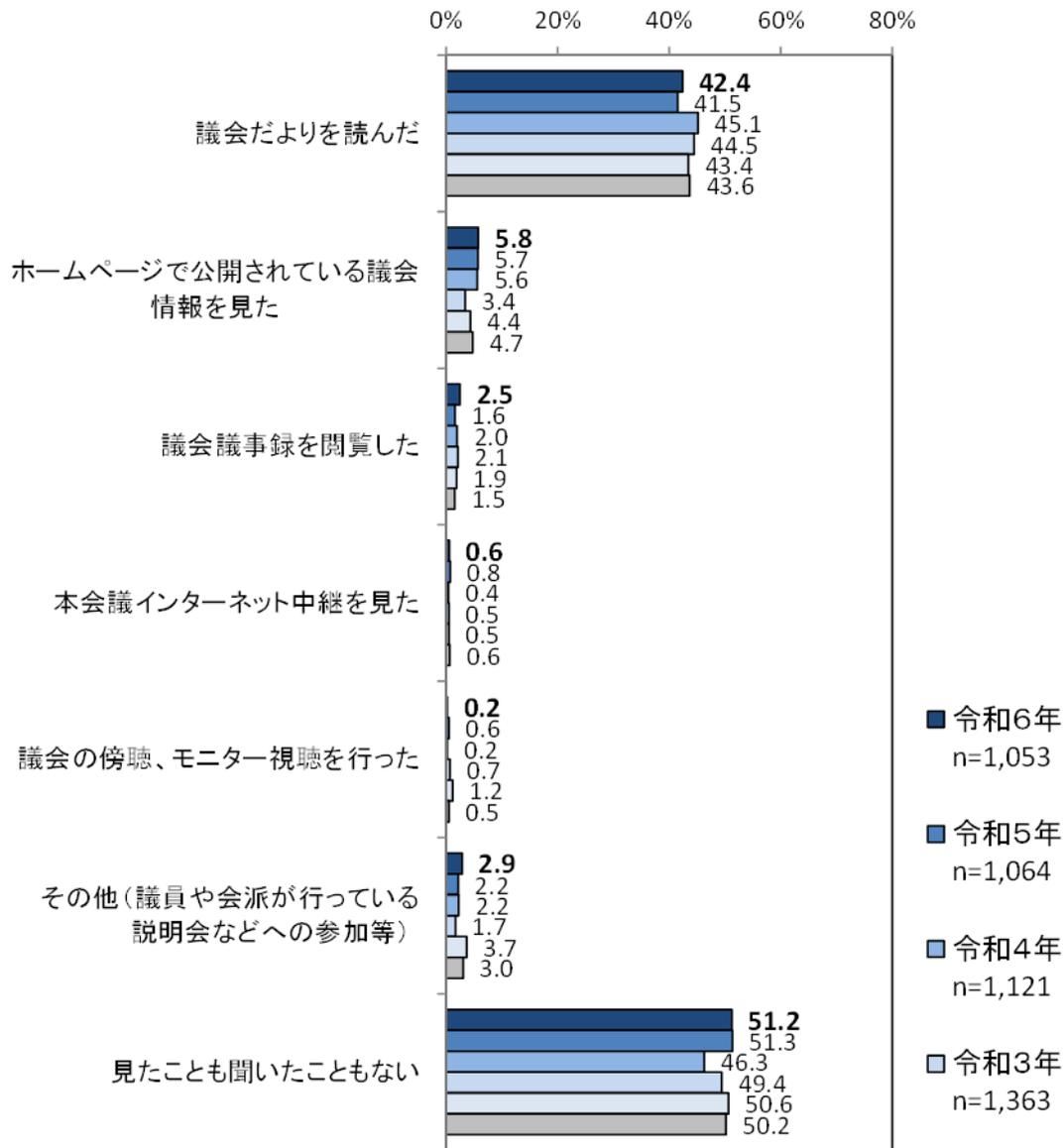
●市議会が市民の意見を反映した運営になっていると「思わない」人の割合は、30代で60.7%と、他の年代と比較して高くなっている。



(2)市議会情報への接触（問60）

あなたは、過去1年間で市議会での議論を見た、または聞いたことがありますか。
（複数回答可）

過去1年以内の市議会での議論について、「見たことも聞いたこともない」人の割合は51.2%と半数を超えている。市議会の情報を入手している人の情報入手方法としては、「議会だよりを読んだ」が42.4%と最も高く、次いで「市議会ホームページで公開されている議会情報を見た」の5.8%となっている。前年度と比べ、大きな差は認められない。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	n=1053		n=1064		n=1121		n=1363		n=1329		n=1116	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 市議会ホームページで公開されている議会情報を見た	61	5.8	61	5.7	63	5.6	47	3.4	58	4.4	53	4.7
2 本会議インターネット中継を見た	6	0.6	8	0.8	5	0.4	7	0.5	7	0.5	7	0.6
3 議会だよりを読んだ	446	42.4	442	41.5	506	45.1	606	44.5	577	43.4	487	43.6
4 議会の傍聴、市役所・御代志市民センターモニター視聴を行った	2	0.2	6	0.6	2	0.2	10	0.7	16	1.2	6	0.5
5 議会議事録を閲覧した	26	2.5	17	1.6	22	2.0	29	2.1	25	1.9	17	1.5
6 その他（議員や会派が行っている説明会などへの参加等）	31	2.9	23	2.2	25	2.2	23	1.7	49	3.7	34	3.0
7 見たことも聞いたこともない	539	51.2	546	51.3	519	46.3	673	49.4	673	50.6	560	50.2

【性別】

- 性別による大きな差は認められない。

【年齢別】

- 年代別に見ると、市議会での議論を「見たことも聞いたこともない」人の割合は概ね年代が上がるにつれ減少している。
- 議会だよりを読んだ人の割合は、年齢とともに高くなり、20代以下では13.3%だが、60代以上では半数を超えている。

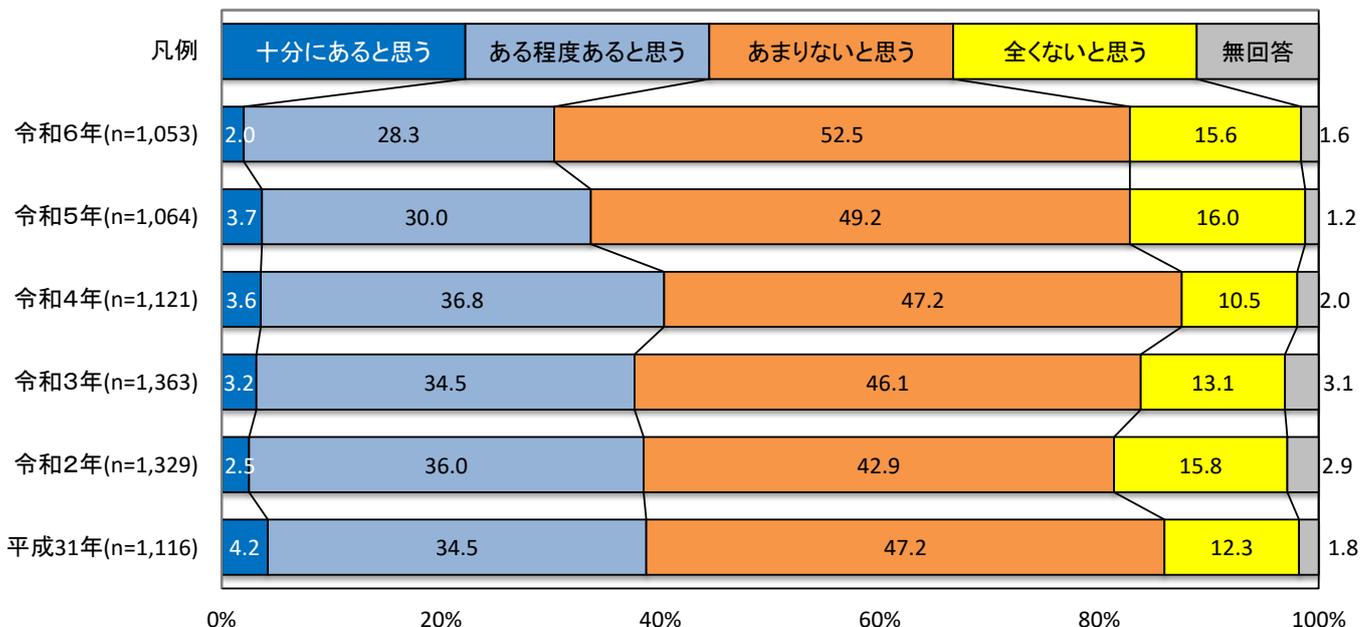
	合計	ホームページで公開されている議会情報を見た	本会議インターネット中継を見た	議会だよりを読んだ	議会の傍聴、モニター視聴を行った	議会議事録を閲覧した	説明会などへの参加等	その他（議員や会派が行っている）	見たことも聞いたこともない
全体	1,053	5.8%	0.6%	42.4%	0.2%	2.5%	2.9%	51.2%	
■性別									
男性	437	7.1%	0.7%	41.2%	0.2%	3.2%	4.1%	51.7%	
女性	604	5.0%	0.5%	42.9%	0.2%	2.0%	2.2%	51.0%	
答えたくない	9	0.0%	0.0%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%	44.4%	
■年代別									
18～29歳	98	3.1%	1.0%	13.3%	1.0%	1.0%	0.0%	83.7%	
30～39歳	178	3.4%	0.6%	28.1%	0.0%	1.7%	1.1%	67.4%	
40～49歳	231	6.9%	1.3%	41.1%	0.4%	3.9%	1.3%	51.9%	
50～59歳	178	6.7%	0.0%	47.8%	0.0%	2.8%	3.9%	44.4%	
60～64歳	98	7.1%	0.0%	53.1%	0.0%	4.1%	1.0%	41.8%	
65～69歳	120	3.3%	0.8%	52.5%	0.0%	0.0%	4.2%	43.3%	
70歳以上	148	8.8%	0.0%	58.8%	0.0%	2.7%	8.8%	29.7%	

(3)市議会情報を得る機会（問61）

あなたは、市議会情報を得る機会が十分にあると思いますか。

市議会情報を得る機会がある（「十分にある」+「ある程度ある」）人の割合は 30.3%、得る機会がない（「全くない」+「あまりない」）人の割合は 68.1%となっている。

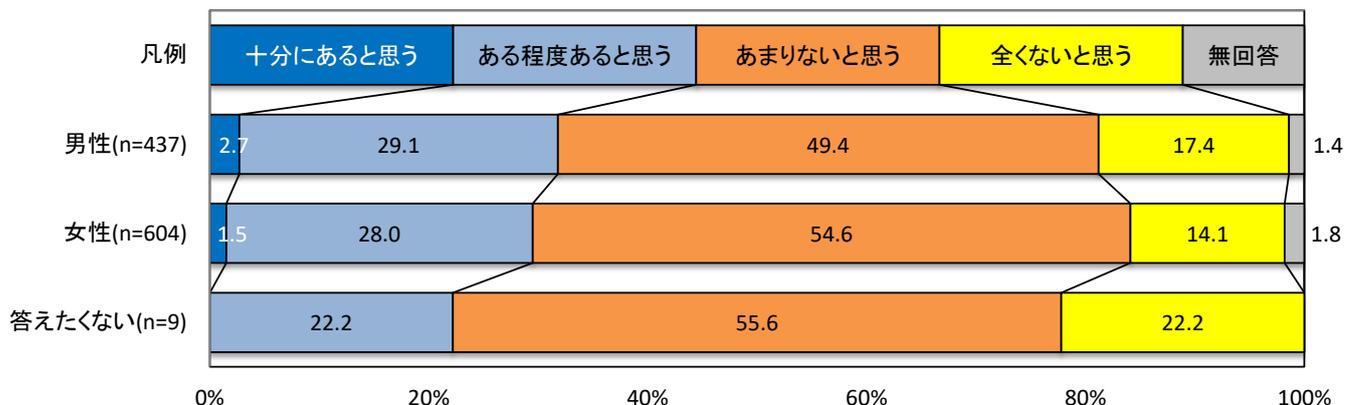
前年度と比較して、「十分にあると思う」「ある程度あると思う」がそれぞれ 1.7 ポイント減少し、「あまりないと思う」が 3.3 ポイント増加している。



	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 十分にあると思う	21	2.0	39	3.7	40	3.6	43	3.2	33	2.5	47	4.2
2 ある程度あると思う	298	28.3	319	30.0	412	36.8	470	34.5	478	36.0	385	34.5
3 あまりないと思う	553	52.5	523	49.2	529	47.2	629	46.1	570	42.9	527	47.2
4 全くないと思う	164	15.6	170	16.0	118	10.5	179	13.1	210	15.8	137	12.3
5 無回答	17	1.6	13	1.2	22	2.0	42	3.1	38	2.9	20	1.8
合計	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

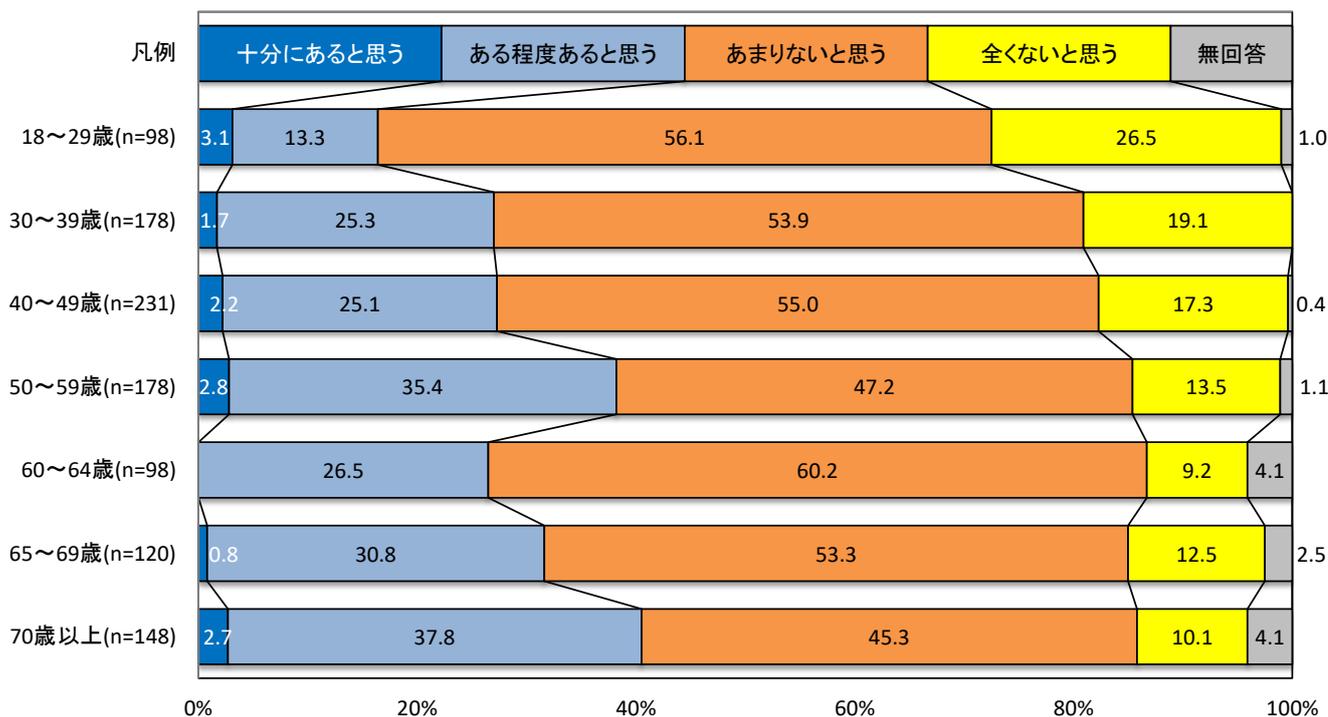
【性別】

- 市議会情報を得る機会がある人の割合をみると、「あまりないと思う」人は男性 49.4%、女性 54.6%で女性の割合が高くなっている。



【年齢別】

- 市議会情報を得る機会がある人の割合は、70歳以上で 40.5%と最も高く、次いで 50 代の 38.2%となっている。
- 市議会情報を得る機会がない人の割合は、20 代以下で 8 割を超えている。



土地利用について

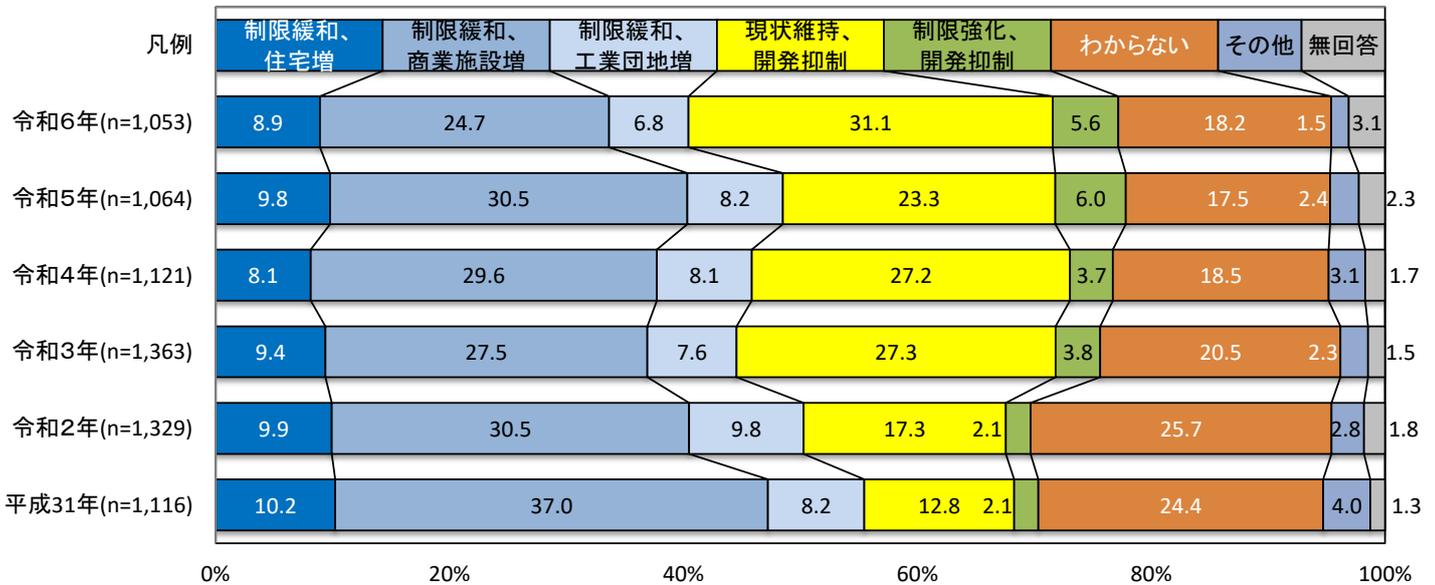
1. 土地利用について（問62）

合志市の南側の住宅からなる市街地を除き、北側に広がる農地や山林を含む古くからの既存集落地域では、原則的に土地利用が制限されています。今後の本市の発展に必要な対策はどのようなものと思われますか。

今後の市の発展のための土地利用対策については、「現状と同様の制限により、開発を抑制する」が31.1%で最も高く、次いで「制限を緩和し、積極的に開発を誘導し、商業施設を増やす」が24.7%となっている。

現状の制限を緩和すべきと考える人（「制限を緩和し、住宅を増やす」＋「制限を緩和し、商業施設を増やす」＋「制限を緩和し工業団地を増やす」）は40.4%となっており、現状の制限を維持すべきと考える人は31.1%、制限を強化すべきと考える人は5.6%となっている。

前年度と比較して、制限を緩和すべきと考える人の割合は8.1ポイント減少しており、現状の制限を維持すべきと考える人の割合は7.8ポイント増加している。

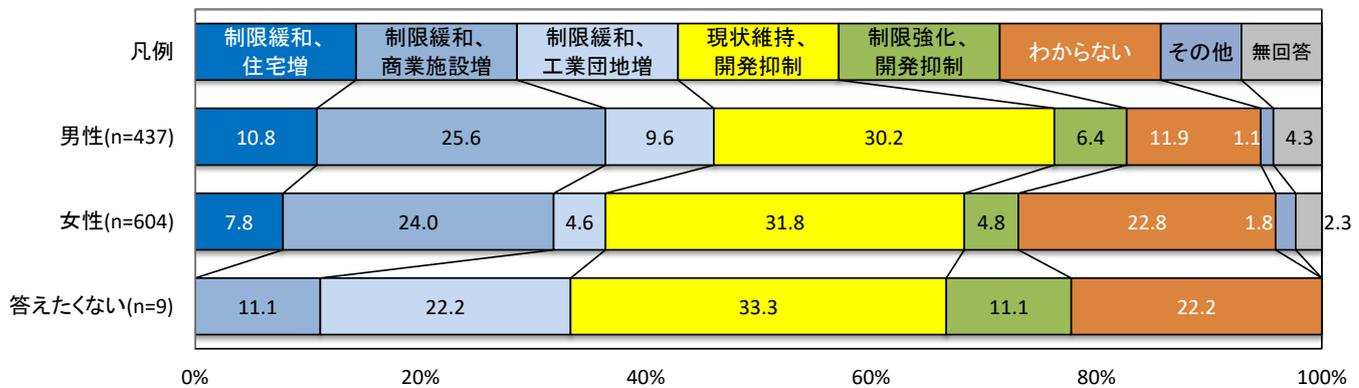


	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 制限緩和、開発誘導し住宅を増やす	94	8.9	104	9.8	91	8.1	128	9.4	132	9.9	114	10.2
2 制限緩和、開発誘導し商業施設を増やす	260	24.7	325	30.5	332	29.6	375	27.5	406	30.5	413	37.0
3 制限緩和、開発誘導し工業団地を増やす	72	6.8	87	8.2	91	8.1	104	7.6	130	9.8	92	8.2
4 現状の制限にて、開発抑制し農地や山林を守る	327	31.1	248	23.3	305	27.2	372	27.3	230	17.3	143	12.8
5 制限強化、開発抑制し農地や山林を守る	59	5.6	64	6.0	41	3.7	52	3.8	28	2.1	23	2.1
6 わからない	192	18.2	186	17.5	207	18.5	280	20.5	342	25.7	272	24.4
7 その他	16	1.5	26	2.4	35	3.1	32	2.3	37	2.8	45	4.0
8 無回答	33	3.1	24	2.3	19	1.7	20	1.5	24	1.8	14	1.3
合計	1,053	100.0	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

その他の記述内容	件数	その他の記述内容	件数
道路整備をしてほしい	10	既存住環境への影響を調査する必要がある	1
農地や山林の保全や活用	3	開発と抑制のバランスが重要	1
農業の発展	3	市民の意見を尊重した開発	1
一次産業を守る	2	バランスの取れた土地利用計画	1
複合スポーツ施設の建設	2	子育て環境の改善	1
商業施設の増加	2	緩和は必要だが慎重な開発を	1

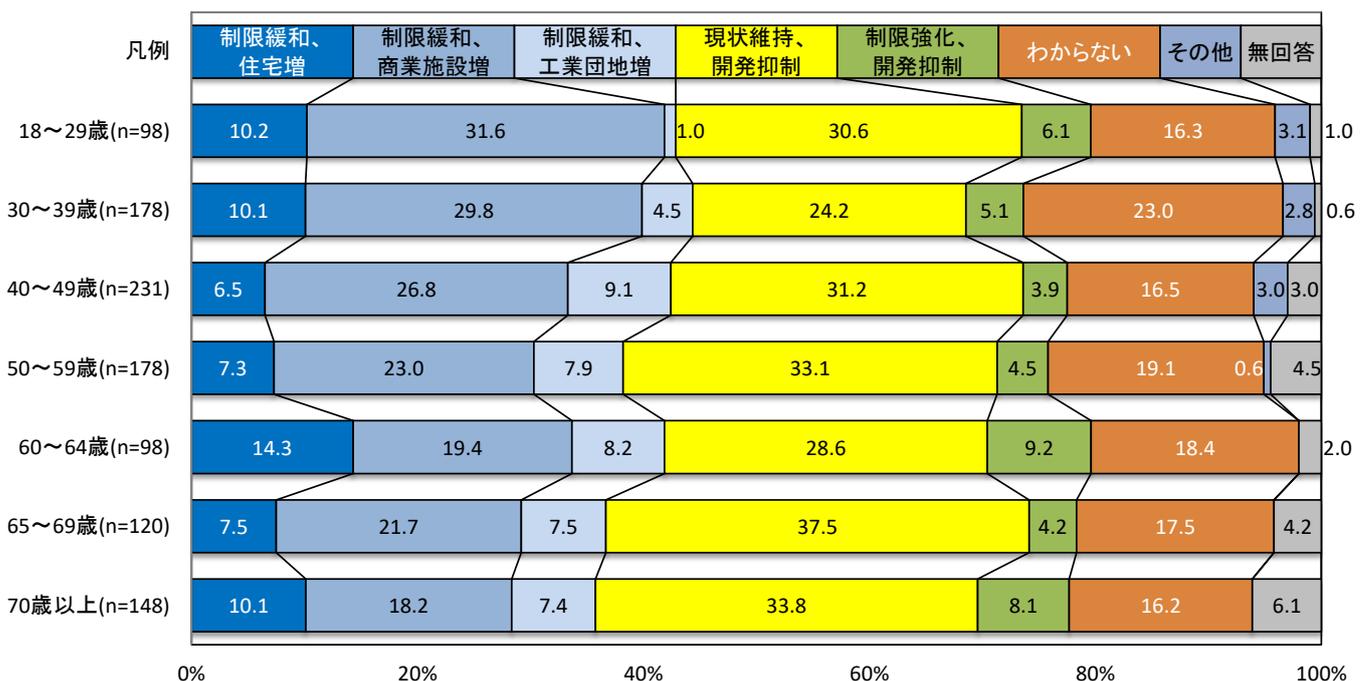
【性別】

- 制限を緩和すべきと考える人の割合は、男性 46.0%、女性 36.4%となっており、男性が女性を上回っている。
- 「わからない」の割合においては、女性が男性を 10.9 ポイント上回っている。



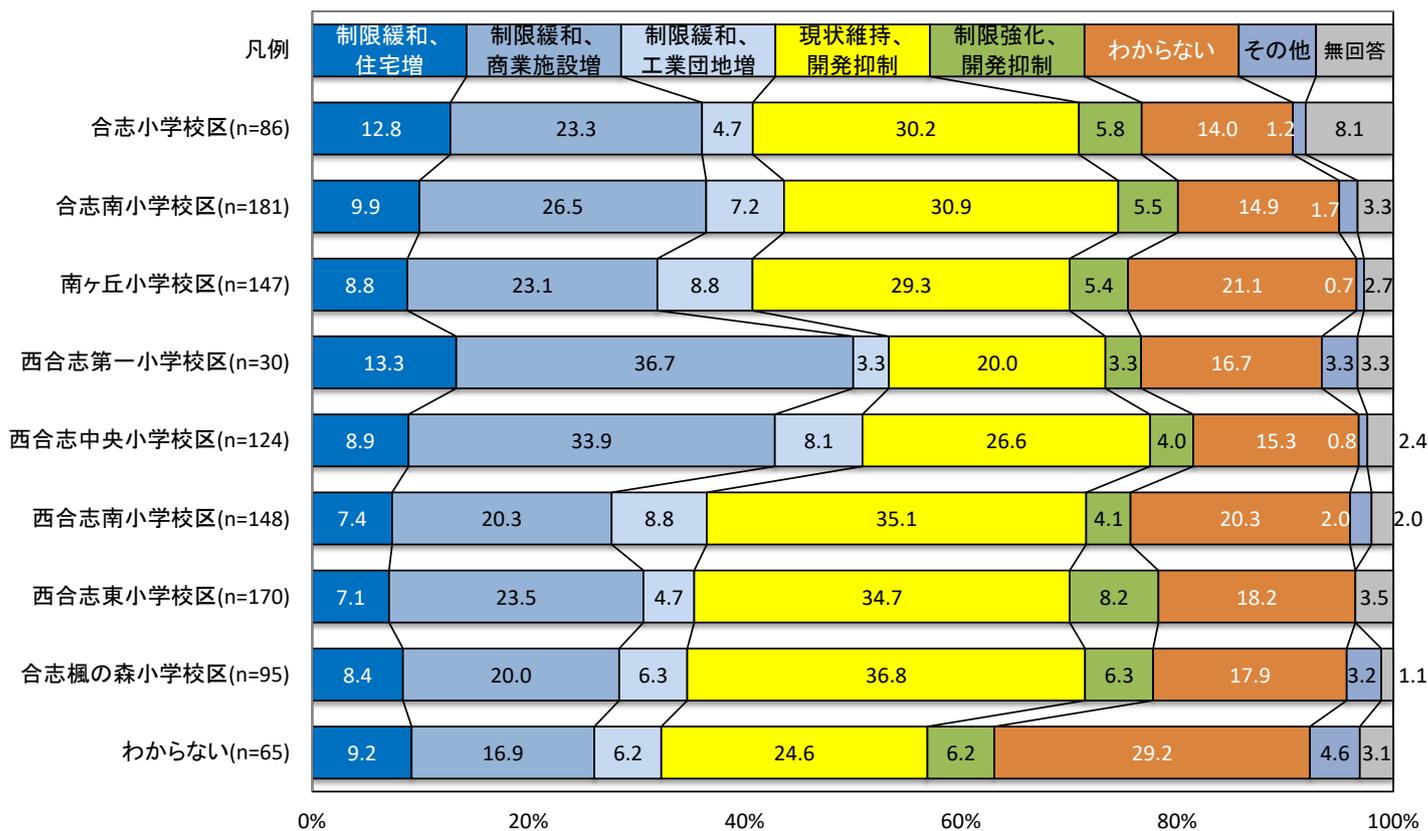
【年齢別】

- 制限を緩和すべきと考える人の割合は、30代の44.4%が最も高く、現状維持・開発抑制は65～69歳の37.5%、70歳以上の33.8%が高くなっている。



【校区別】

- 西合志第一小（回答者数は30人）、西合志中央小では「制限を緩和し、積極的に開発を誘導し、商業施設を増やす」が3割台で、他の校区よりも高くなっている。
- 西合志南小、西合志東小、合志楓の森小では「現状と同様の制限により、開発を抑制し、農林や山地を守る」が約35%で高くなっている。
- 制限を緩和し、住宅を増やすべきと考える人の割合が高いのは、西合志第一小の13.3%と合志小の12.8%となっている。

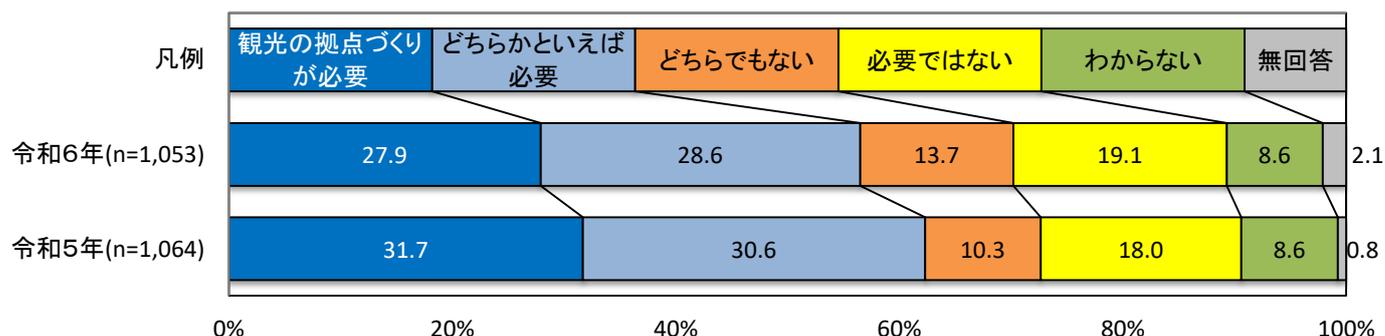


※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

2. 観光の拠点づくりについて（問63）

本市は、TSMCの進出に伴う働く場の創出や、中九州横断道路の着手による交通網の整備により、今後、人の流入が期待されております。そのような中で、観光の拠点づくりが必要だと考えておりますが、これについてあなたはどのように思いますか。

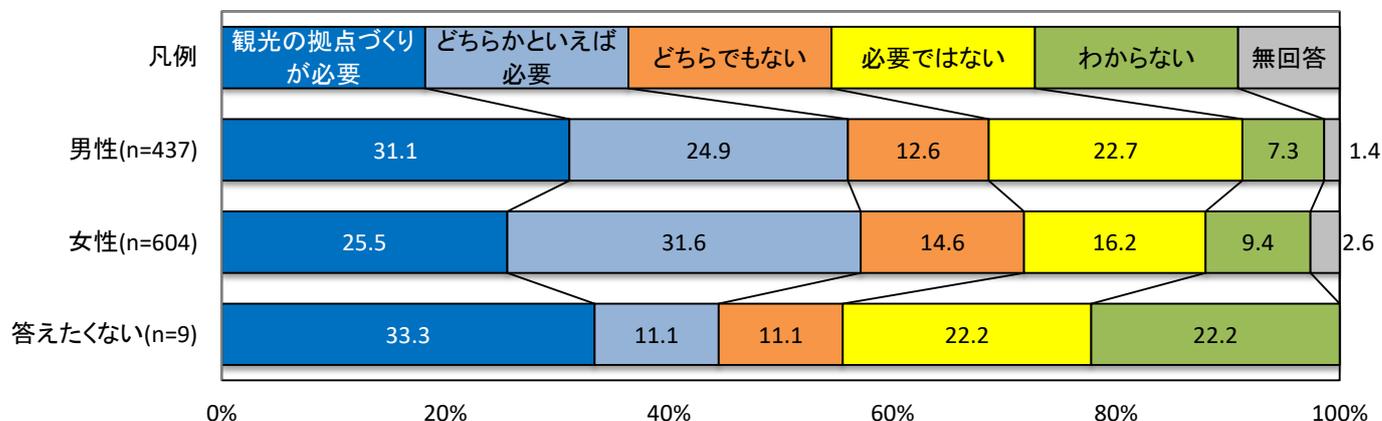
観光の拠点づくりが必要（「観光の拠点づくりが必要」+「どちらかといえば必要」）と回答した人の割合は56.5%、必要ではないと回答した人の割合は19.1%となっている。「どちらでもない」13.7%、「わからない」8.6%となっている。
前年度とくらべ、観光の拠点づくりが必要と回答した人は5.8ポイント減少している。



	令和6年度		令和5年度	
	人	%	人	%
1 観光の拠点づくりが必要	294	27.9	337	31.7
2 どちらかといえば必要	301	28.6	326	30.6
3 どちらでもない	144	13.7	110	10.3
4 必要ではない	201	19.1	191	18.0
5 わからない	91	8.6	92	8.6
6 無回答	22	2.1	8	0.8
合計	1,053	100.0	1064	100.0

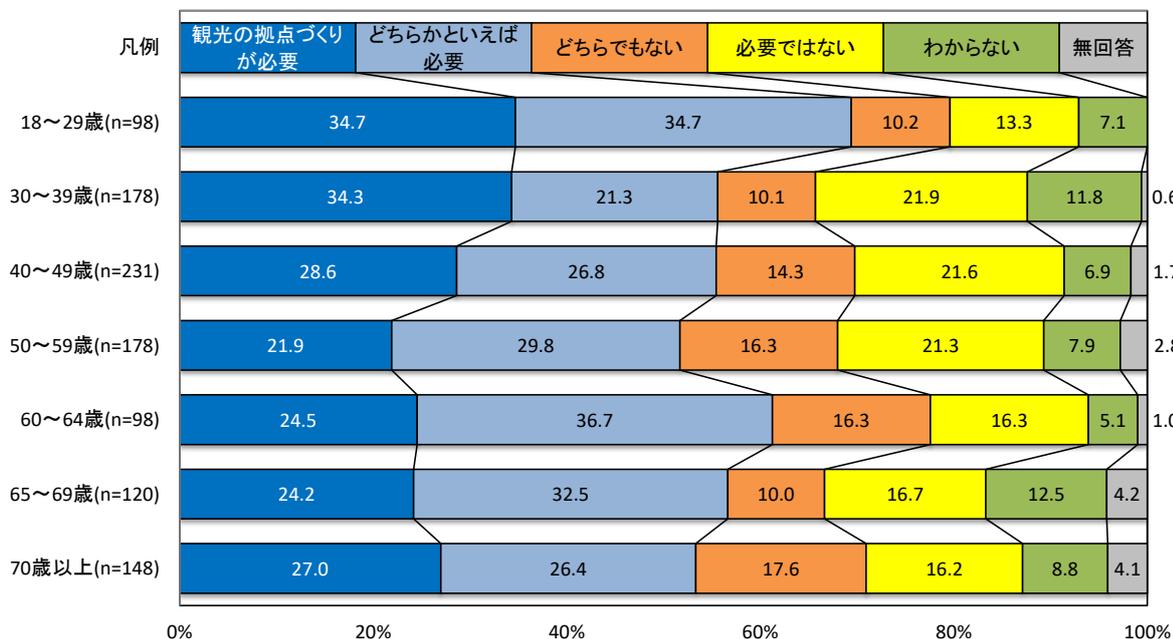
【性別】

- 「必要ではない」の割合は、男性22.7%、女性16.2%となっており、男性が女性を上回っている。



【年齢別】

●観光の拠点づくりが必要（「観光の拠点づくりが必要」+「どちらかといえば必要」）と回答した割合が最も高いのは20代以下で、69.4%となっている。これに対し、50代では51.7%で最も低くなっている。



【校区】

●「観光の拠点づくりが必要」が最も高くなっているのは、合志小の66.3%で、これに西合志中央小の66.1%が続く。

